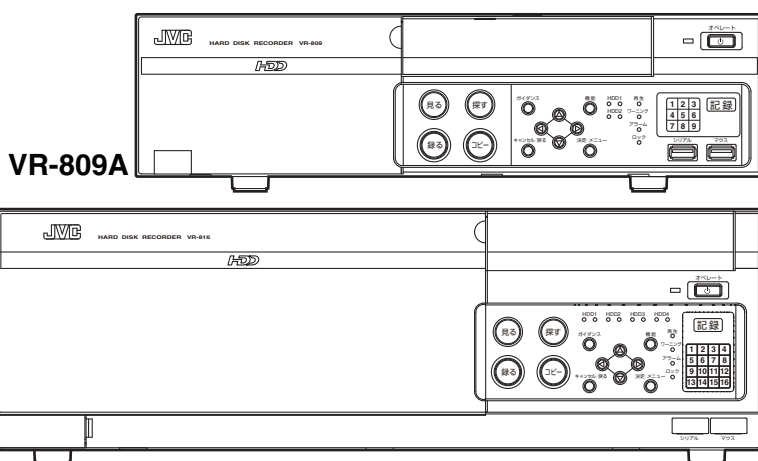


JVC

ハードディスクレコーダー

型名 **VR-809A**
VR-816A

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。また、別冊の「安
全上のご注意」は必ずお読み頂き、安全にお使
いください。お読みになったあとは、大切に保管し、
必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上
げの際は本機に製造番号が正しく記されている
か、またその製造番号と保証書に記載されている
製造番号が一致しているかお確かめください。

もくじ

特長 3

正しくお使いいただくためのご注意 4

各部の名称

VR-809 前面 6
 VR-809 背面 7
 VR-816 前面 8
 VR-816 背面 9

設置・設定

設置 10
 縦に設置する (VR-809 のみ) 10
 ラックに取り付ける 10
 システム接続例 11
 カメラ 9 台のシステム (VR-809) 11
 カメラ 16 台のシステム (RS-232C 接続) 12
 カメラ 80 台のシステム (VR-816) 13
 カメラ制御システム (RS-485 接続) 14
 電源を入れる/切る 15
 オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える 15
 信号入力端子からオペレート ON/OFF を切り換える 16
 オペレーションロック運用開始 16
 オペレーションロック解除 18
 メニュー画面の操作方法 18
 USB マウスでメニューを操作する 18
 フロントパネルでメニューを操作する 20
 右クリックメニューについて 22
 時刻を設定する 23
 メニューで時間を設定する 23
 手動操作で秒数をあわせる 24
 信号入出力端子で秒数をあわせる 24
 基本設定をする 25
 基本設定 1 25
 基本設定 2 26
 基本設定 3 26
 基本設定 4 27
 システム接続設定をする 27
 モニター出力について 28
 モニター端子構成 28
 モニター出力端子とモニター設定の組み合わせ 28
 モニター設定 29
 設置時にメインモニターの解像度を手動で切り換える 30
 分割画面表示について 31
 映像表示パターンの制限について 31
 IP カメラの接続について 32
 簡易設定 32
 詳細設定 34
 IP カメラの削除 36
 IP カメラの設定変更 37
 オートリターンについて 39
 スクリーン上の情報の表示 39
 表示項目と位置の変更 40
 表示位置の補正 41
 カメラタイトル設定 42
 カメラ映像を調整する (設置時) 44
 オペレーションロックの設定をする 45
 パスコード設定 45
 簡易ロックモード設定 47
 シーケンシャル表示設定 48
 非表示カメラの設定 49
 記録パターンの設定をする 50
 コマ数設定の制限 51

VR-809/VR-816 メニュー画面一覧

基本設定/記録設定 52
 運用設定 54

モニター設定 54
 運用詳細設定 56
 信号入出力設定・ネットワーク設定 58
 保守全般 60
 日時設定 61
 システム設定 61
 再生設定 61
 映像設定 62
 IP カメラ接続 64

外部機器との接続

NAS を接続する 66
 NAS コピー設定 66
 内蔵ハードディスクを搭載し RAID 運用する 67
 RAID 運用についてのご注意 68
 動作環境 69

システム接続

周辺機器とのシステム連携の特長 70
 SW-U1403/SW-2200 の接続設定 71
 SW-U1403 のメニュー設定 71
 SW-2200 のメニュー設定 71
 SW-U1403 システム (RS-485 接続) の設定手順 72
 本機から SW-U1403 の設定メニューを操作する 73
 SW-U1403 設定メニューを開く 73
 SW-U1403 設定メニューの操作方法 74
 SW-U1403 のメニュー画面の流れ 76
 SW-U1403 システム設定 78
 SW-U1403 使用台数 78
 カメラ設定 78
 モニター出力設定 79
 外部接続機器設定 80
 リモコン設定 81
 アラーム設定 82
 夜間モード設定 82
 ホームポジション設定 82
 プリセットポジション設定 83
 SW-U1403 のデータ I/O 端子設定 85
 端子 A 設定 85
 端子 B 設定 86
 SW-U1403 経由で設定を行う 87
 カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定 87
 ホームポジションを設定する 88
 プリセットポジションを設定する 90
 本機の SW-U1403 システム設定 96

便利な機能・解説

カメラの台数を変更する 98
 フロントパネル HDD LED について 98
 信号入出力端子の詳細 99

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Important Notice Concerning the Software 101

困ったときは

エラー表示のでのトラブル 114
 SW-U1403 システムメニュー設定時のメッセージ表示 119
 その他のトラブル 120
 USB メモリー使用時 (保守全般) のトラブル 121
 ビューワーソフトウェア (HDR Viewer) 操作時のトラブル 121
 HDR Player 使用時のトラブル 122
 BD ドライブ使用時のワーニング表示 122

保証とアフターサービス 123

仕様

VR-809 124
 VR-816 125

特長

■ 長時間記録を実現

画像圧縮に H.264 方式を採用することにより、ハードディスクドライブへの書き込みデータ容量を約 50%節約(当社従来比)が可能になりました。さらにハードディスクユニット(VR-HDD800:別売)を追加することにより、内蔵ハードディスクドライブ容量を拡張できます。(VR-809:最大 2TB まで、VR-816:最大 4TB まで)
また、増設ハードディスクユニット(VR-D800R:別売)を追加することもできます。この場合は、1 台のみの追加となりますが、外付け HDD として RAID 運用もできます。(VR-809:最大 12TB まで、VR-816:最大 14TB まで)

■ マウスと GUI による簡単操作

本機に USB マウス(汎用品)を接続し、モニター画面を見ながら簡単に操作できます。

■ 高精細映像出力対応

フルハイビジョンモニター(1920×1080)および SXGA 対応ディスプレイモニター(1280×1024)に接続して、高精細な映像を表示できます。(出力端子:DVI-I 端子)

■ RAID 対応

ハードディスクユニット(VR-HDD800:別売)を 1 台追加搭載(搭載 HDD1TB×2=2TB)することにより、本機で RAID1(ミラーリング)記録が可能です。
VR-816 の場合、追加搭載が 1 台の場合のみ RAID1、それ以上の場合 RAID5 の運用が可能です。

■ ネットワークカメラ接続可能

本機は、JVC ケンウッド・公共産業システム製ネットワークカメラを最大 2 台まで接続し、メガピクセルネットワークカメラで高精細な映像の記録ができます。

■ スタイリッシュなデザインを採用

高質感を形にし、シルバークレーを基調にしたカラーリングを採用したことによって、室内に設置しても明るく違和感がないデザインになっています。

■ 記録データの動画エクスポートを充実

記録した動画を簡単に USB メモリーへコピーできます。
また BD ドライブキット(VR-K80:別売)の搭載で、BD メディアや DVD メディアへのコピーもできます。

■ 内蔵ハードディスクドライブを簡単に交換可能

シンプルなハードディスクドライブ簡単脱着機構を採用したことによって、内蔵ハードディスクドライブを簡単に交換できます。

※ 記録データ保存のため、ハードディスクドライブの交換・脱着につきましては販売店または、ご相談窓口にお問い合わせください。

この取扱説明書の見かた

■ モデル名の表記について

本文中では、VR-809AをVR-809およびVR-816AをVR-816と、“A”なしで記載しています。

■ 本書ではVR-809/VR-816の基本的な使いかたを説明します。

- VR-809/VR-816の詳しい使いかたにつきましては、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(ユーザーガイド)](HTML)および[取扱説明書(ユーザーガイド)](pdf)をご覧ください。内容はどちらも同じです。
- 付属のCD-ROMには、[ビューワーソフトウェア(HDR Viewer)]が含まれています。

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で記載していますシステムコントロールユニット "SW-U1403"とは(B)バージョンの商品であり、本文中ではSW-U1403(B)を "SW-U1403"と記載しています。

ハードディスクについて

ハードディスクドライブ(HDD)のデータを読み書きするヘッドとディスクの距離はわずか0.02 μ m程度です。ハードディスクドライブに振動や衝撃が与えられた場合、ヘッドがディスクに衝突し、ディスクの表面に打痕やディスクのかけらが発生することになります。これにより、データが読み出せなくなるばかりか、使用し続けるとヘッドクラッシュ(損傷)に陥る原因になりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■ 設置時および設置場所の移動について

- 通電中や電源を切った直後(約1分間)は、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
電源を切っても、ハードディスクドライブはしばらくの間は惰性で回転しているため、この間振動や衝撃を与えるとハードディスクドライブ故障の原因になることがあります。
- 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。

■ 取り扱いについて

- 本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。
- 記録・再生の動作中やHDDへのアクセス中に、電源プラグを抜かないでください。
- ハードディスクドライブは消耗品です。使用環境により異なりますが、周囲温度25℃で使用した場合、18000時間をめやすに交換することをお勧めします。ただし、この時間はめやすであり、ハードディスクドライブの寿命を保証するものではありません。
メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のご相談窓口案内をご覧ください。
- 外付けハードディスクを増設される場合は、システムの安定動作のため、UPS(無停電電源装置)の使用をおすすめします。
- ハードディスクのフォーマット、切断処理などを行なっているときに停電が発生すると、UPSを接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。
- 万一本機およびハードディスクドライブなどの不具合によって、正常に記録や再生ができなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ハードディスクを交換した場合は、記録された画像が消去されます。また、本機のソフトウェアのバージョンアップによって、記録画像が消去されることがありますので、ご注意ください。

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
- 許容動作温度(5℃~40℃)範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度(30%RH~80%RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
- 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
- 振動する場所、たとえばこの煙やヤニ、塵やほこりの多いところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わったりすることがあります。

取り扱いについて

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用したりファンの通気孔をふさいだりしないでください。
- 本機の上に水の入ったもの(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かないでください。
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。
- 本機の上にモニターテレビなどの重いものをのせない
動作不良をおこす恐れがあります。また、本機を重ねて置かないでください。
- VR-816を縦置きで使用しないでください。

移動について

- 移動するときは接続ケーブル類ははずす
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源ケーブルについて

- 付属の電源ケーブルは、本機以外の機器で使用しないでください。誤って使用すると、発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。
- 電源ケーブルは、本機に付属のものを必ずお使いください。
- 耐圧の異なるケーブルや、傷ついたケーブルを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 電源ケーブルが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用したり、指定以外のものを使用したりすると、火災・感電の原因となります。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 機器設置などで入出力端子に触れるときは、あらかじめ静電気を除去したあと作業を行なってください。
- 静電気により誤動作をする場合がありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。
- 本機はオープンソースのソフトウェアを一部使用しています。
ソフトウェアライセンスに関する情報の表示については「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」(P.101)をご覧ください。
- 短いアラーム記録などで本機に記録されたデータの数が増えると、検索やバックアップ動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
- 分割画面のとき、映像の境目(黒く見える部分)の幅が、入力信号によって異なって見えます。これはカメラ入力信号の特性であり、故障ではありません。
本機の調整により改善することができます。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

個人情報・プライバシーの保護について

本システムの使用時に撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当する場合があります。法律に従って、映像情報を適切にお取り扱いください。

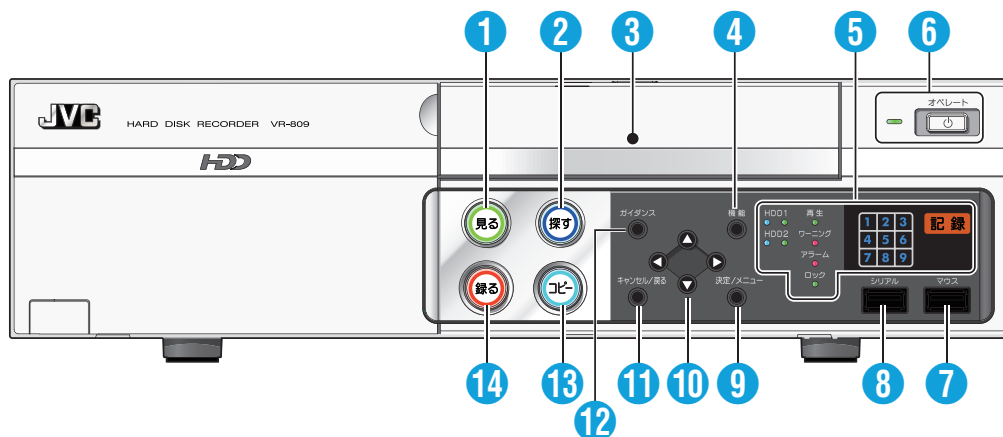
免責について

本機のカメラ画像によってプライバシー侵害などが発生した場合、発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

ユーザー名とパスワードについて

工場出荷時のユーザー名とパスワードは、広く公開されているため変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。
また、ユーザー名とパスワードは、定期的に変更してください。

VR-809 前面



① [見る] ボタン

ライブ映像表示制御パネルを開きます。

② [探す] ボタン

再生・検索制御パネルを開きます。

③ BD ドライブドア

BD ドライブキット (VR-K80:別売) を取り付ける場合にあげます。

④ [機能] ボタン

オペレーションロック設定、解除時に使用します。

"オペレーションロック運用開始" (P.16)

⑤ LED 表示

● [HDD1]/[HDD2]

HDD のアクセス表示灯 (青) およびステータス表示灯 (緑/赤) です。

"フロントパネル HDD LED について" (P.98)

● [再生]

映像の再生時に緑色に点灯します。

早く点滅: 特殊再生中 (早送り、逆早送り、スキップ、スロー)

点滅: 一時停止中、順方向コマ送り中、逆方向コマ送り中

消灯: 再生停止中、ライブ映像表示中

● [ワーニング]

ワーニング時赤く点灯します。

● [アラーム]

アラーム記録がない場合は消灯、取り消せるアラーム履歴がある場合は点滅します。

アラーム記録中または、RS-485 システム運用中に SW-U1403 でアラーム検出した場合は赤色に点灯します。

● [ロック]

オペレーションロックされている場合、緑色に点灯します。

アドミニストレーター権限やオペレータ 1~5 権限で運用中は点滅します。

"オペレーションロック運用開始" (P.16)

● [1]~[9]

映像信号入力のあるチャンネルが青く点灯します。映像信号が途切れた場合 (ビデオロス時)、点滅します。

● [記録]

記録時に赤く点灯します。

アラーム記録時は点滅します。(各種アラーム・動き検出記録・バスコードエラー記録・エマージェンシー記録)

⑥ [オペレート] ボタン・表示灯

システムの起動/終了を行います。

システム運用中、表示灯が点灯します。

システム起動中および終了処理中表示灯が点滅します。

電源スイッチではありません。電源を切る前に必ずオペレート OFF にしてください。

"電源スイッチ" (P.7)

"オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える" (P.15)

⑦ [マウス] 接続端子 (USB2.0 ポート)

USB マウスを接続します。

⑧ [シリアル] 端子 (USB2.0 ポート)

USB メモリーを接続します。

本体設定のダウンロード・アップデート、ファームウェアの書き換え、画像のエクスポート (コピー) が可能です。

⑨ [決定/メニュー] ボタン

長押しで設定メニューを開きます。メニュー操作時は決定ボタンとなります。

"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑩ 十字ボタン

カーソルを移動します。

"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑪ [キャンセル/戻る] ボタン

● 通常時

アラームキャンセル、ワーニングキャンセル

● メニュー操作時

階層をひとつ戻ります。

[機能] ボタン ④ と [キャンセル/戻る] ボタンを同時押しでアイコン

ボタンメニュー以外の設定メニューをとじます。

アイコンボタンメニューは [キャンセル/戻る] ボタンでとじます。

"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑫ [ガイダンス] ボタン

ガイダンスを表示します。

"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

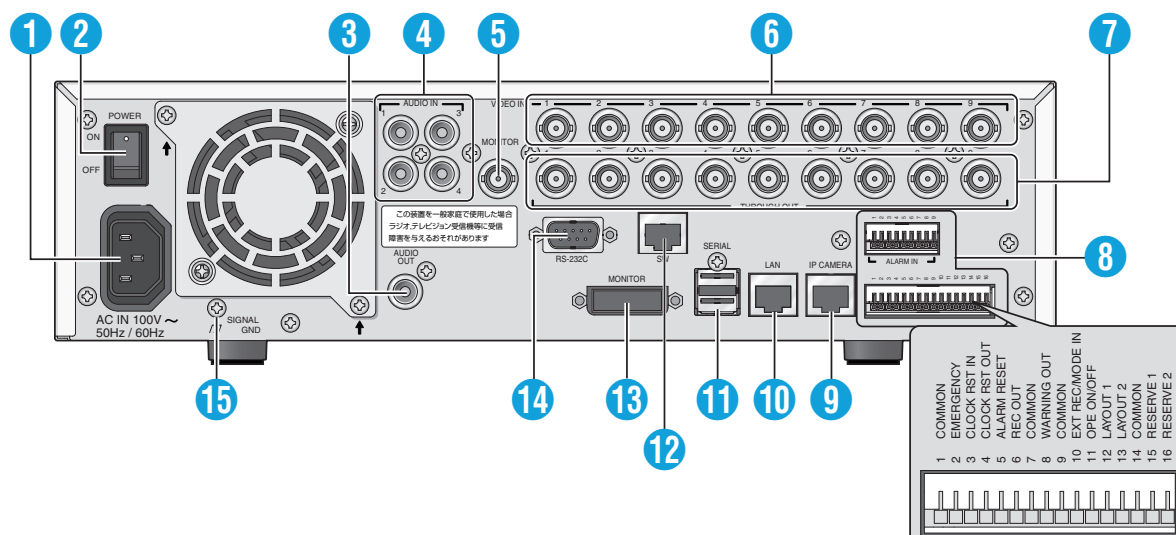
⑬ [コピー] ボタン

[クイックコピー] ボタン、[IN - OUT 点指定] ボタンが表示され、コピーモードになります。

⑭ [録る] ボタン

録画制御パネルを開きます。

VR-809 背面



① [AC IN 100V~50Hz/60Hz] 電源入力端子

付属の電源ケーブルで AC100 V のコンセントに接続します。
"電源を入れる/切る" (☞ P.15)

② [POWER ON/OFF] 電源スイッチ

電源を入切します。電源を入れると、自動的にオペレート ON になります。

"電源を入れる/切る" (☞ P.15)

"オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える" (☞ P.15)

③ [AUDIO OUT] 音声出力端子 (RCA)

ライブ画表示時、ライブ音声を出力します。
再生中は、記録されている音声を出力します。

④ [AUDIO IN 1~AUDIO IN 4] 音声入力端子 1~4

音声記録したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

⑤ [MONITOR] (BNC) モニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像を NTSC ビデオ信号で出力します。
再生中は、記録されている映像を出力します。

⑥ [VIDEO IN 1~VIDEO IN 9] カメラ映像信号入力端子 (BNC)

ビデオカメラ (別売) の映像出力端子と接続します。

⑦ [THROUGH OUT 1~ THROUGH OUT 9] カメラ映像出力端子 (BNC)

各 [VIDEO IN 1~VIDEO IN 9] 端子 ⑥ に対応したカメラ映像信号を出力します。

"システム接続例" (☞ P.11)

⑧ 信号入出力端子

- [ALARM IN 1~9] アラーム入力端子 1~9

- ハーモニカ端子 1~16

"信号入出力端子の詳細" (☞ P.99)

⑨ [IP CAMERA] IP カメラ接続端子

PoE 対応 IP カメラ接続用 LAN ポートです。

(IEEE 802.3af 15.4W 対応)

"IP カメラの接続について" (☞ P.32)

ご注意:

- PoE HUB を使用する場合、給電機能を持つ PoE 用端子と本機の [IP CAMERA] 端子は絶対に接続しないでください。
HUB 側の給電方式 (Alternative A) によっては、双方の機器が破損します。

⑩ [LAN] LAN 接続端子 (10Base-T/1000 Base-T/100 Base-Tx)

LAN ポートです。(PoE 非対応)

⑪ [SERIAL] シリアル端子 (USB A-TYPE メス)...2 系統

増設用ハードディスク (別売)、または UPS (別売) の通信制御端子と接続します。

⑫ [SW] SW 接続端子

SW-U1403 を接続します。

"カメラ制御システム (RS-485 接続)" (☞ P.14)

⑬ [MONITOR] (DVI-I) モニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像をフル HD (1920 x 1080p)、または SXGA (1280 x 1024) の HD 映像で出力します。

再生中は、記録されている映像を出力します。

"モニター出力について" (☞ P.28)

⑭ [RS-232C] RS-232C リモート端子 (D-sub9 ピン)

パソコンなどと接続して、本機を外部からコントロールします。

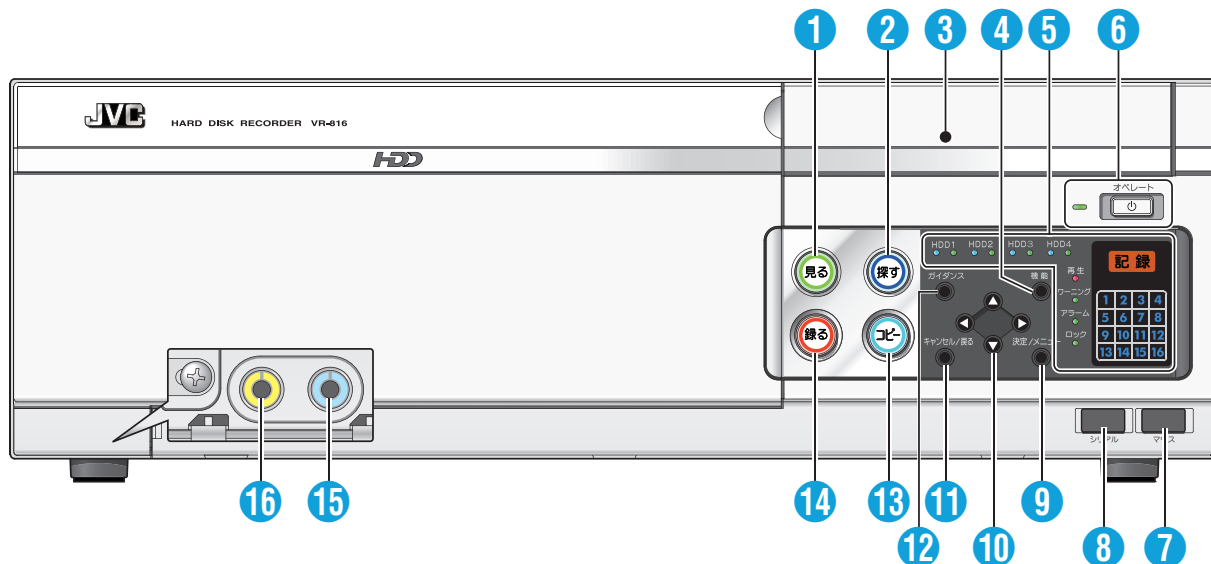
⑮ [SIGNAL GND] 信号グラウンド端子

共通のグラウンド端子です。接続機器の信号グラウンド端子と接続します。
信号入出力端子 ⑧ の [COMMON] 端子が足りなくなった場合に使用してください。

ご注意:

- 安全アースとして使用しないでください。

VR-816 前面



① [見る] ボタン

ライブ映像表示制御パネルを開きます。

② [探す] ボタン

再生・検索制御パネルを開きます。

③ BD ドライブドア

BD ドライブキット (VR-K80:別売) を取り付ける場合にあげます。

④ [機能] ボタン

オペレーションロック設定、解除時に使用します。
"オペレーションロック運用開始" (P.16)

⑤ LED 表示

- [HDD1]～[HDD4]
HDD のアクセス表示灯 (青) およびステータス表示灯 (緑/赤) です。
"フロントパネル HDD LED について" (P.98)
- [再生]
映像の再生時に緑色に点灯します。
早く点滅: 特殊再生中 (早送り、逆早送り、スキップ、スロー)
点滅: 一時停止中、順方向コマ送り中、逆方向コマ送り中
消灯: 再生停止中、ライブ映像表示中
- [ワーニング]
ワーニング時赤く点灯します。
- [アラーム]
アラーム記録がない場合は消灯、取り消せるアラーム履歴がある場合は点滅します。
アラーム記録中または、RS-485 システム運用中に SW-U1403 でアラーム検出した場合は赤色に点灯します。
- [ロック]
オペレーションロックされている場合、緑色に点灯します。
アドミニストレーター権限やオペレータ 1～5 権限で運用中は点滅します。
"オペレーションロック運用開始" (P.16)
- [1]～[16]
映像信号入力のあるチャンネルが点灯します。映像信号が途切れた場合 (ビデオロス時)、点滅します。
- [記録]
記録時に赤く点灯します。
アラーム記録時は点滅します。(各種アラーム・動き検出記録・バスコードエラー記録・エマージェンシー記録)

⑥ [オベレート] ボタン・表示灯

システムの起動/終了を行います。
システム運用中、表示灯が点灯します。
システム起動中および終了処理中表示灯が点滅します。
電源スイッチではありません。電源を切る前に必ずオベレート OFF にしてください。
"電源スイッチ" (P.9)
"オベレートボタンでオベレート ON/OFF を切り換える" (P.15)

⑦ [マウス] 接続端子 (USB2.0 ポート)

USB マウスを接続します。

⑧ [シリアル] 端子 (USB2.0 ポート)

USB メモリーを接続します。
本体設定のダウンロード・アップデート、ファームウェアの書き換え、画像のエクスポート (コピー) が可能です。

⑨ [決定/メニュー] ボタン

長押しで設定メニューを開きます。メニュー操作時は決定ボタンとなります。
"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑩ 十字ボタン

カーソルを移動します。
"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑪ [キャンセル/戻る] ボタン

- 通常時
アラームキャンセル、ワーニングキャンセル
- メニュー操作時
階層をひとつ戻ります。
[機能] ボタン ④ と [キャンセル/戻る] ボタンを同時押しでアイコンボタンメニュー以外の設定メニューをとじます。
アイコンボタンメニューは [キャンセル/戻る] ボタンでとじます。
"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑫ [ガイダンス] ボタン

ガイダンスを表示します。
"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

⑬ [コピー] ボタン

[クイックコピー] ボタン、[IN - OUT 点指定] ボタンが表示され、コピーモードになります。

⑭ [録る] ボタン

録画制御パネルを開きます。

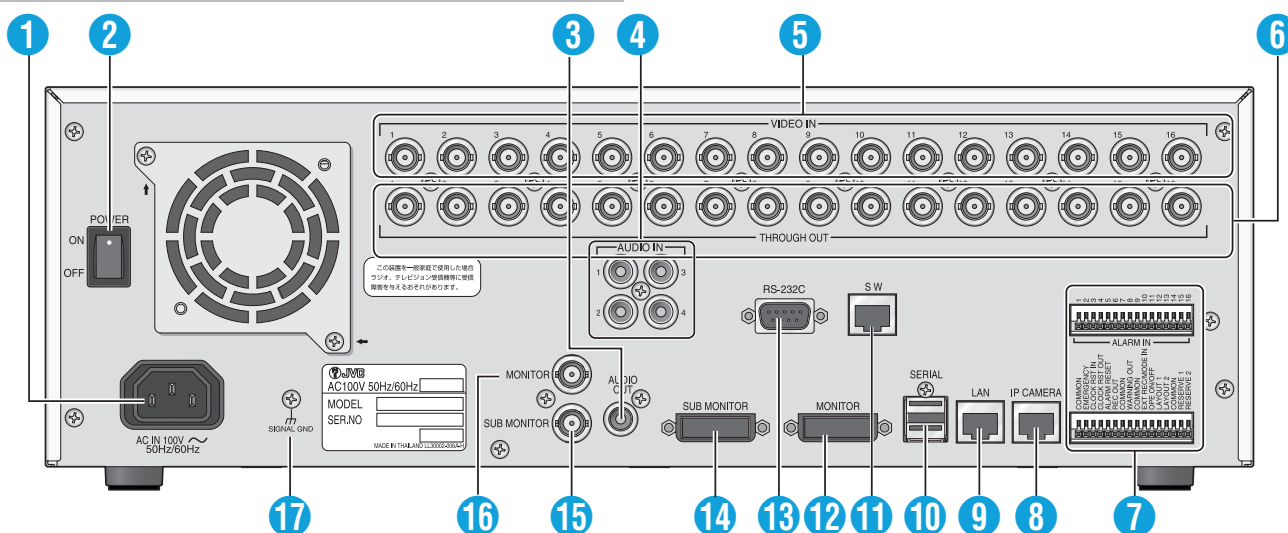
⑮ [AUDIO OUT] 端子 (白)

音声出力端子です。"VR-816 背面" (P.9) の [AUDIO OUT] 端子 ③ と同じ音声を出力します。

⑯ [VIDEO OUT] 端子 (黄色)

- 映像出力端子です。"VR-816 背面" (P.9) の [MONITOR] (BNC) 端子 ⑬ と同じ映像を出力します。
- メインモニターの見解度が "SD" 設定になっている場合のみ映像信号が出力されます。
"モニター出力について" (P.28)

VR-816 背面



① [AC IN 100V~50Hz/60Hz] 電源入力端子

付属の電源ケーブルで AC100V のコンセントに接続します。
"電源を入れる/切る" (☞ P.15)

② [POWER ON/OFF] 電源スイッチ

電源を入切します。電源を入れると、自動的にオペレート ON になります。
"電源を入れる/切る" (☞ P.15)
"オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える" (☞ P.15)

③ [AUDIO OUT] 音声出力端子 (RCA)

ライブ画表示時、ライブ音声を出力します。
再生中は、記録されている音声を出力します。

④ [AUDIO IN 1~AUDIO IN 4] 音声入力端子 1~4

音声記録したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

⑤ [VIDEO IN 1~VIDEO IN 16] カメラ映像信号入力端子 (BNC)

ビデオカメラ (別売) の映像出力端子と接続します。

⑥ [THROUGH OUT 1~ THROUGH OUT 16] カメラ映像出力端子 (BNC)

各 [VIDEO IN 1~VIDEO IN 16] 端子 ⑤ に対応したカメラ映像信号を出力します。
"システム接続例" (☞ P.11)

⑦ 信号入出力端子

- [ALARM IN 1~16] アラーム入力端子 1~16
 - ハーモニカ端子 1~16
- "信号入出力端子の詳細" (☞ P.99)

⑧ [IP CAMERA] IP カメラ接続端子

PoE 対応 IP カメラ接続用 LAN ポートです。
(IEEE 802.3af 15.4W 対応)
"IP カメラの接続について" (☞ P.32)

ご注意 :

- PoE HUB を使用する場合、給電機能を持つ PoE 用端子と本機の [IP CAMERA] 端子は絶対に接続しないでください。
HUB 側の給電方式 (Alternative A) によっては、双方の機器が破損します。

⑨ [LAN] LAN 接続端子 (10Base-T/1000 Base-T/100 Base-Tx)

LAN ポートです。(PoE 非対応)

⑩ [SERIAL] シリアル端子 (USB A-TYPE メス)...2 系統

増設用ハードディスク (別売)、または UPS (別売) の通信制御端子と接続します。

⑪ [SW] SW 接続端子

SW-U1403 を接続します。
"カメラ制御システム (RS-485 接続)" (☞ P.14)

⑫ [MONITOR] (DVI-I) モニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像をフル HD (1920 x 1080p)、または SXGA (1280 x 1024) の HD 映像で出力します。
再生中は、記録されている映像を出力します。
"モニター出力について" (☞ P.28)

⑬ [RS-232C] RS-232C リモート端子 (D-sub9 ピン)

パソコンなどと接続して、本機を外部からコントロールします。

⑭ [SUB MONITOR] (DVI-I) サブモニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像をフル HD (1920 x 1080p)、または SXGA (1280 x 1024) の HD 映像で出力します。

⑮ [SUB MONITOR] (BNC) サブモニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像を NTSC ビデオ信号で出力します。

⑯ [MONITOR] (BNC) モニター出力端子

ライブ画表示時、ライブ映像を NTSC ビデオ信号で出力します。
再生中は、記録されている映像を出力します。

⑰ [SIGNAL GND] 信号グラウンド端子

共通のグラウンド端子です。接続機器の信号グラウンド端子と接続します。
信号入出力端子 ⑦ の [COMMON] 端子が足りなくなった場合に使用してください。

ご注意 :

- 安全アースとして使用しないでください。

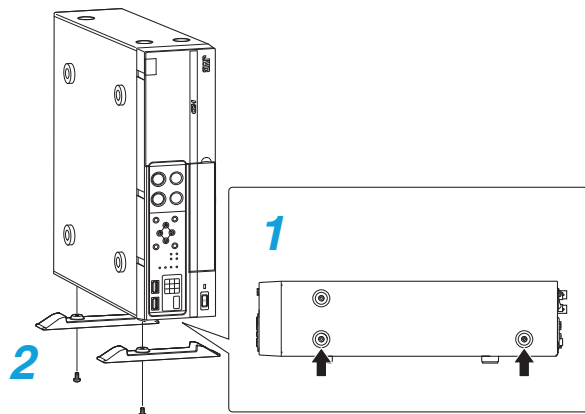
設置

縦に設置する (VR-809 のみ)

添付の縦置きスタンドを使用し、縦に設置できます。

ご注意:

- 縦置きスタンドは、必ず本体の右側面に取り付けてください。本体左側面に取り付けると、重心が高くなり、転倒の原因となります。
- スタンドの取り付けは、必ず手順 1 ではずしたねじを使用してください。他のねじを使用すると、故障の原因となります。



- 1 本体右側のねじ(2本)をはずす
- 2 縦置きスタンドの出っ張り部分とねじをはずした場所を合わせ、スタンドを本体に取り付ける

必ず、手順 1 ではずしたねじを使い、スタンドを本体に取り付けます。

メモ:

- 縦置きにする場合、フロントパネルの十字ボタンの操作方向を変更するため、「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー] → [運用設定] → [運用詳細] → [本体設置設定]を「縦置き」に設定してください。

ご注意:

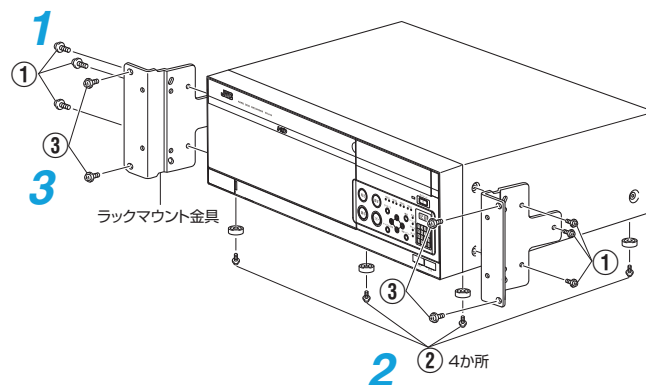
- RS-232C コマンド "DOWN(63H)"、"RIGHT(64H)"、"LEFT(68H)"、"UP(69H)"で本機を操作する場合、[本体設置設定]の設定内容は無視されます。

ラックに取り付ける

ラックマウント金具を使用し、本機を EIA ラックに取り付けます。VR-816 はラックマウント金具が添付されていますが、VR-809 は別売となります。

ご注意:

- ラックに取り付けた本機の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりするなど、けがや破損の原因になることがあります。
- 本機を 2 台以上ラックに取り付ける場合、必ず 1 ユニット以上離して取り付けてください。
- 取りはずした底面の脚を再度取り付ける場合、必ず同じスクリーン(M3×6mm)を使用してください。これより長いスクリーンを使用すると故障の原因となります。



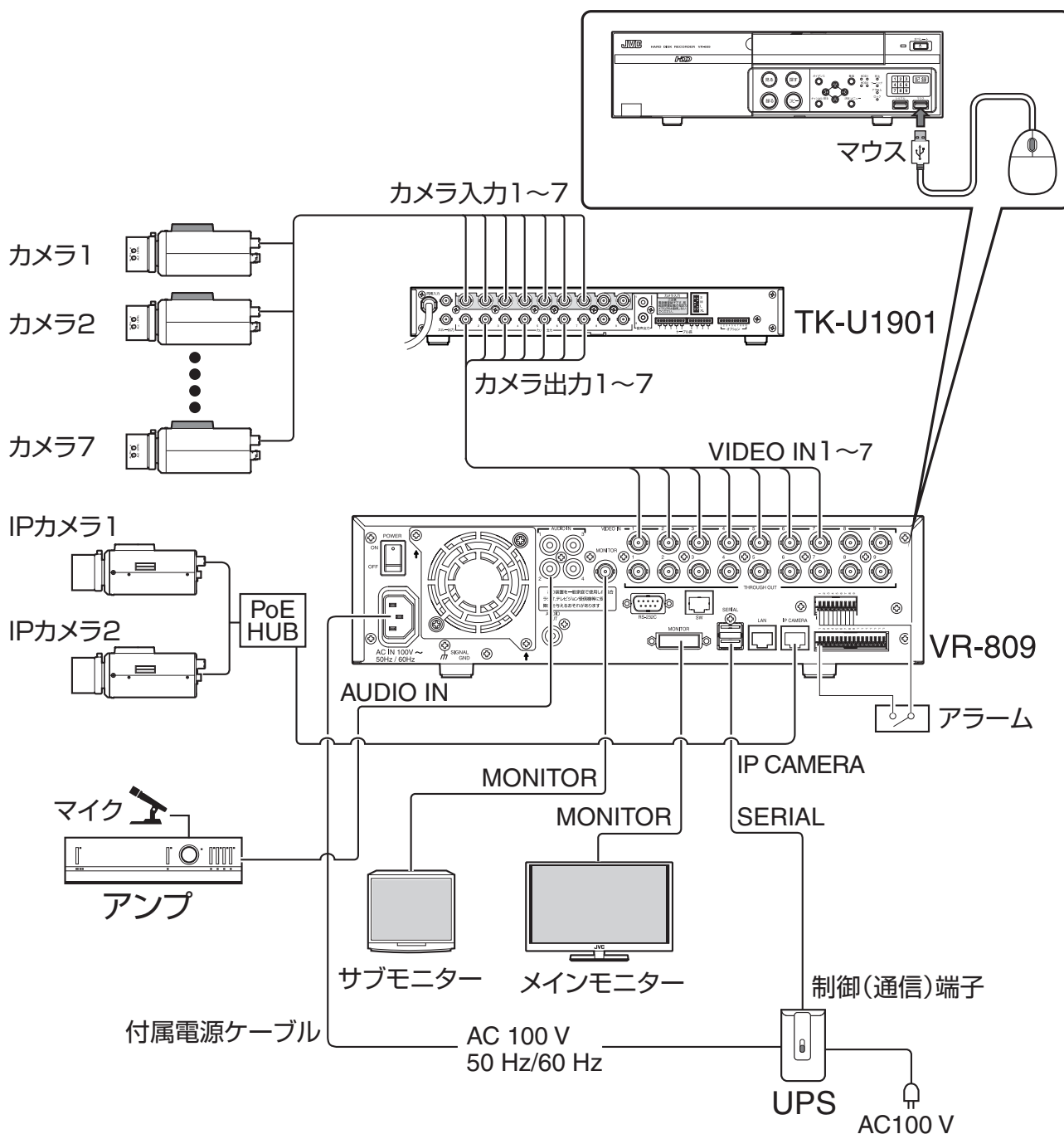
- 1 付属のスクリーン①6本(M4×11mm)でラックマウント金具を本機の両側に取り付ける
- 2 底面の脚(4か所)のスクリーン②をはずし、脚を取る
- 3 付属のスクリーン③4本(M5×10mm)でラックに取り付ける

システム接続例

カメラ 9 台のシステム (VR-809)

カメラ 9 台 (アナログカメラ 7 台 / IP カメラ 2 台) と VR-809 を接続するスタンダードなシステム例です。

接続可能なカメラ台数は、アナログカメラとネットワークカメラ (IP カメラ) 合計で 9 台までです。 (IP カメラは最大 2 台まで)



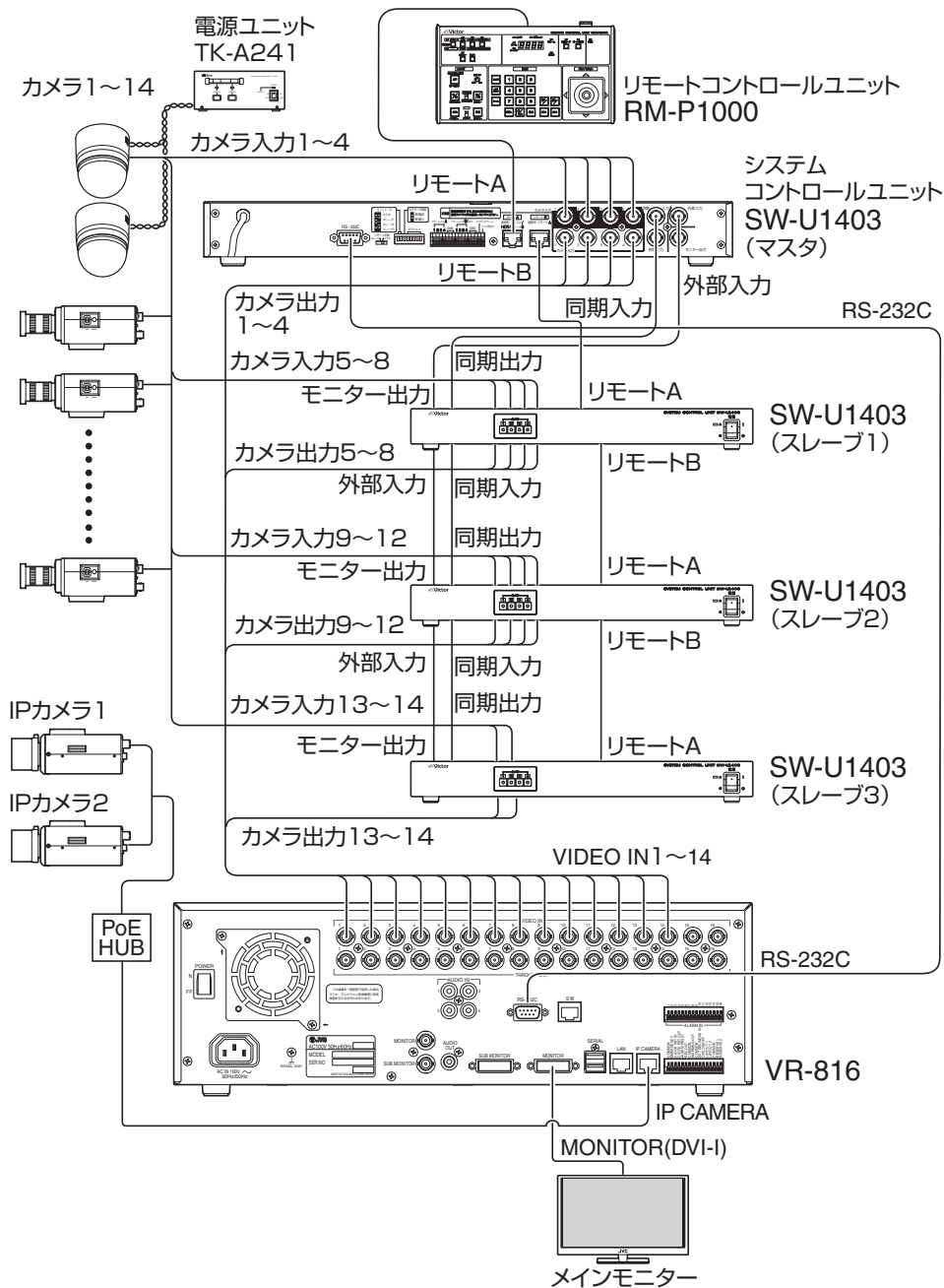
ご注意:

- CCU (カメラコントロールユニット: TK-U1901) の [カメラ入力] 端子と本機の [VIDEO IN] 端子は絶対に接続しないでください。CCU の [カメラ入力] 端子には、カメラ用の電源が供給されているため、本機の入力回路が破損します。
- TV 映像信号のカメラ以外の映像信号を入力した場合、ライブ映像表示や記録再生が正常に行われなくなることがあります。
- 映像信号の入力に異常があると "E-03 VIDEO IN ** 入力なし" がオンスクリーン表示されます。 (** にはカメラ番号が表示されます) この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。異常が発生した入力の記録を無効にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。
- 本機の電源を ON にした場合、最初の映像信号入力を検出すると、自動再起動がはじまります。本機の起動前に、映像信号を入力してください。
- 接続はすべての機器の電源を OFF にしてから行ってください。
- カメラを接続しない入力は [基本設定 2] [基本設定 2-1] / [基本設定 2-2] または、[運用設定] → [運用詳細] → [入力選択設定] で "切" に設定してください。(基本設定で設定した場合は、再起動が必要となります。)
- 本機以外の使用機器につきましては、それぞれの機器 [取扱説明書] をお読みのうえ接続してください。

システム接続例 (つづき)

カメラ 16 台のシステム(RS-232C 接続)

本機と RM-P1000(リモートコントロールユニット)、SW-U1403(システムコントロールユニット)を使用し、カメラを 16 台まで接続することができます。



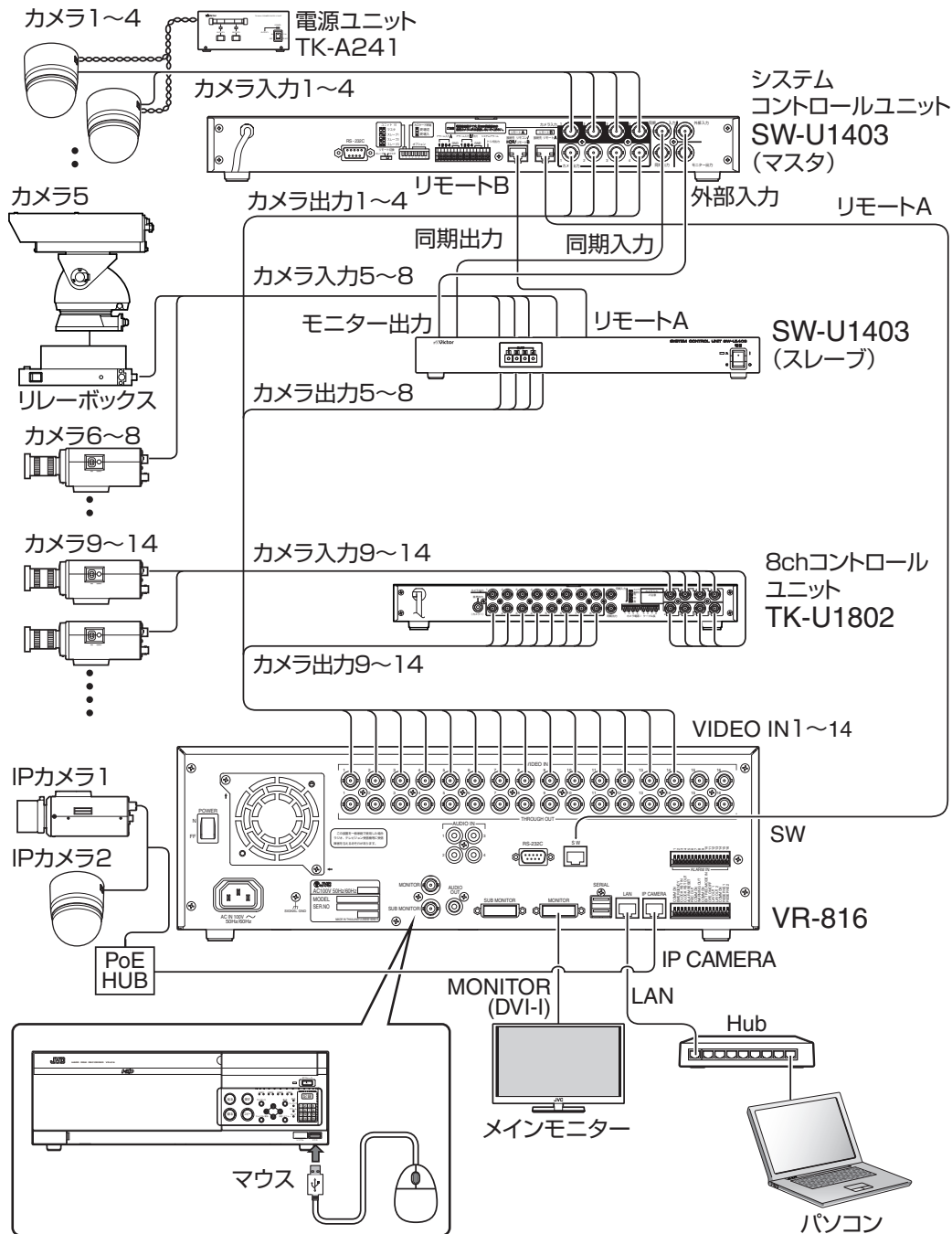
ご注意:

- CCU(カメラコントロールユニット:SW-U1403)の[カメラ入力]端子と本機の[VIDEO IN]端子は絶対に接続しないでください。CCUの[カメラ入力]端子には、カメラ用の電源が供給されているため、本機の入力回路が破損します。
- TV 映像信号のカメラ以外の映像信号を入力した場合、ライブ映像表示や記録再生が正常に行われなくなることがあります。
- 映像信号の入力に異常があると "E-03 VIDEO IN ** 入力なし" がオンスクリーン表示されます。(**にはカメラ番号が表示されます)この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。異常が発生した入力の記録を無効にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。
- 本機の電源を ON にした場合、最初の映像信号入力を検出すると、自動再起動がはじまります。本機の起動前に、映像信号を入力してください。
- 接続はすべての機器の電源を OFF にしてから行ってください。
- カメラを接続しない入力は[基本設定 2] [基本設定 2-1]/[基本設定 2-2]または、[運用設定] → [運用詳細] → [入力選択設定]で "切" に設定してください。(基本設定で設定した場合は、再起動が必要となります。)
- SW-U1403 を接続する場合はカメラ 1 から降順に接続を行ってください。
例)システム接続図のように、1 台目の SW-U1403 の出力はカメラ 1~4 に接続します。2 台目以降ではカメラ 5~8、カメラ 9~12 に接続してください。また IP カメラを併用される場合もしくは SW-U1403 で管理しないアナログカメラは、SW-U1403 の管理範囲以外のカメラに割り当ててください。接続図ではカメラ 15 とカメラ 16 に割当てが可能となります。
- 本機以外の使用機器につきましては、それぞれの機器[取扱説明書]をお読みのうえ接続してください。

システム接続例 (つづき)

カメラ制御システム(RS-485 接続)

- システムコントロールユニット(SW-U1403)2 台、8ch カメラコントロールユニット(TK-U1802)1 台を接続し、マウスでカメラ操作ができるシステムです。アナログコンビネーションカメラ、リレーボックス、IP カメラを混在させることができます。
 - 本システムを使用する場合、「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[システム設定]→[シリアル制御通信]項目を "RS-485" に設定してください。
- "システム接続設定をする" (P.27)



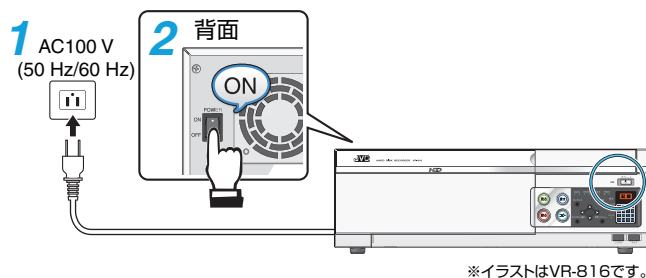
- ご注意:
- SW-U1403(システムコントロールユニット)の[リモート A]端子と本機の[IP CAMERA]端子は絶対に接続しないでください。
 - VR-809/VR-816 のカメラ入力番号と、SW-U1403 のカメラ番号は必ず一致させてください。一致していない場合は、本機から正しく選択できません。
 - VR-809/VR-816 のカメラ入力番号 1 と SW-U1403 のカメラ番号 1 は、SW-U1403 設定メニュー表示で使用するので、必ず接続してください。
 - SW-U1403 の代わりにカメラコントロールユニット(CCU)を使用する場合、番号が小さいカメラチャンネルは SW-U1403 に接続してください。
 - SW-U1403 と IP カメラを混在したシステムの場合、SW-U1403 のカメラ入力番号以外を使い、SW-U1403 側の設定で[外部接続機器設定][あり]と登録してから使用してください。
 - 本機と SW-U1403 の接続には、LAN 用ケーブル(カテゴリ 5 以上、ストレート、100m 以内)を使用してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

ご注意:

- システムチェック中は、電源ケーブルを絶対に抜かないでください。故障の原因となります。



- 1 付属の電源ケーブルでコンセントとつなぐ
AC100 V(50 Hz/60 Hz)のコンセントにつなぎます。

- 2 背面の[POWER]スイッチを[ON]にする
 - 電源が入り、システムチェックがはじまります。
 - [オペレート]表示灯が点滅します。
 - [オペレート]表示灯が点灯に変わり、オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に時刻および、記録/停止マークが表示されたあと、操作が可能になります。

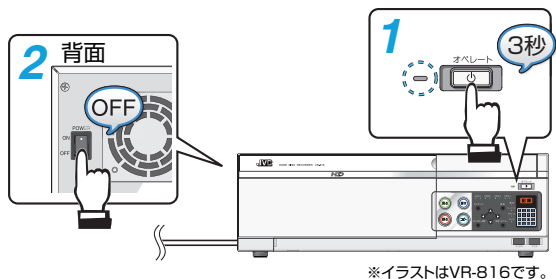
メモ:

- 工場出荷後に始めて電源を入れた場合は、「解像度切替選択」画面が表示されます。
"設置時にメインモニターの解像度を手動で切り換える" (P.30)

電源を切る

ご注意:

- 電源を切ったあと、1 分間は本機を動かさないでください。衝撃により内蔵ハードディスクが故障することがあります。



- 1 [オペレート]ボタンを約 3 秒間長押しする
しばらくすると、[オペレート]表示灯が消灯しオペレート OFF になります。
- 2 背面の[POWER]スイッチを[OFF]にする

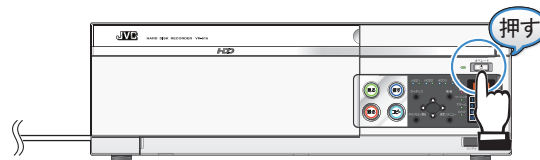
オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える

フロントパネルの[オペレート]ボタンで、操作可能状態(オペレート ON)と休止状態(オペレート OFF)の切り換えを行います。
"信号入力端子からオペレート ON/OFF を切り換える" (P.16)

オペレート ON にする

ご注意:

- 電源は、オペレート OFF 状態してから切ってください。
- 外付けハードディスクの電源を切る場合は、先に本機の電源を切ってください。



- 1 オペレート OFF の状態で[オペレート]ボタンを押す
 - [オペレート]表示灯が点滅します。
 - [オペレート]表示灯が点灯に変わり、オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に時刻および、記録/停止マークが表示されたあと、操作が可能になります。
 - [オペレート]表示灯が点灯します。
 - 背面の[POWER]スイッチを[ON]にすると、自動的にオペレート ON 状態まで立ち上がります。

オペレート OFF にする

- 1 オペレート ON の状態で[オペレート]ボタンを約 3 秒長押しする
 - [オペレート]表示灯が点滅します。
 - 画面に[しばらくお待ちください...]と表示されます
 - 画面の表示が消え、オペレート OFF 状態になり、[オペレート]表示灯が消灯します。

メモ:

- 長時間使用しない場合は、背面の[POWER]スイッチを[OFF]にしてください。

信号入力端子からオペレート ON/OFF を切り換える

リアパネルの [OPE ON/OFF] 端子で、操作可能状態 (オペレート ON) と休止状態 (オペレート OFF) の切り換えを行います。

"オペレートボタンでオペレート ON/OFF を切り換える" (P.15)

オペレート ON にする

ご注意:

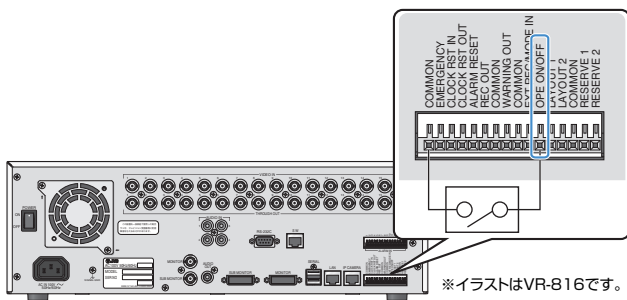
- 電源は、オペレート OFF 状態にしてから切ってください。
- エマージェンシー記録中やタイマー運用中は、機能しません。

メモ:

- 信号入出力端子については、「信号入出力端子の詳細」(P.99)をご覧ください。
- 停電などにそなえて、UPS (無停電電源装置) を使用することをおすすめします。

"システム接続例" (P.11)

- 1 オペレート OFF 状態で、[OPE ON/OFF] 端子を 1 秒以上 Low (0V) にする



*イラストはVR-816です。

- システムチェックが始まります。
- [オペレート] 表示灯が点灯に変わり、オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に時刻および、記録/停止マークが表示されたあと、操作が可能になります。

オペレート OFF にする

- 1 オペレート ON 状態で、[OPE ON/OFF] 端子を 1 秒以上 Low (0V) にする

- 画面に [しばらくお待ちください...] と表示されます
- 画面の表示が消え、オペレート OFF 状態になり、[オペレート] 表示灯が消灯します。

オペレーションロック運用開始

本機は、誤って電源を切ってしまったり、いたずらによって記録されてしまったりなどを未然に防止するオペレーションロックを採用しています。

まずはメニューにてオペレーションロックの内容や解除方法を設定します。

"オペレーションロックの設定をする" (P.45)

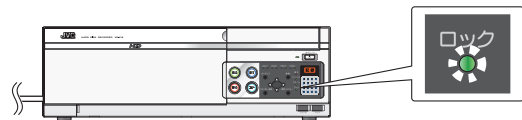
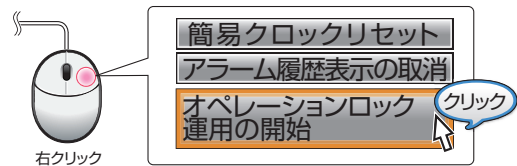
メモ:

- 設定メニュー表示中は、オペレーションロックや解除をすることはできません。
- オペレーションロック運用中、[運用設定] → [運用詳細] → [オペレーションロック設定] の [オペレーションロックモード] 項目の変更はできません。
- [オペレーションロックモード] 項目が "切" に設定されている場合は、オペレーションロックできません。
- [オペレーションロックモード] 項目が "簡易ロック" に設定されている場合、すべての操作を禁止にするか、操作権限を自由に設定することができます。
- [オペレーションロックモード] 項目が "パスワード制限" に設定されている場合、複数のオペレーターに個別の操作権限を持たせることができます。

"オペレーションロックの設定をする" (P.45)

- 1 オペレーションロックを開始する

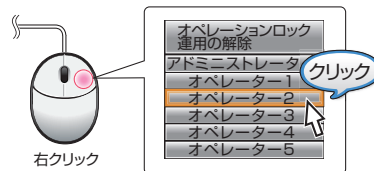
- 右クリックにて、右クリックメニューを表示させ、[オペレーションロック運用の開始] をクリックします。
- "右クリックメニューについて" (P.22)
- オペレーションロックモード時、フロントパネルの [ロック] 表示灯が緑色に点灯します。
 - [オペレーションロックモード] 項目で設定されたモードでロックされます。
 - "簡易ロック" の場合、[簡易ロックモード設定] 項目で設定した操作権限での操作のみが可能です。
 - "パスワード制限" の場合手順 2 へ



*イラストはVR-816です。

- 2 アクセス権限モードへ移行する (パスワード制限モードの場合のみ)

右クリックにて、右クリックメニューを表示させ、割り当てられた権限をクリックします。



3 パスコードを入力する

- パスコード入力画面が表示されます。
選択した権限のパスコード(4桁もしくは5桁)を入力して[確定]をクリックください。
- パスコードが正しく入力された場合、選択した権限で設定された範囲の操作が可能になります。

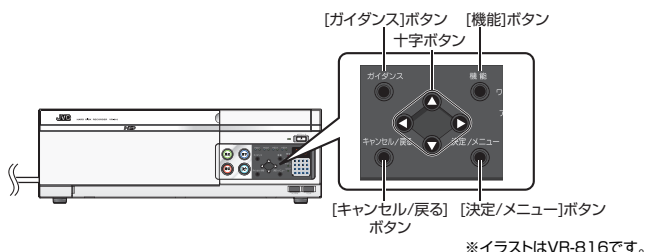


メモ: _____

- パスコード入力時、数字のかわりに "*" が表示されます。
- [取消し] をクリックすると、入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
- [×] をクリックするとパスワード入力画面がとじます。

補足説明「フロントパネルでメニューを操作する場合」

画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態のみオペレーションロックの開始が可能です。
[キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にしてください。



1 オペレーションロックを開始する

- [キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にします。
- [機能] ボタンを押しながら、[ガイダンス] ボタン、[決定/メニュー] ボタンを同時に押します。
- [オペレーションロックモード] 項目で設定されたモードでロックされます。
 - "簡易ロック" の場合、[簡易ロックモード設定] 項目で設定した操作権限での操作のみが可能です。
 - "パスワード制限" の場合手順 2 へ

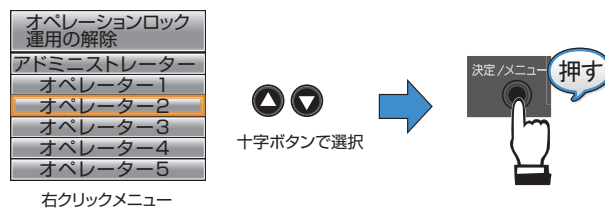
2 アクセス権限モードへ移行する(パスワード制限モードの場合のみ)

- [キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にします。
- [機能] ボタンを押しながら、[ガイダンス] ボタン、[キャンセル/戻る] ボタンを同時に押すと、右クリックメニューが表示されます。この右クリックメニューはオペレーションロック運用時のみ表示されます。

"右クリックメニューについて" (P.22)

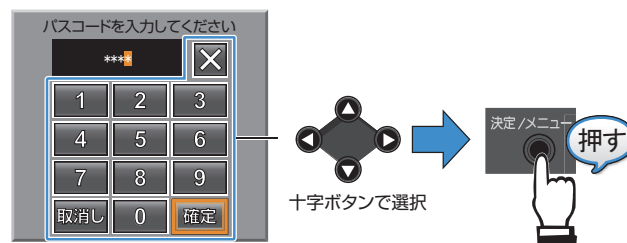
3 割り当てられた権限を選択する

十字ボタン ▲/▼ で選択し、[決定/メニュー] ボタンを押します。



4 パスコードを入力する

- パスコード入力画面が表示されます。
- 選択した権限のパスコード(4桁または5桁)を入力します。数字の入力は、十字ボタン ▲/▼/◀/▶ で選択して、[決定/メニュー] ボタンを押します。これを4回か5回繰り返し、4桁または5桁のパスコードを入力します。入力が完了したら、[確定] を選択して、[決定/メニュー] ボタンを押します。
- パスコードが正しく入力された場合、選択した権限で設定された範囲の操作が可能になります。



メモ: _____

- パスコード入力時、数字のかわりに "*" が表示されます。
- [取消し] を選択し、[決定/メニュー] ボタンを押すと入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
- [×] をクリックするとパスワード入力画面がとじます。

オペレーションロック運用開始(つづき)

オペレーションロック解除

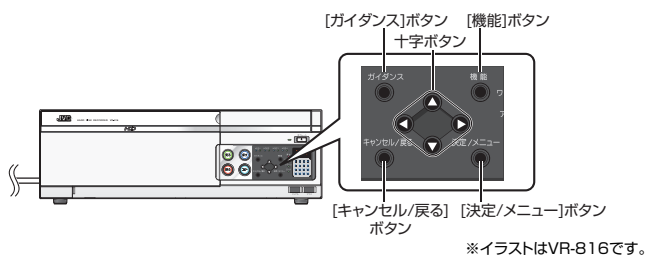
オペレーションロックの解除方法は、[オペレーションロックモード]の設定によって変わります。

■ "簡易ロック"モードの場合

簡易ロックモードの場合、フロントボタンでのみ解除できます。

1 オペレーションロックを解除する

[機能]ボタンを押しながら、[ガイダンス]ボタン、[キャンセル/戻る]ボタンを同時に押します。

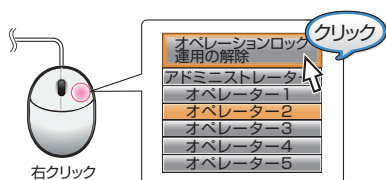


■ "パスワード制限"の場合

1 オペレーションロックを解除する

右クリックにて、右クリックメニューを表示させ、[オペレーションロック運用の解除]をクリックします。

"右クリックメニューについて" (P.22)



2 パスコードを入力する

- パスコード入力画面が表示されます。アドミニストレータのパスコード(5桁)を入力して[確定]をクリックください。
- パスコード入力時、数字のかわりに "*"が表示されます。



メモ:

- オペレーションロック運用の解除はアドミニストレータパスワードでのみ有効です。

メニュー画面の操作方法

メニュー操作は、本機フロントボタンかフロントパネルの[マウス]端子に接続したUSBマウス(汎用品)で行います。

"USBマウスでメニューを操作する" (P.18)

"フロントパネルでメニューを操作する" (P.20)

メモ:

- 記録中およびタイマー運用中は、一部の設定変更が禁止されます。この場合、設定保存しようとするとき「記録中のため、設定変更できません」または「タイマー運用中のため、設定変更できません」と表示されます。
- 設定メニュー表示中、アラーム記録は受け付けません。

USBマウスでメニューを操作する

フロントパネルでメニューを操作する場合は、「補足説明「フロントパネルでメニューを操作する場合」」(P.17)をご覧ください。

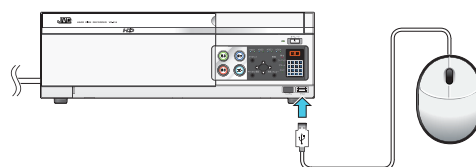
■ メニュー画面を開く

"アイコンボタンメニューの操作" (P.19)

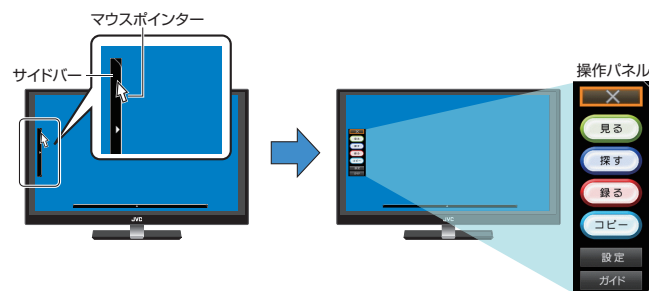
"項目メニューの操作" (P.19)

"特殊なメニュー操作" (P.20)

1 フロントパネルの[マウス]端子にUSBマウス(別売:汎用品)接続する

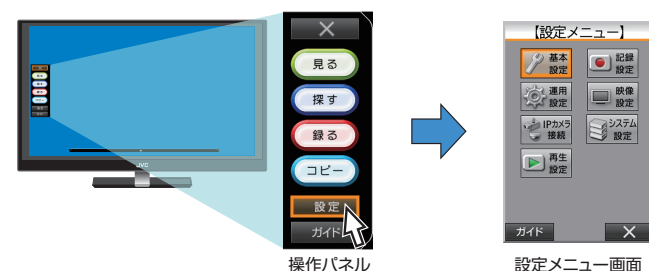


2 画面上のサイドバーにマウスポインターをあわせる 操作パネルが開きます。



3 [設定]をクリックする

[設定メニュー]画面が開きます。



メモ:

- [ガイド]をクリックするとガイダンス画面が表示されます。
- メニュー画面をとじるには、[X]をクリックします。

動作保証マウス(別売)

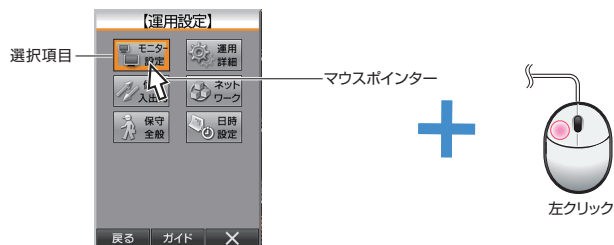
下記の USB マウスは、マウスボタンおよびマウスカーソル操作が問題なくできることを確認しております。

メーカー	品番	種別
バッファロー	BSMLU06SV	有線
	BSMLU07LSV	
	BSMOU05MSV	
	BSMOW08SV	
ELECOM	M-GE1ULSV	有線
	M-TW1URSV	
	M-FW1ULSV	
	M-LS6ULSV	
サンワサプライ	MA-LS15S	有線
Microsoft	OpticalMouse200	有線
	ComfortMouse4500	
	Intellimouse	

アイコンボタンメニューの操作

選択したい項目にマウスポインターを合わせ、左クリックすると下位メニュー画面に移行します。

"項目メニューの操作" (P.19)



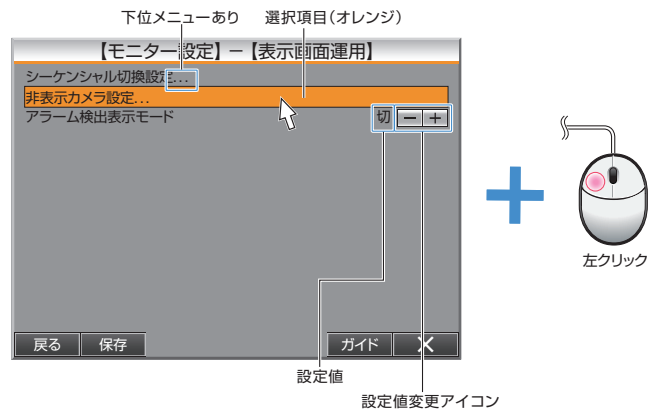
メモ:

- [戻る]をクリックする上位メニュー画面に戻ります。
- [ガイド]をクリックするとガイダンス画面が表示されます。
- [×]をクリックするとメニュー画面がとじます。

項目メニューの操作

"アイコンボタンメニューの操作" (P.19)

"特殊なメニュー操作" (P.20)



1 項目を選ぶ

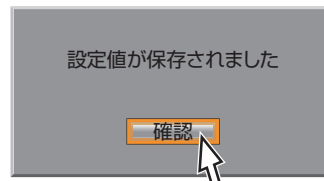
- 選択したい項目にマウスポインターを合わせると、選択状態になります。(オレンジ色に反転)
- 項目に[...]と表示されている場合は、下位メニューがあります。選択した状態でクリックすると下位メニューに移行します。

2 設定値を変更する

項目の右に設定値が表示されている場合、設定値の変更ができます。[-][+]アイコンをクリックし、設定値を変更してください。

3 設定を保存する

[保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。[確認]をクリックしてください。



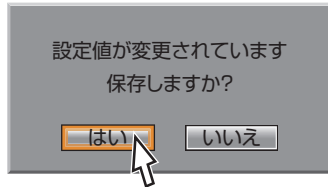
ご注意:

- 設定値を変更した場合、必ず[保存]をクリックして設定を保存してください。保存せずに別の階層に移行した場合、設定が反映されない場合があります。

メニュー画面の操作方法 (つづき)

メモ: _____

- [戻る]をクリックすると1つ前のメニュー画面に戻ります。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- [×]をクリックするとメニュー画面がとじます。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- 設定を保存する場合は、変更確認画面で[はい]をクリック、設定を保存しない場合は、[いいえ]をクリックしてください。



- 記録中およびタイマー運用中は、一部の設定変更が禁止されます。この場合、設定保存しようとする時[記録中のため、設定変更できません]または[タイマー運用中のため、設定変更できません]と表示されます。
- [ガイド]をクリックするとガイダンス画面が表示されます。

特殊なメニュー操作

"アイコンボタンメニューの操作" (P.19)

"項目メニューの操作" (P.19)

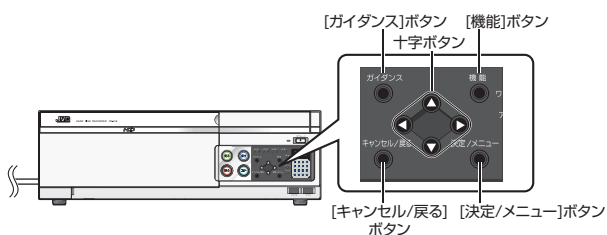
項目を選択すると、上下にタブがでできます。タブをクリックして設定値を選択してください。



メモ: _____

- [戻る]をクリックすると1つ前のメニュー画面に戻ります。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- [×]をクリックするとメニュー画面がとじます。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- 設定を保存する場合は、変更確認画面で[はい]をクリック、設定を保存しない場合は、[いいえ]をクリックしてください。
- 記録中およびタイマー運用中は、一部の設定変更が禁止されます。この場合、設定保存しようとする時[記録中のため、設定変更できません]または[タイマー運用中のため、設定変更できません]と表示されます。
- [ガイド]をクリックするとガイダンス画面が表示されます。

フロントパネルでメニューを操作する

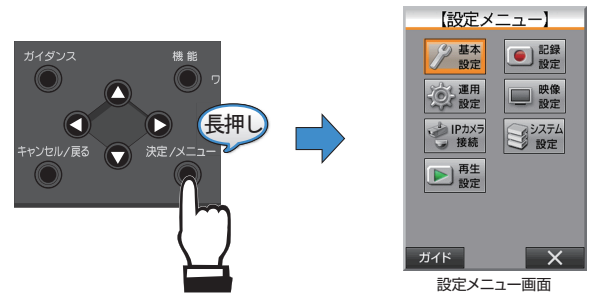


※イラストはVR-816です。

メニュー画面を開く

1 [決定/メニュー]ボタンを長押しする

- [設定メニュー]画面が開きます。
- 選択している項目はオレンジ色で表示されます。



メモ: _____

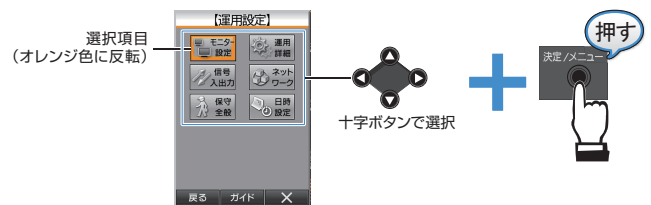
- [キャンセル/戻る]ボタンを押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- 記録中およびタイマー運用中は、一部の設定変更が禁止されます。この場合、設定保存しようとする時[記録中のため、設定変更できません]または[タイマー運用中のため、設定変更できません]と表示されます。

アイコンボタンメニューの操作

十字ボタン[▲▼◀▶]で選択状態(オレンジ色に反転)にし、[決定/メニュー]ボタンを押すと、下位メニューに移行します。

"項目メニューの操作" (P.21)

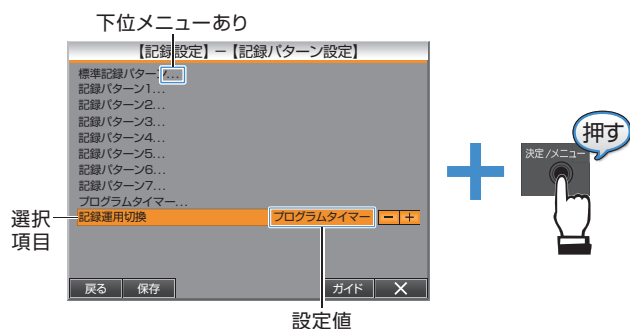
"特殊なメニュー操作" (P.21)



メモ: _____

- フロントパネルの[ガイダンス]ボタンを押すとガイダンス画面が表示されます。
- フロントパネルの[キャンセル/戻る]ボタンを押すと上位メニュー画面に戻ります。トップメニューの場合、メニュー画面をとじます。
- フロントボタンで操作時、メニュー画面上の[戻る][ガイド][×]ボタンは選択できません。

項目メニューの操作



1 項目を選ぶ

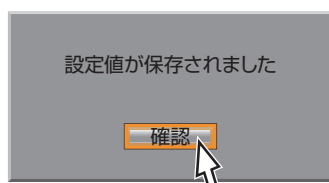
- 選択したい項目を十字ボタン[▲/▼]で選択します。(選択項目はオレンジ色に反転)
- 項目に[...]と表示されている場合は、下位メニューがあります。選択した状態で[決定/メニュー]ボタンを押すと下位メニューに移行します。

2 設定値を変更する

- 選択した項目の右に設定値が表示されている場合、設定値の変更ができます。
- 設定値の変更は、十字ボタン[◀▶]で行います。

3 設定を保存する

- [機能]ボタン+[決定/メニュー]ボタン(同時押し)、で設定を保存します。設定が保存され、確認画面が表示されます。
- 再度、[決定/メニュー]ボタンを押してください。

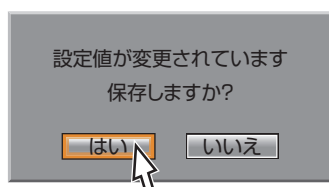


ご注意:

- 設定値を変更した場合、必ず[機能]+[決定/メニュー]ボタン(同時押し)で設定を保存してください。保存せずに別の階層に移行した場合、設定が反映されない場合があります。

メモ:

- [ガイダンス]ボタンを押すとガイダンス画面が表示されます。
- [キャンセル/戻る]ボタンを押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- 設定を保存する場合は、変更確認画面で[はい]を選択、保存しない場合は[いいえ]を選択し、[決定/メニュー]ボタンを押してください。選択は十字ボタン[◀▶]で行います。



- フロントボタンで操作時、メニュー画面上の[戻る][保存][ガイド][×]ボタンは選択できません。

特殊なメニュー操作

タブの表示される設定画



1 項目を選択する

- 設定したい項目を十字ボタン[◀▶]で選択し(オレンジ色に反転)、[決定/メニュー]ボタンを押します。
- 変更する項目が確定となり、上下にタブが表示されます。

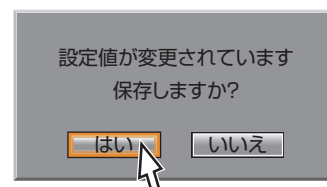
2 設定値を変更する

- 十字ボタン[▲/▼]で数値を変更します。
- [決定/メニュー]ボタンを押し、設定値を確定します。

3 手順1,2を繰り返し、すべての項目を設定する

メモ:

- [ガイダンス]ボタンを押すとガイダンス画面が表示されます。
- [キャンセル/戻る]ボタンを押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。ただし表示されている画面で、設定の変更を行なった場合、変更確認画面が表示されます。
- 設定を保存する場合は、変更確認画面で[はい]を選択、保存しない場合は[いいえ]を選択し、[決定/メニュー]ボタンを押してください。選択は十字ボタン[◀▶]で行います。



- フロントボタンで操作時、メニュー画面上の[戻る][保存][ガイド][×]ボタンは選択できません。

メニュー画面の操作方法 (つづき)

右クリックメニューについて

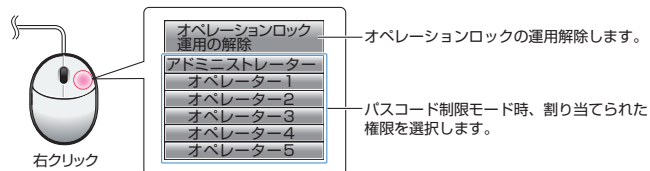
- マウスを接続している場合は、右クリックで右クリックメニューを表示できます。
右クリックメニューは、操作の状態によって表示されるメニューが変わります。
- フロントボタンで操作している場合は、[キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にし、[キャンセル/戻る] ボタンを押すと、右クリックメニューが表示されます。

■ 右クリックメニュー一覧

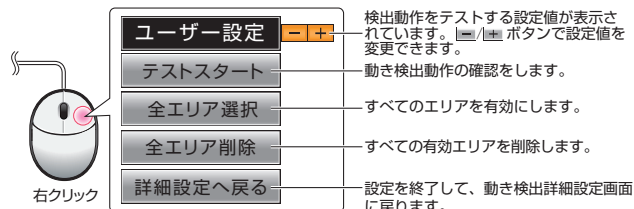
表示メニュー	動作
簡易クロックリセット	手動操作で秒数を合わせる場合に押します。 "手動操作で秒数をあわせる" (P.24)
ワーニング通知の取消	ワーニング通知を取り消す場合に押します。 運用環境によって、発生しうるワーニング通知のみ、取り消すことができます。 本機の運用において致命的となるワーニング通知が表示されている場合は取り消せません。その場合、発生原因を解消すると表示を取り消せます。 "エラー表示のでのトラブル" (P.114)
アラーム履歴表示の取消	アラーム履歴を消します。
コピー取消	コピー(エクスポート)を中止する場合に押します。 コピー時にのみ表示されます。
オペレーションロック運用の開始	オペレーションロックの運用を開始する場合に押します。 メニューでオペレーションロックの設定が、"切"以外になっている場合に表示されます。 "オペレーションロック運用開始" (P.16)
オート(メイン) 夜間	SW-U1403 を RS-485 接続で制御する場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [オート(メイン)] ボタン: SW-U1403 システムメニュー[カメラ設定]→[カメラタイプ/標準状態設定]項目で設定したオート動作にする場合に押します。ON のときには[オート(メイン)] ボタンが青く点灯します。 "本機の SW-U1403 システム設定: オートモード連動" (P.97) [夜間] ボタン: 夜間モードにする場合に押します。夜間モードの設定は接続のカメラの種類により異なります。ON のときには[夜間] ボタンが紫色に点灯します。 "本機の SW-U1403 システム設定: 夜間モード連動" (P.97)

■ オペレーションロック運用時の右クリックメニュー

"オペレーションロック運用開始" (P.16)



■ 動き検出時の右クリックメニュー



時刻を設定する

- 正確な時刻表示を行うため、月に1回程度で時刻設定することをおすすめします。
- 本機の時刻精度は月差15秒程度(周囲温度25℃時)です。より高い精度が必要な場合は、NTPサーバーなどを利用してください。

メニューで時間を設定する

- メニュー操作は、マウス操作を基本として記述します。フロントパネルでの操作方法は、「フロントパネルでメニューを操作する」(P.20)および各項目の補足説明をご覧ください。

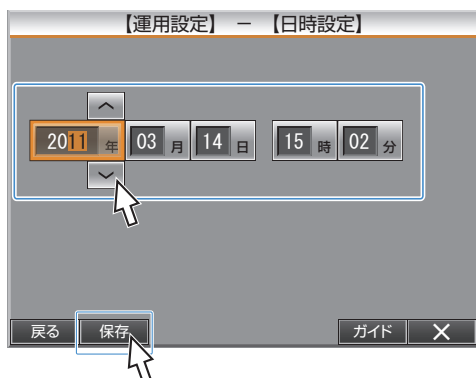
1 [日時設定]画面を開く

「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[日時設定]の順に開きます。



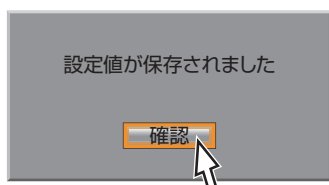
2 設定項目を選び、年・月・日・時・分を設定する

設定項目を選択し、上下タブで数値を選択します。



3 設定を完了する

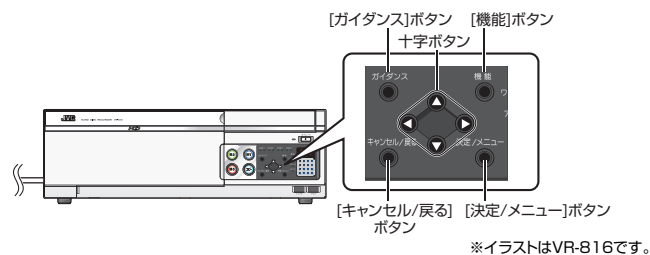
- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックすると日時が設定され、設定した日時の00秒から時計が動きはじめます。



メモ:

- 本機が記録中、エクスポート中もしくはタイマーモード運用中の場合は時刻設定できません。
- NTP設定が有効([NTPクライアント機能]が「入」になっている場合は時刻設定できません。
- ハードディスク内に記録データがある状態での日時変更はご注意ください。記録日時が重複や逆転すると再生動作やスキップジャンプ、検索などが正しく行われない場合があります。

補足説明「フロントパネルでメニューを操作する場合」



1 [日時設定]画面を開く

「フロントパネルでメニューを操作する:メニュー画面を開く」(P.20)

2 設定項目を選び、年・月・日・時・分を設定する

- フロントパネル操作の場合は、十字ボタン[◀▶]で設定項目を選択し、[決定/メニュー]ボタンを押します。
- 項目が選択状態になったら、十字ボタン[▲▼]で数値を選択します。

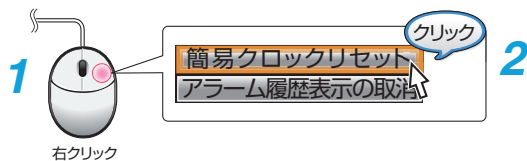
3 設定を完了する

- [機能]ボタン+[決定/メニュー]ボタン(同時押し)、で設定を保存します。設定が保存され、確認画面が表示されます。
- 再度、[決定/メニュー]ボタンを押すと日時が設定され、設定した日時の00秒から時計が動きはじめます。

時刻を設定する (つづき)

手動操作で秒数をあわせる

メニュー操作は、マウス操作を基本として記述します。フロントパネルでの操作方法は、「「フロントパネルでメニューを操作する」(P.20)」および各項目の補足説明をご覧ください。



1 マウスを右クリックする

右クリックメニューが表示されます。
"右クリックメニューについて" (P.22)

2 「簡易クロックリセット」をクリックする

- 秒の値が 29 秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が 00 秒にリセットされます。
- 秒の値が 30 秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が 00 秒にリセットされます。

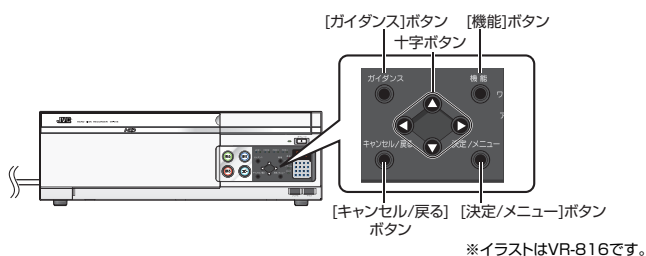
メモ：

- リスト表示などのメニュー画面表示中は、右クリックしても右クリックメニューは表示されません。
- [設定メニュー] → [運用設定] → [ネットワーク] → [NTP 設定] が "入" に設定されている場合、[簡易クロックリセット] は表示されません。

ご注意：

- 記録中、簡易クロックリセットはできません。
- 簡易クロックリセットを行い、日時の重複や逆転が発生した記録は、再生動作(映像・音声)やスキップジャンプ、検索などが正しく行われない場合があります。また、時間変更を実行した部分を含んだ期間をコピー(エクスポート)したデータを本機の外部メディアで再生および、HDR Viewer で再生した場合も同様です。

補足説明「フロントパネルでメニューを操作する場合」



1 右クリックメニューを表示させる

"右クリックメニューについて" (P.22)

- [キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にします。
- 再度、[キャンセル/戻る] ボタンを押すと、右クリックメニューが表示されます。

2 手動で秒数を合わせる

十字ボタン[▲/▼]で [簡易クロックリセット] ボタンを選択し、[決定/メニュー] ボタンを押します。

メモ：

- 画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態でのみ、[簡易クロックリセット] ボタンを表示させることができます。[キャンセル/戻る] ボタンを押し、画面上に設定メニューや制御パネルが出ていない状態にしてください。

信号入出力端子で秒数をあわせる

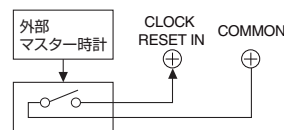
ご注意：

- 接続は使用機器の電源を切ってから行ってください。
- [CLOCK RESET IN]/[CLOCK RESET OUT] 端子を複数の機器に並列接続する場合は、同一機種に揃えてください。入力機器側の電圧が合っていないと誤動作する場合があります。また、入力側の機器によっては、1 台の電源が切れた場合、他の入力機器の時計がリセットされる場合があります。
- 記録中に [CLOCK RESET IN]/[CLOCK RESET OUT] 端子で時刻をあわせる場合、時刻が進んだ状態であわせると、記録時間の重複が発生します。この部分を再生すると、検索や音声再生が正常に動作しません。

■ [CLOCK RESET IN] 端子であわせる

[CLOCK RESET IN] 端子に信号が入力されると、本機の時計の秒数が下記のようにリセットされます。信号を受け、マスター時計や他機器の時計に合わせることができます。

- 秒の値が 29 秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が 00 秒にリセットされます。
- 秒の値が 30 秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が 00 秒にリセットされます。

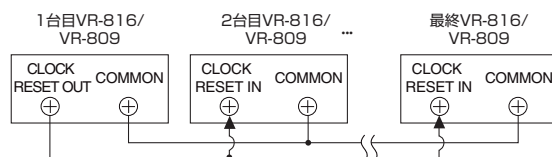


■ [CLOCK RESET OUT] 端子であわせる

クロックリセット信号を次のタイミングで出力します。

2 台以上の VR-816/VR-809 の時計を秒単位であわせることができます。

- 本機内部の時計が 00:00:00 または、12:00:00 のとき、信号が出力されます。



メモ：

- [CLOCK RESET IN] 端子と [CLOCK RESET OUT] 端子を接続することで、1 台目の VR-816/VR-809 から 1 日に 2 回、昼と夜の 12 時に 2 台目以上の VR-816/VR-809 にクロックリセットを行うことができます。

ご注意：

- 記録中に [CLOCK RESET IN] 端子からの時間補正を行うと、記録日時の重複や逆転が発生し再生動作(映像・音声)やスキップジャンプ、検索などが正しく行われない場合があります。また、時間変更を実行した部分を含んだ期間をコピー(エクスポート)したデータを本機の外部メディアで再生および、HDR Viewer で再生した場合も同様です。

基本設定をする

[基本設定]メニューでは、運用開始前に、運用モニター設定、IP カメラ簡易接続設定、カメラ入力の設定、アナログカメラ記録画像モード、記録画像保存期間、音声記録、ループ記録、配信モード、システム接続、標準記録運用モード、記録運用 1~7 の記録設定など、基本的な設定を行います。

メモ：

- [基本設定 4]の標準記録コマ数/画質などは、[基本設定 2]と[基本設定 3]の設定値から自動で調整された値です。
詳細に設定したい場合、[記録設定]→[記録パターン設定]の[標準記録パターン]および[記録パターン 1]~[記録パターン 7]から設定値の確認および設定変更を行なってください。
"記録パターンの設定をする" (☞ P.50)

ご注意：

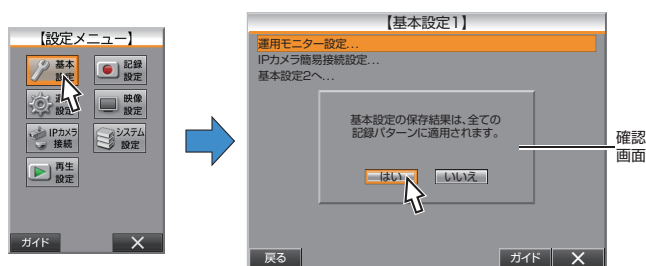
- [基本設定]の内容を保存すると、本機は必ず再起動します。
確認画面が表示されるので、再起動してください。

[基本設定]画面を開く

メニュー操作は、マウス操作を基本として記述します。
フロントパネルでの操作方法は、「フロントパネルでメニューを操作する」(☞ P.20) および各項目の補足説明をご覧ください。

1 [基本設定]画面を開く

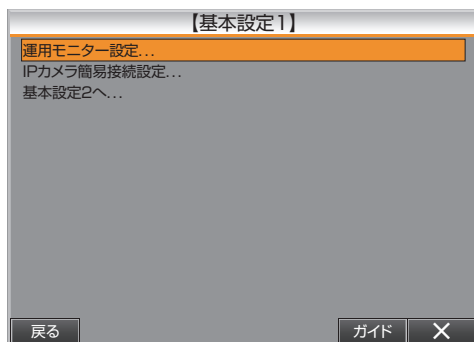
- 「メニュー画面の操作方法」(☞ P.18)に従って、[設定メニュー]→[基本設定]の順に開きます。
- [基本設定 1]画面と、確認画面が開きます。



2 [はい]を選択し、クリックする

確認画面がとじ、[基本設定 1]画面以降の操作ができるようになります。

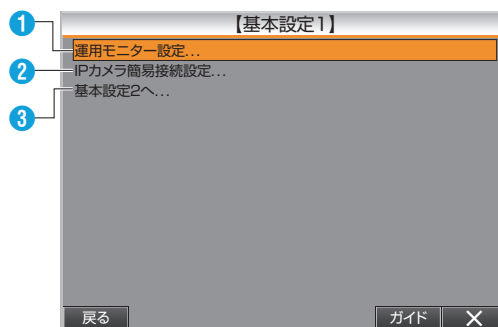
"基本設定 1" (☞ P.25)



メモ：

- 記録中は設定変更できません。
- 確認画面で[いいえ]をクリックすると、[設定メニュー]に戻ります。

基本設定 1



- ① [モニター設定]画面へ移動します。
"VR-809 のモニター設定" (☞ P.29)
"VR-816 のモニター設定" (☞ P.30)
- ② IP カメラの簡易設定の[フェーズ 1]画面へ移動します。
"IP カメラの簡易設定" (☞ P.32)
- ③ [基本設定 2]画面へ移動します。
"基本設定 2" (☞ P.26)

ご注意：

- IP カメラを使用する場合は、[基本設定 2]の前に[IP カメラの簡易設定]を行ってください。
- アナログカメラを接続しない場合は、[IP カメラの簡易設定]後、カメラの台数を変更してください。
"カメラの台数を変更する" (☞ P.98)

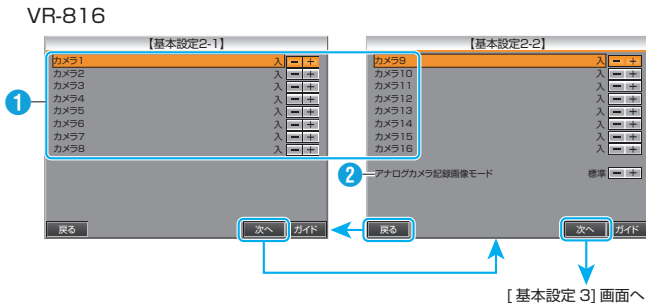
基本設定をする(つづき)

基本設定 2

カメラの運用台数、アナログカメラの映像の解像度を設定します。



[基本設定 3] 画面へ



[基本設定 3] 画面へ

1 設定する項目を選択し、[-][+]で設定値を選択する

VR-816 は [基本設定 2-1] 画面/[基本設定 2-2] 画面の 2 画面で構成されています。

- [基本設定 2-1] 画面で [次へ] をクリックすると [基本設定 2-2] 画面へ移動します。
- [基本設定 2-2] 画面で [戻る] をクリックすると [基本設定 2-1] 画面に戻ります。

2 設定を完了する

設定完了して、[次へ] をクリックすると [基本設定 3] 画面へ移行します。
"基本設定 3" (P.26)

項目	内容(●:初期値)
① カメラ 1~カメラ 9(VR-809) カメラ 1~カメラ 16(VR-816)	<ul style="list-style-type: none"> • 接続対象とするカメラは "入" に、対象としないカメラは "切" に設定します。 • IP カメラに設定されたカメラに、"IP1" または "IP2" が表示されます。設定の変更はできません。 [設定値: 切、● 入、(IP1、IP2)] "IP カメラの接続について" (P.32)
② アナログカメラ記録画像モード	<p>アナログカメラの記録画像モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高精細: VGA サイズ(640×480)、最大記録コマ数 120 コマ • 標準: Half-VGA サイズ(640×240)、最大記録コマ数 240 コマ • 滑らか: QVGA サイズ(320×240)、最大記録コマ数 480 コマ [設定値: 高精細、● 標準、滑らか]

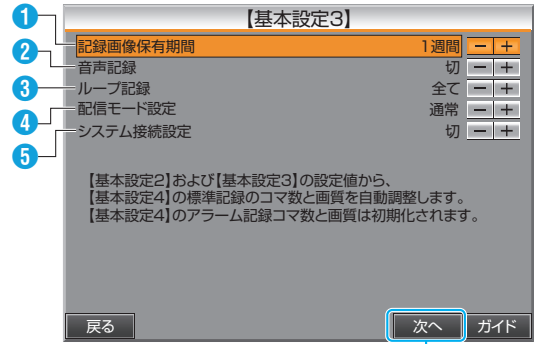
ご注意:

- カメラの運用台数を変更する場合、[運用設定] → [運用詳細] → [入力選択設定] で変更できます。

"カメラの台数を変更する" (P.98)

基本設定 3

記録運用に関連する全般的な設定、外部システムとの接続設定をします。



[基本設定 4] 画面へ

1 設定する項目を選択し、[-][+]で設定値を選択する

設定完了して、[次へ] をクリックすると [基本設定 4] 画面へ移行します。
"基本設定 4" (P.27)

項目	内容(●:初期値)
① 記録画像保有期間	<p>設定した [アナログカメラ記録画像モード] と接続したカメラ台数などをもとに、記録画像をハードディスク上に保有したい期間を設定します。 [設定値: 1 日、3 日、5 日、● 1 週間、2 週間、3 週間、1 ヶ月、2 ヶ月、3 ヶ月] メモ: • この保有期間はめやすです。[基本設定 4] でコマ数、画質などを変更した場合、記録画像保有期間が変動することがあります。</p>
② 音声記録	<p>通常記録およびアラーム記録時に、音声を記録するかどうかを設定します。 [設定値: ● 切、入]</p>
③ ループ記録	<p>ループ記録時に、ハードディスクの残容量がなくなったときの動作の設定をします。 "1 週間"・"2 週間"・"1 ヶ月"のいずれかを設定した場合、保存期間指定ループ記録を設定したことになります。 [設定値: 切、アラームロック、● 全て、1 週間、2 週間、1 ヶ月] • 切: 記録を停止します。 • アラームロック: 古い記録から上書きして記録を継続します。ただし、アラーム記録には上書きしません。 • 全て: 古い記録から上書きして記録を継続します。 • 1 週間、2 週間、1 ヶ月: 保存期間指定ループ記録の保存期間の設定をします。1 ヶ月は、31 日間として計算します。</p>
④ 配信モード設定	<p>画像の配信モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常: HDR Viewer 側で要求した画像サイズで配信します。 • QVGA: QVGA サイズ(320×240)で配信します。 [設定値: ● 通常、QVGA]
⑤ システム接続設定	<p>システムに合わせて設定を行います。設定がきちんとされていない場合、システムが正しく動作しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RS-232C: リモートコントロールユニット(RM-P1000/RM-P2200/RM-P3000)を使用したシステムや、パソコンから RS-232C 経由で操作する場合に設定します。 • RS-485: 背面 [SW] 端子に CCU(カメラコントロールユニット): SW-U1403 を接続して運用するシステムではこちらに設定してください。 本機からアナログコンピネーションカメラの操作などが可能となります。 [設定値: ●RS-232C、RS-485]

基本設定 4

[基本設定 2]、[基本設定 3] の設定により、標準記録パターンの記録設定(通常記録のコマ数、画質)が自動で設定され、[基本設定 4] 画面に表示されます。

VR-816 は [基本設定 4-1] 画面/[基本設定 4-2] 画面の 2 画面で構成されています。

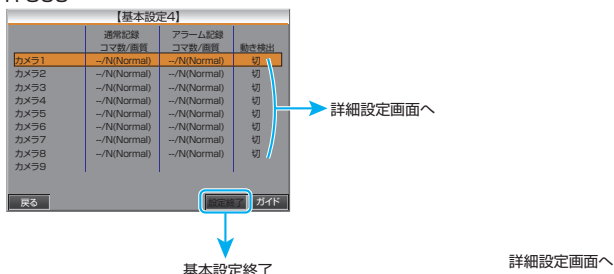
- [基本設定 4-1] 画面で [カメラ 9~16] をクリックすると [基本設定 4-2] 画面へ移動します。
- [基本設定 4-2] 画面で [カメラ 1~8] をクリックすると [基本設定 4-1] 画面に戻ります。

メモ:

- [基本設定 4] 画面で、各カメラを選択し、クリックすると詳細設定を行います。設定できる内容は標準記録パターンおよび記録パターン 1~記録パターン 7 と同じです。
- [基本設定 4] の標準記録コマ数/画質などは、[基本設定 2] と [基本設定 3] の設定値から自動で調整された値です。詳細に設定したい場合、[記録設定] → [記録パターン設定] の [標準記録パターン] および [記録パターン 1] ~ [記録パターン 7] から設定値の確認および設定変更を行なってください。

"記録パターンの設定をする" (P.50)

VR-809

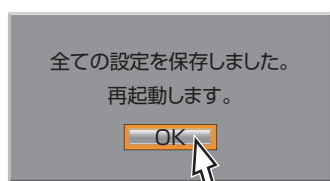


VR-816



1 基本設定を終了する

- [設定終了] をクリックすると確認画面が表示されます。[OK] をクリックすると設定内容が確定し、本機が再起動します。
- 現在の記録運用設定がすべて変更され、標準記録パターンおよび記録パターン 1~記録パターン 7 のすべての設定に反映されます。



システム接続設定をする

リモートコントロールユニット(RM-P1000/RM-P2200/RM-P3000)を使用したシステム、パソコンから RS-232C 経由で操作する場合やシステムコントロールユニット(SW-U1403)を接続してカメラを制御する場合など、システムに合わせて設定を行います。設定がきちんとされていない場合、システムが正しく動作しません。

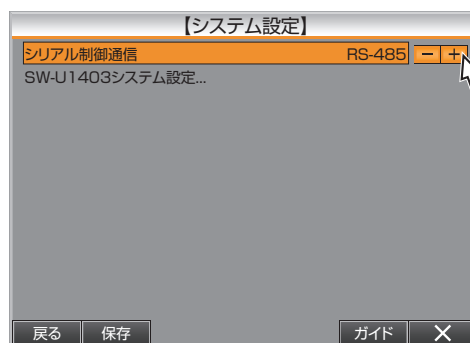
1 [システム設定] 画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18) に従って、[設定メニュー] → [システム設定] の順に開きます。



2 [シリアル制御通信] 項目を設定する

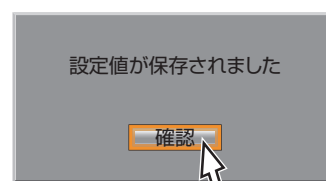
[シリアル制御通信] 項目を選択し、[-][+] アイコンで設定値を選択します。
[設定値: ●RS-232C、RS-485] (●:初期値)



項目	内容(●:初期値)
シリアル制御通信	<p>システムに合わせて設定を行います。設定がきちんとされていない場合、システムが正しく動作しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RS-232C: リモートコントロールユニット(RM-P1000/RM-P2200/RM-P3000)を使用したシステムや、パソコンから RS-232C 経由で操作する場合に設定します。 ● RS-485: 背面[SW]端子に CCU(カメラコントロールユニット): SW-U1403 を接続して運用するシステムではこちらに設定してください。 本機からアナログコンビネーションカメラの操作などが可能となります。 [設定値: ●RS-232C、RS-485]

3 設定を完了する

- [保存] をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認] をクリックして、設定を完了します。



モニター出力について

■ モニター端子の構成

VR-809/VR-816には、HD映像出力(DVI-I)端子とSD映像出力(BNC)端子があります。

それぞれの端子に、端子の特性に合ったモニターを接続します。

"モニター端子構成" (P.28)

■ モニター端子の設定

モニターはメインモニターかサブモニターに設定して使用します。

"モニター設定" (P.29)

モニター設定	できること
メインモニター	<ul style="list-style-type: none"> 操作パネル、メニュー画面、各制御パネルなど、GUIの操作ができます。 再生画像の表示ができます。 <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置時に適用するモニターがない場合、メニュー操作ができません。 その場合、手でメインモニターの解像度を使用のモニターに合わせたものに設定することができます。 "設置時にメインモニターの解像度を手で切り換える" (P.30)
サブモニター	ライブ映像のみ表示ができます。

■ モニター出力端子とモニター設定の組み合わせについて

ライブ映像を表示する場合、モニターの接続端子によっていくつかのパターンの分割画面で表示できます。

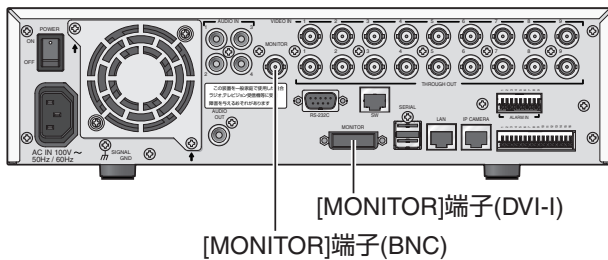
"モニター出力端子とモニター設定の組み合わせ" (P.28)

モニター端子構成

VR-809

VR-809には、[MONITOR] (DVI-I)端子と[MONITOR] (BNC)端子があります。

それぞれの端子に、端子の特性に合ったモニターを接続してください。



■ [MONITOR] (DVI-I)端子

フルHD(1920 x 1080p)、またはSXGA(1280 x 1024)の映像を出力します。

■ [MONITOR] (BNC)端子

SD(標準)映像を出力します。

VR-816

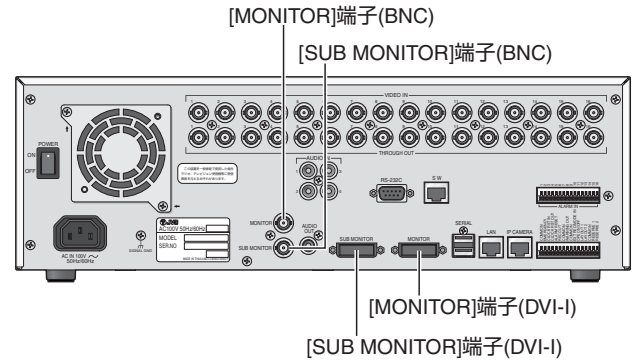
VR-816には、2つのHD映像出力端子([MONITOR] (DVI-I)端子/[SUB MONITOR] (DVI-I)端子)と、2つのSD映像出力端子([MONITOR] (BNC)端子/[SUB MONITOR] (BNC)端子)の合計4つのモニター出力端子があります。

それぞれの端子に、端子の特性に合ったモニターを接続してください。

ご注意：

- モニター端子の組み合わせによっては、画像が出力されないことがあります。
- 接続可能な組み合わせを確認して、接続してください。

"モニター出力端子とモニター設定の組み合わせ:VR-816" (P.29)



■ [MONITOR] (DVI-I)端子/[SUB MONITOR] (DVI-I)端子

フルHD(1920 x 1080p)、またはSXGA(1280 x 1024)の映像を出力します。

■ [MONITOR] (BNC)端子/[SUB MONITOR] (BNC)端子

SD(標準)映像を出力します。

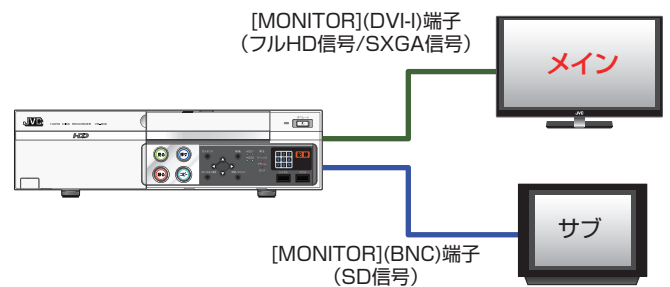
モニター出力端子とモニター設定の組み合わせ

DVIケーブルは、下記条件で10mの長さで動作することを確認しています。

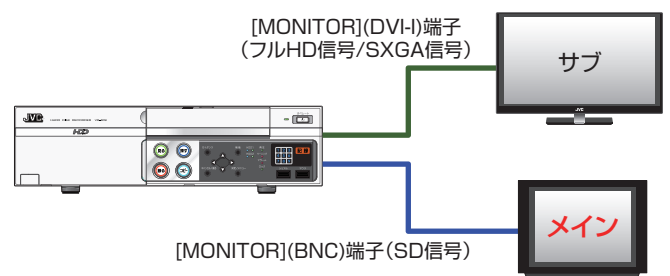
- DVIケーブル:サンワサプライ製 KC-DVI-100G(10m)
- モニター:当社製 DT-V24L1

VR-809

[MONITOR] (DVI-I)端子につなぐモニターをメインモニターにする



[MONITOR] (BNC)端子につなぐモニターをメインモニターにする

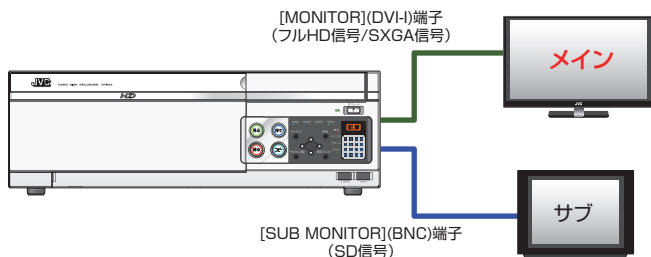


VR-816

VR-816 リア端子	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
[MONITOR] (DVI-I)	メインモニター	メインモニター	×	×
[SUB MONITOR] (DVI-I)	×	サブモニター	サブモニター	×
[MONITOR] (BNC)	×	×	メインモニター	メインモニター
[SUB MONITOR] (BNC)	サブモニター	×	×	サブモニター

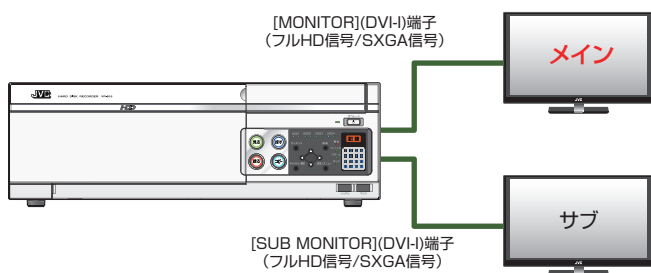
■ パターン①

[MONITOR] (DVI-I)端子につなぐモニターをメインモニターに、[SUB MONITOR] (BNC)端子につなぐモニターをサブモニターにする



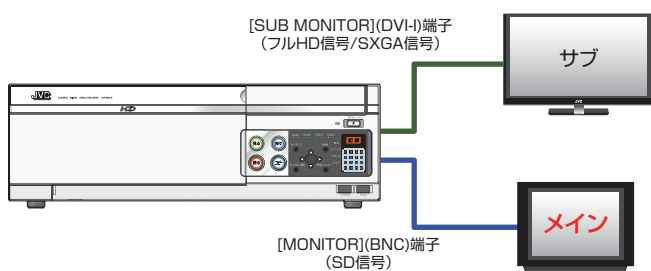
■ パターン②

[MONITOR] (DVI-I)端子につなぐモニターをメインモニターに、[SUB MONITOR] (DVI-I)端子につなぐモニターをサブモニターにする



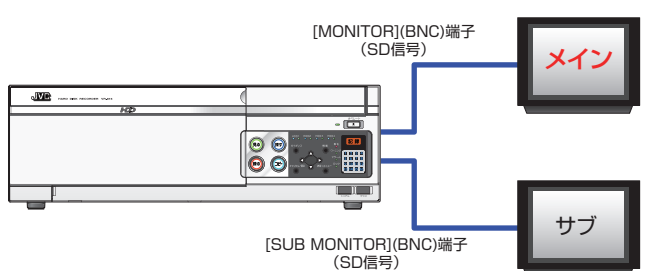
■ パターン③

[MONITOR] (BNC)端子につなぐモニターをメインモニターに、[SUB MONITOR] (DVI-I)端子につなぐモニターをサブモニターにする



■ パターン④

[MONITOR] (BNC)端子につなぐモニターをメインモニターに、[SUB MONITOR] (BNC)端子につなぐモニターをサブモニターにする



モニター設定

VR-809のモニター設定

ご注意:

- [モニター設定]の内容を保存すると、本機は必ず再起動します。確認画面が表示されるので、再起動してください。

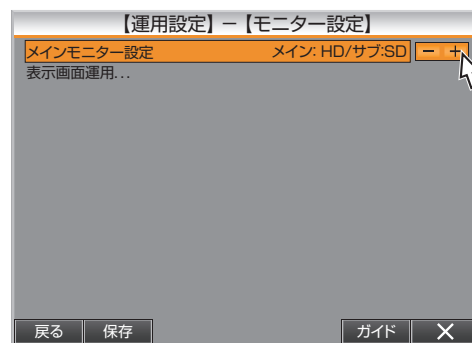
1 [モニター設定]メニューを開く

「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[モニター設定]メニューの順に開きます。



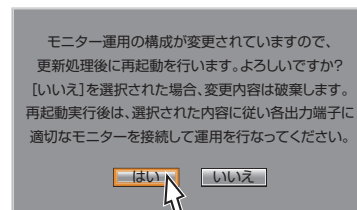
2 モニターの設定をする

- モニターの運用構成にあわせて[モニター設定]をします。
- [モニター設定]を選択し(オレンジ色に反転)[-][+]をクリックして設定値を選択します。
[設定値: ●メイン:HD/サブ:SD, メイン: SXGA/サブ:SD, メイン:SD/サブ:HD, メイン:SD/サブ: SXGA] (●:初期値)



3 [保存]をクリックし、設定を保存する

- モニター構成が変更された場合、本機は必ず再起動します。
- メッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。



4 [表示画面運用]の設定を行う

[モニター設定]の[表示画面運用]の設定に関しては、下記をご覧ください。

"シーケンシャル表示設定" (P.48)

"非表示カメラの設定" (P.49)

メモ:

- 設定を保存しない場合は、[いいえ]をクリックします。
- [戻る]をクリックすると、元の画面に戻ります。
- [×]をクリックすると、メニュー画面を閉じます。
- [ガイド]をクリックすると、ガイダンス画面が表示されます。

モニター出力について (つづき)

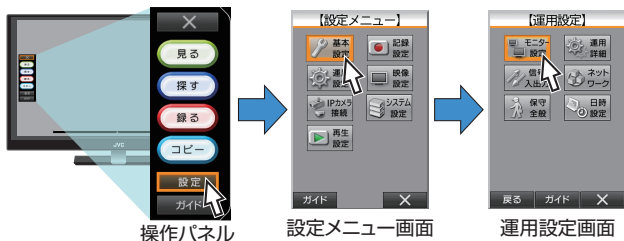
VR-816 のモニター設定

ご注意:

- [モニター設定]の内容を保存すると、本機は必ず再起動します。確認画面が表示されるので、再起動してください。

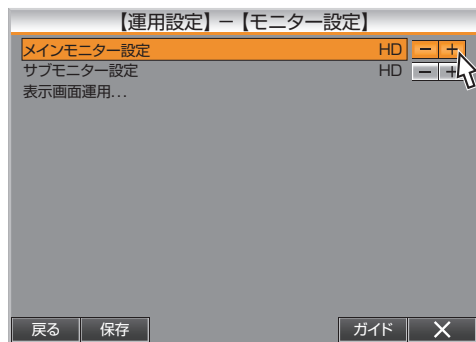
1 [モニター設定]メニューを開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[モニター設定]メニューの順に開きます。



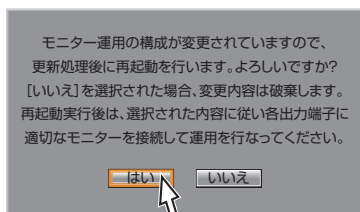
2 モニターの設定をする

- モニターの運用構成にあわせて、[メインモニター設定]、[サブモニター設定]をします。
- [メインモニター設定]または[サブモニター設定]を選択し(オレンジ色に反転)、[-][+]をクリックして設定値をそれぞれ選択します。
 - メインモニター[設定値: ●HD, SXGA, SD](●:初期値)
 - サブモニター[設定値: HD, SXGA, ●SD](●:初期値)



3 [保存]をクリックし、設定を保存する

- モニター構成が変更された場合、本機は必ず再起動します。
- メッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。



4 [表示画面運用]の設定を行う

[モニター設定]の[表示画面運用]の設定に関しては、下記をご覧ください。

- "シーケンシャル表示設定" (P.48)
- "非表示カメラの設定" (P.49)

メモ:

- 設定を保存しない場合は、[いいえ]をクリックします。
- [戻る]をクリックすると、元の画面に戻ります。
- [×]をクリックすると、メニュー画面をとじます。
- [ガイド]をクリックすると、ガイダンス画面が表示されます。

設置時にメインモニターの解像度を手動で切り換える

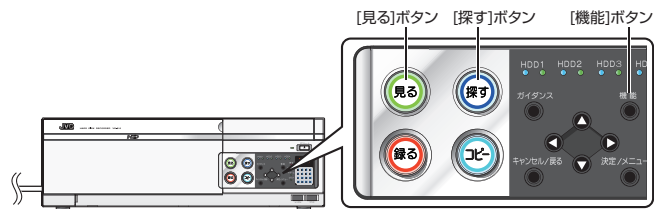
設置時に適用するメインモニターがない場合、メニュー操作ができません。その場合、使用しているモニターにメニューを表示させるために、手動でメインモニターの解像度を使用のモニターに合わせたものに設定することができます。

1 VR-809/VR-816 それぞれの端子に正しくモニターを接続する

- VR-809の場合:
背面[MONITOR](DVI-I)端子に SXGA が表示できるモニターまたは、[MONITOR](BNC)端子に SD モニターを接続する
- VR-816の場合(工場出荷状態):
背面[MONITOR](DVI-I)端子に SXGA が表示できるモニターまたは、[SUB MONITOR](BNC)端子に SD モニターを接続する
- VR-816の場合(モニターの設定を変更した場合):
 - メインモニターが "SXGA"の場合
[MONITOR](DVI-I)端子に SXGA が表示できるモニターを接続する
 - メインモニターが "SD"の場合
[MONITOR](BNC)端子に SD モニターを接続する
 - サブモニターが "HD"または "SXGA"の場合
[SUB MONITOR](DVI-I)端子に SXGA が表示できるモニターを接続する

2 [機能]ボタン+[見る]ボタン+[探す]ボタンを同時に押す

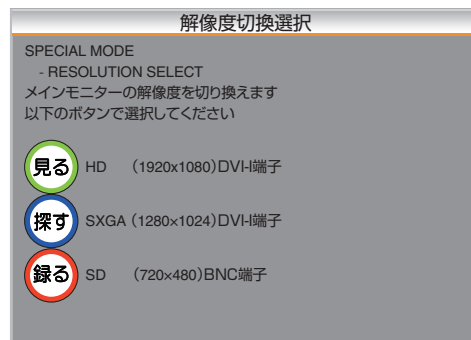
[解像度切換選択]画面が表示されます。



※イラストはVR-816です。

3 [解像度切換選択]画面の表示に従いメインモニターの解像度を切り換える

- フル HD(1920×1080p)のモニターを使用する場合は、[見る]ボタンを押します。
- SXGA(1280×1024)のモニターを使用する場合は、[探す]ボタンを押します。
- SD(720×480)のモニターを使用する場合は、[録る]ボタンを押します。



メモ:

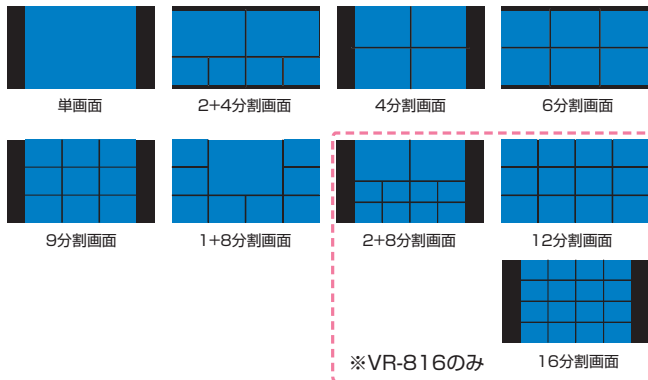
- [解像度切換選択]画面を表示中、フロントパネルのLEDが点滅します。
- 解像度の変更を行なった場合、本機は再起動します。
- 工場出荷後に始めて電源を入れた場合は、[解像度切換選択]画面が表示されます。

分割画面表示について

フル HD(1920 x 1080p)出力時の分割画面構成

フル HD(1920 x 1080p)出力されるのは、下記条件を満たしている場合のみです。

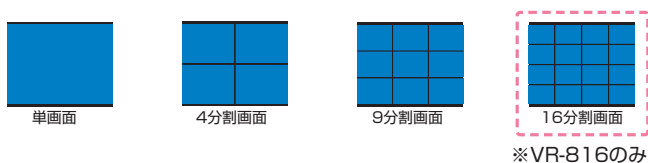
- [MONITOR] (DVI-I)端子/[SUB MONITOR] (DVI-I)端子 (VR-816 のみ) に接続したモニターであること
- [モニター設定] が "HD" に設定されていること
"モニター出力について" (P.28)



SXGA(1280 x 1024)出力時の分割画面構成

SXGA(1280 x 1024)出力されるのは、下記条件を満たしている場合のみです。

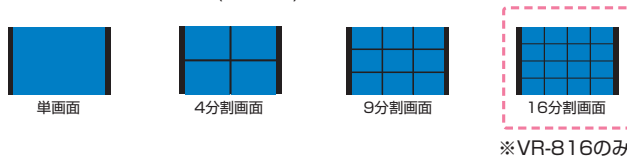
- [MONITOR] (DVI-I)端子/[SUB MONITOR] (DVI-I)端子 (VR-816 のみ) に接続したモニターであること
- [モニター設定] が "SXGA" に設定されていること
"モニター出力について" (P.28)



SD(標準)画像出力時の分割画面構成

SD出力されるのは、下記条件を満たしている場合のみです。

- [MONITOR] (BNC)端子/[SUB MONITOR] (BNC)端子 (VR-816 のみ) に接続したモニターであること
- [モニター設定] が "SD" に設定されていること
"モニター出力について" (P.28)

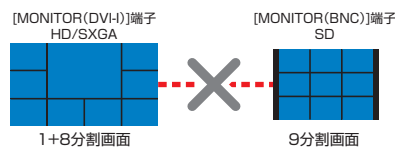


映像表示パターンの制限について

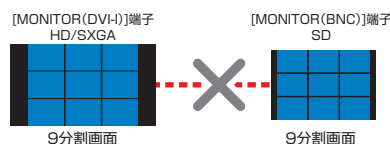
VR-809 の 9 分割表示についての制限

■ 下記の組み合わせでメインモニターとサブモニターの表示を設定することはできません。

- 1+8 分割画面と、9 分割画面の組み合わせ



- 9 分割画面と 9 分割画面の組み合わせ



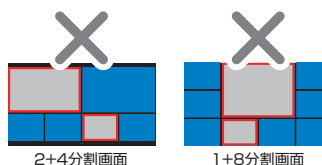
IP カメラを 2 台接続した場合の分割画面表示上の制限

IP カメラを 2 台接続した場合、分割画面上で横並び(2 台ひと固まり)で表示します。

■ 表示可能な場所の例



■ 表示できない場所の例



メモ:

- 表示不可な場所に IP カメラを設定した場合、IP カメラ 1 の映像表示が優先され、IP カメラ 2 の映像は黒画面表示となります。
- IP カメラが 1 台の場合、画面表示上の制限はありません。

IP カメラの接続について

- 本機は、JVC ケンウッド・公共産業システム製の IP カメラを最大 2 台まで接続できます。
対応機種は下記です。

機種名	タイプ
VN-X35、VN-X235、VN-X235VP	固定カメラ(デジタル PTZ 機能有り)
VN-V25、VN-V26、VN-V225、VN-V225VP	固定カメラ(プライバシーマスクのみ)
VN-V686B、VN-V686WPB、VN-V686WPC、VN-V685	コンビネーションカメラ
VN-H37、VN-H137、VN-H237、VN-H237B、VN-H57、VN-H257、VN-H157WP、VN-H257VP、VN-H257VPB、VN-H257VPC	HD 固定カメラ(デジタル PTZ 機能有り)
VN-H657、VN-H657WP、VN-H557	HD コンビネーションカメラ

- 設定方法は、詳細設定と簡易設定の 2 通りあります。工場出荷時から IP アドレスやパスワードなどを変更していない場合のみ、簡易設定が可能です。

メモ：

- 記録中は設定できません。
- 本体の負荷、ネットワーク負荷が高くなると、設定されたコマ数の受信ができない場合があります。
- カメラコントロールは各カメラの動作および機能仕様に従います。動作しない場合は、カメラ側の設定を確認してください。
- 上記記載の対応機種を IP カメラとして接続した場合、IP カメラ側の動き検出を併用して動作させることはできません。
- 使用する IP カメラのバージョンによっては、接続できないことがあります。
接続対象カメラについては、当社 Web サイトのハードディスクレコーダーのページをご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/pro/security_sys/index.html

簡易設定

工場出荷時から IP アドレスやパスワードなどを変更していない場合のみ、簡易設定が可能です。
工場出荷の状態は下記です。

- [IP CAMERA] 端子のネットワーク設定を変更していないこと
 - IP アドレス：192.168.0.243
 - ネットマスク：255.255.255.0
- 新規で接続する IP カメラの IP アドレスおよび管理者権限パスワードを変更していないこと
 - IP アドレス：192.168.0.2
 - admin パスワード：jvc

簡易設定で登録した場合、IP カメラは以下の設定値となります。

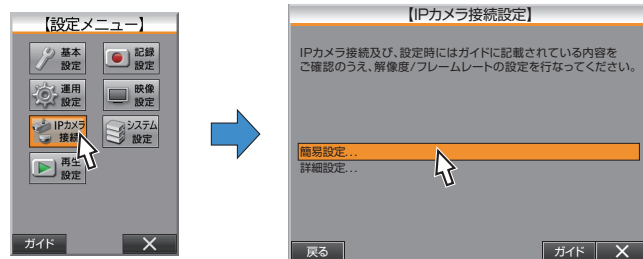
- 1 台目
 - IP アドレス：192.168.0.20
 - エンコード：VGA(JPEG)
 - 機能：プライバシーマスク有効
 - 画質/サイズ：AFS/30KB
- 2 台目
 - IP アドレス：192.168.0.21
 - エンコード：VGA(JPEG)
 - 機能：プライバシーマスク有効
 - 画質/サイズ：AFS/30KB

ご注意：

- [詳細設定] で、[IP カメラ専用 LAN ポート] の設定を変更した場合、[IP カメラ専用ポートのネットワーク設定が変更されているため、実施できません。IP カメラ接続認証の詳細設定で実施してください。] と表示され、簡易設定は行えません。
"詳細設定" (P.34)
- PoE HUB を使用する場合、給電機能を持つ PoE 用端子と本機の [IP CAMERA] 端子は絶対に接続しないでください。
HUB 側の給電方式 (Alternative A) によっては、双方の機器が破損します。

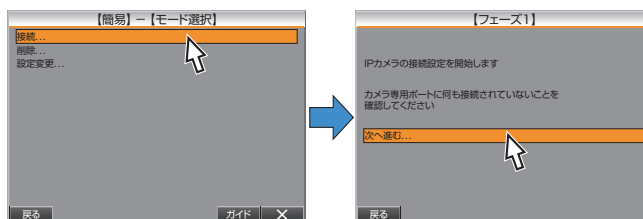
1 [IP カメラ接続設定] 画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18) に従って、[設定メニュー] → [IP カメラ接続] の順に開き、[簡易設定] をクリックします。



2 接続設定を開始する

- 表示画面の表示に従って操作していきます。カメラはまだ接続しないでください。
- [モード選択] 画面で [接続] をクリックします。
- [フェーズ 1] 画面で [次へ進む...] をクリックします。

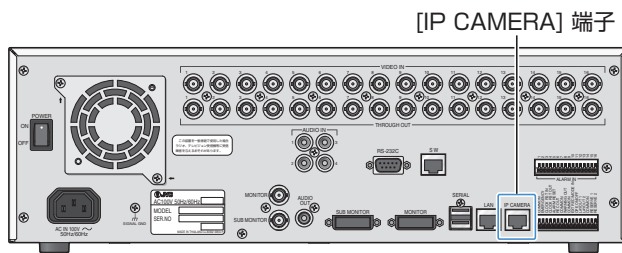


メモ：

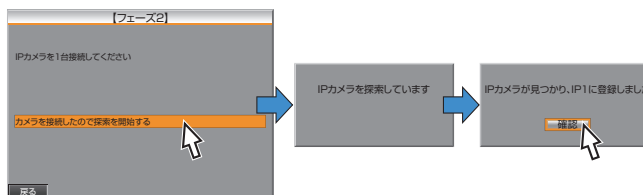
- すでに、2 台の IP カメラが登録されている場合、[既に 2 台の IP カメラが登録されています。これ以上登録できません] と表示されます。その場合、不要な IP カメラの削除を行ってから再度、登録を行います。
"IP カメラの削除" (P.36)

3 背面 [IP CAMERA] 端子に IP カメラを接続する

- IP カメラを接続したら、[カメラを接続したので探索を開始する] をクリックします。
- [IP カメラを探索しています] → [IP カメラが見つかり、IP1 に登録しました] と表示されます。
- [確認] をクリックします。



※イラストは VR-816 です。



ご注意：

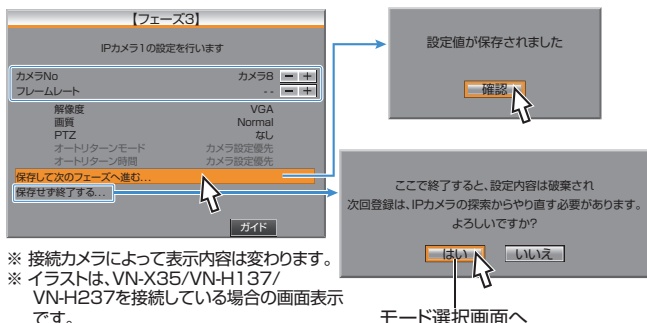
- PoE HUB を使用する場合、給電機能を持つ PoE 用端子と本機の [IP CAMERA] 端子は絶対に接続しないでください。
HUB 側の給電方式 (Alternative A) によっては、双方の機器が破損します。

メモ：

- カメラが接続されていない場合、[IP カメラが見つかりませんでした] と表示されます。
接続を確認してやり直してください。
- IP カメラの管理者権限パスワードが変更されている場合、[パスワードが間違っていました] と表示され、簡易設定は行えません。

4 IPカメラ1の設定を行う

- カメラ No、フレームレートを設定します。
- 設定が完了したら[保存して次のフェーズに進む...]をクリックします。
- [保存せず終了する...]をクリックすると、"ここで終了すると、設定内容は破棄され 次回登録は IP カメラの探索からやり直す必要があります。よろしいですか?"と確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、設定を破棄してモード選択画面(手順 2)に戻ります。



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/
 VN-H237を接続している場合の画面表示
 です。

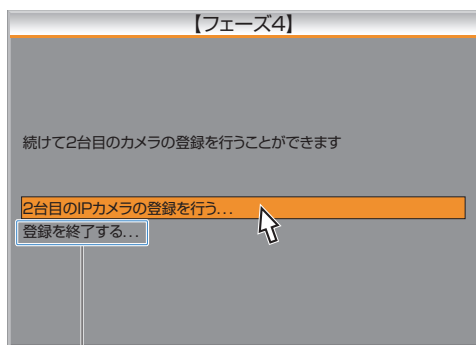
モード選択画面へ

メモ :

- 設定値は接続しているカメラによって変わります。使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- IP カメラの管理者権限パスワードが変更されている場合、[パスワードが間違っていました]と表示され、簡易設定は行えません。[詳細設定]より、ログインパスワードを初期値に戻してください。
 "詳細設定" (P.34)
- フレームレートを "-" に変更した場合、IP カメラのライブ映像を表示するため、接続する IP カメラの解像度にあわせて、IP カメラの要求コマ数が下記のように変更されます。
 - 解像度が VGA の場合: 15 コマ
 - 解像度が Quad VGA の場合: 6 コマ

5 IPカメラ2の登録を行う

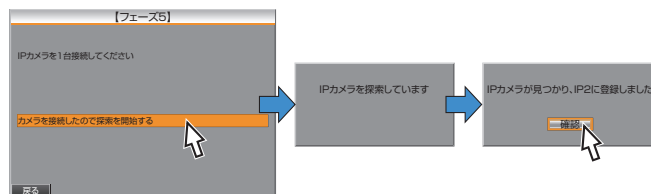
- 2 台目を登録する場合は、[2 台目の IP カメラの登録を行う...]をクリックします。
- 2 台目を登録しない場合は、[登録を終了する...]をクリックします。IP カメラ 1 の設定が保存され、フェーズ 7 画面(手順 8)に移行します。



【フェーズ7】画面へ

6 2 台目の IP カメラを背面[IP CAMERA]端子に接続する

- IP カメラを接続したら、[カメラを接続したので探索を開始する]をクリックします。
- [IP カメラを探索しています] → [IP カメラが見つかり、IP2 に登録しました]と表示されます。
- [確認]をクリックします。

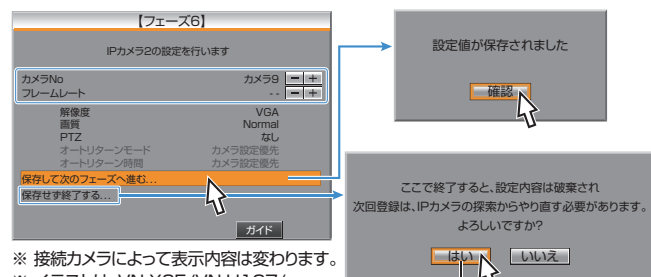


メモ :

- カメラが接続されていない場合、[IP カメラが見つかりませんでした]と表示されます。接続を確認してやり直してください。
- IP カメラの管理者権限パスワードが変更されている場合、[パスワードが間違っていました]と表示され、簡易設定は行えません。

7 IP カメラ 2 の設定を行う

- カメラ No、フレームレートを設定します。
- 設定が完了したら[保存して次のフェーズに進む...]をクリックします。
- [保存せず終了する...]をクリックすると、"ここで終了すると、設定内容は破棄され 次回登録は IP カメラの探索からやり直す必要があります。よろしいですか?"と確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、設定を破棄してモード選択画面(手順 2)に戻ります。



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/
 VN-H237を接続している場合の画面表示
 です。

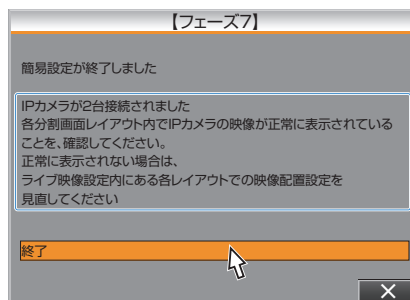
モード選択画面へ

メモ :

- 設定値は接続しているカメラによって変わります。使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- IP カメラの管理者権限パスワードが変更されている場合、[パスワードが間違っていました]と表示され、簡易設定は行えません。[詳細設定]より、ログインパスワードを初期値に戻してください。
 "詳細設定" (P.34)

8 簡易設定終了

IP カメラの設定が終わりました。
 [終了]をクリックすると、モード選択画面に戻ります。



2台接続されている場合のみ表示されます。

IP カメラの接続について (つづき)

詳細設定

IP アドレスやパスワードなどを独自に設定して使用したい場合、[簡易設定]はできません。

[詳細設定]で IP カメラの登録を行なってください。

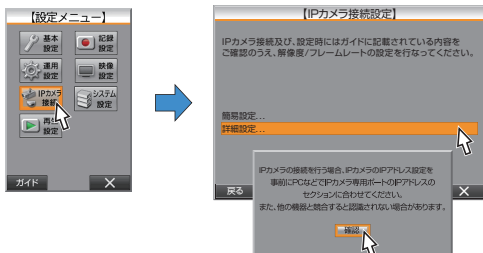
■ IP カメラの LAN ポートの設定を行う

背面、[IP CAMERA]端子の IP アドレス、ネットマスク、MTU 設定の値を変更します。

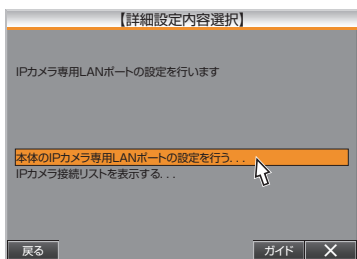
ネットワーク環境に合わせて設定してください。

1 [IP カメラ接続設定]画面を開く

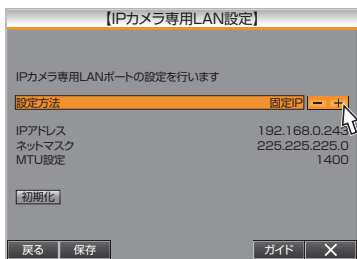
- ["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[IP カメラ接続]の順に開き、[詳細設定]をクリックします。
- 確認画面が表示されます。
[確認]をクリックします。



2 [本体の IP カメラ専用 LAN ポートの設定を行う...]をクリックする



3 [設定方法]を"固定 IP"にする



メモ :

- [設定方法]が"切"の場合、"IP アドレス"、"ネットマスク"、"MTU 設定"はグレー表示となり設定できません。

4 IP アドレス、ネットマスク、MTU 設定の値を変更する

- 変更する項目をクリックすると、アドレス入力画面が表示されます。
- 任意のアドレスを入力して、[確定]をクリックします。

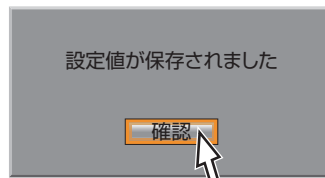


メモ :

- カーソルの位置は、[←][→]をクリックか、アドレス入力部を直接選択で変更できます。
- [×]をクリックすると設定をキャンセルして、アドレス入力画面をとじます。(変更内容は反映されません)
- [初期化]をクリックすると、設定が工場出荷時の値(初期値)に戻ります。
- IP アドレス、ネットマスクを、LAN ポートと同じネットワークドメインに設定すると IP カメラが接続できなくなります。設定時にネットワーク環境を確認してください。
- LAN ポートのネットワークアドレスの初期値は、192.168.1.243 です。

5 設定を保存する

- すべての設定が完了したら [保存] をクリックします。
- 設定が保存され、確認画面が表示されます。
[確認] をクリックして、設定を完了します。

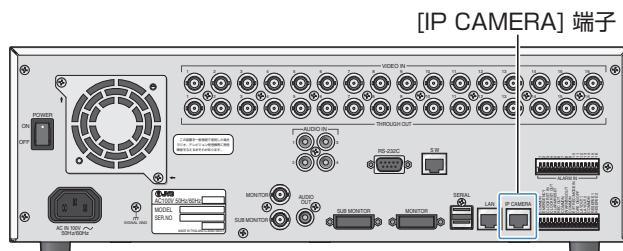


メモ :

- すでに IP カメラが登録された状態で、LAN ポートの設定を変更すると、"IP カメラ専用 LAN 環境を変更すると、IP カメラの接続リストは破棄されます。よろしいですか?"と表示されます。
[はい] をクリックすると設定が保存され、登録された IP カメラのリストは破棄されます。保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。

■ IP カメラの登録・設定を行う

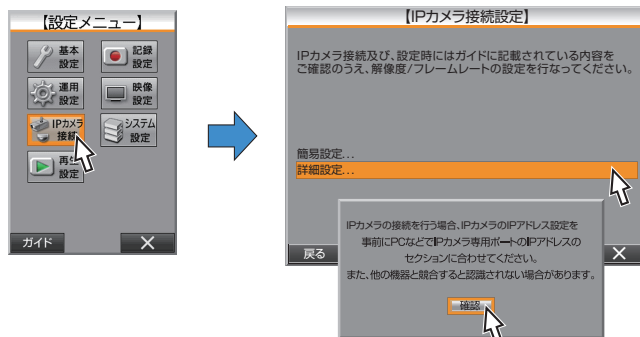
1 背面 [IP CAMERA] 端子に IP カメラを接続する



※イラストはVR-816です。

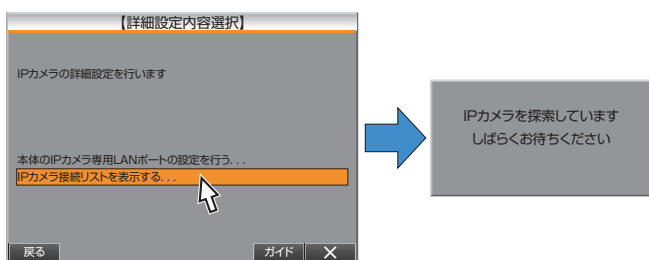
2 [IP カメラ接続設定]画面を開く

- ["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[IP カメラ接続]の順に開き、[詳細設定]をクリックします。
- 確認画面が表示されます。
[確認] をクリックします。



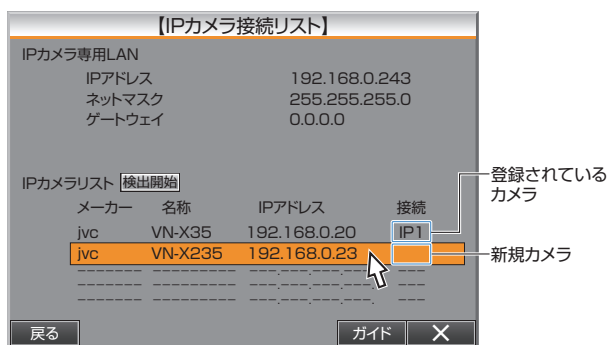
3 [IP カメラ接続リストを表示する...]をクリックする

"IP カメラを探索しています しばらくお待ちください"と表示されます。



4 接続カメラのリストが表示される

登録および設定を行うカメラのリストを選択し、クリックします。

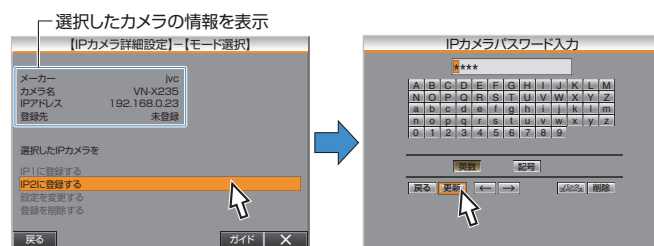


メモ :

- 対象のカメラが見つからない場合、リストは表示されません。
- リストの[接続]の項目は、新規登録時は何も表示されません。すでに、登録されているカメラの場合は、"IP1"もしくは"IP2"と表示されます。
- すでに、IP カメラが2台登録されている状態で、登録されていないカメラのリストをクリックした場合、"2台以上の接続は行えません。既に登録されているカメラの削除を行なってください。"と表示されます。[確認]をクリックし、カメラの削除を行なってから再度登録を行います。
- "IP カメラの削除" (P.36)
- 再度、接続されているカメラの検出をしたい場合は、[検出開始]をクリックしてください。
- リストには、検出処理で見つかった IP カメラが順番で表示されます。最大5台までしか表示できませんので、見つからない場合は、「簡易設定」(P.32)の手順で1台ずつ登録してください。

5 カメラの登録を行う

- IP1 に登録する場合は[IP1 に登録する]、IP2 に登録する場合は[IP2 に登録する]をクリックします。すでにどちらかにカメラが登録されている場合、登録されている IP カメラの ID はグレー表示となり選択できません。
- IP カメラパスワード入力画面が表示されます。
- パスワードを入力して[更新]をクリックします。

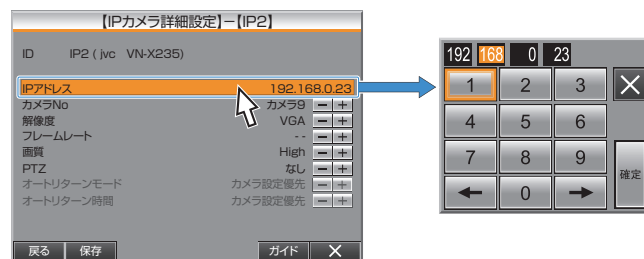


メモ :

- パスワードが間違っている場合、パスワード入力画面が表示されたままとなり、次の画面に進めません。
- [英数],[記号]をクリックすると、それぞれの入力キーボードに切り換わります。([英数],[記号] が無い場合もあります。)
- [バックスペース]をクリックすると、カーソルの前にある1文字が消えます。
- [削除]をクリックすると、カーソルの当たっている文字が消えます。
- カーソルの位置は、[←][→]をクリックか、パスワード入力部を直接選択で変更できます。
- [戻る]をクリックすると入力をキャンセルして、パスワード入力画面をとじます。

6 詳細設定を行う

- 推奨の値が表示されています。必要に応じて設定を変更してください。
- [IP アドレス]をクリックすると、IP アドレス入力画面が表示されます。任意のアドレスを入力して、[確定]をクリックします。



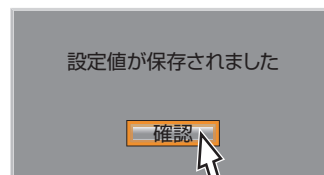
※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/VN-H237を接続している場合の画面表示です。

メモ :

- 接続しているカメラによって、表示される内容は変わります。PTZ 操作およびデジタル PTZ 操作が可能なカメラを使用している場合、[PTZ]、[オートリターンモード]、[オートリターン時間]の設定が可能となります。
- [オートリターンモード]、[オートリターン時間]の設定を変更すると、カメラ操作後の動作が変わります。注意して設定を変更してください。
 "オートリターンについて:" (P.39)
- カーソルの位置は、[←][→]をクリックか、アドレス入力部を直接選択で変更できます。
- [×]をクリックすると設定をキャンセルして、アドレス入力画面をとじます。(変更内容は反映されません)

7 設定を保存する

- すべての設定が完了したら[保存]をクリックします。
- 設定が保存され、確認画面が表示されます。
 [確認]をクリックして、設定を完了します。



IPカメラの接続について (つづき)

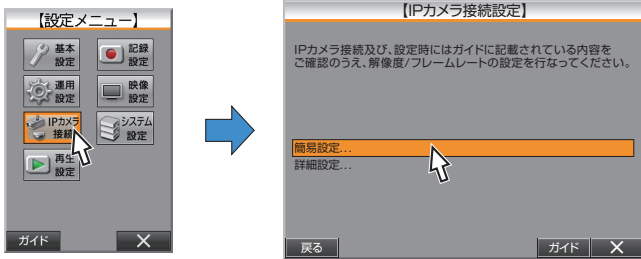
IPカメラの削除

登録したカメラを削除できます。

■ 簡易設定から削除を行う

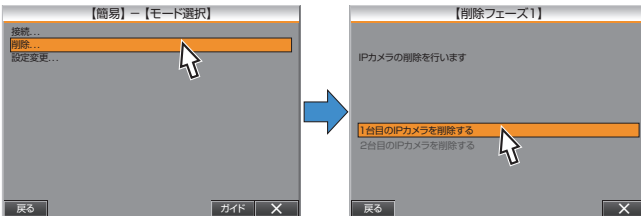
1 [IPカメラ接続設定]画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18)に従って、[設定メニュー]→[IPカメラ接続]の順に開き、[簡易設定]をクリックします。



2 [削除]をクリック

- [モード選択]画面で[削除]をクリックします。
- [削除フェーズ 1]画面で、削除するカメラをクリックします。



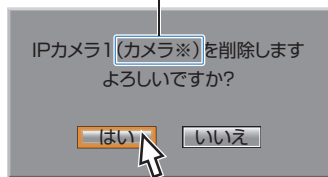
メモ :

- 登録されているIPカメラがない場合は、[IPカメラの登録がないため、切断できません]と表示され、削除できません。
- [2台目のIPカメラを削除する...]は、IPカメラ2が登録されている場合のみ黒字で表示されます。登録がない場合は、グレーで表示され、選択できません。

3 確認画面で[はい]をクリックする

- 削除が完了して[モード選択]画面に戻ります。
- もう1台削除したい場合、手順2,3を繰り返して削除します。

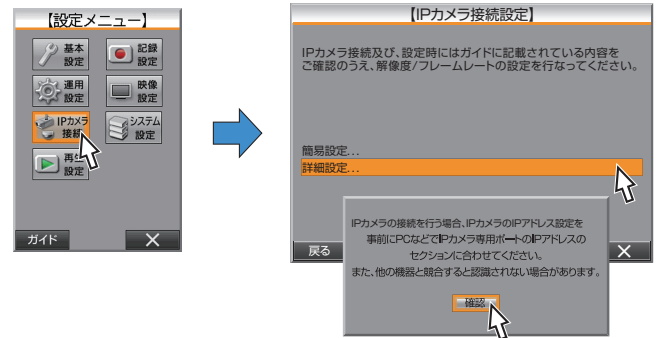
割り当てられているカメラNoが表示されます。



■ 詳細設定から削除を行う

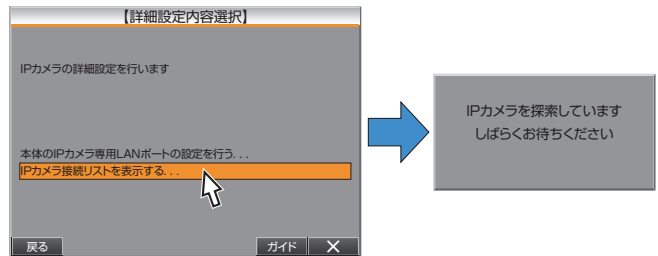
1 [IPカメラ接続設定]画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18)に従って、[設定メニュー]→[IPカメラ接続]の順に開き、[詳細設定]をクリックします。

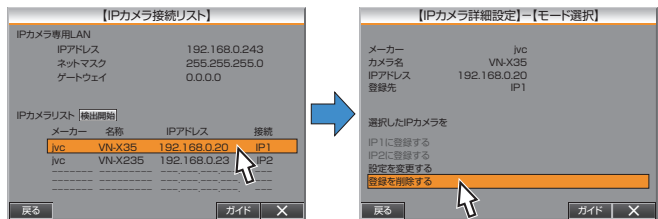


2 [IPカメラ接続リストを表示する...]をクリックする

"IPカメラを探しています しばらくお待ちください"と表示されます。

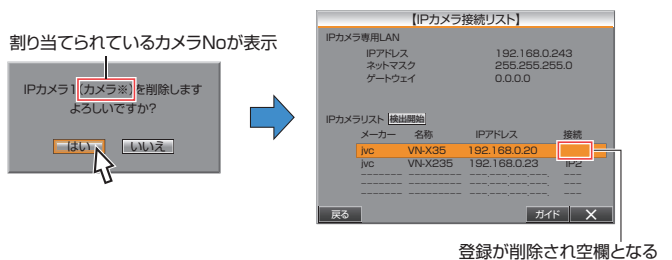


3 削除するカメラをえらび、[登録を削除する]をクリックする



4 削除する

- 確認画面で[はい]をクリックする
- 削除が実行され、IPカメラ接続リスト画面(手順3)に戻ります。
- 削除したカメラの[接続]項目が空欄となります。
- もう1台削除したい場合、手順3,4を繰り返して削除します。



登録が削除され空欄となる

IP カメラの設定変更

登録した IP カメラの設定を変更します。

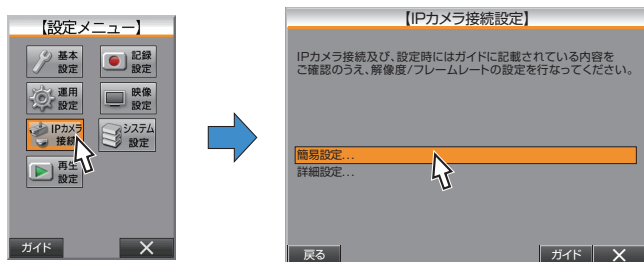
メモ：

- IP アドレスの変更に失敗した場合は、"IP アドレスの変更に失敗しました"と表示されます。
- 解像度の変更に失敗した場合は、"解像度の変更に失敗しました"と表示されます。
- 画質の変更に失敗した場合は、"画質の変更に失敗しました"と表示されます。

■ 簡易設定から設定を変更する

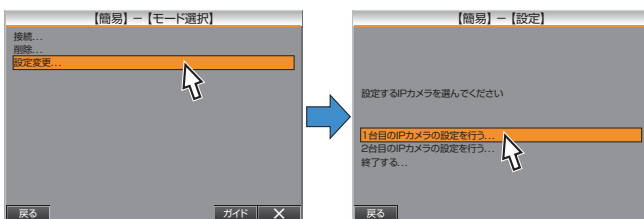
1 [IP カメラ接続設定] 画面を開く

["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[IP カメラ接続]の順に開き、[簡易設定]をクリックします。



2 [モード選択]画面で[設定変更]をクリックする

[設定]画面で、変更するカメラをクリックします。



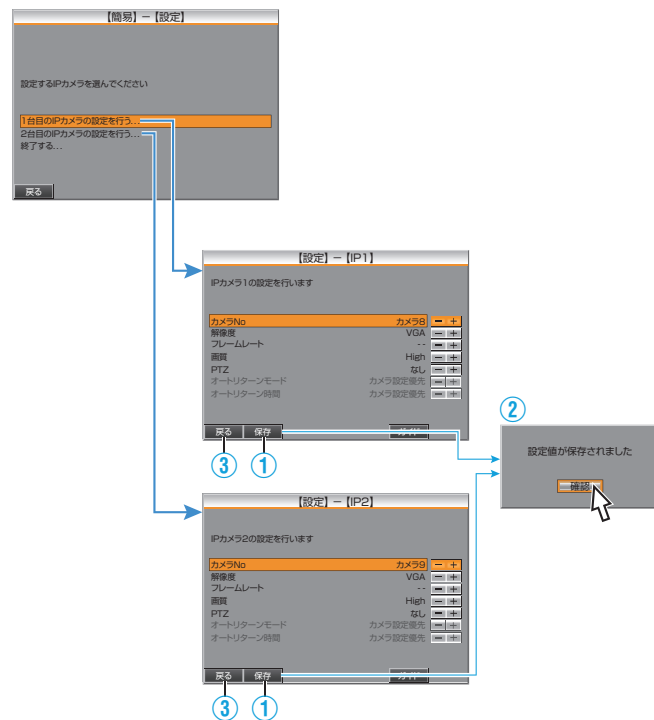
メモ：

- 登録されている IP カメラがない場合は、"IP カメラの登録がないため、設定変更ができません"と表示されます。
- [2 台目の IP カメラの設定を行う...]は、IP カメラ 2 が登録されている場合のみ黒字で表示されます。登録がない場合は、グレーで表示され、選択できません。

3 IP カメラの設定変更を行う

[1 台目の IP カメラの設定を行う]、[2 台目の IP カメラの設定を行う]をクリックしてそれぞれの IP カメラの設定変更を行います。

- ① 設定が完了したら[保存]をクリックします。
- ② 確認画面で[確認]をクリックします。
- ③ [戻る]をクリックして、[設定]画面に戻ります。



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/VN-H237を接続している場合の画面表示です。

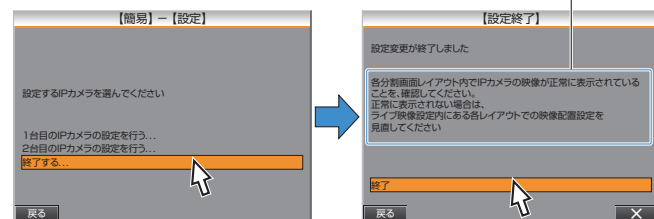
メモ：

- 設定値は接続しているカメラによって変わります。使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- 設定を変更して、保存せずに[戻る]をクリックした場合も、設定変更確認画面が表示されます。設定を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックし、[設定]画面に戻ります。

4 設定変更を完了する

- [終了する...]をクリックすると、[設定終了]画面が表示されます。
- [終了]をクリックすると、設定変更は完了となり、手順 2 の[モード選択画面]に戻ります。

※IPカメラが2台登録された場合のみ表示

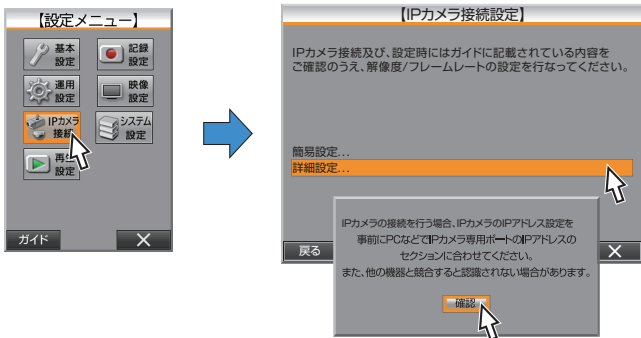


IPカメラの接続について (つづき)

■ 詳細設定から設定を変更する

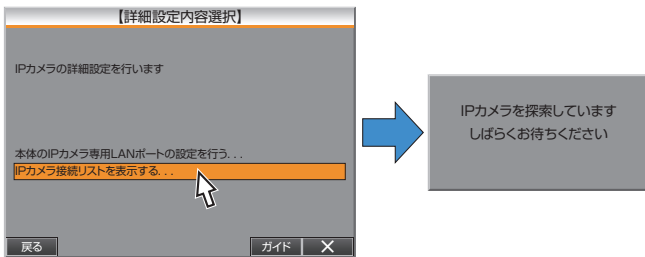
1 [IPカメラ接続設定]画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18)に従って、[設定メニュー]→[IPカメラ接続]の順に開き、[詳細設定]をクリックします。

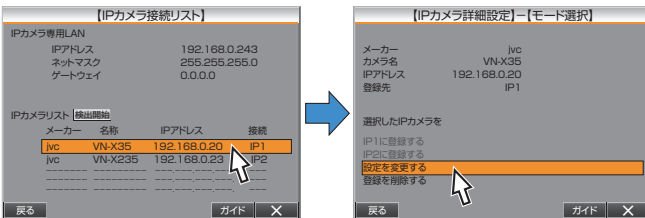


2 [IPカメラ接続リストを表示する...]をクリックする

"IPカメラを探していますしばらくお待ちください"と表示されます。



3 設定変更するカメラをえらび、[設定を変更する]をクリックする



4 パスワードを入力する

- IPカメラパスワード入力画面が表示されます。
- パスワードを入力して[更新]をクリックします。

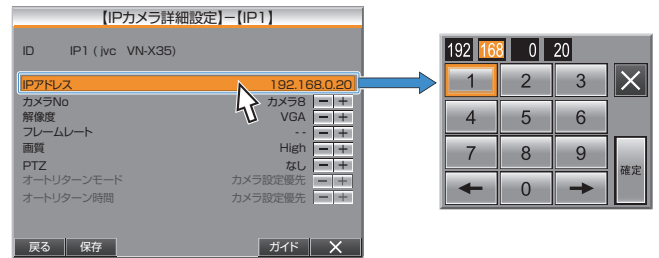


メモ:

- パスワードが間違っている場合、パスワード入力画面が表示されたままとなり、次の画面に進めません。
- [英数],[記号]をクリックすると、それぞれの入力キーボードに切り換わります。
([英数],[記号]が無い場合もあります。)
- [バックスペース]をクリックすると、カーソルの前にある1文字が消えます。
- [削除]をクリックすると、カーソルの当たっている文字が消えます。
- カーソルの位置は、[←][→]をクリックか、パスワード入力部を直接選択で変更できます。
- [戻る]をクリックすると入力をキャンセルして、パスワード入力画面をとじます。

5 設定を変更する

- 現在設定されている値が表示されます。任意の設定に変更します。
- [IPアドレス]をクリックすると、IPアドレス入力画面が表示されます。任意のアドレスを入力して、[確定]をクリックします。



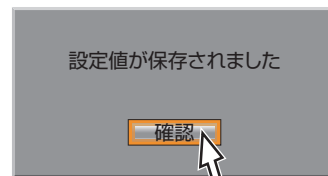
※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
※ イラストは、VN-X35/VN-H137/VN-H237を接続している場合の画面表示です。

メモ:

- 接続しているカメラによって、表示される内容は変わります。PTZ操作およびデジタルPTZ操作が可能なカメラを使用している場合、[PTZ],[オートリターンモード],[オートリターン時間]の設定が可能となります。
- [オートリターンモード],[オートリターン時間]の設定を変更すると、カメラ操作後の動作が変わります。注意して設定を変更してください。
"オートリターンについて:" (P.39)
- カーソルの位置は、[←][→]をクリックか、アドレス入力部を直接選択で変更できます。
- [X]をクリックすると設定をキャンセルして、アドレス入力画面をとじます。(変更内容は反映されません)

6 設定を保存する

- すべての設定が完了したら[保存]をクリックします。
- 設定が保存され、確認画面が表示されます。
[確認]をクリックして、設定を完了します。

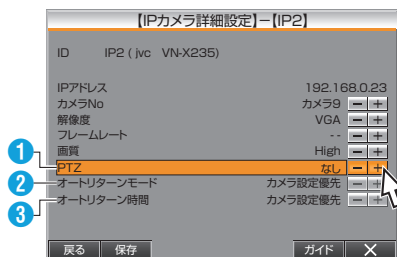


オートリターンについて

- 本機からカメラ操作(PTZ 操作、クリックオンセンター、ポジション、レンズ操作)を行なったあと、無操作状態が一定時間(オートリターン時間)経過すると、自動的に復帰する状態(オートリターンモード)を指定します。
- 本機能は、カメラ側の機能です。PTZ 操作およびデジタル PTZ 操作が可能なカメラを使用している場合にのみ設定できます。VR-809/VR-816 からカメラ操作を行なったあとの動作となるため設定の詳細を記載します。
- [IP カメラの詳細設定] および [IP カメラの設定変更] から設定できます。
"詳細設定: 詳細設定を行う" (☞ P.35)
"IP カメラの設定変更: 設定を変更する" (☞ P.38)

1 [IP カメラの詳細設定] および [IP カメラの設定変更] 画面で、[PTZ] を "あり" に設定する
[オートリターンモード]、[オートリターン時間] の設定が可能となります。

2 [オートリターンモード]/[オートリターン時間] を設定する



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
※ イラストは、VN-X35/VN-H137/VN-H237を接続している場合の画面表示です。

設定項目	内容(●:初期値)
① PTZ	カメラの PTZ 操作を有効にするかどうかを設定します。 "あり"に設定した場合、以下の ②[オートリターンモード] および ③[オートリターン時間] が設定可能となります。 [設定値: あり、● なし]
② オートリターンモード	本機からカメラ操作(PTZ 操作、クリックオンセンター、ポジション、レンズ操作)を行なったあと、無操作状態が一定時間(オートリターン時間)経過すると、自動的に復帰する状態を指定します。 ● カメラ設定優先: カメラ側で設定されているモードに復帰します。 ● 無効: 無操作状態が一定時間経過しても、カメラ側で設定されているモードに復帰しません。 ● ホーム: 無操作状態が一定時間経過すると、ホームポジションへ戻ります。 [設定値: ● カメラ設定優先、無効、ホーム]
③ オートリターン時間	オートリターンモードへ復帰するまでの時間を設定します。 "カメラ設定優先"に設定した場合、カメラ側で設定された時間で復帰します。 [設定値: ● カメラ設定優先、1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、20 分、30 分、60 分]

メモ:

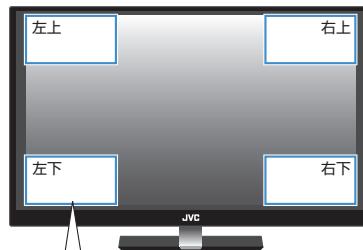
- [オートリターンモード] および [オートリターン時間] の設定変更を行なった場合、カメラ側での設定が本項目で設定した値に変更されます。"カメラ設定優先"以外の値に設定し、保存したあと、再度 "カメラ設定優先" に設定しなおしても、カメラ側の設定が変更されているため、前回に設定した値のままとなります。
- カメラ側で設定した内容を元に戻したい場合、カメラをパソコンに接続し、Web ブラウザーから設定変更を行なってください。使用しているカメラによって、設定項目が異なりますので、詳細につきましては、カメラの [取扱説明書] をご覧ください。
- 登録したカメラ種別によって、操作できる機能、および、表示内容が異なります。

スクリーン上の情報の表示

本機は、日時、アラームカウント表示、アラーム検出表示、残量表示、などの運用表示項目とカメラタイトルなどの情報をモニター画面に表示させることができます。
表示位置は変更することができ、必要に応じて位置を調整できます。

運用表示項目について

- "表示項目と位置の変更" (☞ P.40)
- "表示位置の補正" (☞ P.41)



表示エリアは4ブロックに区切られ表示されます。

- 1 1行目: 日時表示
- 2 2行目: HDD残量表示/再生・コピー・メンテナンス各モードのアイコン表示
- 3 3行目: SWアラーム検出表示/アラーム検出表示/アラームカウント表示
- 4 4行目: コピーの進捗表示/RAIDのビルド・リビルド進捗表示
(※表示位置が、"左下"/"右下"の場合は、1行目の上に表示されます)

- ① ライブ映像表示時は、現日時、再生画像表示時は、再生画像が記録された日時を 24 時間表記します。
(yyyy-mm-dd HH:MM:SS)
- ② ハードディスクドライブ残量を表示します。
([記録設定] → [記録詳細設定] → [ループ記録] が "切" の場合のみ)
再生モードピクチャー(メインモニターのみ)、コピーモード、メンテナンスモードが表示されます。
"BD ドライブの異常が考えられるワーニング" (☞ P.122)
- ③ ライブ映像表示時は、検出されたアラームの総件数を表示、アラーム記録された画像を再生表示時は、アラーム記録 ID が表示されます。
- ④ コピー処理の進捗/RAID のビルド/リビルドの進捗が表示されます。
[運用表示位置設定] が "左下"/"右下" の場合は ① の上に表示されます。

カメラタイトルと動作状態マークについて

各カメラに対してそれぞれにカメラタイトルを設定、表示位置を設定できます。
ライブ映像表示時、左下には常に動作状態マークが表示されます。
"カメラタイトル設定" (☞ P.42)



運用状態が表示されます。

- 黄: アラーム記録中
- 赤: 通常記録中
- 青: 記録停止中
- 白: ビデオロス
- グレー: IPカメラコネクションロス

スクリーン上の情報の表示 (つづき)

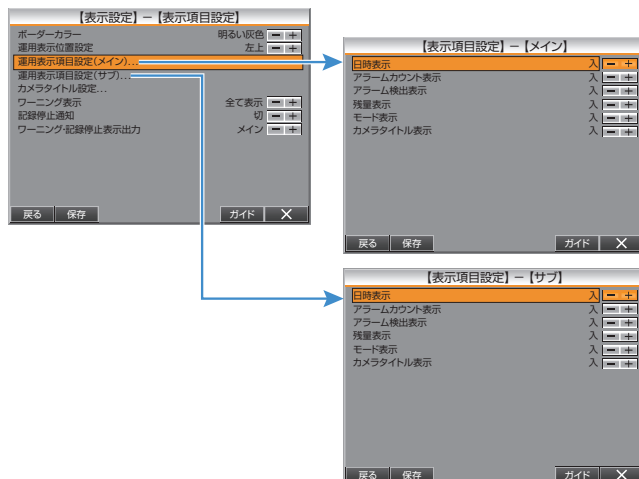
表示項目と位置の変更

メインモニター、サブモニターそれぞれの表示項目設定および、運用表示位置を設定します。

※ 設定値の●は初期値です。

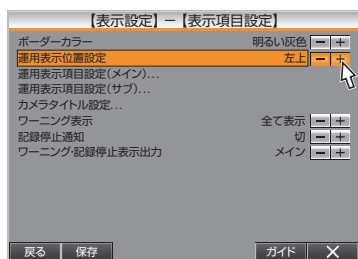
1 [表示項目設定]画面を開く

["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[映像設定]→[表示設定]→[表示項目設定]の順に開きます。



2 [運用表示位置設定]を行う

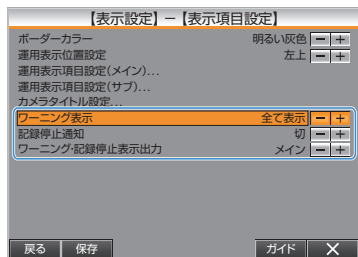
[設定値: ● 左上、右上、左下、右下] (●:初期値)



3 [ワーニング表示]/[記録停止通知]の設定をする

[ワーニング表示]/[記録停止通知]の表示設定を行い、[ワーニング・記録停止表示出力]項目で、表示させるモニターを選びます。

- [ワーニング表示]:
[設定値: 切、● 全て表示、レベル1、レベル2、レベル3、レベル4] (●:初期値)
- [記録停止通知]:
[設定値: ● 切、入] (●:初期値)
- [ワーニング・記録停止表示出力]:
[設定値: ● メイン、サブ、メイン+サブ] (●:初期値)



メモ:

- [ワーニング表示]を"レベル1"に設定した場合、レベル1~レベル4までのワーニングが表示されます。
"エラー表示のするトラブル" (P.114)
- [ワーニング表示]/[記録停止通知]設定と[ワーニング]LEDは連動しています。
"ワーニング LED (VR-809)" (P.6)
"ワーニング LED (VR-816)" (P.8)
- [ワーニング表示]/[記録停止通知]設定が共に"切"の場合、[ワーニング]LEDは点灯しません。
また[ワーニング表示]設定が"切"以外に設定されている場合は、[ワーニング]LEDは"全て表示"となり発生したワーニングのレベルに関係なく点灯します。

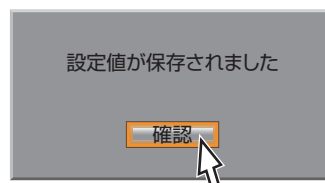
4 [運用表示項目設定(メイン)]/[運用表示項目設定(サブ)]をそれぞれ設定する

- 画面上に表示される項目を、メインモニター、サブモニターでそれぞれ設定します。
- それぞれの項目を表示するかどうかを設定します。
[設定値: 切、● 入] (●:初期値)

設定項目	内容
日時表示	日付、時刻を表示するかどうかを設定します。
アラームカウント表示	<ul style="list-style-type: none"> ● アラーム番号の表示(AL-* *と表示)を表示するかどうかを設定します。 ● ライブ映像の場合は、最後に記録されたアラーム番号を表示します。 ● アラーム記録の画像を再生した場合は、再生中のアラーム番号を表示します。 (停電が発生した前後のアラーム番号は不連続になります。)
アラーム検出表示	<p>アラーム発生時の"1-AL-1"(赤色)の表示と、SW-U1403でのアラーム検出時に"1-AL-1"(黄色)を表示するかどうかを設定します。</p> <p>※SW-U1403でのアラーム検出表示は、背面の[SW]端子にSW-U1403を接続したシステムで運用する場合に表示されます。</p>
残量表示	<ul style="list-style-type: none"> ● [ループ記録]設定が"切"のとき、残量を表示(* *%と表示)するかどうかを設定します。 ● [ループ記録]設定が"切"以外に設定されている場合、残量は表示されません。 "基本設定 3:ループ記録" (P.26)
モード表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生モード(▶や など)、記録の動作状態マーク(青丸など)およびコピーの処理状況の表示をするかどうかを設定します。 ● メンテナンス中は、"/DB"と表示されます。メンテナンス実行中は、再生音が途切れたり、画像が遅れたりすることがありますが、記録には影響しません。このような場合は、"/DB"表示が消えてから再生してください。
カメラタイトル表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在設定しているカメラタイトルを表示するかどうかを設定します。 ● 記録後、"切"に変更したカメラの再生画には、カメラタイトルは表示されません。 "カメラタイトル設定" (P.42) "カメラの台数を変更する" (P.98)

5 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして、設定を完了します。



表示位置の補正

オンスクリーン表示の文字が欠けてしまう場合や文字の一部が引き伸ばされて表示される場合、表示位置を調整することができます。

メモ：

- [OSD 表示位置補正]では、オンスクリーンの情報表示(運用表示・カメラタイトルは縦方向のみ)の表示位置に対する補正であり、映像自体、また制御パネルなどの GUI(パネル上のボタンや、アイコン)表示の位置を補正するものではありません。
- 本機は、GUI 上で操作をする機器です。
特に、[MONITOR] (BNC)端子に接続した SD 出力のモニターをメインモニターに使用している場合、セーフティゾーン(画面に実際に表示される領域)に、操作対象となる GUI の表示を確保できるモニターが必要となります。

1 [OSD 表示位置補正]画面を開く

["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[映像設定]→[表示環境補正]→[OSD 表示位置補正]の順に開きます。



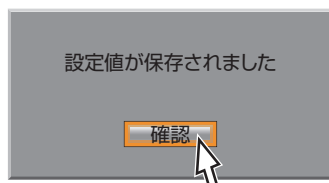
2 表示位置の調整を行う

- メインモニターおよび、サブモニターで必要に応じて表示位置を調整します。
- 設定値は、モニター設定によって変わります。(初期値:●)
 - ["HD"、"SXGA"に設定時: ● 100%、90%、95%]
 - ["SD"に設定時: ● 0、-1、-2、-3、-4、-5、-6]

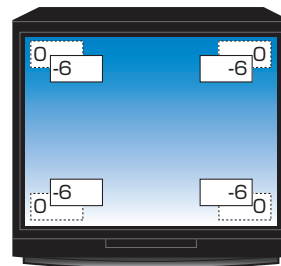


3 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして、設定を完了します。



■ [MONITOR] (BNC)端子に接続した SD 出力のモニターでの表示位置の例



メモ：

- イラストは、SD 出力のモニターの場合の、設定値による移動位置のイメージで、位置は使用するモニターによって変わります。すべてのモニターに同じように表示されるわけではありません。

カメラタイトル設定

各カメラに個別のタイトルを付けることができます。

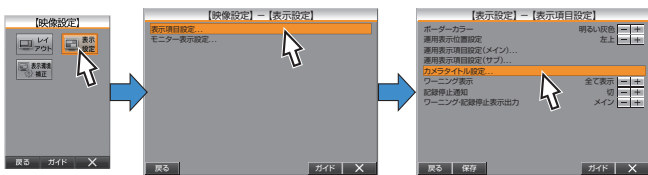
- メニュー操作は、マウス操作を基本として記述します。フロントパネルでの操作方法は、「フロントパネルでメニューを操作する」(P.20) および各項目の補足説明をご覧ください。

ご注意：

- 「基本設定 2」(P.26) または「カメラの台数を変更する」(P.98) で、カメラの設定を「切」に設定しなおすと、そのカメラタイトルは表示されなくなります。以前に記録された画像を再生する場合にも、カメラタイトルは表示されません。
- カメラタイトルを運用途中に変更した場合、変更前に記録した画像を再生したときのカメラタイトルも変更後の表示となります。

1 [カメラタイトル設定]画面を開く

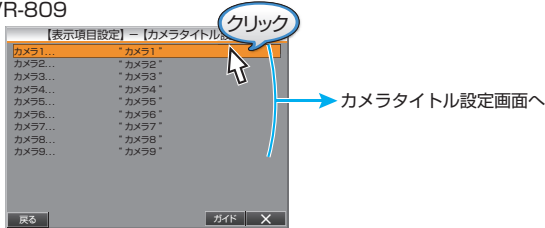
「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[映像設定]→[表示設定]→[表示項目設定]→[カメラタイトル設定]の順に開きます。



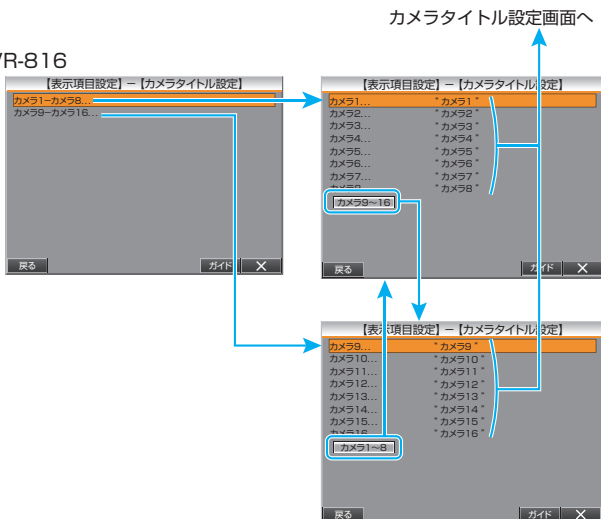
2 タイトルを設定するカメラをクリックする

VR-816 は [カメラタイトル設定] 画面が 2 画面で構成されています。[カメラ 9~16]、[カメラ 1~8] ボタンで画面を切り換えます。

VR-809



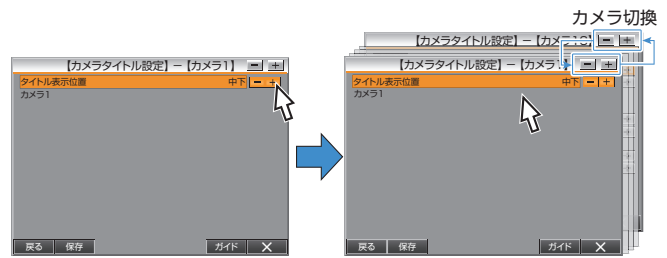
VR-816



3 [タイトル表示位置]を設定する

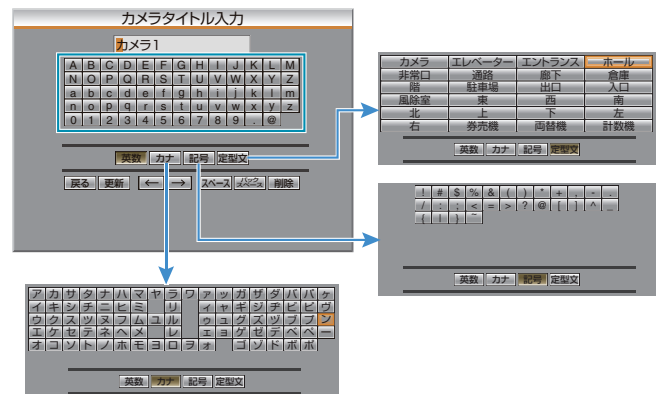
[設定値：左上、中上、右上、●中下、右下] (●：初期値)

- 表示されているカメラタイトルをクリックすると、タイトル入力画面が表示されます。
- カメラごとの設定画面は、メニュー画面右上の [-][+] をクリックすると切り換えられます。(VR-809 は 9 ページ/VR-816 は 16 ページ構成)

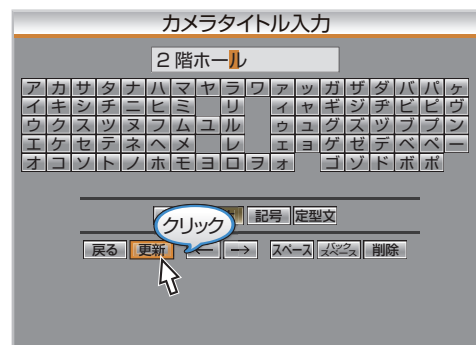


4 カメラタイトルを設定する

- 任意のタイトルを入力します。
- [英数]、[カナ]、[記号]、[定型文] をクリックすると、それぞれの入力キーボードに切り換わります。



5 [更新]をクリックして設定を完了する



6 手順 2~5 を繰り返し、すべてのカメラにタイトルを設定する

メモ：

- 入力可能文字数
 - 半角文字(英数字、記号)最大 20 文字
 - 全角文字(定型文、カタカナ、漢字)最大 10 文字
- スペースは全角のみです。
- [バックスペース] をクリックすると、カーソルの前にある 1 文字が消えます。
- [削除] をクリックすると、カーソルの当たっている文字が消えます。
- カーソルの位置は、[-][+] をクリックか、タイトル入力部を直接選択で変更できます。
- タイトル入力画面で [戻る] をクリックすると設定をキャンセルして、タイトル入力画面をとじます。(変更内容は反映されません)
- パソコンと接続し、Web ブラウザーから任意のカメラタイトルを設定することができます。詳しくは付属の CD-ROM 内の取扱説明書(ユーザーズガイド)を参照ください。

9分割・16分割画面でのカメラタイトル表示について

SD映像出力(BNC)端子に接続したモニターの場合、9分割と16分割画面でのカメラタイトル表示文字数は、下記のように制限されます。また、カメラタイトルの表示位置によって文字数制限が異なります。

制限された文字数を超えた場合、以降の文字は表示されません。

- 4分割画面
 - 左上、中上、右上: 20文字
 - 中下: 14文字
 - 右下: 16文字
- 9分割画面
 - 左上、中上、右上: 14文字
 - 中下: 10文字
 - 右下: 12文字
- 16分割画面(VR-816のみ)
 - 左上、中上、右上: 9文字
 - 中下: 6文字
 - 右下: 8文字

メモ:

- 文字数は半角文字での文字数となります。
全角文字では半分の文字数となります。
 - カメラタイトルの設定文字数が制限を超えている場合は、文字の右端に".."が表示されます。
-

カメラ映像を調整する(設置時)

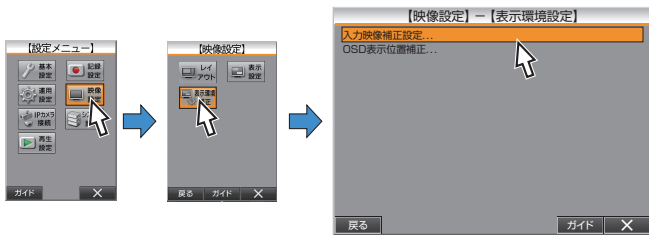
- 調整は、設置時に行なってください。
- 複数カメラシステムで使用する場合、カメラごとに表示位置調整や画質調整ができます。

ご注意:

- 通常は、設定変更する必要はありません。
- シーケンシャル中に設定画面へ移動すると、シーケンシャルモードは解除されます。

1 [入力映像補正設定]画面を開く

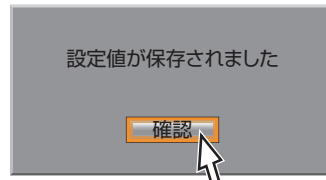
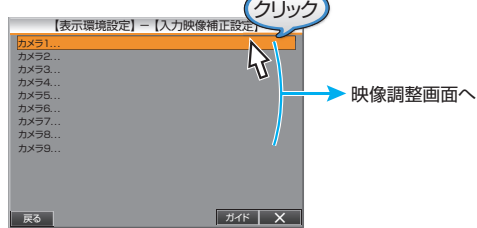
"メニュー画面の操作方法" (P.18) に従って、[設定メニュー] → [映像設定] → [表示環境補正] → [入力映像補正設定]の順に開きます。



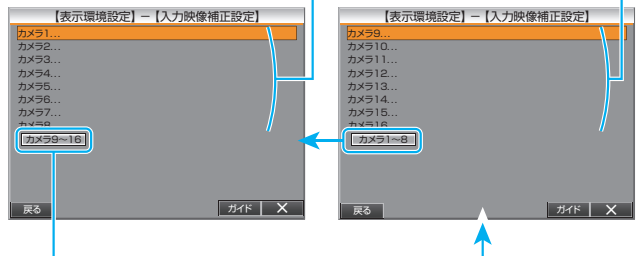
2 画質調整をするカメラを選択する

VR-816 は [入力映像補正設定] 画面が 2 画面で構成されています。
[カメラ 9~16]、[カメラ 1~8] ボタンで画面を切り換えます。

VR-809



VR-816



IP カメラを割当てたカメラ No はグレー表示となり、選択できません。

3 画質を調整する



項目	内容および設定値(●:初期値)
[H.POSITION]	映像に対する同期信号の位置を可変します。 画面枠に対して映像の水平方向の位置がずれている場合に調整します。 [設定値: 0x00c ~ 0x05c、●0x034]
[CONTRAST]	コントラストを調整します。 [設定値: 0x00 ~ 0xff、●0x64]
[MCBRIGHT]	明るさを調整します。 [設定値: 0x00 ~ 0xff、●0x00]
[CHROMA]	色の濃さを調整します。 [設定値: 0x0000 ~ 0xffff、●0x8080]
[HUE]	色相を調整します。 [設定値: 0x00 ~ 0xff、●0x00] ※0x79~0x83 は設定できません。

4 設定を完了する

- [保存] をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認] をクリックして、設定を完了します。

5 必要に応じて、各カメラで設定する

手順 2~4 を繰り返し、必要に応じて各カメラで個別に調整します。

オペレーションロックの設定をする

誤って電源を切ってしまうたり、いたずらによって記録されてしまったりなどを未然に防止するオペレーションロックに関する設定を行います。

メモ:

- オペレーションロック運用中(簡易/パスコード制限どちらも)、オペレーションロック設定はできません。
- 簡易ロックモード、およびパスコード制限のオペレーター 1~オペレーター 5 で運用している場合、[操作権限]の設定に関係なく、[基本設定]および[映像設定]の[表示環境設定]はできません。設定メニューを全て操作する権限は、パスコード制限のアドミニストレーター権限で運用している場合のみとなります。

1 [オペレーションロック設定]画面を開く

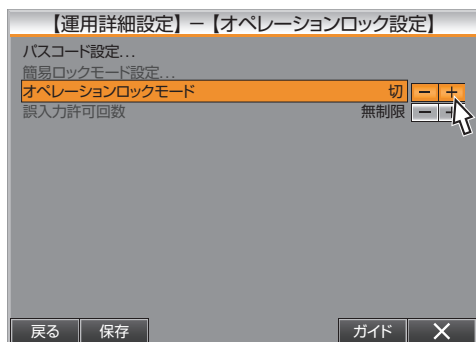
"メニュー画面の操作方法" (P.18) に従って、[設定メニュー] → [運用設定] → [運用詳細] → [オペレーションロック設定]の順に開きます。



※VR-809のみ

2 [オペレーションロックモード]を選択する

[-] [+] アイコンで設定値を選択します。



パスコード設定

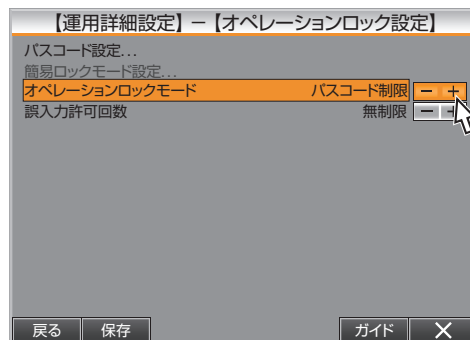
[オペレーションロックモード]を"パスコード制限"に設定した場合のパスコードを設定します。

メモ:

- オペレーションロック運用中(簡易/パスコード制限どちらも)、オペレーションロック設定はできません。

1 [オペレーションロックモード]を"パスコード制限"に設定

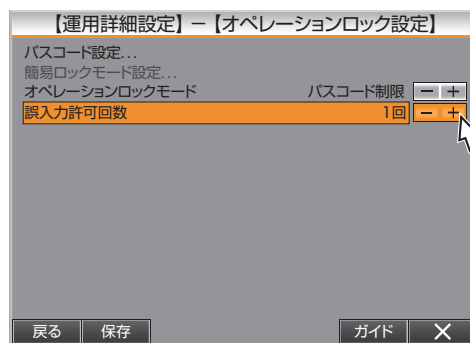
[-] [+] アイコンで設定値を選択します。
[設定値: ● 切、簡易モード、パスコード制限] (●: 初期値)



2 [誤入力許可回数]を設定する

[設定値: 1回、2回、3回、● 無制限] (●: 初期値)

- [-] [+] アイコンで設定値を選択します。
- 設定した回数を超えて入力を失敗すると、パスコードエラー検出ワーニングが発生します。

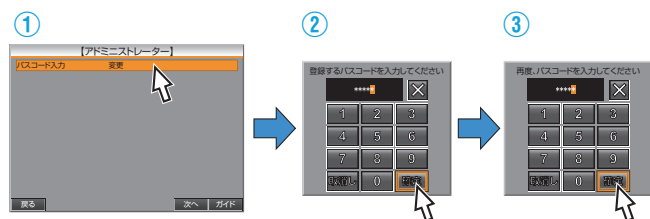


3 パスコード設定画面を開く



4 アドミニストレーターのパスコードを設定する

- ① [パスコード入力 変更]をクリックするとパスコード入力画面が表示されます。
- ② パスコード(5桁)を入力します。(初期値:00000)
- ③ 新たに登録するパスコード(5桁)を入力し、[確定]をクリックします。パスコードは、確認のため2回入力します。
- ④ パスコード変更完了画面が表示されますので、[確認]をクリックして設定を完了します。



項目	内容
オペレーションロックモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 切(初期値): オペレーションロックは無効です。 ● 簡易モード: [簡易ロックモード設定]で設定された操作が許可されます。 "簡易ロックモードの設定" (P.47) ● パスコード制限: パスコード入力するまで、すべての操作がロックされます。[アドミニストレーター]には、すべての操作が許可されます。[オペレーター 1]~[オペレーター 5]は、パスコード入力後、[パスコード設定]で設定した操作のみが許可されます。 "パスコード設定" (P.45)

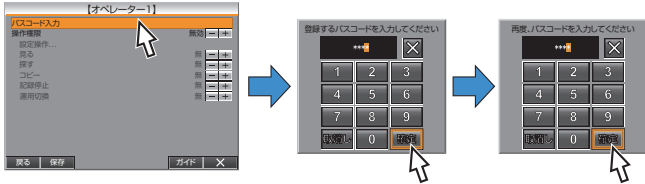
3 選択したモードの設定をする

"パスコード設定" (P.45)
"簡易ロックモードの設定" (P.47)

オペレーションロックの設定をする(つづき)

5 オペレーターのパスコードを設定する

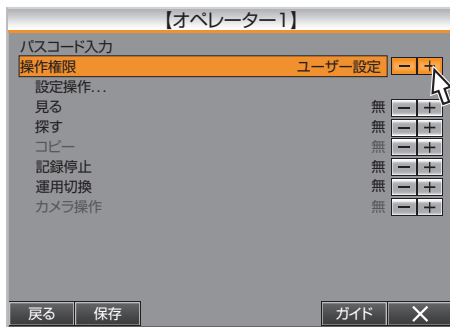
- オペレーター1～オペレーター5まで、それぞれ必要に応じて設定を行います。
- オペレーターのパスコードは4桁です。
- 手順4と同じようにパスコード(4桁)を入力し、新たに登録するパスコードを設定します。
パスコードは、確認のため2回入力します。
[初期値:オペレーター1(1111)～オペレーター5(5555)]



6 オペレーターの操作権限を設定する

[設定値: ● 全て禁止、ユーザー設定] (●:初期値)

- "全て禁止"を選択した場合、操作権限がありません。
- "ユーザー設定"を選択した場合、操作権限を自由にカスタマイズできます。



メモ:

- オペレーター1～オペレーター5で運用している場合、[操作権限]の設定に関係なく、[基本設定]および[映像設定]の[表示環境設定]はできません。
設定メニューをすべて操作できるのは、パスコード制限のアドミニストレーター権限で運用している場合のみとなります。

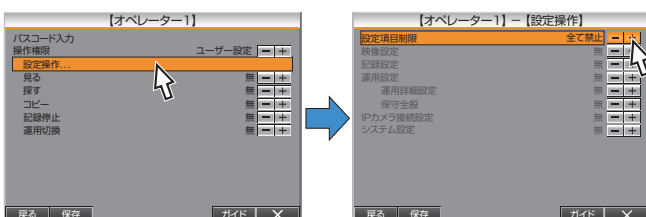
ご注意:

- [カメラ操作]は、[基本設定3]⇒[システム接続設定]または[システム設定]⇒[シリアル制御通信]が"RS-485"に設定されている場合にのみ表示されます。
"システム接続設定をする:シリアル制御通信" (P.27)
- [見る]が"無"に設定されている場合、[カメラ操作]の設定は行えません。
- [探す]が"無"に設定されている場合、[コピー]の設定は行えません。

7 オペレーターの設定権限を設定する

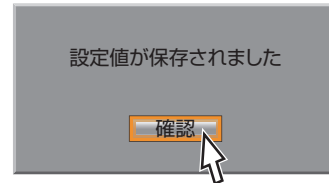
[設定値: ● 全て禁止、ユーザー設定] (●:初期値)

- [設定操作...]をクリックし、設定操作権限を割り当てます。
- [操作権限]で"ユーザー設定"を選択した場合のみ設定できます。
- "ユーザー設定"を選ぶと、各設定の設定権限の有無が選択できます。
- "全て禁止"の場合、設定権限がありません。
- 手順5～7を繰り返し、オペレーター1～オペレーター5まで、それぞれ必要に応じて設定を行います。



8 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして設定を完了します。



メモ:

- パスコード入力時、数字のかわりに "*"が表示されます。
- [取消し]をクリックすると、入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
- [×]をクリックするとパスコード入力画面がとじます。

簡易ロックモード設定

[オペレーションロックモード]を"簡易モード"に設定した場合の操作権限を設定します。

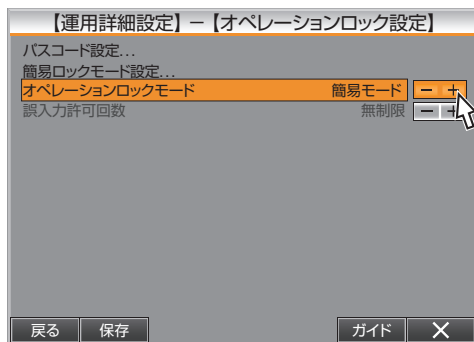
メモ：

- オペレーションロック運用中(簡易/パスワード制限どちらも)、オペレーションロック設定はできません。
- [オペレーションロックモード]を"簡易モード"に設定した場合、オペレーションロックの解除はフロントボタン操作のみで行えます。解除する場合、[機能]ボタンを押しながら、[ガイダンス]ボタンと[キャンセル/戻る]ボタンを同時に押します。

1 [オペレーションロック設定]を"簡易モード"に設定

[－][+]アイコンで設定値を選択します。

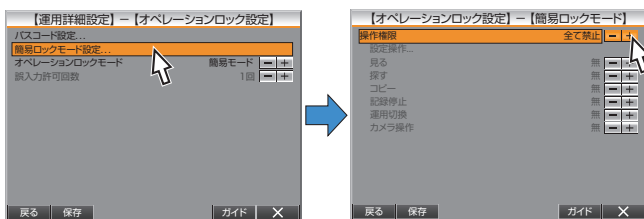
[設定値：●切、簡易モード、パスワード制限](●：初期値)



2 操作権限を設定する

[設定値：●全て禁止、ユーザー設定](●：初期値)

- "全て禁止"を選択した場合、操作権限がありません。
- "ユーザー設定"を選択した場合、操作権限を自由にカスタマイズできます。



メモ：

- 簡易ロックモードで運用する場合、[操作権限]の設定に関係なく、[基本設定]および[映像設定]の[表示環境設定]はできません。これらの設定を変更する場合は、一度簡易ロックを解除してください。

ご注意：

- [カメラ操作]は、[基本設定 3]→[システム接続設定]または[システム設定]→[シリアル制御通信]が"RS-485"に設定されている場合にのみ表示されます。

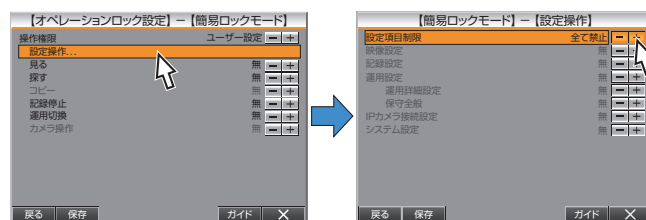
"システム接続設定をする：シリアル制御通信" (P.27)

- [見る]が"無"に設定されている場合、[カメラ操作]の設定は行えません。
- [探す]が"無"に設定されている場合、[コピー]の設定は行えません。

3 設定権限を設定する

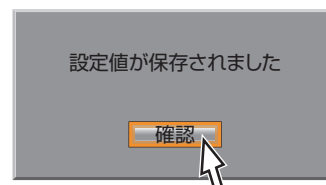
[設定値：●全て禁止、ユーザー設定](●：初期値)

- [設定操作...]をクリックし、設定操作権限を割り当てます。
- [操作権限]で"ユーザー設定"を選択した場合のみ設定できます。
- "ユーザー設定"を選ぶと、各設定の設定権限の有無が選択できます。
- "全て禁止"の場合、設定権限がありません。



4 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして設定を完了します。



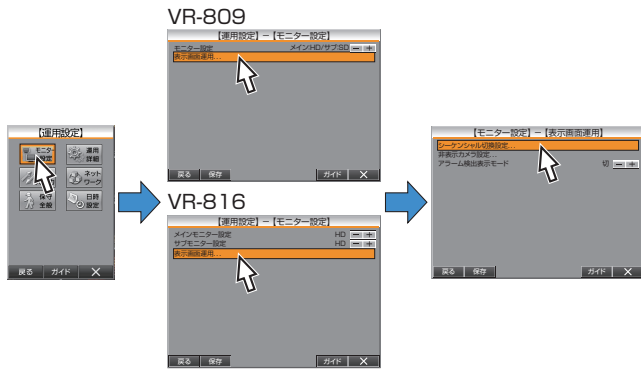
シーケンシャル表示設定

一定時間で画面を切り換えて表示するシーケンシャル表示に関する設定を行います。

シーケンシャルは、単画面シーケンシャル、および分割画面シーケンシャルのどちらかを選択して行います。

1 [表示画面運用]メニューを開く

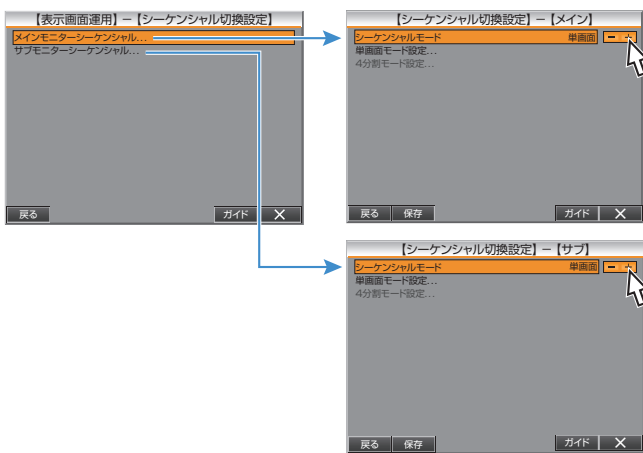
- ["メニュー画面の操作方法" (P.18)]に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[モニター設定]→[表示画面運用]メニューの順に開きます。
- [シーケンシャル切換設定]をクリックします。



2 [シーケンシャルモード]を選択する

[設定値: ●単画面、4分割] (●:初期値)

- [メインモニターシーケンシャル]、[サブモニターシーケンシャル]とそれぞれ設定します。
- 単画面モードか、4分割画面モードかを選択します。
- シーケンシャルは、単画面シーケンシャル、および分割画面シーケンシャルのどちらかのみしか行えません。選択した方の設定項目が選択でき、設定できるようになります。



3 [単画面モード設定]を行う

[設定値: 切、●1秒、2秒、3秒、5秒、10秒] (●:初期値)

- 各カメラの画面切り換えの時間を設定します。
"切"に設定した場合、シーケンシャル表示されません。
- 設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。

VR-809



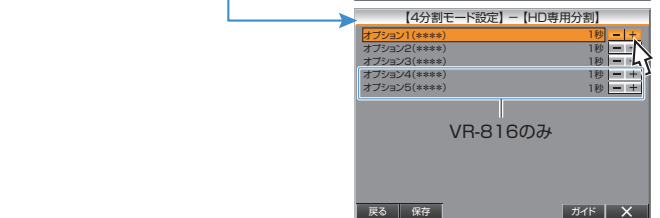
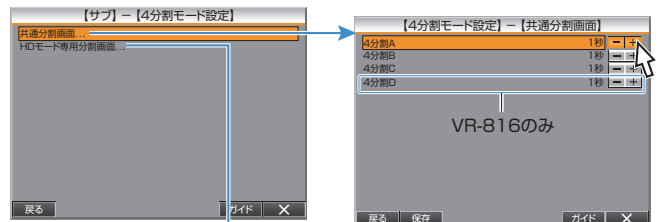
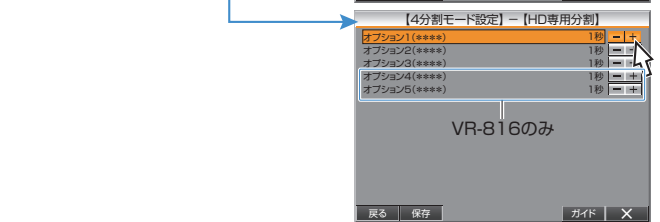
VR-816



4 [4分割画面モード設定]を行う

[設定値: 切、1秒、2秒、●3秒、5秒、10秒] (●:初期値)

- [共通分割画面]および[HDモード専用分割画面]の設定をします。各分割画面の切り換え時間を設定します。
"切"に設定した場合、シーケンシャル表示されません。
- 設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。



メモ:

- 分割画面をシーケンシャル表示する場合、使用するモニターによっては、画面の切り換え時に、一瞬モニター映像が乱れる場合があります。
- [HDモード専用分割画面]オプションの設定は[レイアウト]設定が4分割の場合のみ選択できます。

非表示カメラの設定

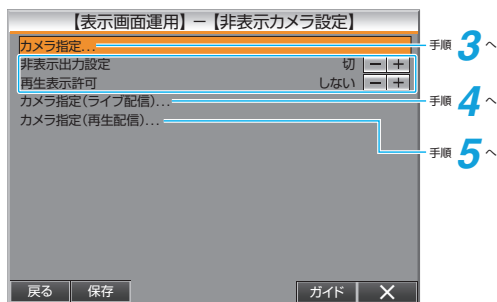
各カメラの映像をモニター画面に表示させず、黒画面にするかどうかを設定します。

1 [表示画面運用]メニューを開く

- 「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[モニター設定]→[表示画面運用]メニューの順に開きます。
- [非表示カメラ設定]をクリックします。



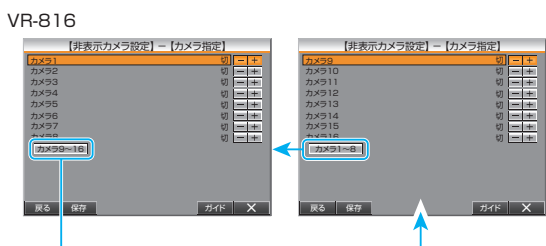
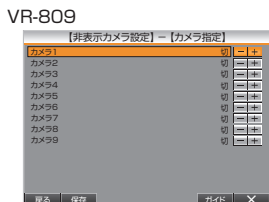
2 [非表示カメラ設定]を行う



項目	内容および設定値(●:初期値)
非表示出力設定	非表示カメラ設定を有効にする映像出力端子を選びます。 [設定値: ●切、メイン、サブ、メイン+サブ]
再生表示許可	非表示カメラに設定されたカメラ画像の再生を許可するかどうかを設定します。 [設定値: ●しない、する]

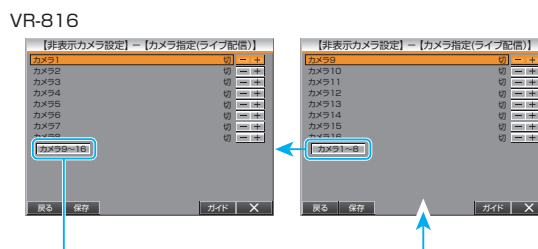
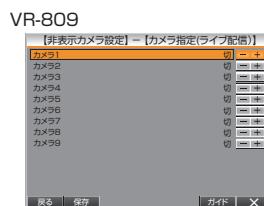
3 [カメラ指定]を行う

- カメラを非表示にするかどうかを設定します。"入"に設定すると、黒いブランク画面が表示されます。
[設定値: ●切、入](●:初期値)
- 設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。



4 [カメラ指定(ライブ配信)]を行う

- ビューワーソフトを使用し、パソコンでライブ画を見るときに、各カメラ入力をモニター画面に表示させず、黒画にするかどうかを設定します。
"入"に設定すると、黒いブランク画面が表示されます。
[設定値: ●切、入](●:初期値)
- 設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。

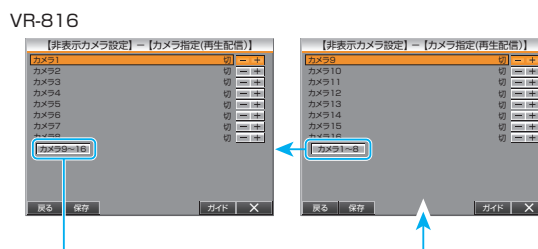
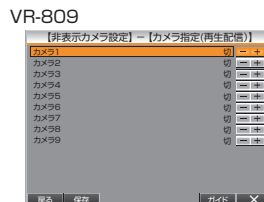


メモ:

- "入"に設定しても、映像は記録されます。
- カメラタイトルも表示されません。

5 [カメラ指定(再生配信)]を行う

- 非表示カメラに設定されたカメラ画像の配信を許可するかどうかを設定します。
"入"に設定すると、黒いブランク画面が表示されます。
[設定値: ●切、入](●:初期値)
- 設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。



記録パターンの設定をする

記録に関する詳細な設定を行います。

1 [記録パターン設定]画面を開く

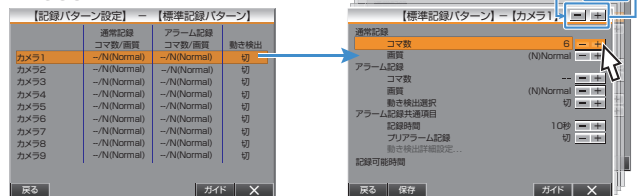
「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[記録設定]→[記録パターン]の順に開きます。



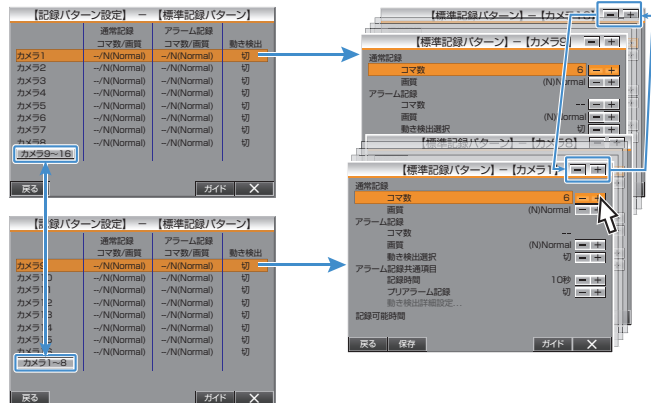
2 [標準記録パターン]設定を行う

- [標準記録パターン]を開きます。
- 設定するカメラをクリックすると、設定画面が表示されます。
- カメラごとの設定画面は、メニュー画面右上の[-][+]をクリックすると切り換えられます。(VR-809は9ページ/VR-816は16ページ構成)
- VR-816は[記録パターン設定]画面が2画面で構成されています。[カメラ9~16]、[カメラ1~8]ボタンで画面を切り換えます。

VR-809



VR-816



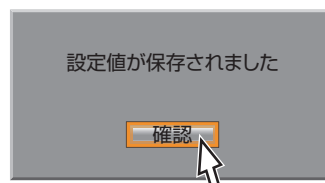
項目	内容(●:初期値)	
通常記録	コマ数	通常記録時の1秒間に記録するコマ数を設定します。 [設定値:-、1、2、3、●6、10、15、30] "コマ数設定の制限"(P.51)
	画質	通常記録時の画質を設定します。 [設定値:L(Long)、B(Basic)、●N(Normal)、H(High)]
アラーム記録	コマ数	アラーム記録時の1秒間に記録するコマ数を設定します。 [設定値:●-、1、2、3、6、10、15、30] "コマ数設定の制限"(P.51)
	画質	アラーム記録時の画質を設定します。 [設定値:L(Long)、B(Basic)、●N(Normal)、H(High)]
アラーム記録	動き検出選択	動き検出の感度を設定します。 "ユーザー設定"を選択した場合、[動き検出詳細設定]で、検出感度を自由に設定できます。 "切"、"標準"、"ユーザー設定"以外の設定は、決められた感度で動き検出します。 [設定値:●切、標準、ユーザー設定、出入口高、出入口低、通路高、通路低、レジ高、レジ低、ATM高、ATM低、ロビー高、ロビー低、通用門高、通用門低、駐車場高、駐車場低、低照度高、低照度低、エレベーター、カウンター]
アラーム共通項目	記録時間	アラーム記録を行う時間を設定します。 アラーム記録中に追加でアラーム入力があった場合、その時点からさらに設定した時間だけ記録を延長します。 "マニュアル"に設定した場合、信号が入力されているあいだ記録を継続します。 [設定値:10秒、15秒、30秒、1分、●3分、5分、マニュアル]
	プリアラーム記録	アラーム入力時よりさかのぼって、記録を開始する、プリアラーム記録時間を設定します。 "切"に設定すると、プリアラーム記録はされません。 [設定値:●切、10秒、30秒、60秒]
アラーム記録共通項目	動き検出詳細設定...	動き検出詳細設定メニューに移行します。 [動き検出選択]で"ユーザー設定"を選択した場合の、動作感度レベル、停止感度レベル、連続検出レベル、検出間隔レベルの設定および、検出エリア設定を行います。

メモ:

- IPカメラを割り当てたカメラ No には、[IPカメラ接続設定]で設定した内容が表示されます。
[コマ数]は[IPカメラ接続設定]で設定した値と"-."のどちらかを選択できます。[画質]は変更できません。
"IPカメラの接続について"(P.32)
- IPカメラが割り当てられたカメラについては、本機の動き検出機能は設定できません。IPカメラ本体の動き検出機能を設定してください。
詳細につきましては、使用するIPカメラの「取扱説明」をご覧ください。

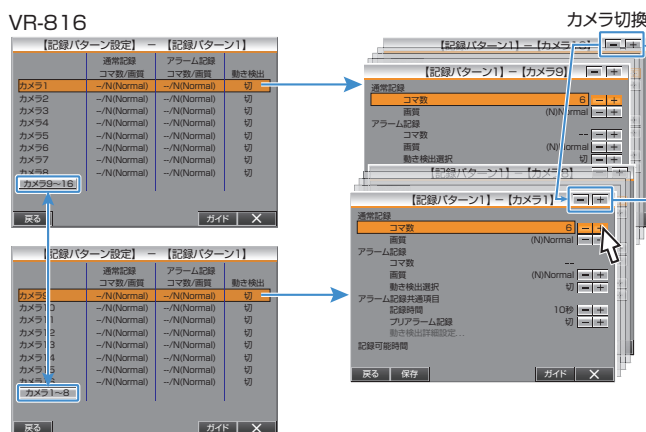
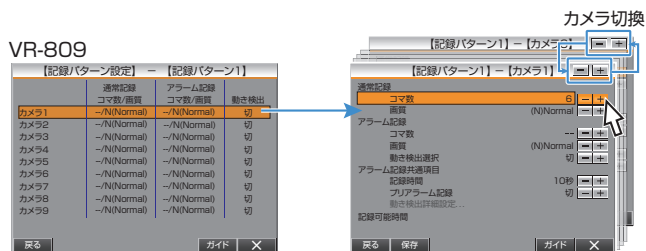
3 [標準記録パターン]設定を保存する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして、設定を完了します。



4 [記録パターン 1]～[記録パターン 7]を設定する

- [記録パターン設定]画面から[記録パターン 1]～[記録パターン 7]を開きます。
- [記録パターン 1]～[記録パターン 7]の設定および操作方法は手順 2 と同じです。
- 必要に応じて、手順 2 と同じように設定します。
- 各カメラの設定が完了したら、[保存]をクリックしてください。



メモ :

- 設定に応じた [記録可能時間] が最下行に表示されます。
[ループ記録]の設定が "切" に設定されている場合、現在のハードディスク残量で記録可能な時間が表示されます。
- [ループ記録]の設定が "切" 以外に設定されている場合、ハードディスク総量に対する記録可能時間が表示されます。
- コマ数の設定には制限があります。
"コマ数設定の制限" (P.51)
- [アラーム記録共通項目]の設定は、[標準記録パターン]および、[記録パターン 1]～[記録パターン 7]で共通の設定となります。
- IP1 または、IP2 が割当てられているカメラの設定変更はできません。
IP カメラの設定変更は IP カメラ接続設定で行なってください。
"IP カメラの設定変更" (P.37)

コマ数設定の制限

- 各カメラの、通常記録とアラーム記録の多い方のコマ数を合計したものが、最大記録コマ数を超えないよう、設定する必要があります。
 - 最大記録コマ数は、[基本設定 2] (VR-816 は [基本設定 2-2]) の [アナログカメラ記録画像モード] の設定によって、以下のようになります。
 - ・ "高精細" に設定時: 120 コマ
 - ・ "標準" に設定時: 240 コマ
 - ・ "滑らか" に設定時: 480 コマ
- "基本設定 2: アナログカメラ記録画像モード" (P.26)

■ IP カメラを使用する場合の記録コマ数のご注意

IP カメラの場合は、IP カメラの [解像度] および [アナログカメラ記録画像モード] 設定の組合せによって、記録コマ数を換算する必要があります。下表に従い記録コマ数を換算し、すべてのカメラの合計記録コマ数が、最大記録コマ数を超えないように設定してください。
(F: IP カメラのフレームレート設定)
※フレームレートはコマ数と同意です。

[アナログカメラ記録画像モード]の設定	滑らか (QVGA)	標準 (Half-VGA)	高精細 (VGA)	
IP カメラの [解像度] の設定	Quad VGA	Fx16	Fx8	Fx4
	VGA	Fx4	Fx2	F

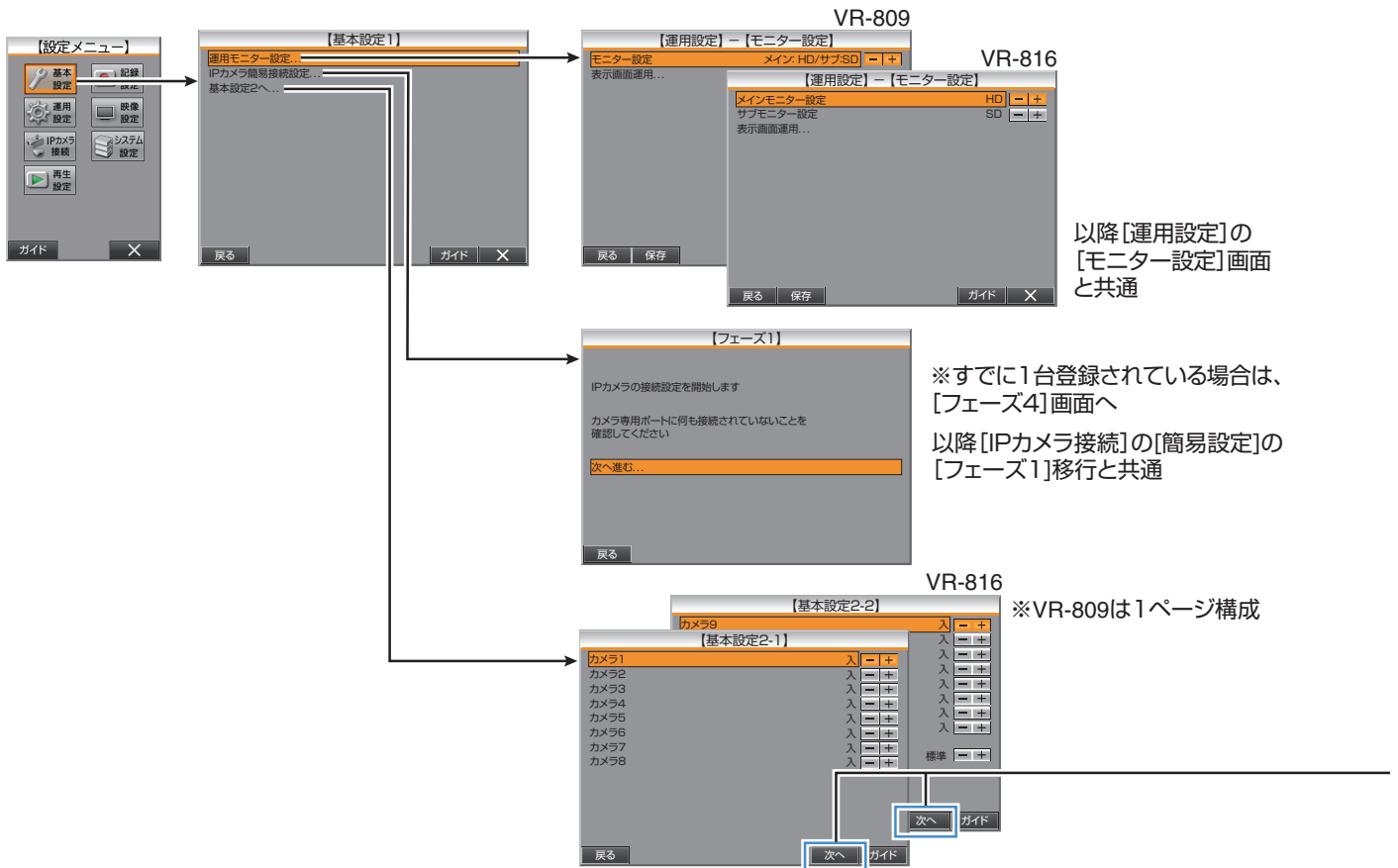
例)

接続カメラ: IP カメラ 1 台、アナログカメラ 8 台
[アナログカメラ記録画像モード] の設定: 標準
IP カメラの [フレームレート] の設定: 10 コマ
IP カメラの [解像度] の設定: Quad VGA
この場合、IP カメラの記録コマ数を表中の "Fx8" より 10×8=80 コマに換算すると、
(最大記録コマ数: 240) - (IP カメラ換算値: 80) = (アナログカメラ合計記録コマ数: 160)
となり、アナログカメラ 8 台の合計記録コマ数を 160 コマ以下に設定する必要があります。

メモ :

- IP カメラの設定変更は、IP カメラ接続設定で行なってください。
"IP カメラの接続について" (P.32)

基本設定/記録設定



※VR-809は1ページ構成
※カメラごとに設定 (VR-809は9ページ/VR-816は16ページ構成)

【基本設定3】

記録画像保存期間 1週間
音声記録 全て
ループ記録 全て
配信モード設定 通常
システム接続設定 RS-232C

【基本設定4-1】

カメラ	通常記録	アラーム記録	動き検出
カメラ1	コマ数/画質	コマ数/画質	動き検出
カメラ2	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ3	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ4	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ5	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ6	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ7	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ8	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切
カメラ9~16	~/N(Normal)	~/N(Normal)	切

【基本設定4】 - [カメラ1]

通常記録
コマ数 6
画質 (N)Normal
アラーム記録
コマ数 --
画質 (N)Normal
動き検出選択
アラーム記録共通項目
記録時間 10秒
フリアラーム記録
動き検出詳細設定...
記録可能時間

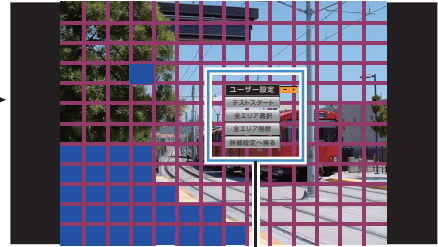
※カメラごとに設定 (VR-809は9ページ/VR-816は16ページ構成)

【標準記録パターン】 - [カメラ1]

通常記録
コマ数 6
画質 (N)Normal
アラーム記録
コマ数 --
画質 (N)Normal
動き検出選択
アラーム記録共通項目
記録時間 10秒
フリアラーム記録
動き検出詳細設定...
記録可能時間

【カメラ16】 - 【動き検出詳細設定】

動作検知レベル 7
停止検知レベル 2
連続検出レベル 切
検出照度レベル 2
検出エリア設定...



右クリックメニュー有

【週間タイマー設定】

曜日	時刻	曜日	時刻	モード	実行
日曜	**:*	**	**:*	**	**
月曜	**:*	**	**:*	**	**
火曜	**:*	**	**:*	**	**
水曜	**:*	**	**:*	**	**
木曜	**:*	**	**:*	**	**
金曜	**:*	**	**:*	**	**
土曜	**:*	**	**:*	**	**
毎日	**:*	-	**:*	**	**

【週間タイマー設定】 - 【プログラム8】

開始曜日 日
開始時間 **:*
終了曜日 **
終了時間 **:*
運用モード **
実行 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

【日付指定タイマー設定】

開始	終了	運用モード	実行
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**
月日	**月**日	**	**

【日付指定タイマー】 - 【プログラム】

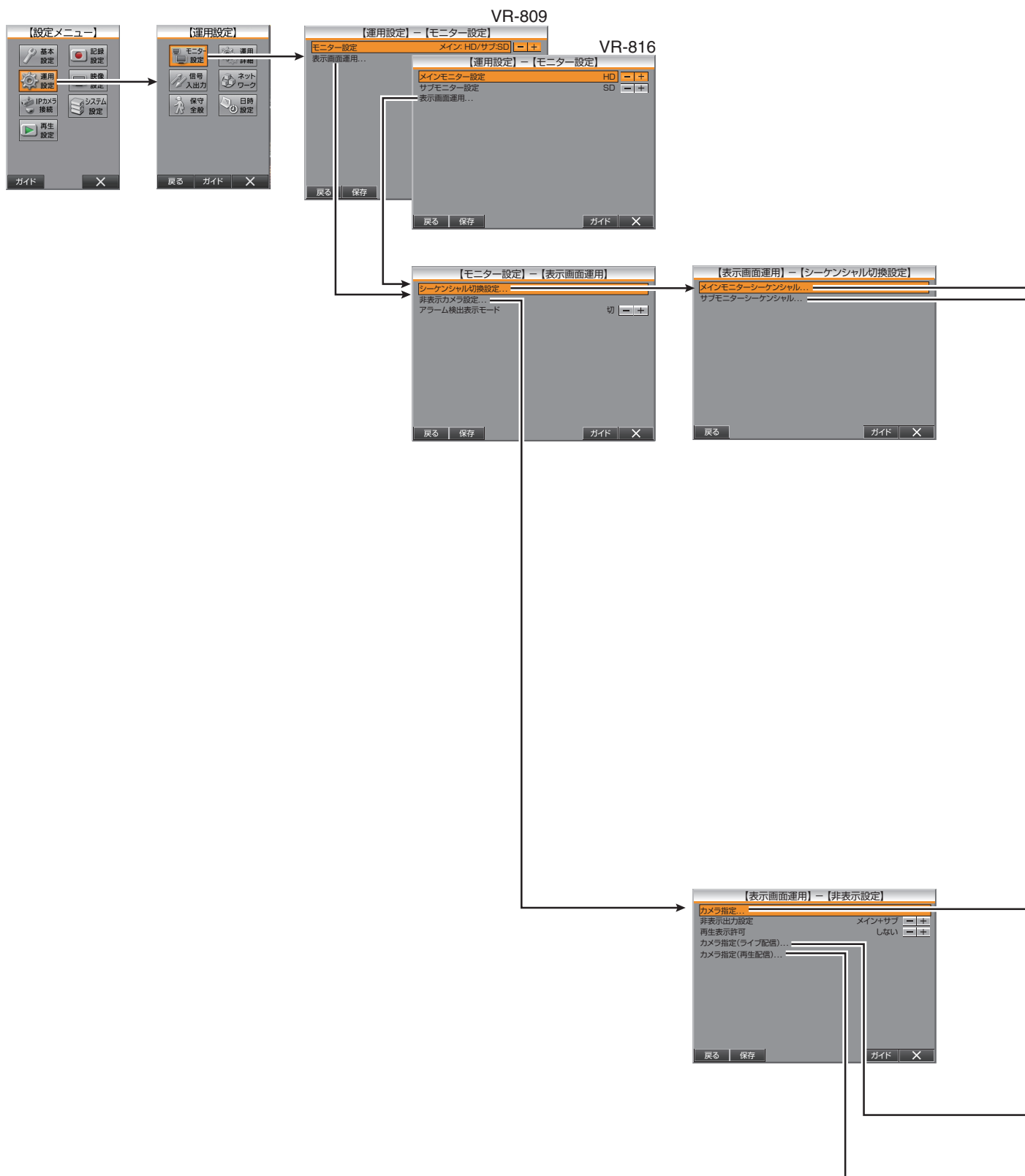
開始時間 **:*
終了時間 **:*
運用モード **
実行 **

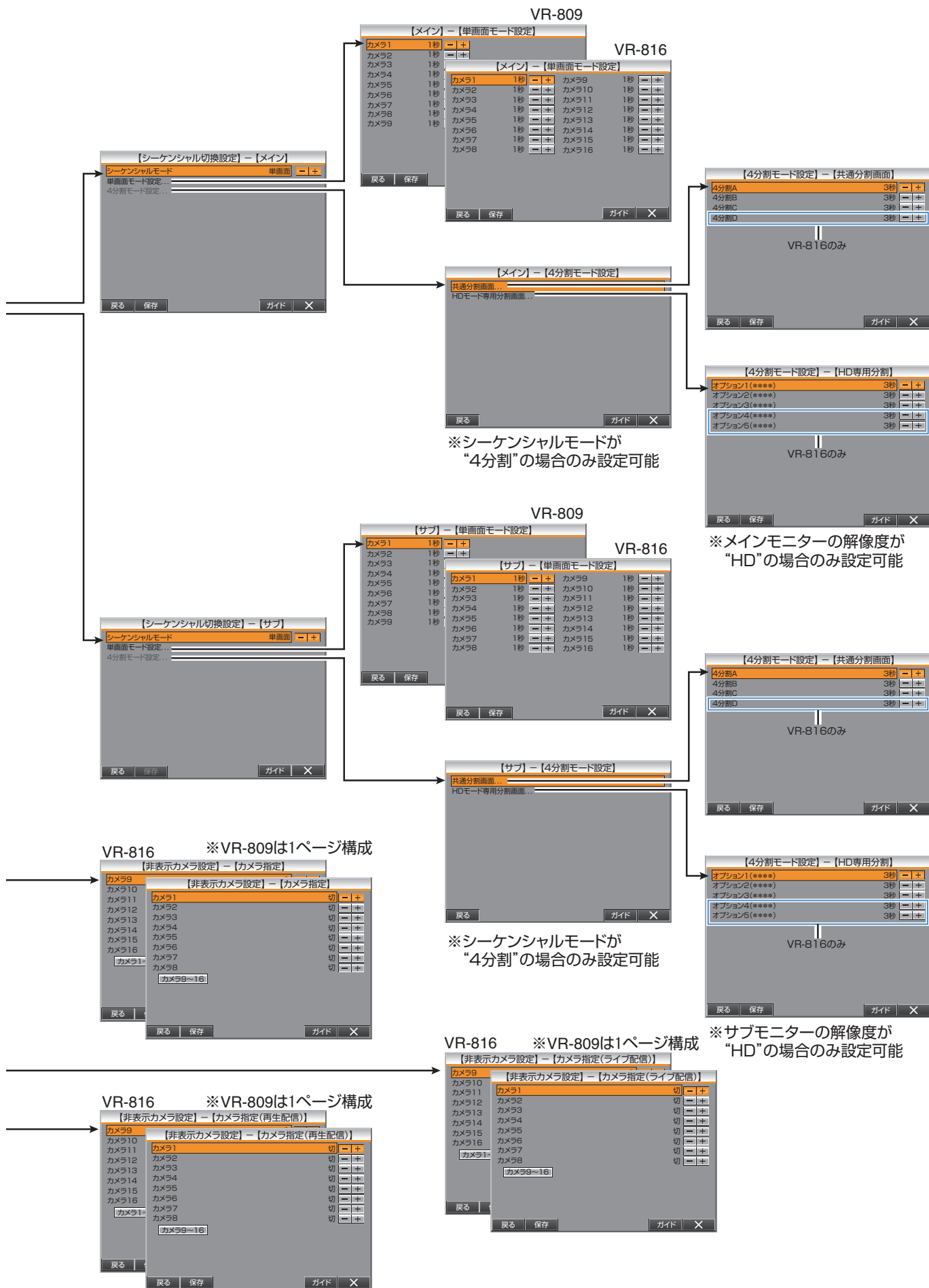
【日付入力】

**月 **日
OK 取消し

運用設定

モニター設定



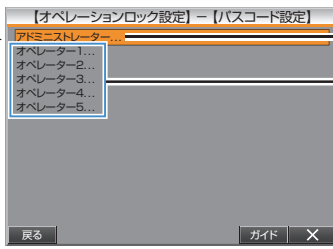
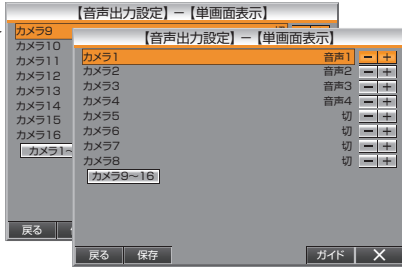


運用設定 (つづき)

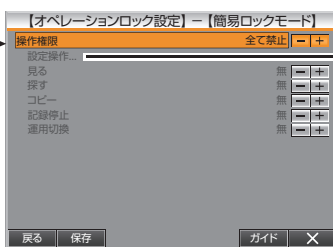
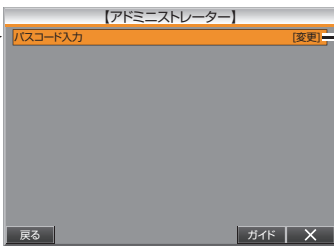
運用詳細設定



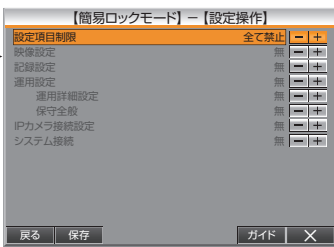
VR-816 ※VR-809は1ページ構成



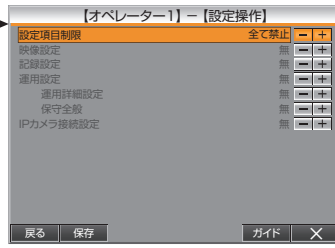
※オペレーションロックモードが“パスワード制限”時のみ設定可能



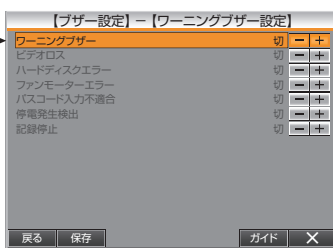
※オペレーションロックモードが“簡易モード”時のみ設定可能



※操作権限が“ユーザー設定”時のみ設定可能

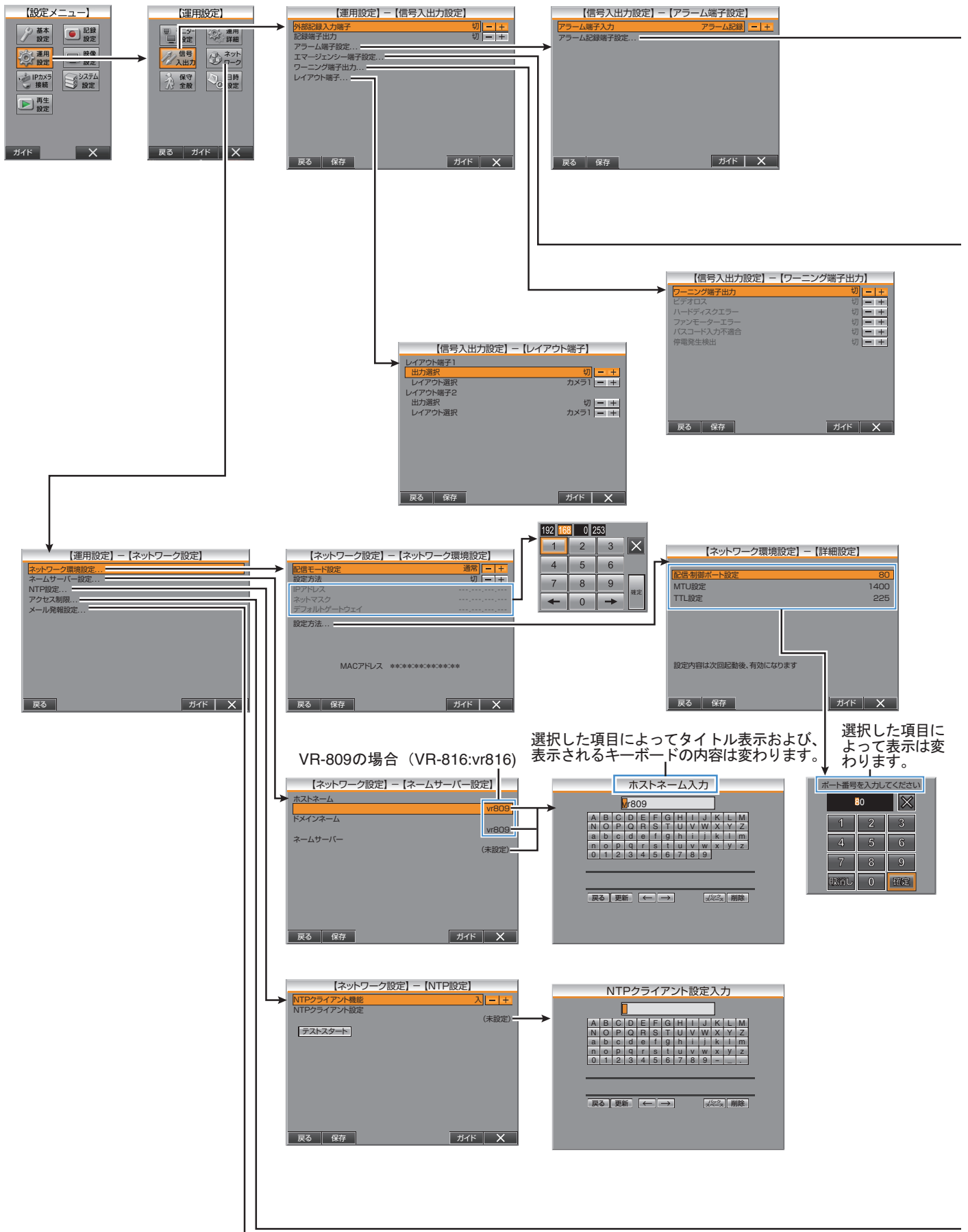


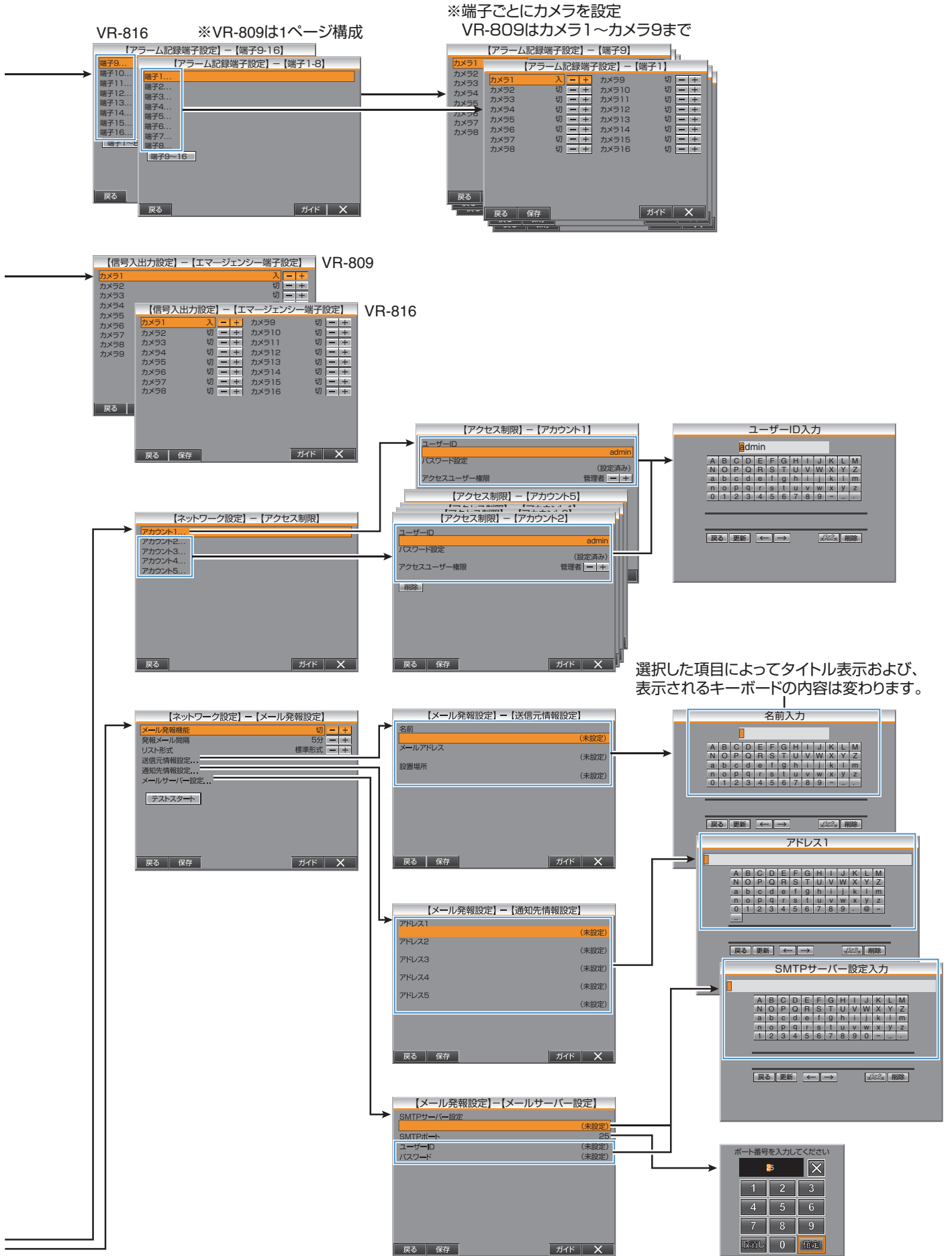
※操作権限が“ユーザー設定”時のみ操作可能



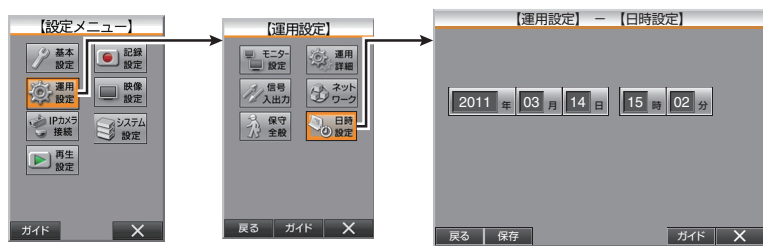
運用設定 (つづき)

信号入出力設定・ネットワーク設定

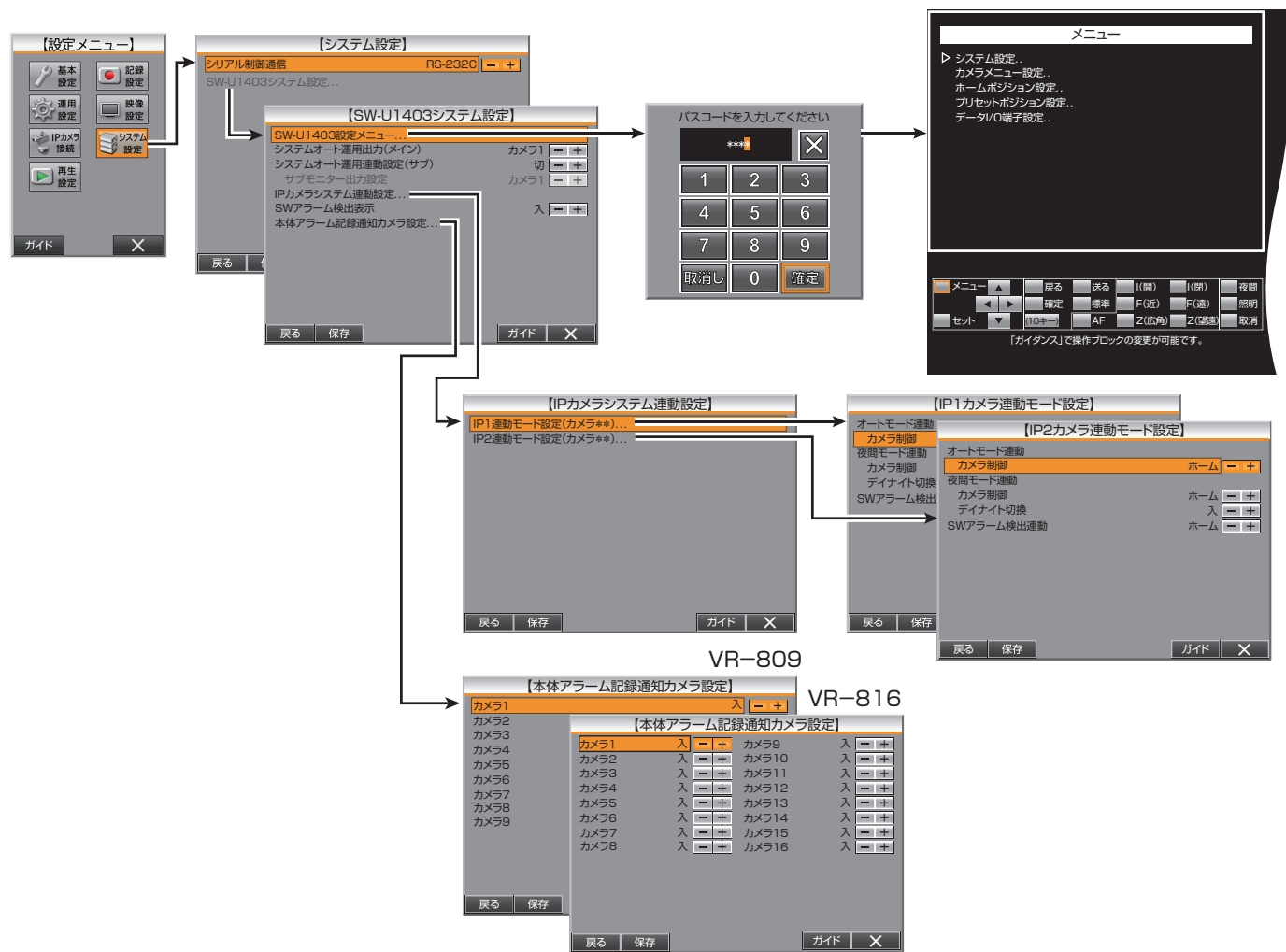




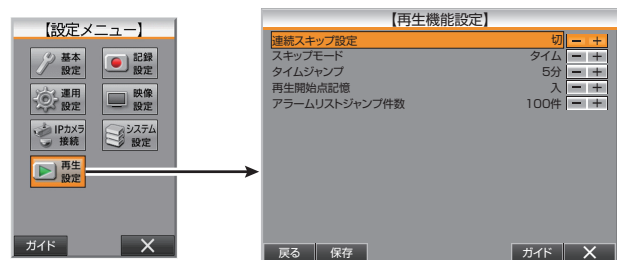
日時設定



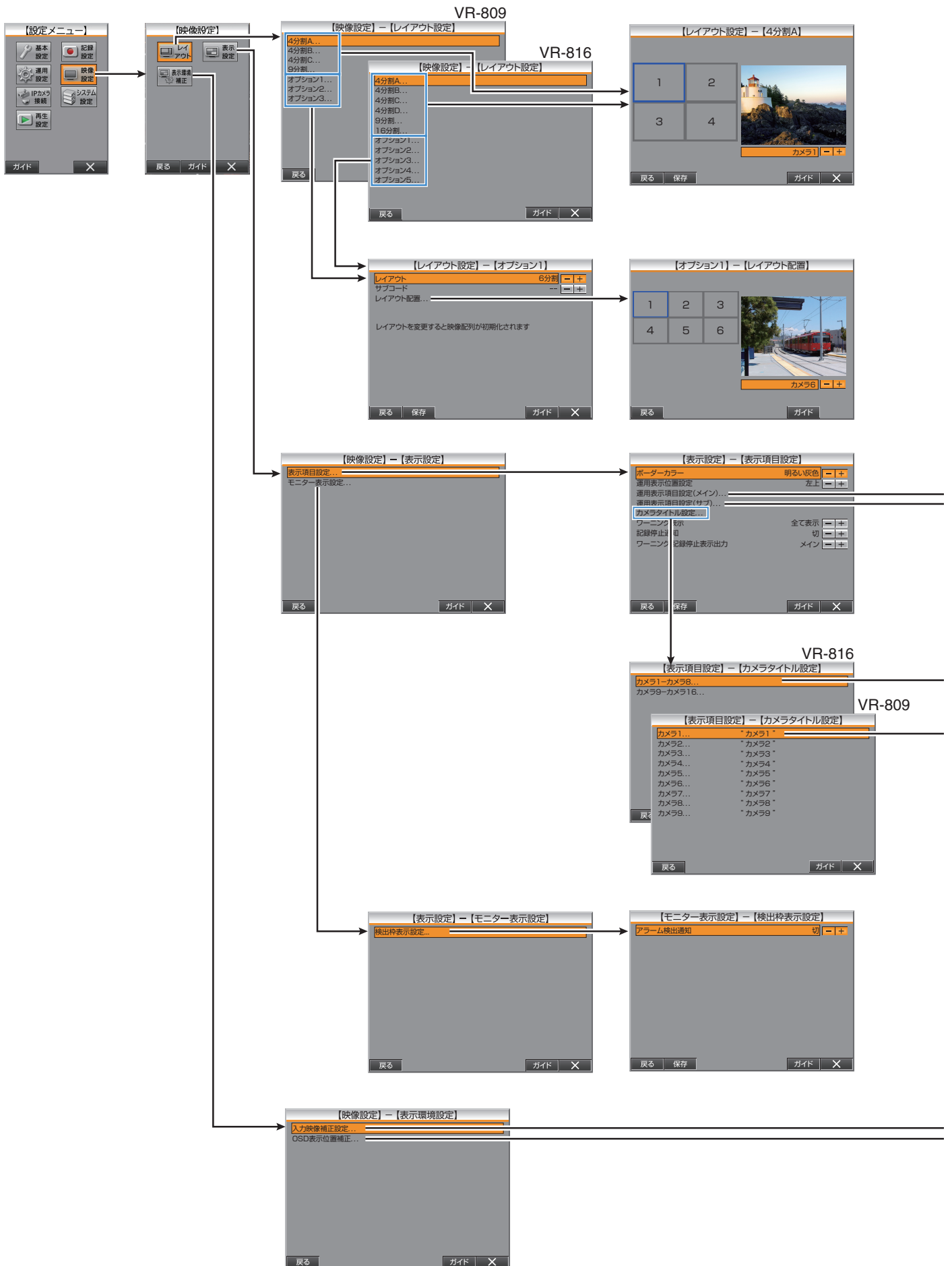
システム設定

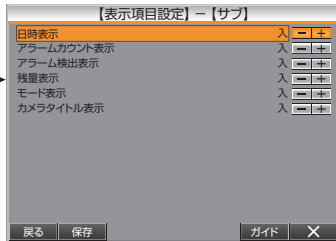
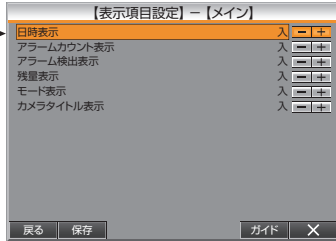


再生設定

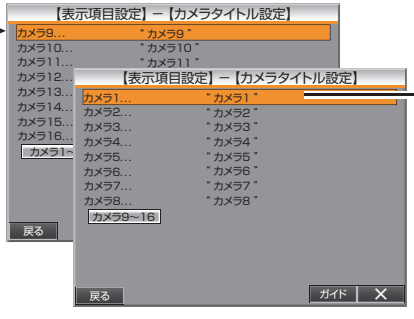


映像設定

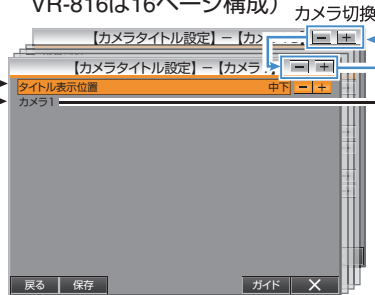




VR-816

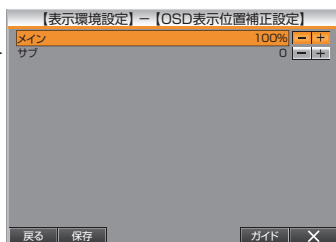
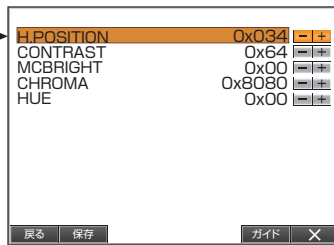
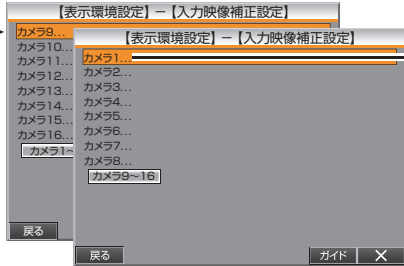


※カメラごとに設定
(VR-809は9ページ/
VR-816は16ページ構成)

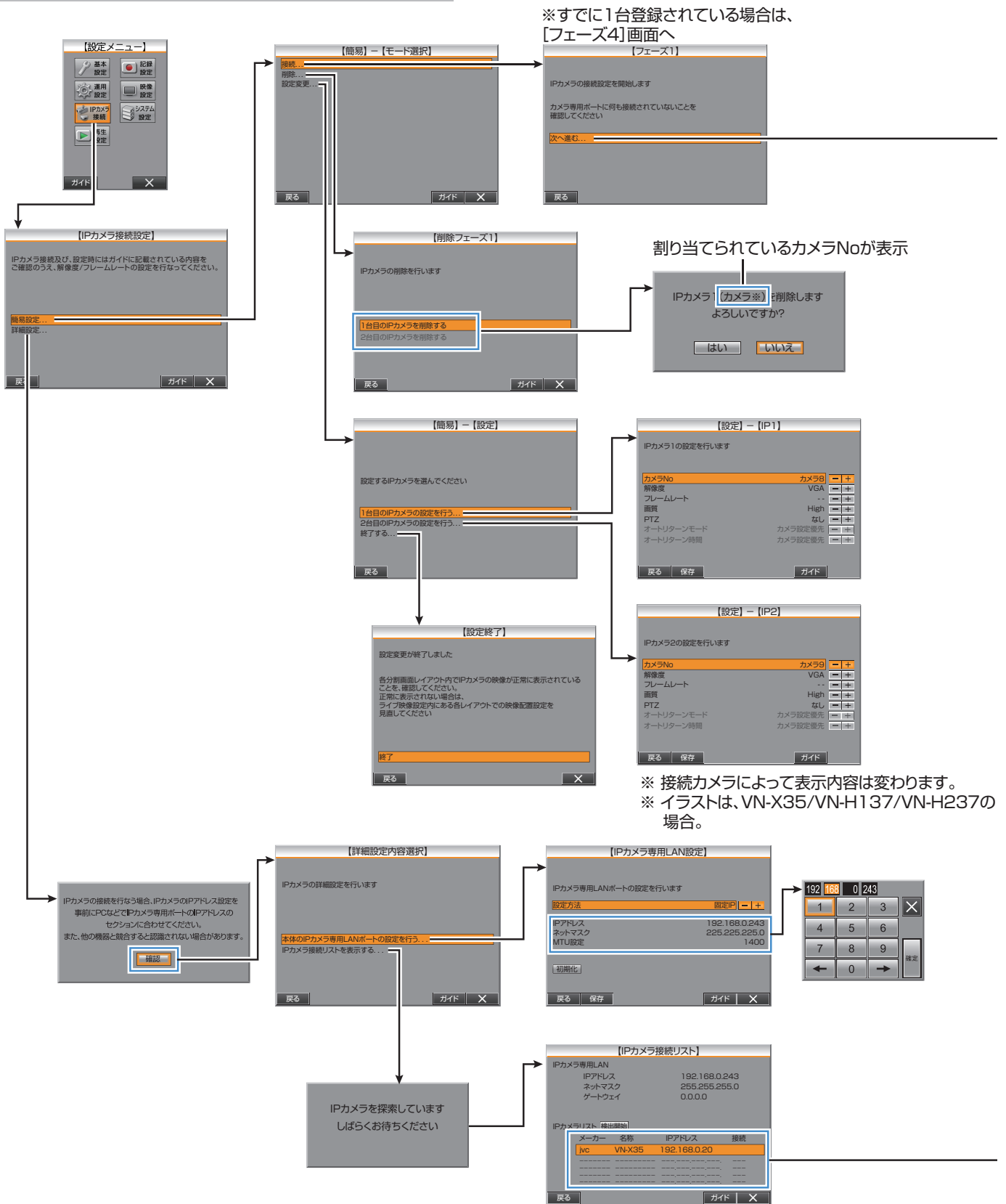


VR-816

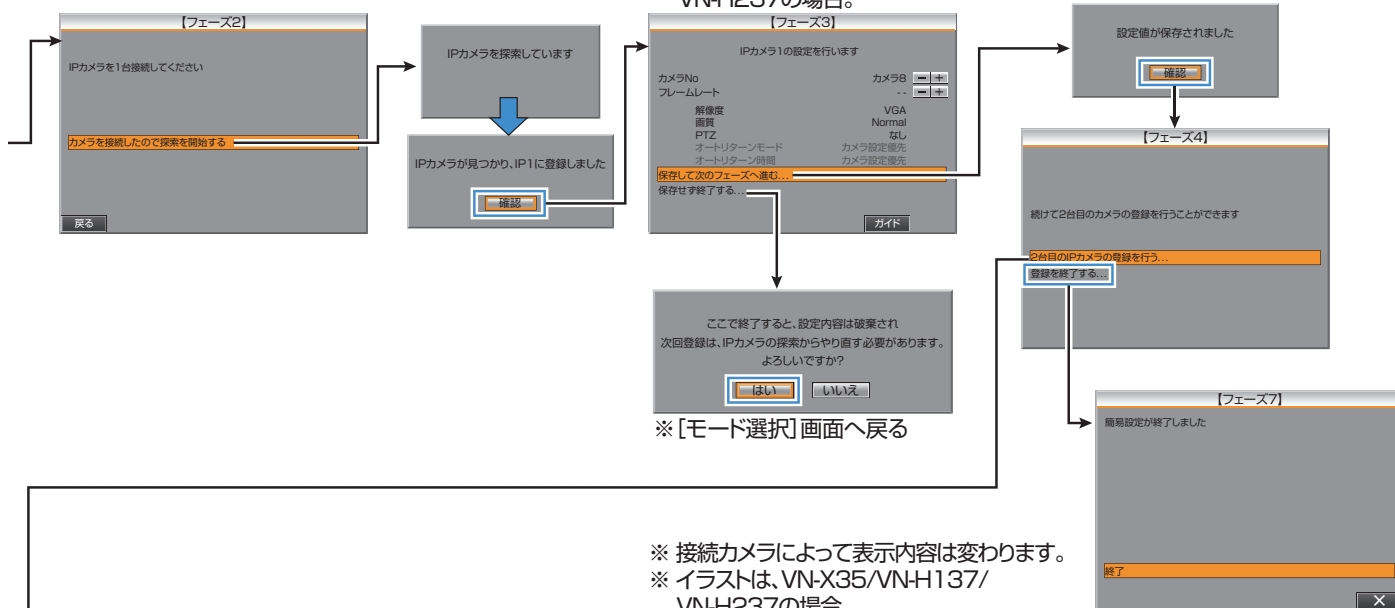
※VR-809は1ページ構成



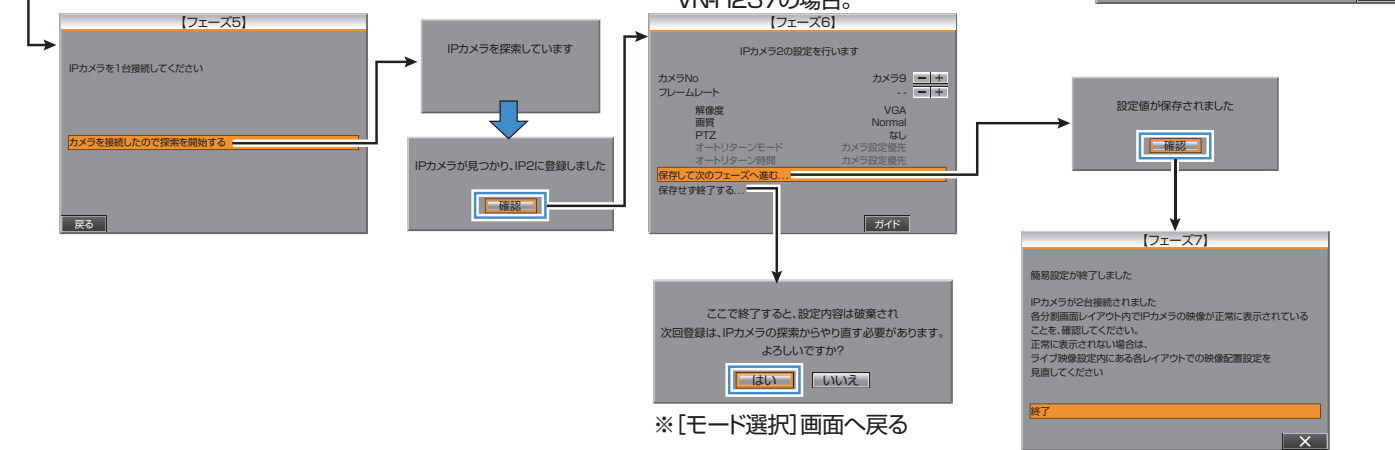
IPカメラ接続



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/
 VN-H237の場合。



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/
 VN-H237の場合。



※ 接続カメラによって表示内容は変わります。
 ※ イラストは、VN-X35/VN-H137/
 VN-H237の場合。

NAS を接続する

NAS コピー設定

記録画像のコピーや自動バックアップに使用する NAS デバイスの設定を行います。

メモ：

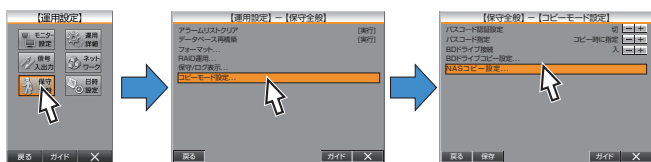
- 接続する NAS は当社の推奨する DELL 製 Power Vault NX300(2,4,6 TB)をご使用ください。
- NAS 本体に関する設定は、本機では行えません。NAS 本体の取扱説明書に従って運用に適切な設定を行なってください。
- 本機と NAS は GbE(ギガビット・イーサネット)を保障された環境で接続してください。
- LAN ケーブルは CAT5e 以上をお使いください。

ご注意：

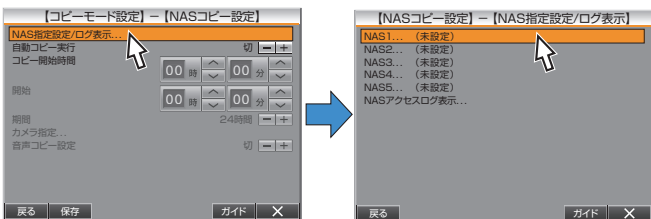
- NAS は登録が 5 台までできますが、1 回のコピーはいずれか 1 台の NAS に対してとなります。
- NAS にコピーされた映像・音声データは本機での再生はできません。HDR Viewer をインストールしたパソコンでのみ再生ができます。
- NAS へのコピー中、HDR Viewer からのファイル再生は実行しないでください。

1 [NAS コピー設定]画面を開く

「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、「設定メニュー」→「運用設定」→「保守全般」→「コピーモード設定」→「NAS コピー設定」の順に開きます。

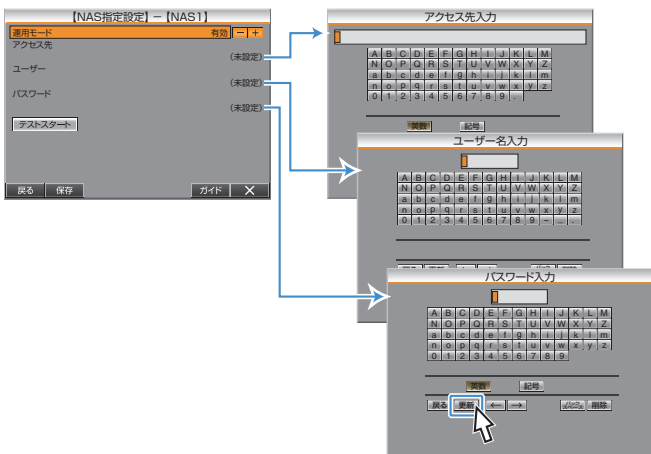


2 [NAS 指定設定]画面を開く



3 [NAS 指定設定]を行う

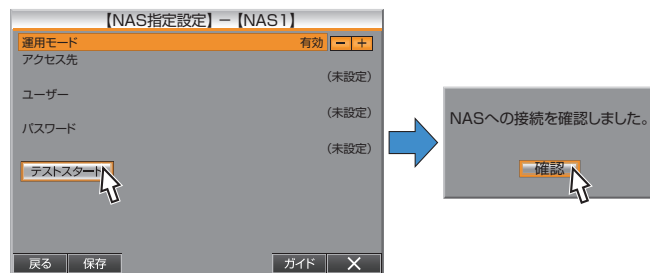
- 運用モードと、NAS1～NAS5 までの設定を行います。
- [アクセス先]、[ユーザー]、[パスワード]の各項目をクリックすると、キーボードが表示されます。任意の文字を入力し、[更新]をクリックして入力を完了します。



項目	内容(初期値:●)
運用モード	NAS 運用をするかどうかを設定します。 [設定値:●無効、有効]
アクセス先	NAS デバイスのアドレスを入力します。 英数字で 46 文字入力可能です。 ※記入例) //192.168.1.100/**** ※必ず先頭に "//"を入力、"****"には NAS 側で設定した共有フォルダー名を入力します。 メモ： • 共有フォルダーにアクセスユーザーを指定していない場合、ユーザー・パスワードは (未設定)のまま認識できます。
ユーザー	使用している NAS デバイスのアカウントを入力します。 英数字で 10 文字入力可能です。
パスワード	使用している NAS デバイスのパスワードを入力します。 英数字で 10 文字入力可能です。

4 NAS の接続を確認する

- [テストスタート]をクリックし、NAS の接続を確認します。
- 接続が成功した場合、「NAS への接続を確認しました。」と表示されます。

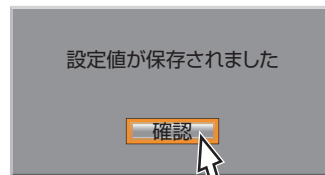


メモ：

- [運用モード]が「無効」に設定されている場合や、各項目で設定されていない項目「(未設定)」がある場合、エラーメッセージが表示されます。各項目の設定を見直してください。
- "NAS が検出できません。設定・接続を見直してください。"と表示された場合、機器が接続されていない・設定が間違っている可能性があります。設定および接続を見直してください。

5 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして、設定を完了します。



内蔵ハードディスクを搭載し RAID 運用する

- ハードディスクユニット(VR-HDD800:別売)を追加搭載することにより、本機で RAID 運用(RAID1/RAID5:VR-816のみ)の記録が可能です。RAID 運用によって、一部のハードディスクが故障しても記録データの安全性を保持することができます。
- VR-809 では追加搭載が 1 台で RAID1 での運用が可能です。VR-816 では追加搭載が 1 台で RAID1 での運用、また追加搭載台数が 2 および 3 台で RAID5 運用が可能となります。
"RAID 運用についてのご注意" (P.68)

ご注意:

- 内蔵ハードディスクドライブの追加搭載・交換・脱着などにつきましては、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
- VR-816 の場合、内蔵ハードディスクが 2 台の場合のみ、RAID1 運用(ミラーリング)ができます。3 台以上の場合 RAID5 運用となり、RAID1 運用(ミラーリング)設定はできません。
- VR-816 で内蔵 HDD を 3 台以上搭載し RAID5 で運用する場合、必ず UPS を接続してシステムを運用してください。
- 以下のときは、RAID 運用は実行できません。
 - 記録中
 - タイマー運用中
 - ハードディスクの動作異常が発生した場合
- RAID 運用の初期化処理実行中に電源を切らないでください。
- ハードディスクの故障による映像・音声データの保障は 1 台までです。RAID 運用を構成したハードディスクが 2 台以上故障した場合は、各データの保障はできません。故障が発生したらすぐにご相談窓口にお問合せください。
- RAID 運用開始操作による初期化中と RAID 運用解除操作での解除処理中、IP カメラのライブ映像が表示されなくなりますが故障ではありません。各処理が完了すると復帰します。

RAID 運用の開始

1 [RAID 運用]画面を開く

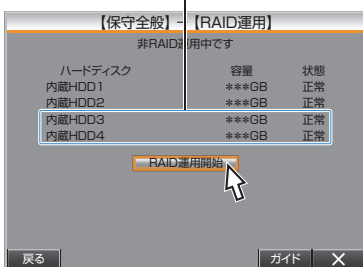
「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[保守全般]→[RAID 運用]の順に開きます。



2 RAID 運用を開始する

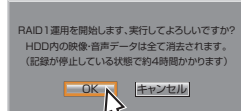
- [RAID 運用開始]をクリックすると確認画面が表示されます。
- [OK]をクリックして実行します。

VR-816 の場合のみ、内蔵HDD3、内蔵HDD4 が表示

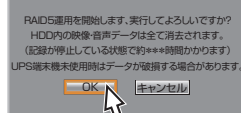


※ご使用の機種および、接続しているハードディスクの状態によって、表示は変わります。

RAID1の場合

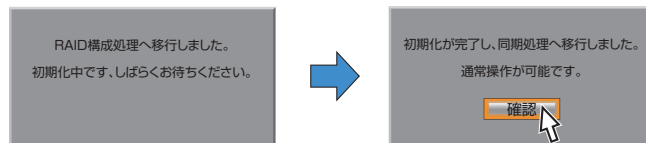


RAID5の場合
(VR-816で内蔵HDDを3台以上搭載の場合)



3 設定を完了する

- RAID 構成処理に移行し、初期化が始まります。
- 初期化が完了すると確認画面が表示されます。
[確認]をクリックすると通常操作が可能となります。



メモ:

- RAID の運用は、内蔵 HDD の状態がすべて "正常"の場合にのみ可能です。
- RAID の構成が完了するまでに、VR-816 で HDD の台数によって約 3 時間~12 時間、VR-809 で約 4 時間かかります。(所要時間はめやすです。運用状態によっては更に時間がかかる場合があります。また所要時間には同期処理も含まれますが、同期処理中は通常操作が可能です。)
- RAID 構成実行中は画面上に進捗状況が表示されます。

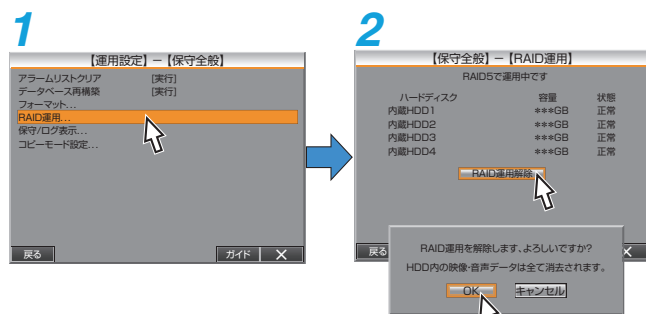


- RAID5 で運用が開始された場合、[運用設定]→[運用詳細]→[UPS 接続確認]が "入" となります。

RAID 運用の解除

ご注意:

- RAID 運用解除の実行中に電源を切らないでください。
- ビルド中またはビルド中の RAID 運用解除は実行できません。
- 異常を検出したハードディスクを接続したまま、RAID 解除を実行し再起動を行うと、起動後ハードディスク再構成画面が表示されます。



※運用中にのみ表示されます。

※ご使用の機種および、接続しているハードディスクの状態によって、表示は変わります。

1 [RAID 運用]画面を開く

「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[保守全般]→[RAID 運用]の順に開きます。

2 RAID 運用を解除する

- [RAID 運用解除]をクリックすると確認画面が表示されます。
- [OK]をクリックすると、RAID 運用解除が実行されます。
- RAID 運用の解除が完了すると、"RAID 運用の解除が完了しました。再起動を行います。異常を検出ハードディスクが接続されている状態で運用を続けると再構成画面を表示する場合があります。"と表示されます。
- [確認]をクリックすると本機が再起動します。

メモ:

- RAID 運用の解除を実行中、"RAID 運用を解除しています、しばらくお待ちください"と表示されます。

内蔵ハードディスクを搭載し RAID 運用する (つづき)

RAID 運用についてのご注意

ご注意:

- RAID 運用を行っても、データの破損が起こらないことを保証することはできません。
- RAID 運用/RAID 運用解除を実行すると、内蔵ハードディスクおよび、外付けハードディスクに記録されたイベントは、すべて消えます。大切なイベント記録はかならず、バックアップをとってください。
- RAID 運用を行うと、記録設定の条件や動作状態によっては、再生時に再生速度が遅くなることや、画像と音声にずれが生じることがあります。記録動作には支障はありません。
- RAID 運用中に停電すると、バックグラウンドでリビルド処理が行われることがあります。リビルド処理が行われているあいだは、記録データの安全性は保持できません。
- 長時間運用したハードディスクを使って RAID 運用する場合、ハードディスクの劣化によって、RAID 構成が失敗することがあります。本機購入時に RAID 設定をしてください。また、RAID の失敗時に "E-02 HDD ERR" と表示された場合、ご相談窓口にお問い合わせください。
- RAID の初期化中に、記録や再生などはできません。
- RAID1 でのハードディスクの容量は、RAID 設定画面で個々のハードディスク容量合計の約 1/2 となります。
- RAID5 でのハードディスクの容量は、RAID 設定画面で個々のハードディスク容量合計の約 2/3 となります。
- RAID5 運用している状態で UPS を使用しないで停電が発生すると、記録データが全て消失する場合があります。RAID5 で運用する場合、必ず UPS を接続してシステムを運用してください。
- RAID 運用が設定されている場合は、内蔵ハードディスクを追加してもハードディスクの再構成画面は表示されません。
- RAID 運用中にハードディスクが 2 台以上故障した場合は、"E-02 HDD ERR" が表示され、記録データが復元できなくなります。

動作環境

■ HDR Player の動作環境

OS	Windows XP Professional SP3 (32 bit) Windows Vista Business SP2 (32 bit or 64 bit) Windows Vista Enterprise SP2 (32 bit or 64 bit) Windows Vista Ultimate SP2 (32 bit or 64 bit) Windows 7 Enterprise SP1 (32 bit or 64 bit) Windows 7 Ultimate SP1 (32 bit or 64 bit) Windows 8.1 (64 bit) Windows 10 Pro (64 bit)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4 GHz 相当以上
メモリー	1 GB 以上
モニター	XGA(1024 × 768 ピクセル)以上必須 SXGA(1280 × 1024 ピクセル)推奨
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 2.0、2.5、3.0、3.5 および、DirectX 9.0 以降 ご注意： <ul style="list-style-type: none"> "アプリケーションを正しく初期化できませんでした (0xc0000135)。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。"とメッセージが表示される場合は、Microsoft .Net Framework がインストールされていない場合があります。Microsoft よりアップデートしてください。Windows 8.1 または 10 の場合は、インターネットに接続し「Windows の機能の有効化または無効化」を使用して Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールしてください。

■ HDR Viewer の動作環境

OS	Windows XP Professional SP3 日本語版 (32bit 版) Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate SP2 日本語版 (32bit 版/64bit 版) Windows 7 Professional/Enterprise/Ultimate SP1 日本語版 (32bit 版/64bit 版) Windows 8.1 日本語版 (64bit 版) Windows 10 Pro 日本語版 (64bit 版)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz 以上
メモリー	32bit 版 OS... 1GB 以上 64bit 版 OS... 2GB 以上
モニター	SXGA(1280 x 1024 ピクセル)以上
HDD	50 MB 以上(インストール領域として) <ul style="list-style-type: none"> 作業領域として、最大 5 GB の空き容量が必要です。 記録画像ファイルの切り出しを行う場合は、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 2.0、2.5、3.0、3.5 および、DirectX 9.0 以降 メモ： <ul style="list-style-type: none"> "アプリケーションを正しく初期化できませんでした (0xc0000135)。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。"とメッセージが表示される場合は、Microsoft .Net Framework がインストールされていない場合があります。Microsoft よりアップデートしてください。Windows 8.1 または 10 の場合は、インターネットに接続し「Windows の機能の有効化または無効化」を使用して Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールしてください。

ご注意：

- 上記の仕様は、添付のビューワーソフト(HDR Viewer)を快適にお使いいただくためのめやすであり、動作保証するものではありません。
- 動作環境条件を満たしているパソコンをお使いの場合でも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

周辺機器とのシステム連携の特長

VR-809/VR-816 の背面にある [RS-232C] 端子と周辺機器 (SW-U1403/SW-2200) を接続し、各設定メニューを変更すること、リモートコントローラーを使ったシステムが構築できます。

また、マウス操作、HDR Viewer を使って遠隔カメラ操作をする場合は、VR-809/VR-816 の背面にある [SW] 端子とシステムコントロールユニット (SW-U1403) の [リモート A] 端子を LAN 用ケーブルで接続することでシステム構築できます。

以下に、接続する機器によって下記のような違いがあります。

○: 操作可能 ×: 操作不可能

	SW-U1403(RS-232C 接続)	SW-2200(RS-232C 接続)	SW-U1403(RS-485 接続)
システム連携の特徴:	<ul style="list-style-type: none"> ● 16 台以下の小規模システム向け ● 主に連続記録で運用するシステム向け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 16 台以上の中規模～大規模システム向け ● 主にアラーム記録(プリセットポジション)で運用するシステム向け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 16 台以下の小規模カメラ操作システム向け ● HDR Viewer を使った遠隔カメラ操作システム向け ● マウス、フロントパネルのボタンでカメラ操作をするシステム向け
RM シリーズリモコンからのカメラ PTZ 操作	○	○	×
RM シリーズリモコンからのモニター切換え	○	○	×
RM シリーズリモコンからの再生操作	○	○	×
RM シリーズリモコンからの周辺機器側の設定変更	○ VR-809/816 側のカメラ 1 ch の映像画面に表示	○ SW-2200 側のモニター 1 出力に表示	×
RM シリーズリモコンからの夜間ボタンとタイマープログラム連動	○ 運用 B モード、または、プログラムタイマー ※SW/VR 側の設定メニューを変更してください。	○ 運用 B モード、または、プログラムタイマー ※SW/VR 側の設定メニューを変更してください。	×
SW-U1403 のリア端子アラーム検出による記録開始	×	-	-
カメラアラーム検出による記録開始	×	○ SW-2200 側の[AUX CONTROL]端子と接続	○ ※SW-U1403 側のリア端子、接続カメラで検出したカメラアラームに連動
外部アラームコマンド経由でのアラーム記録開始	-	○ SW-2200 側の[AUX CONTROL]端子と接続 ※TZ-6501 との連動可	-
アラーム検出時の画面ポップアップ操作	○ ※SW-U1403 側のアラーム優先、マニュアル優先設定に連動	○ ※SW-U1403 側のアラーム優先、マニュアル優先設定に連動	○ ※SW-U1403 側のアラーム優先、マニュアル優先設定に連動
マウス、フロントパネルのボタンによるカメラ PTZ 操作	×	×	○
HDR Viewer 経由によるカメラ PTZ 操作	×	×	○
マウス、フロントパネルのボタン操作による周辺機器側の設定変更	×	×	○
マウス、フロントパネルのボタン操作によるオート(メイン)、夜間モード連動	×	×	○

SW-U1403/SW-2200 の接続設定

本機とシステムコントロールユニット(SW-U1403 もしくは SW-2200)を接続する場合、本機側とシステムコントロールユニット両方のメニュー設定が必要です。

"SW-U1403 のメニュー設定" (※ P.71)

"SW-2200 のメニュー設定" (※ P.71)

"システム接続設定をする (VR-809/VR-816 の設定)" (※ P.27)

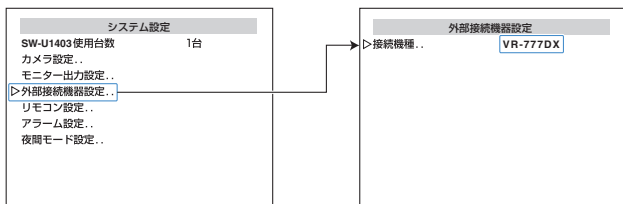
メモ :

- 本機と RS-232C 接続するシステムで、SW-U1403 および SW-2200 の設定を変更する場合、SW-U1403 および SW-2200 のビデオ出力にモニターを接続する必要があります。

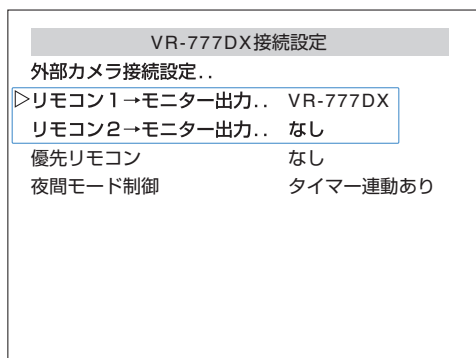
SW-U1403 のメニュー設定

SW-U1403 を接続したシステムを使用する場合、リモートコントロールユニット(RM-P1000)を使用して SW-U1403 のメニュー設定を行います。

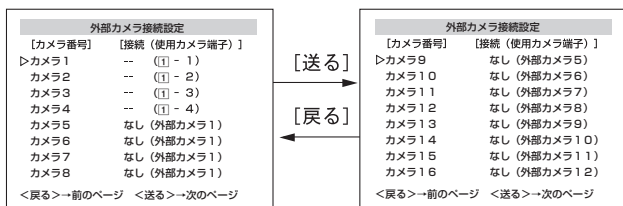
- 1 メニューを起動させ、[接続機種] を "VR-777DX" に設定する
[メニュー] → [システム設定] → [外部接続機器設定] → [接続機種] を "VR-777DX" に設定します。



- 2 [リモコン1→モニター出力.] を "VR-777DX"、[リモコン2→モニター出力.] を "なし" に設定する



- 3 SW-U1403 の使用台数と VR-809 の入力カメラ台数が異なる場合は、[外部カメラ接続設定]を設定する



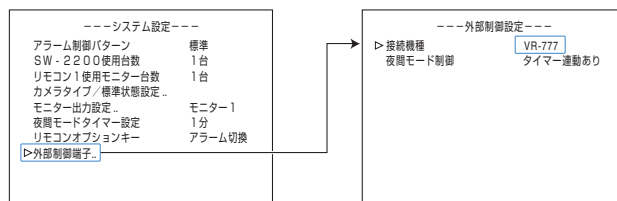
メモ :

- メニュー操作の詳細につきましては、RM-P1000 の [取扱説明書] をご覧ください。

SW-2200 のメニュー設定

SW-2200 を接続したシステムを使用する場合、リモートコントロールユニット(RM-P2200 または RM-P3000)を使用して SW-2200 のメニュー設定を行います。

- 1 メニューを起動させ、[接続機種] を "VR-777" に設定する
[メニュー] → [システム設定] → [外部制御設定] → [接続機種] を "VR-777" に設定します。



メモ :

- メニュー操作の詳細につきましては、RM-P2200/RM-P3000 の [取扱説明書] をご覧ください。

SW-U1403 システム (RS-485 接続) の設定手順

システムコントロールユニット SW-U1403 を使ったシステムをはじめて組んだ場合やカメラを入れ換えた場合、SW-U1403 のメニューによって各ポジションの設定やタイトル設定を行います。

下記設定手順の流れに従い設定してください。

メモ：

- SW-U1403 のメニューでは、"VR-809/VR-816"に関する記述が"VR-516C"と表示されます。"VR-516C"と表示されているところは"VR-809/VR-816"に置き換えてお読みください。

Step 1	VR-809/VR-816 の SW-U1403 システム設定 "本機の SW-U1403 システム設定" (P.96) 本機側のメニュー設定を行います。 以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> システムオート運用出力(メイン) システムオート運用連動設定(サブ) サブモニター出力設定 SW アラーム検出表示 本体アラーム記録通知カメラ
--------	---

Step 2	SW-U1403 側のメニューでの設定 "SW-U1403 システム設定" (P.78) SW-U1403 側のメニュー設定を行ないます。 SW-U1403 側のメニュー画面を起動し、本システムを使用するために、以下の項目を設定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ システムに関する設定 <ul style="list-style-type: none"> SW-U1403 使用台数 オートリターン動作時間 外部接続機器設定(必ず "VR-516C" に設定) <ul style="list-style-type: none"> 外部カメラ接続設定 優先リモコン(必ず "VR-516C: モニタ" に設定) 夜間モード制御 アラーム設定 <ul style="list-style-type: none"> アラーム戻り時間 夜間モード設定 <ul style="list-style-type: none"> 実行ディレイタイマー設定 カメラ夜間標準動作 ■ 接続カメラに関する設定 アナログのコンビネーションカメラを使用している場合、以下の項目を設定する必要があります。 カメラ設定 <ul style="list-style-type: none"> カメラケーブル設定 カメラタイプ/標準状態設定 ※ [カメラ設定] は確実にこなしてください。設定を誤ると、映像が出力されない場合があります。
--------	--

Step 3	IP カメラに関する設定 コンビネーションカメラおよびデジタル PTZ 可能な IP カメラを使用する場合、下記項目の設定が必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> IP カメラ詳細設定 <ul style="list-style-type: none"> PTZ オートリターンモード オートリターン時間 "IP カメラの接続について: 詳細設定を行う" (P.35) IP カメラ連動モード設定 <ul style="list-style-type: none"> オートモード連動 夜間モード連動 SW アラーム検出連動 "本機の SW-U1403 システム設定: IP カメラシステム連動設定を行う" (P.97)
--------	--

Step 4	カメラタイトルの設定 "カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定" (P.87) 全接続カメラのカメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定します。 設定は、カメラメニュー画面で行います。
--------	---

Step 5	ホームポジション設定 "ホームポジションを設定する" (P.88) ※ 必要に応じて行います 全接続カメラのホームポジションを設定します。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> IP カメラのホームポジションは、カメラとパソコンを直接接続し、カメラ内蔵の Web ブラウザーで設定してください。
--------	--

Step 6	ホームポジションの映像設定 "ホームポジションの映像設定" (P.89) ホームポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定を行います。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、使用しているカメラの [取扱説明書] をご覧ください。
--------	---

Step 7	プリセットポジション設定 "プリセットポジションを設定する" (P.90) ホームポジションとは別に、任意のポジションをプリセットポジションとして設定します。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> IP カメラのプリセットポジションは、カメラとパソコンを直接接続し、カメラ内蔵の Web ブラウザーで設定してください。
--------	---

Step 8	プリセットポジションの映像設定 "プリセットポジションの映像設定" (P.95) ※ 必要に応じて行います プリセットポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定を行います。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、使用しているカメラの [取扱説明書] をご覧ください。
--------	---

Step 9	データ I/O 端子設定 "SW-U1403 のデータ I/O 端子設定" (P.85) ※ 必要に応じて行います SW-U1403 背面の [アラーム入力 A]、[アラーム入力 B] 端子などの設定を行います。
--------	---

本機から SW-U1403 の設定メニューを操作する

システムコントロールユニット(SW-U1403)を使用したシステムでは、本機から SW-U1403 の設定メニューを操作・設定することができます。

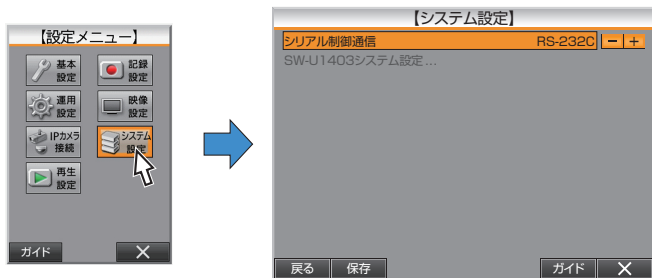
ご注意：

- SW-U1403(システムコントロールユニット)の[リモート A]端子と本機の[IP CAMERA]端子は絶対に接続しないでください。
- VR-809/VR-816 のカメラ入力番号と、SW-U1403 のカメラ番号は必ず一致させてください。一致していない場合は、本機から正しく選択できません。
- VR-809/VR-816 のカメラ入力番号 1 と SW-U1403 のカメラ番号 1 は、SW-U1403 設定メニュー表示で使用するので、必ず接続してください。
- SW-U1403 の代わりとしてカメラコントロールユニット(CCU)を使用する場合、番号が小さいカメラチャンネルは SW-U1403 に接続してください。
- SW-U1403 と IP カメラを混在したシステムの場合、SW-U1403 のカメラ入力番号以外を使い、SW-U1403 側の設定で【外部接続機器設定】「あり」と登録してから使用してください。
- 本機と SW-U1403 の接続には、LAN 用ケーブル(カテゴリー 5 以上、ストレート、100m 以内)を使用してください。

SW-U1403 設定メニューを開く

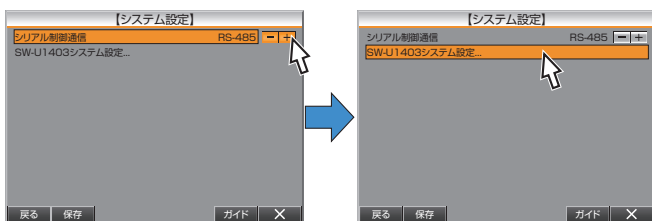
1 [システム設定]画面を開く

「メニュー画面の操作方法」(P.18)に従って、[設定メニュー]→[システム設定]の順に開きます。



2 [シリアル制御通信]項目を "RS-485" に設定し、[SW-U1403 システム設定]画面を開く

- [シリアル制御通信]項目を選択し、[-][+]アイコンで設定値を選択します。
【設定値：●RS-232C、RS-485】(●:初期値)
- [SW-U1403 システム設定]をクリックし、[SW-U1403 システム設定]画面を開きます。

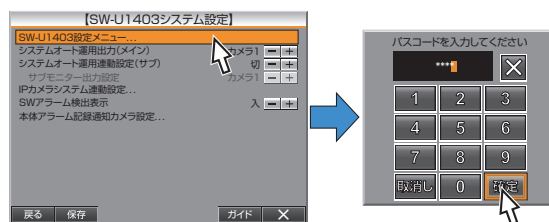


メモ：

- [基本設定 3]→[システム接続設定] または [システム設定]→[シリアル制御通信]が "RS-232C" に設定されている場合、[SW-U1403 システム設定]項目はグレー表示となり選択できません。
"基本設定 3: システム接続設定" (P.26)
"システム接続設定をする: シリアル制御通信" (P.27)

3 [SW-U1403 設定メニュー]項目をクリックする

- パスワード入力画面で "2222" を入力し、[確定] をクリックする
- SW-U1403 設定メニューが開きます。



SW-U1403メインメニュー画面

メモ：

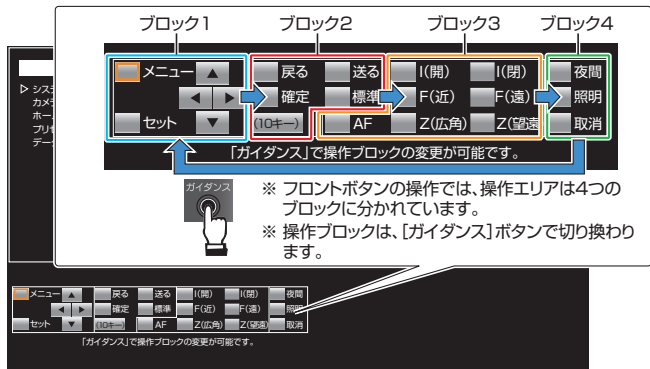
- パスワードが違う場合、"パスコードが違います"と表示され、SW-U1403 設定メニューは表示されません。
- 機器が正しく接続されていない場合、"SW-U1403 との接続が確認できません"と表示されます。

フロントボタンでSW-U1403のメニューを操作する

SW-U1403 システムメニューを起動したとき、[メニュー] ボタンが選択されています。

■ ブロックの選択

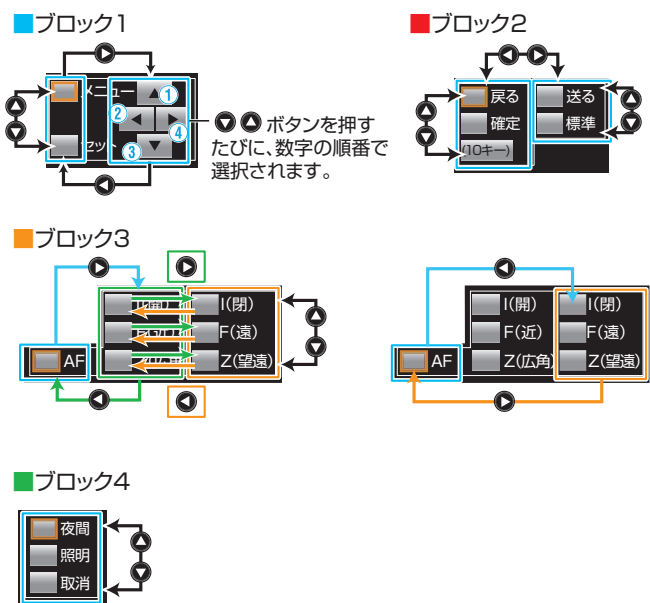
各ボタンは、4つのブロックに分かれており、[ガイダンス] ボタンを押し、操作ブロックを切り換えます。



SW-U1403メインメニュー画面

■ 操作ブロック内の操作

操作ブロック内では、▲▼/◀▶ ボタンで各ボタンを選択し、[決定/メニュー] ボタンを押します。



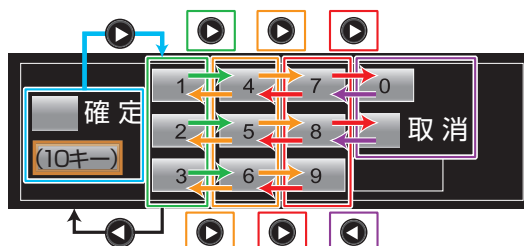
[10キー] ボタンを操作する

- [10キー] ボタンをクリックする(フロントパネルの場合は、選択して[メニュー/決定] ボタンを押す)と、テンキーが表示されます。
- テンキーを操作した結果が、入力番号表示部に表示されます。(入力桁数は4桁まで)
- 10キー入力モードへの移行直後または、[確定] ボタンをクリックされると、入力番号表示部は消えた状態となります。
- [取消] ボタンをクリックすると、入力番号表示部に表示された番号がすべて消去されます。
- 10キー入力モードを終了し、元の表示に戻すには、下記の操作を行います。
 - [10キー] が選択された状態(オレンジ色)で、[10キー] ボタンをクリックする。
 - フロントパネルの[キャンセル/戻る] ボタンを押す。
 - [10キー] が選択された状態(オレンジ色)で、フロントパネルの[決定/メニュー] ボタンを押す。

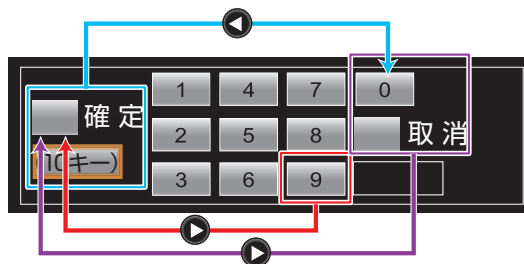


10キー入力モード画面 入力番号表示部

■ フロントボタンでのキー操作

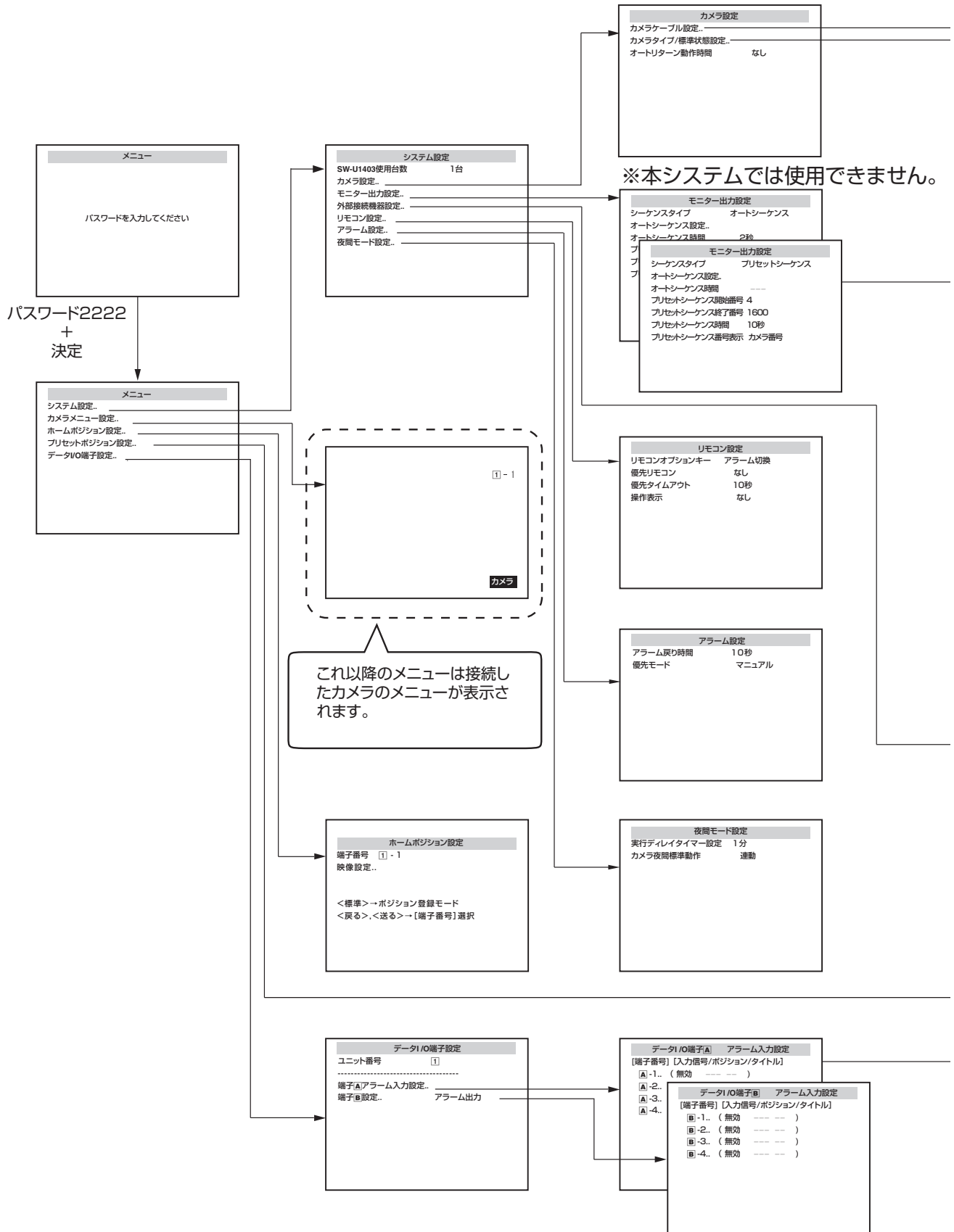


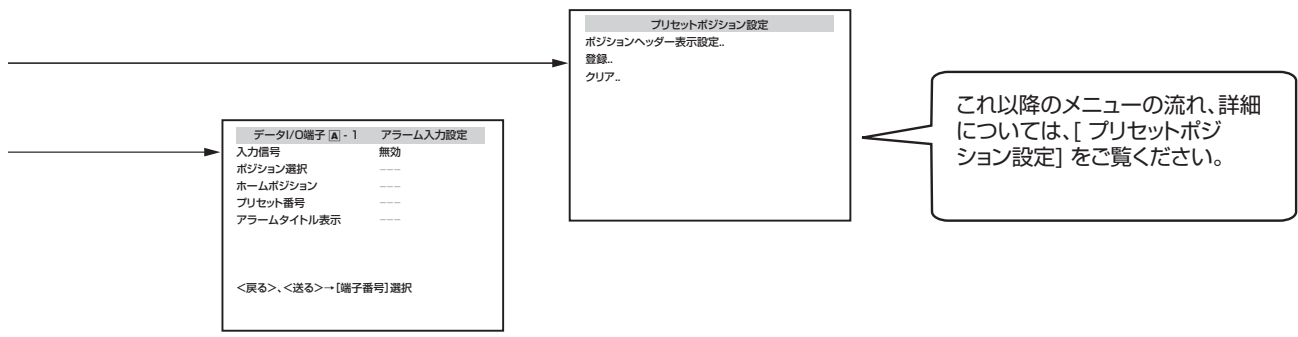
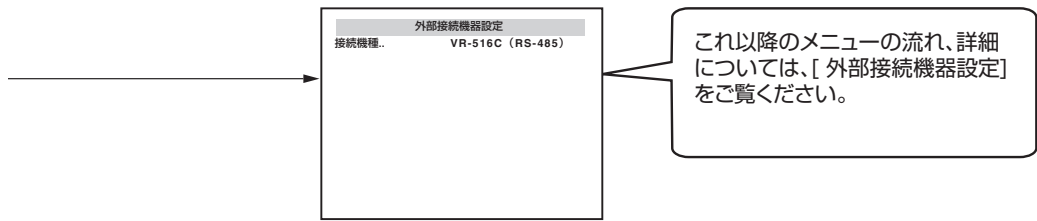
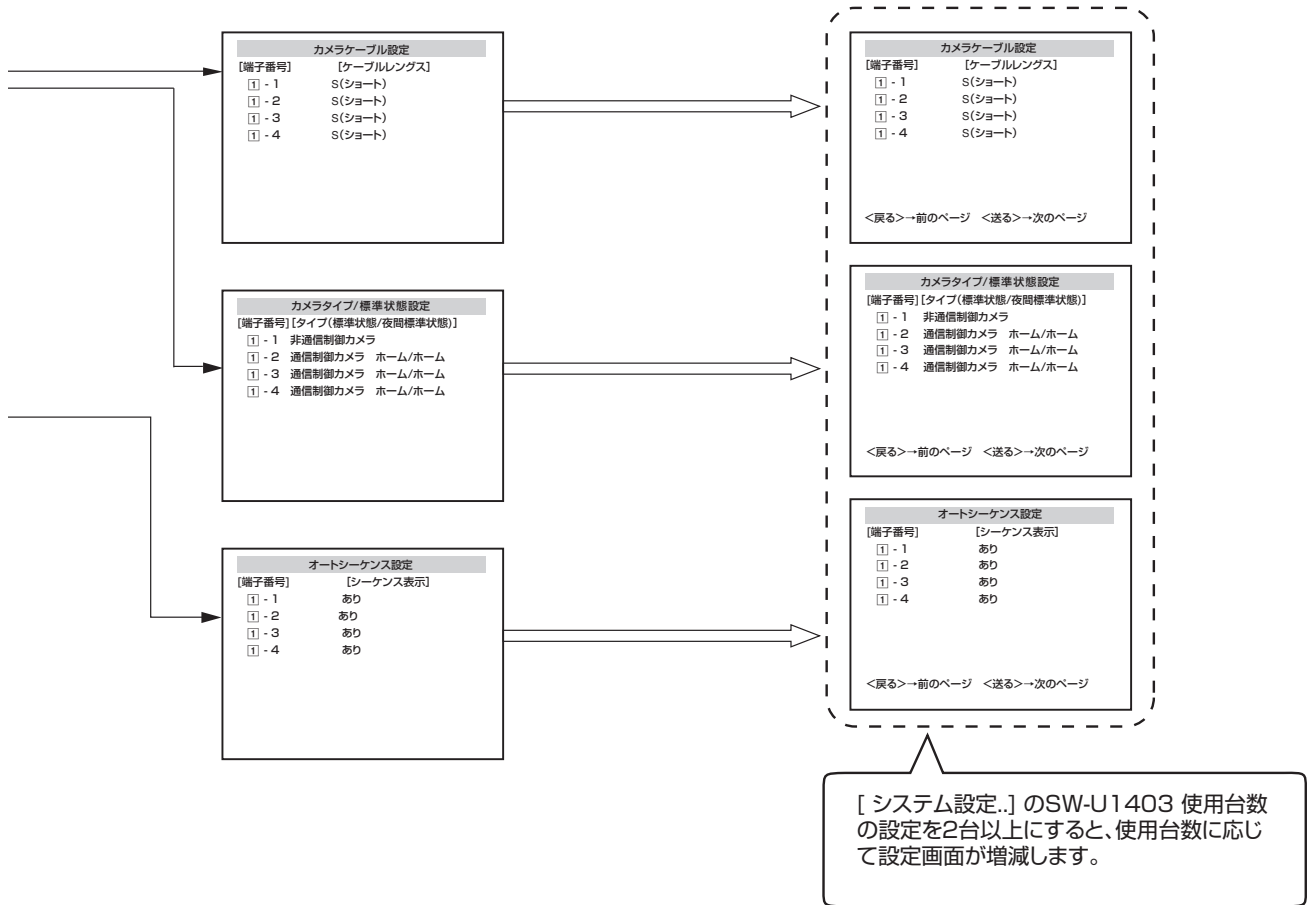
※ 各グループ内で、▲▼ ボタンを押すと、フォーカスを移動できます。



※ 各グループ内で、▲▼ ボタンを押すと、フォーカスを移動できます。

SW-U1403のメニュー画面の流れ





SW-U1403 システム設定

本システムに関する設定(SW-U1403 使用台数の設定、カメラ設定、モニター出力設定、外部接続機器の設定、アラーム設定など)を行います。

SW-U1403 使用台数

● は工場出荷時の値です。

項目	内容(●:初期値)
SW-U1403 使用台数	システムに組み込む SW-U1403 の台数を設定します。 [設定値: ●1 台~4 台]

カメラ設定

カメラに関する設定を行います。

項目	内容(●:初期値)
カメラケーブル設定[端子番号] <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> 1-1 ~ 1-4 ↓ 4-1 ~ 4-4 </div> </div>	カメラと SW-U1403 を接続するケーブル長を設定します。 正しく設定しないと、カメラが正常に動作しない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ● S(ショート): 0m~100m(3C-2V)、0m~150m(5C-2V、5C-FB)、0m~180m(7C-2V) のケーブル ● M(ミドル): 100m~200m(3C-2V)、150m~300m(5C-2V、5CFB)、180m~360m(7C-2V) のケーブル ● L(ロング): 300m~500m(5C-2V)、360m~500m(7C-2V) のケーブル [設定値: ● S(ショート)、M(ミドル)、L(ロング)] メモ: <ul style="list-style-type: none"> ● [カメラケーブル設定..] 画面は複数ページで構成されており、SW-U1403 の接続台数に応じて設定ページ数が増減します。SW-U1403、1 台につき 1 ページ(最大 4 ページ)。

項目	内容(●:初期値)												
カメラタイプ/標準状態設定	<p>SW-U1403 のカメラ信号入力端子に接続されたカメラの下記 3 点に関する設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラのタイプ オート(標準)状態の動作 夜間モード時の動作 <p>● 接続なし: カメラを接続しない場合に設定します。この設定にすると、手動選択も、オートシーケンス時の選択も行いません。</p> <p>● 非通信制御カメラ: 同軸多重通信制御しないカメラの場合に設定します。</p> <p>● 通信制御カメラ ホーム/ホーム: 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)で、標準状態を "ホームポジション"、夜間モード時標準状態を "ホームポジション" に設定します。</p> <p>● 通信制御カメラ オートパン/ホーム: 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)で、標準状態を "オートパン"、夜間モード時標準状態を "ホームポジション" に設定します。</p> <p>● 通信制御カメラ オートパン/オートパン: 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)で、標準状態を "オートパン"、夜間モード時標準状態を "オートパン" に設定します。</p> <p>● リレーボックス: 同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態:オートパン OFF、夜間モード時標準状態:オートパン OFF に設定します。</p> <p>● リレーボックス オートパン/---: 同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態:オートパン ON、夜間モード時標準状態:オートパン OFF に設定します。</p> <p>● リレーボックス オートパン/オートパン: 同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態:オートパン ON、夜間モード時標準状態:オートパン ON に設定します。</p> <table border="1" data-bbox="564 880 1209 1099"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>夜間モード OFF 時のカメラの標準状態</th> <th>夜間モード ON 時のカメラの標準状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通信制御カメラ ホーム / ホーム</td> <td>ホーム</td> <td>ホーム</td> </tr> <tr> <td>通信制御カメラ オートパン / ホーム</td> <td>オートパン</td> <td>ホーム</td> </tr> <tr> <td>通信制御カメラ オートパン / オートパン</td> <td>オートパン</td> <td>オートパン</td> </tr> </tbody> </table> <p>[設定値: 接続なし、● 非通信制御カメラ、通信制御カメラ ホーム/ホーム、通信制御カメラ オートパン/ホーム、通信制御カメラ オートパン/オートパン、リレーボックス、リレーボックス オートパン/---、リレーボックス オートパン/オートパン]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 本項目は、すべての端子について設定してください。 TK-S576B、TK-S655、TK-S685、TK-S686B、TK-S686WPB、TK-S850 は通信制御カメラです。 TK-S850 はオートパン機能がありません。 必ず [通信制御カメラ ホーム/ホーム] に設定してください。 オートパンについては、カメラにオートパン機能が無い場合でも選択できますが、正しく動作しません。 <p>ご注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> [夜間モード設定..][カメラ夜間標準動作]項目が "連動"、夜間モード設定 (P.82)、[カメラタイプ/標準状態設定] の標準状態が "オートパン" に設定されている場合、[夜間モード] ボタンを "ON" から "OFF" にすると、カメラはオートパン動作をします。 	設定	夜間モード OFF 時のカメラの標準状態	夜間モード ON 時のカメラの標準状態	通信制御カメラ ホーム / ホーム	ホーム	ホーム	通信制御カメラ オートパン / ホーム	オートパン	ホーム	通信制御カメラ オートパン / オートパン	オートパン	オートパン
設定	夜間モード OFF 時のカメラの標準状態	夜間モード ON 時のカメラの標準状態											
通信制御カメラ ホーム / ホーム	ホーム	ホーム											
通信制御カメラ オートパン / ホーム	オートパン	ホーム											
通信制御カメラ オートパン / オートパン	オートパン	オートパン											
オートリターン動作時間	<p>オートリターンとは: マニュアル操作したカメラを一定時間操作しないと、そのカメラが自動的に、カメラ設定の [カメラタイプ/標準状態設定..] 項目で設定した標準状態に戻る機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> なし: オートリターンは働きません。 1分~60分: オートリターンが動作する時間を設定します。操作しない時間が設定した時間をこえると、オートリターンが働き、カメラが標準状態に戻ります。 [設定値: ● なし、1分、2分、3分、5分、10分、20分、30分、60分] 												

モニター出力設定

モニターのオート(標準)状態時の動作などを設定します。

メモ:

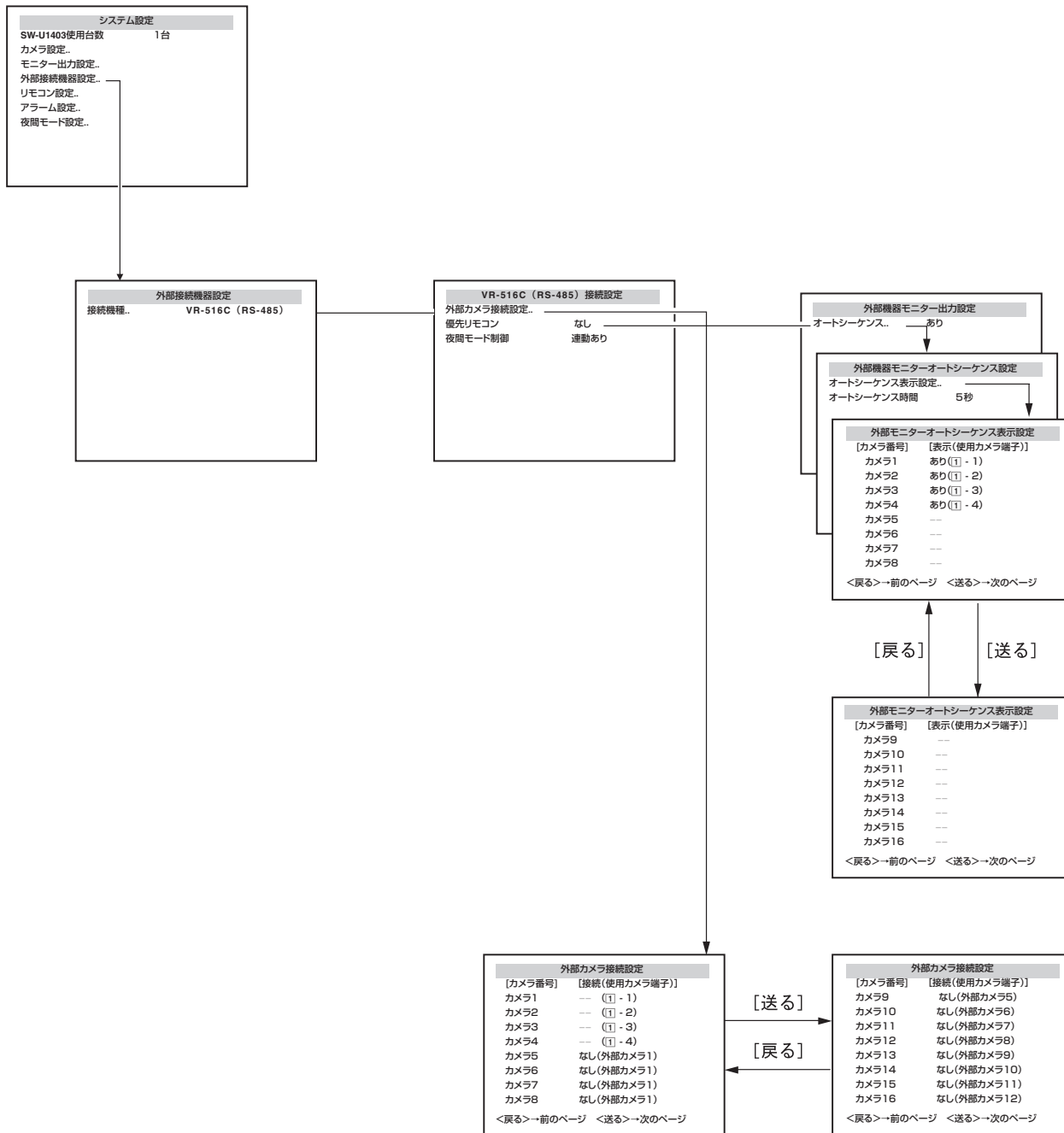
- 本機接続時は、設定は無効です。
- [外部接続機器設定..][接続機種]を "VR-516C(RS-485)" と設定したときのシーケンス動作は、VR-809/VR-816 の設定に従います。

SW-U1403 システム設定 (つづき)

外部接続機器設定

外部に接続する機器の機種を選択します。

■ メニュー画面の流れ



項目	内容(●:初期値)
接続機種	<p>外部に接続する機器の機種を選択します。 選択した機種ごとにサブメニューが表示できます。 [設定値: ● なし、SW-D410、SW-D1600、VR-777DX、VR-509、VR-516(RS-232C)、VR-516C(RS-485)]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機を SW-U1403 システムで運用する場合、必ず下記どちらかに設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> VR-809/VR-816 と SW-U1403 を RS-232C 接続する場合は "VR-516(RS-232C)" を選択してください。 VR-809/VR-816 と SW-U1403 を RS-485 接続する場合は、"VR-516C(RS-485)" を選択してください。

■ VR-516C(RS-485)接続設定

下記内容は、VR-809/VR-816 を RS-485 で接続した場合です。

項目	内容(●:初期値)																																				
外部カメラ接続設定	<p>VR-809/VR-816 のカメラ端子に空きがある場合、SW-U1403 システムで使用しないカメラ番号に、VR-809/VR-816 のカメラ端子を割り付け、外部カメラとしてオートシーケンスの対象にすることができます。 [設定値: ● なし、あり]</p> <p>■ 外部カメラ接続設定画面</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>外部カメラ接続設定</caption> <thead> <tr> <th>カメラ番号</th> <th>接続(使用カメラ端子)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>カメラ1</td><td>— (I)・1)</td></tr> <tr><td>カメラ2</td><td>— (I)・2)</td></tr> <tr><td>カメラ3</td><td>— (I)・3)</td></tr> <tr><td>カメラ4</td><td>— (I)・4)</td></tr> <tr><td>カメラ5</td><td>なし(外部カメラ1)</td></tr> <tr><td>カメラ6</td><td>なし(外部カメラ2)</td></tr> <tr><td>カメラ7</td><td>なし(外部カメラ3)</td></tr> <tr><td>カメラ8</td><td>なし(外部カメラ4)</td></tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>[送る] →</p> <p>← [戻る]</p> </div> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>外部カメラ接続設定</caption> <thead> <tr> <th>カメラ番号</th> <th>接続(使用カメラ端子)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>カメラ9</td><td>なし(外部カメラ5)</td></tr> <tr><td>カメラ10</td><td>なし(外部カメラ6)</td></tr> <tr><td>カメラ11</td><td>なし(外部カメラ7)</td></tr> <tr><td>カメラ12</td><td>なし(外部カメラ8)</td></tr> <tr><td>カメラ13</td><td>なし(外部カメラ9)</td></tr> <tr><td>カメラ14</td><td>なし(外部カメラ10)</td></tr> <tr><td>カメラ15</td><td>なし(外部カメラ11)</td></tr> <tr><td>カメラ16</td><td>なし(外部カメラ12)</td></tr> </tbody> </table> </div> <p><戻る>←前のページ <送る>→次のページ</p> <hr/> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> システム設定メニューの[SW-U1403 使用台数] で設定されている台数により割り付け可能な外部カメラの台数が変化します。 SW-U1403 使用台数 1 台: 12 台まで設定可能 2 台: 8 台まで設定可能 3 台: 4 台まで設定可能 4 台: 設定不可 外部カメラとして割り付け可能なカメラ番号がない場合は、"外部カメラとして割当可能なカメラ番号がありません(メニューキーで戻ります)"メッセージが表示されます。 外部機器に接続可能なカメラ台数が割り付け可能な空きカメラ番号より少ない場合、不要なカメラ番号の選択肢は "-" 表示となります。 	カメラ番号	接続(使用カメラ端子)	カメラ1	— (I)・1)	カメラ2	— (I)・2)	カメラ3	— (I)・3)	カメラ4	— (I)・4)	カメラ5	なし(外部カメラ1)	カメラ6	なし(外部カメラ2)	カメラ7	なし(外部カメラ3)	カメラ8	なし(外部カメラ4)	カメラ番号	接続(使用カメラ端子)	カメラ9	なし(外部カメラ5)	カメラ10	なし(外部カメラ6)	カメラ11	なし(外部カメラ7)	カメラ12	なし(外部カメラ8)	カメラ13	なし(外部カメラ9)	カメラ14	なし(外部カメラ10)	カメラ15	なし(外部カメラ11)	カメラ16	なし(外部カメラ12)
カメラ番号	接続(使用カメラ端子)																																				
カメラ1	— (I)・1)																																				
カメラ2	— (I)・2)																																				
カメラ3	— (I)・3)																																				
カメラ4	— (I)・4)																																				
カメラ5	なし(外部カメラ1)																																				
カメラ6	なし(外部カメラ2)																																				
カメラ7	なし(外部カメラ3)																																				
カメラ8	なし(外部カメラ4)																																				
カメラ番号	接続(使用カメラ端子)																																				
カメラ9	なし(外部カメラ5)																																				
カメラ10	なし(外部カメラ6)																																				
カメラ11	なし(外部カメラ7)																																				
カメラ12	なし(外部カメラ8)																																				
カメラ13	なし(外部カメラ9)																																				
カメラ14	なし(外部カメラ10)																																				
カメラ15	なし(外部カメラ11)																																				
カメラ16	なし(外部カメラ12)																																				
優先リモコン	<p>制御したいカメラを他のリモコンが操作している場合でも、優先して操作できる優先リモコンを設定します。 [設定値: なし、● リモコン 1、リモコン 2、VR-516C:モニター、VR-516C:スポット]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> "なし"に設定した場合、[アラーム設定]の[優先モード]が "-" となります。 VR-809/VR-816 と RS-485 接続する場合、必ず "VR-516C:モニター"を選択してください。 																																				
夜間モード制御	<p>夜間モードの ON・OFF と、VR-809/VR-816 のタイマー記録・運用切換を連動するかどうかを設定します。 [設定値: 連動なし、● 連動あり]</p>																																				

メモ: _____

- 表示レイアウト、シーケンシャルの設定は、VR-809/VR-816 の設定に従います。

リモコン設定

項目	内容(●:初期値)
リモコンオプションキー	<p>本システムでは使用できない機能です。 必ず "アラーム切換"(初期値のまま)にしてください。 [設定値: ● アラーム切換、割当なし、---]</p>
優先リモコン	<p>本システムでは使用できない機能です。 "-、---"と表示され設定できません。</p>
優先タイムアウト	<p>本システムでは、リモコン間でカメラ操作の取り合いを防ぐために、先にカメラ操作しているリモコンに対してある一定時間の「操作権限」を与えます。 操作権限の切れる時間を設定します。 ただし、優先リモコンが設定されている場合は、優先リモコンの操作が優先となります。 [設定値: ● 10 秒、20 秒、30 秒]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後に操作してからのカウントとなるので、操作し続けている間、操作権限を持ち続けていることとなります。
操作表示	<p>本システムでは使用できない機能です。 必ず "なし"(初期値のまま)にしてください。 [設定値: あり、● なし]</p>

SW-U1403 システム設定 (つづき)

アラーム設定

アラームに関する設定をします。

項目	内容(●:初期値)
アラーム戻り時間	<p>アラーム動作の時間を設定します。 "戻らない"に設定すると、アラームを手動解除するまでアラームは解除されません。 [設定値: 5 秒~10 秒、●15 秒、20 秒、25 秒、30 秒、戻らない]</p> <p>ご注意: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IP カメラの場合、アラーム状態は解除されますが、カメラのポジションを移動することはできません。
優先モード	<p>モニター出力しているカメラをマニュアル操作しているときに、アラームが入った場合の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マニュアル: マニュアル操作中のカメラにアラーム入力があっても、アラーム動作しません。(マニュアル優先) ● アラーム: マニュアル操作中である、なしに関わらずアラームが入ると、アラーム動作となります。(アラーム優先) ● ---: リモコン設定の["リモコン設定" (P.81)]項目が "なし"に設定されている場合に表示されます。"アラーム"と同じ動作をしますが、設定値の変更は行えません。 [設定値: マニュアル、●アラーム、---] <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● "マニュアル"に設定した場合、[リモコン設定]の[リモコンオプション]が "---"の設定になります。

夜間モード設定

夜間モードに関する設定をします。

項目	内容(●:初期値)
実行ディレイタイマー設定	<p>夜間モードボタンを "ON"にしてから、実際に夜間モード(強制白黒切換、強制モーションディテクトなど)に切り換わるまでの時間を設定します。 [設定値: なし、30 秒、●1 分、2 分]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間モードの設定は、カメラ側のメニューで行います。 ● タイマー作動中は夜間モード表示灯が点滅します。
カメラ夜間標準動作	<p>夜間モードの ON/OFF に連動して、カメラを[カメラタイプ/標準状態設定..]で設定した[標準状態]にするかどうか設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非連動: 夜間モードを ON/OFF してもそれぞれの標準状態になりません。 ● 連動: 夜間モードを ON/OFF すると連動してそれぞれの標準状態になります。 [設定値: 非連動、●連動] <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 優先リモコンが設定されている場合、"連動"の動作をできるのは優先リモコンだけです。

ホームポジション設定

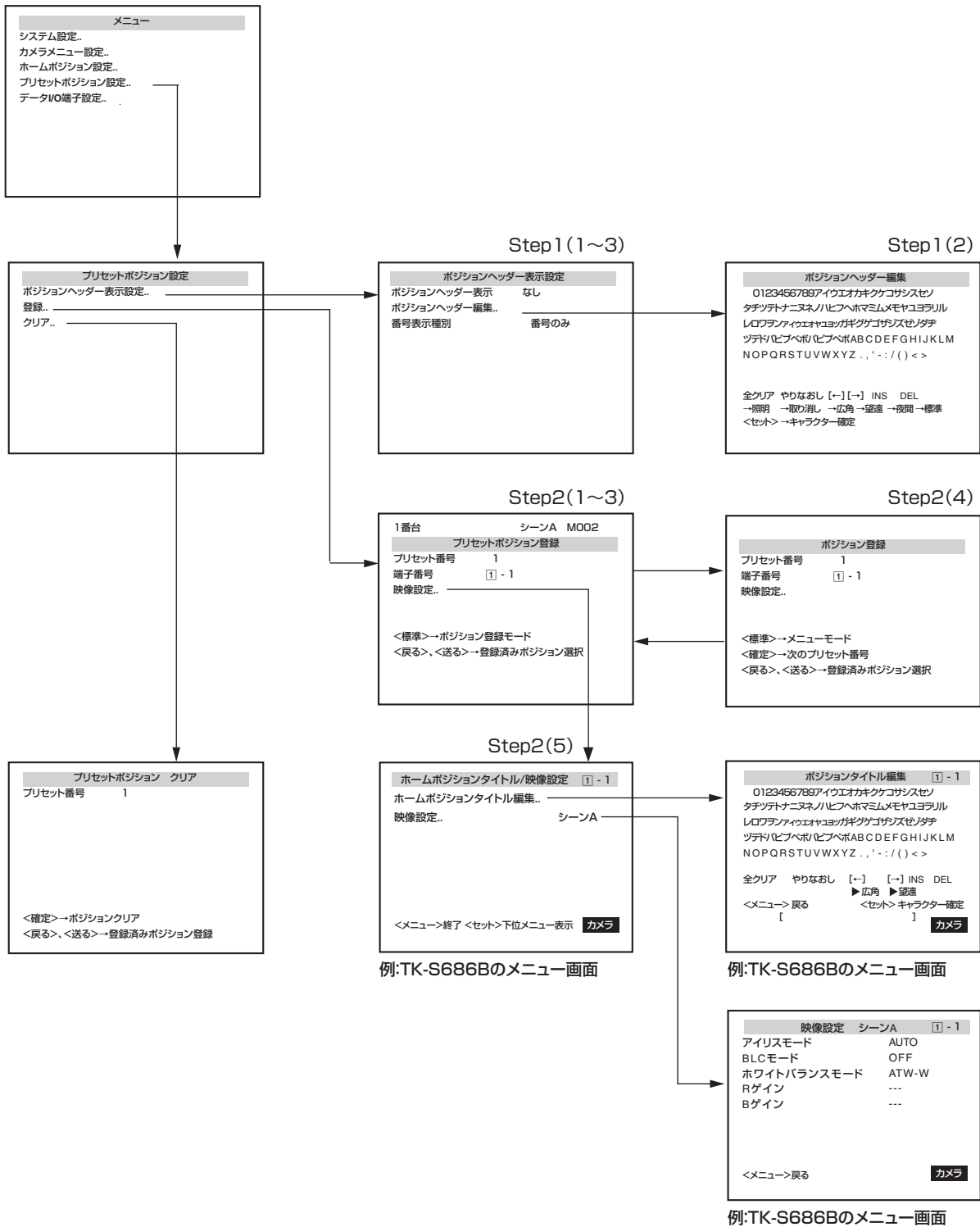
"ホームポジションを設定する" (P.88)

項目	内容
端子番号	<p>ホームポジションを登録するカメラが接続されている端子番号を選びます。 端子番号の選択は[戻る]/[送る] ボタン、テンキーボタン、[パン/チルト] コントロールレバーで行えます。 [設定値: 1-1 ~ 1-4 → 4-1 ~ 4-4]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示されるのは、[カメラタイプ/標準状態設定" (P.79)] で "通信制御カメラ"に設定されたカメラの端子番号のみです。
映像設定	<p>映像カメラのカメラ側メニューを表示します。</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面は、接続カメラの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットポジション設定

"プリセットポジションを設定する" (P.90)

メニューの流れ



プリセットポジション設定(つづき)

ポジションヘッダー表示変更

プリセットポジションのヘッダー表示設定を行います。ポジションヘッダーは全プリセットポジション共通のタイトルです。

項目	内容(●:初期値)
ポジションヘッダー表示	ポジションヘッダーを表示するかどうかの設定を行います。 [設定値: あり、●なし]
ポジションヘッダー編集	表示するタイトルを編集します。 タイトル文字数は最大8文字です。
番号表示種別	表示するプリセットポジション番号に文字を付けることができます。 [設定値: 番台、PO-、NO-、●番号のみ] メモ: _____ ● "番台"は番号の後ろ "PO-"、"NO-"は番号の前に付きます。 (例)77 番台 PO-77、NO.77

登録

プリセットポジションを登録します。

項目	内容(●:初期値)
プリセット番号	ポジション登録するプリセットポジション番号を選択します。 [設定値: ●1~1600] メモ: _____ ● テンキーボタン、[戻る]/[送る] ボタンで設定可能です。 ● 本メニューを起動したときのプリセット番号表示はポジション登録内容により、以下のように異なります。 プリセットポジション未登録時: "1"を表示。 プリセットポジション再登録時:登録されている最も若いプリセット番号を表示。
端子番号	ポジション登録するカメラの接続された端子番号を選択します。
映像設定	接続カメラのカメラ側のメニューを表示します。 [設定値: [1]-1 ~ [1]-4 ⇨ [4]-1 ~ [4]-4] メモ: _____ ● 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。 ● 表示されるのは、「カメラタイプ/標準状態設定」(P.79)で「非通信制御カメラ」、「通信制御カメラ」に設定されたカメラの端子番号のみです。

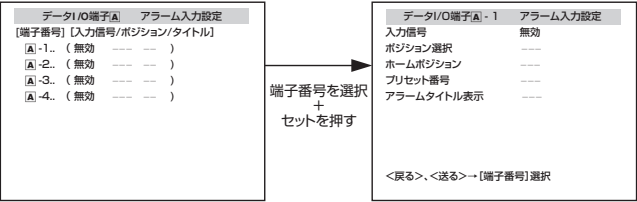
クリア

項目	内容
クリア	登録されたプリセットポジションのデータを、プリセット番号単位で消去します。クリアされたポジションは、ポジション選択することができません。

SW-U1403 のデータ I/O 端子設定

SW-U1403 背面の[アラーム入力A]、[アラーム入力B] 端子などの設定を行います。

端子 A 設定

項目	内容(●:初期値)
ユニット番号	設定を行う SW-U1403 のユニット番号を選択します。 システム設定[SW-U1403 使用台数] 項目で設定されている台数分選択できます。 [設定値: 1 ~ 4] メモ : _____ ● SW-U1403 が 1 台しか接続されていない場合は、1 に固定となり選択できません。
端子 A アラーム入力設定	■ データ I/O 端子 A アラーム設定画面  <p>[設定値: A-1 ~ A-4] メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [入力信号]項目が "無効"に設定されている場合、すべての項目で "--"と表示され選択できません。 ● [入力信号] 項目が "無効" 以外に設定されている場合、ホームポジションは "H: * * *", プリセットポジションは "P: * * *"と表示されます。 ● [カメラタイプ(標準状態設定) "カメラ設定" (P.79) で、"非通信制御カメラ"、"セルフコンテントカメラ"で、アラームタイトル表示あり設定が有効な場合や、登録されていないプリセットポジション番号が設定されていない場合、メニュー画面の右端に "#" が表示され、確認を促します。 ● 選択したポジションが設定されていない場合、メニュー画面の右端に "#"が表示され、確認を促します。
入力信号	アラーム入力信号の極性を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 無効: アラーム信号を入力しても、アラーム状態になりません。 ● メイク: 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったとき、アラームが入ります。 ● ブレイク: 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズからオープンになったとき、アラームが入ります。 [設定値: ● 無効、メイク、ブレイク]
ポジション選択	アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● ホームポジション: アラーム信号の入力があった場合、ホームポジションの映像を出力します。 ● プリセットポジション: アラーム信号の入力があった場合、プリセットポジションの映像を出力します。 [設定値: ● ホームポジション、プリセットポジション]
ホームポジション	アラーム入力時に、映像を切り換えるカメラの番号を設定します。 [設定値: ● 1-1 ~ 1-4 → 4-1 ~ 4-4] メモ : _____ <ul style="list-style-type: none"> ● [ポジション選択] 項目が "プリセットポジション"に設定されている場合、"--"と表示され選択できません。
プリセット番号	アラーム入力時に、映像を切り換えるプリセットポジションの番号を設定します。[セット] ボタンを押すと、選択されたプリセットポジションの映像を見ることができます。 [設定値: ● 1~1600] メモ : _____ <ul style="list-style-type: none"> ● [ポジション選択] 項目が "ホームポジション"に設定されている場合、"--"と表示され選択できません。 ● 設定されている一番若いポジション番号が表示されます。
アラームタイトル表示	アラーム入力時に、モニターに表示するタイトルを設定します。 [設定値: ● なし、アラーム、ALARM、A、トラブル、ドアオープン、ケイホウ、呼出、異常発生、センサー、シンニュー、カメラ編集 1~カメラ編集 10] メモ : _____ <ul style="list-style-type: none"> ● [カメラタイプ(標準状態設定)..]で "通信制御カメラ"に設定されているカメラにのみ有効です。それ以外のカメラの場合は設定しても表示されません。 ● "カメラ編集 1~10"は、カメラ側で設定されたタイトルです。

メモ : _____

- 接点入力の仕様につきましては、SW-U1403 の[取扱説明書]をご覧ください。

SW-U1403 のデータ I/O 端子設定 (つづき)

端子 B 設定

項目	内容(●:初期値)
端子 B 入力設定	<p>SW-U1403 背面の[アラーム入力 B]/出力システムアラーム 1~4] 端子の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> モニター セレクト出力: SW-U1403 のモニター出力に選択されたカメラ番号に対応して信号を出力します。 アラーム出力: アラーム状態となったカメラ番号に対応して信号を出力します。複数のアラームの場合、複数の出力をします。 アラーム入力: アラーム信号の入力端子となります。 [設定値: モニターセレクト出力、●アラーム出力、アラーム入力]
端子 B アラーム入力設定	
— 入力信号	<p>アラーム入力信号の極性を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効: アラーム信号を入力しても、アラーム状態になりません。 メイク: 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったとき、アラームが入ります。 ブレイク: 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズからオープンになったとき、アラームが入ります。 [設定値: ●無効、メイク、ブレイク]
ポジション選択	<p>アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームポジション: アラーム信号の入力があった場合、ホームポジションの映像を出力します。 プリセットポジション: アラーム信号の入力があった場合、プリセットポジションの映像を出力します。 [設定値: ●ホームポジション、プリセットポジション]
ホームポジション	<p>アラーム入力時に、映像を切り換えるカメラの番号を設定します。 [設定値: ●1-1 ~ 1-4 → 4-1 ~ 4-4] メモ: — ● [ポジション選択] 項目が "プリセットポジション" に設定されている場合、"- - -" と表示され選択できません。</p>
プリセット番号	<p>アラーム入力時に、映像を切り換えるプリセットポジションの番号を設定します。[セット] ボタンを押すと、選択されたプリセットポジションの映像を見ることができます。 [設定値: ●1~1600] メモ: — ● [ポジション選択] 項目が "ホームポジション" に設定されている場合、"- - -" と表示され選択できません。 ● 設定されている一番若いポジション番号が表示されます。</p>
アラームタイトル表示	<p>アラーム入力時に、モニターに表示するタイトルを設定します。 [設定値: ●なし、アラーム、ALARM、A、トラブル、ドアオープン、ケイホウ、呼出、異常発生、センサー、シンニュー、カメラ編集 1~カメラ編集 10] メモ: — ● [カメラタイプ/標準状態設定.] で "通信制御カメラ" に設定されているカメラにのみ有効です。それ以外のカメラの場合は設定しても表示されません。 ● "カメラ編集 1~10" は、カメラ側で設定されたタイトルです。</p>

メモ: —

- 接点入力の仕様につきましては、SW-U1403 の [取扱説明書] をご覧ください。

SW-U1403 経由で設定を行う

カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定

- 各カメラと、ホームポジションにタイトルを付けます。
あらかじめ設定することによって、ホームポジションの設定、プリセットポジションの設定などが、スムーズに行えます。
- 本メニューはカメラ側のメニューです。

1 SW-U1403 システムメニュー画面を開く

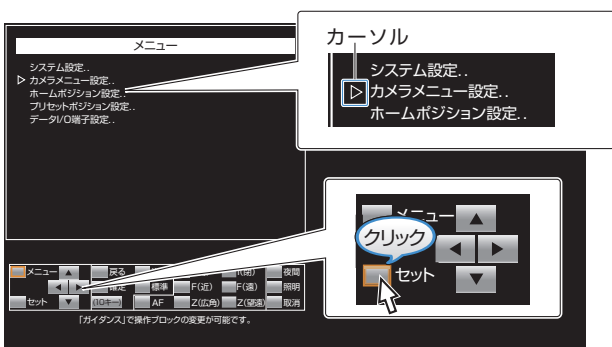
"SW-U1403 設定メニューを開く" (P.73)



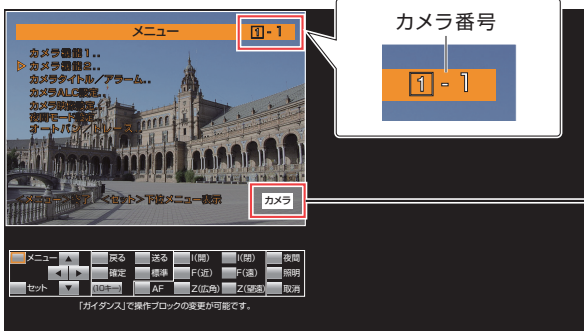
SW-U1403メインメニュー画面

2 ▲/▼ ボタンで[カメラメニュー設定]を選択し、[セット]をクリックする

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に "カメラ"が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



SW-U1403メインメニュー画面

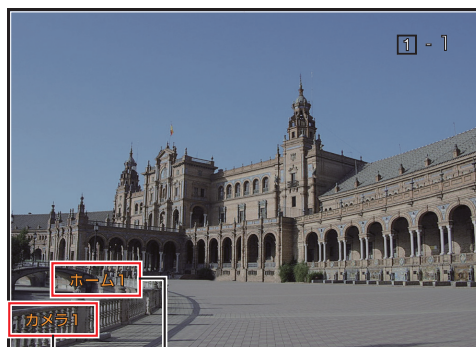


例:TK-S686Bのメニュー画面

点滅表示

3 カメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定する

設定したカメラタイトルおよびホームポジションタイトルは下記のように表示されます。
(カメラタイトル:カメラ 1、ホームポジションタイトル:ホーム 1 に設定した場合の例)



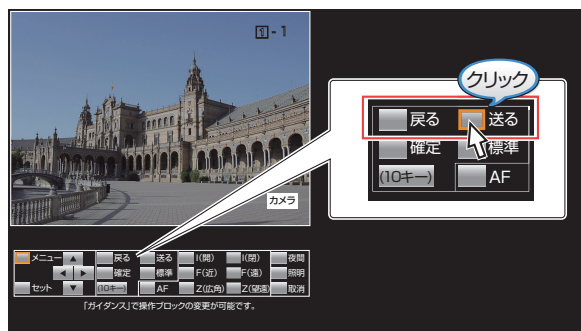
カメラタイトル
ホームポジションタイトル

メモ:

- 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- [システム設定] の[カメラタイプ/標準状態設定]項目で、カメラタイプが"通信制御カメラ"以外に設定されているカメラは選択できません。
"カメラ設定:カメラタイプ/標準状態設定" (P.79)

4 次のカメラのタイトルを設定する

[送る]ボタンをクリックすると、次のカメラの映像に切り替わります。



例:TK-S686Bのメニュー画面

メモ:

- [送る]・[戻る]ボタンをクリックすると、次・前のカメラ映像に切り替わります。
- カメラの最大番号で[送る]ボタンをクリックすると、最小番号のカメラ映像に切り替わります。
- カメラの最小番号で[戻る]ボタンをクリックすると、最大番号のカメラ映像に切り替わります。

SW-U1403 経由で設定を行う (つづき)

ホームポジションを設定する

接続カメラすべてのホームポジションを設定します。

ホームポジションとは:

- オートシーケンス時に表示されるカメラ映像です。
- 一般的にはズーム位置を広角側に設定し、全体が見渡せるポジションに設定します。

■ ホームポジションの登録

1 SW-U1403 システムメニュー画面を開く

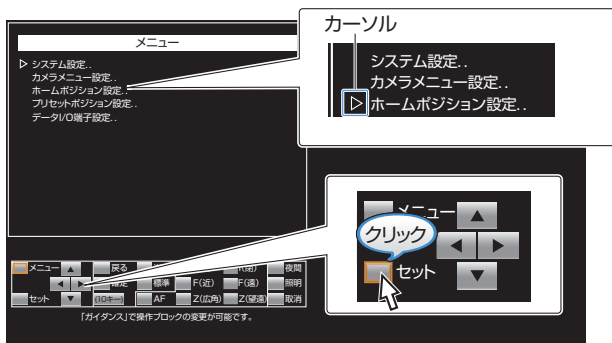
"SW-U1403 設定メニューを開く" (P.73)



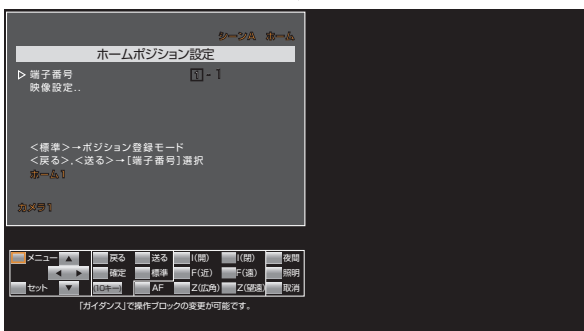
SW-U1403メインメニュー画面

2 ▲/▼ ボタンで [ホームポジション設定] を選択し、[セット] をクリックする

[ホームポジション設定] 画面が表示されます。



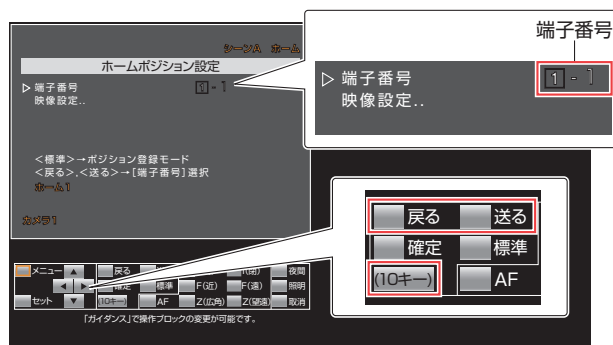
SW-U1403メインメニュー画面



SW-U1403ホームポジション設定画面

3 ホームポジション設定したいカメラの [端子番号] を選択する

- ◀▶ ボタンで設定したいカメラが接続されている端子番号を選択します。
- カメラが切り換わり、選択したカメラの映像が表示されます。



SW-U1403ホームポジション設定画面

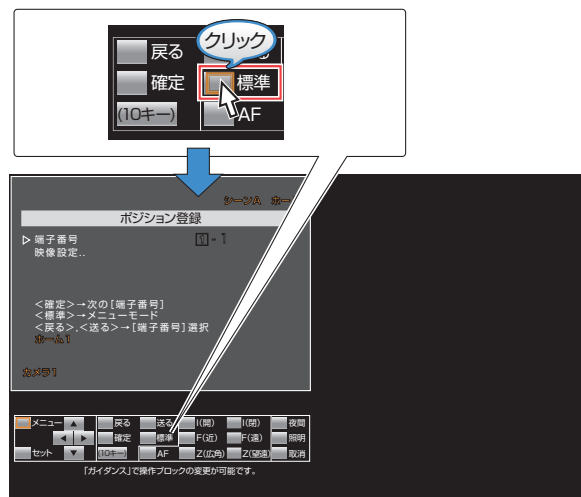
メモ:

- [送る]・[戻る] ボタンでも、端子番号を選択することができます。[送る]・[戻る] ボタンをクリックすると、次・前の端子番号のカメラ映像に切り換わります。
- テンキーボタンでも、端子番号を選択することができます。端子番号 [1]-1 を選択したい場合、テンキーボタンで [1], [0], [1] と入力して [確定] ボタンをクリックします。

"SW-U1403 設定メニューの操作方法: [10 キー] ボタンを操作する" (P.75)

4 [標準] ボタンをクリックする

[ポジション登録] 画面が表示され、ポジション登録モードになります。



SW-U1403ホームポジション登録画面

5 画角を設定する

映像を見ながら、画角の調節を行います。

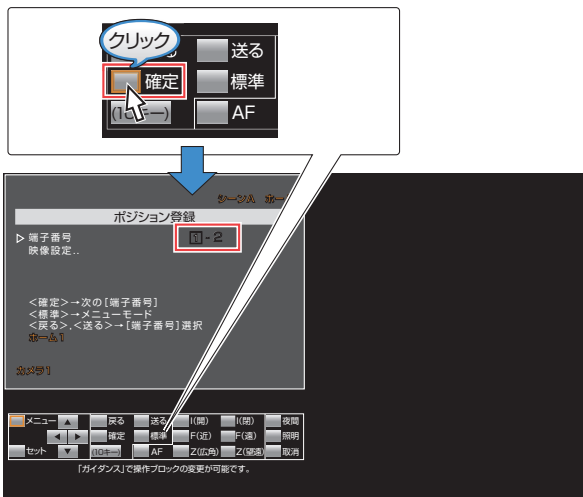
ボタン	調節項目
	カメラの向きを調節します。
	ピントの自動調節を行います。
	ピントを手動で調節します。
	絞りで明るさを調節します。
	映像のサイズを調節します。

メモ：

- ピントは基本的に[AF]ボタンであわせます。あわない場合に、[F(近)]/[F(遠)]で調節してください。

6 [確定]をクリックし、ホームポジションを登録する

- 画角の設定が終了したら[確定]をクリックします。画面に"ホームポジションを設定しました"と表示され、ホームポジションが登録されます。
- [端子番号]および映像が次のカメラに切り換わります。



SW-U1403ホームポジション登録画面

メモ：

- [戻る]・[送る]ボタンをクリックしても同様にポジションを設定することができます。
- [標準]ボタンをクリックしてもポジションが登録できますが、この場合、ポジションが登録されたあと、手順2の[ホームポジション設定]画面に戻ります。
- [メニュー]ボタンをクリックすると、上位メニュー画面に戻ります。

ご注意：

- パン/チルト操作をしながら[確定]ボタンをクリックすると、"範囲外のポジション(チルト)"と表示されることがあります。この表示が出た場合、ホームポジションは登録されていません。パン/チルト操作を停止して、再度[確定]ボタンをクリックしポジションを登録してください。

7 手順5,6を繰り返し、すべてのホームポジションを登録する

ホームポジションの映像設定

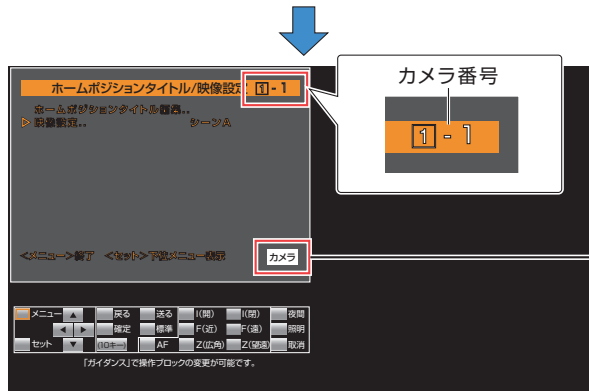
必要に応じて細かい映像の設定を行います。

1 [ホームポジション設定]画面で[映像設定]項目を選択する

- ▲/▼ボタンで[映像設定]を選択し、[セット]をクリックします。
- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に"カメラ"が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



SW-U1403ホームポジション設定画面



例:TK-S686Bのメニュー画面

点滅表示

2 映像設定をする

必要に応じて細かい映像の設定を行います。

メモ：

- 使用しているカメラによって表示されるメニューおよびメニューの流れなどが異なります。詳しくは、カメラの[取扱説明書]をご覧ください。

SW-U1403 経由で設定を行う (つづき)

プリセットポジションを設定する

接続カメラのプリセットポジションを設定します。

プリセットポジションとは:

- カメラごとに、プリセットポジションを登録することができます。登録できるポジション数は、使用するカメラによって異なります。詳細は使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- 一般的にプリセットポジションは、ズーム位置を望遠側に設定し、詳細な映像を監視する位置に設定します。

プリセットポジション設定手順

Step 1	ポジションヘッダー設定 全プリセットポジションの共通タイトル(ポジションヘッダー)を設定します
	1 ポジションヘッダー表示の設定
	2 番号表示種別の設定 "ポジションヘッダー表示/番号表示種別の設定" (P.90)
	3 ポジションヘッダー編集 "ポジションヘッダーの編集" (P.91)

Step 2	プリセットポジションの登録 画角の設定をし、ポジションを登録します。 "プリセットポジション登録" (P.93)
	1 ポジションの設定
	2 プリセット番号の設定
	3 端子番号の設定
	4 各ポジションの画角の設定
	5 必要に応じて、各ポジションの映像設定 (カメラ側のメニュー:使用カメラの「取扱説明書」をご覧ください) "プリセットポジションの映像設定" (P.95)

メモ:

- 接続カメラの機種によっては、ポジションヘッダーが表示されないものもあります。
- プリセットシーケンスの開始番号と終了番号を設定することができます。
"モニター出力設定" (P.79)
- 画角の設定ができるのは通信制御カメラのみです。非通信制御カメラは、ポジション登録はできますが、画角の設定はできません。リレーボックスはプリセットポジション登録できません。

ポジションヘッダー表示/番号表示種別の設定

ポジションヘッダー(全プリセットポジション共通のタイトル)を表示するかどうかを設定します。

1 SW-U1403 システムメニュー画面を開く

"SW-U1403 設定メニューを開く" (P.73)



SW-U1403メインメニュー画面

2 ▲/▼ ボタンで[プリセットポジション設定]を選択し、[セット]をクリックする

[プリセットポジション設定]画面が表示されます。



SW-U1403メインメニュー画面



SW-U1403プリセットポジション設定画面

3 [ポジションヘッダー表示設定]項目を選択し、[セット]をクリックする

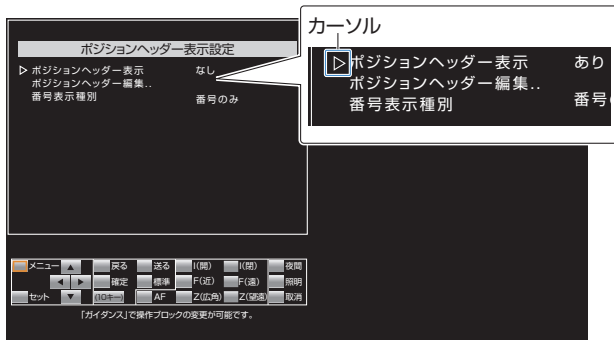
[ポジションヘッダー表示設定]画面が表示されます。



SW-U1403プリセットポジション設定画面

4 [ポジションヘッダー表示設定]項目を "あり"に設定する

◀▶ ボタンで "あり"を選択します。



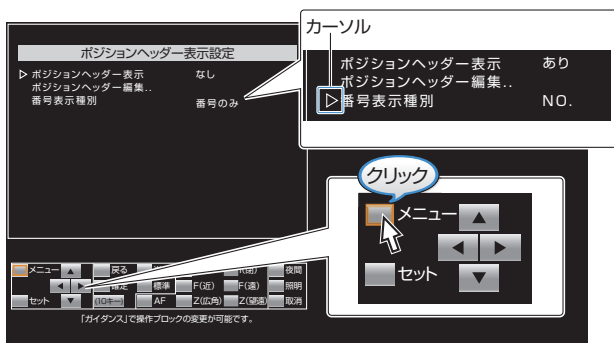
SW-U1403ポジションヘッダー表示設定画面

メモ:

- "あり"に設定しないと、ポジションヘッダーは表示されません。

5 [番号表示種別]項目を設定する

- 表示するプリセットポジション番号の前後に、定型の文字をつけることができます。
◀▶ ボタンで値を選択します。
[設定値: 番台、PO-、NO-、●番号のみ] (初期値: ●)
- [メニュー]をクリックすると、上位メニュー画面に戻り、設定値が保存されます。



SW-U1403ポジションヘッダー表示設定画面

■ 表示例

ポジションヘッダー : プリセット
番号種別 : NO.



メモ:

- [番号表示種別]の "番台"は番号のうしろ、"PO-"、"NO."は番号の前に付きます。
例)77 番台、PO-77、NO.77

ポジションヘッダーの編集

表示するタイトルを編集します。タイトル文字数は最大8文字です。

1 SW-U1403 システムメニュー画面を開く

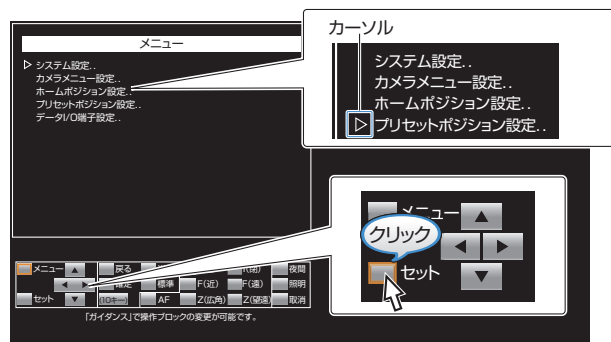
"SW-U1403 設定メニューを開く" (P.73)



SW-U1403メインメニュー画面

2 ▲▼ ボタンで[プリセットポジション設定]を選択し、[セット]をクリックする

[プリセットポジション設定]画面が表示されます。



SW-U1403メインメニュー画面



SW-U1403プリセットポジション設定画面

3 [ポジションヘッダー表示設定]項目を選択し、[セット]をクリックする

[ポジションヘッダー表示設定]画面が表示されます。

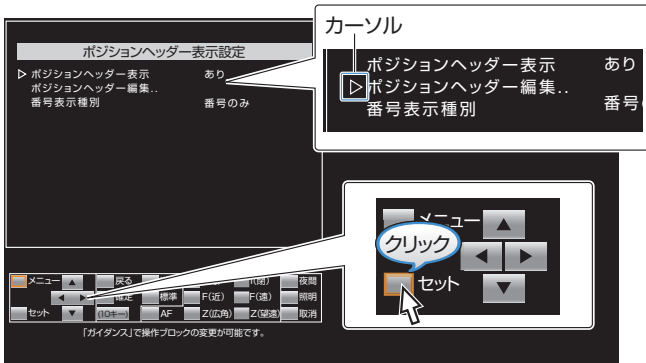


SW-U1403プリセットポジション設定画面

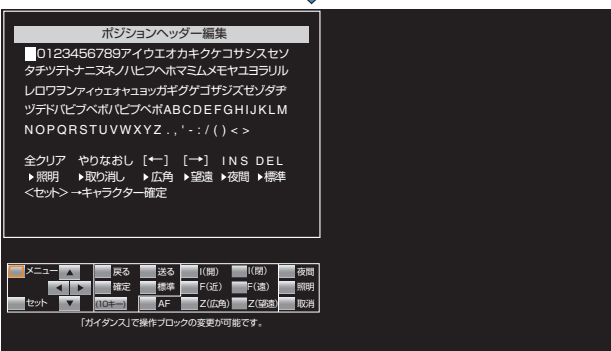
SW-U1403 経由で設定を行う (つづき)

4 ▲/▼ ボタンで[ポジションヘッダー編集]項目を選択し、[セット]をクリックする

[ポジションヘッダー編集]画面が表示されます。



SW-U1403ポジションヘッダー表示設定画面



SW-U1403ポジションヘッダー編集画面

5 文字を選択し、確定する

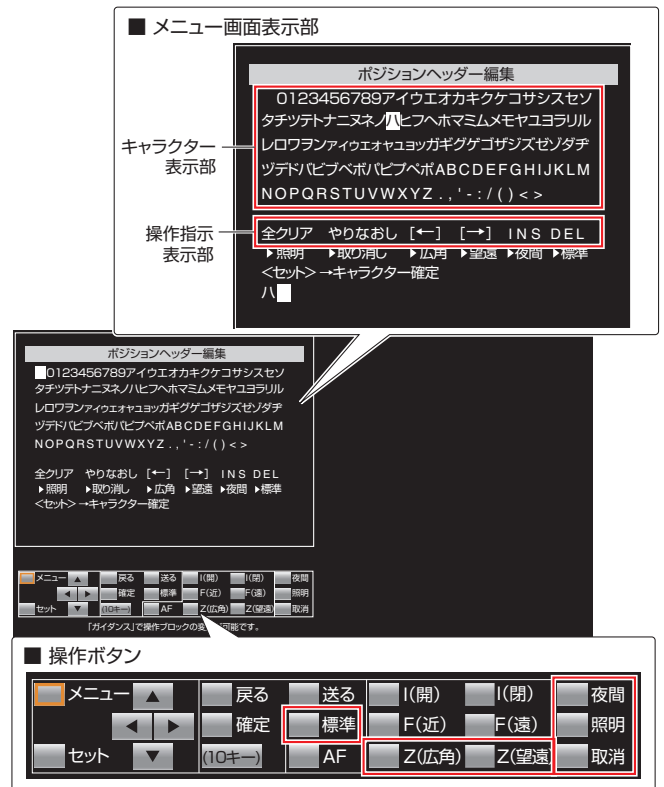
- ▲/▼/◀/▶ ボタンでカーソルを移動させ、文字を選択し、[セット]をクリックし確定します。
- 確定された文字が、タイトル入力部に表示され、タイトル入力部のカーソルが次のマスに移動します。



SW-U1403ポジションヘッダー表示設定画面

6 すべての文字を入力する

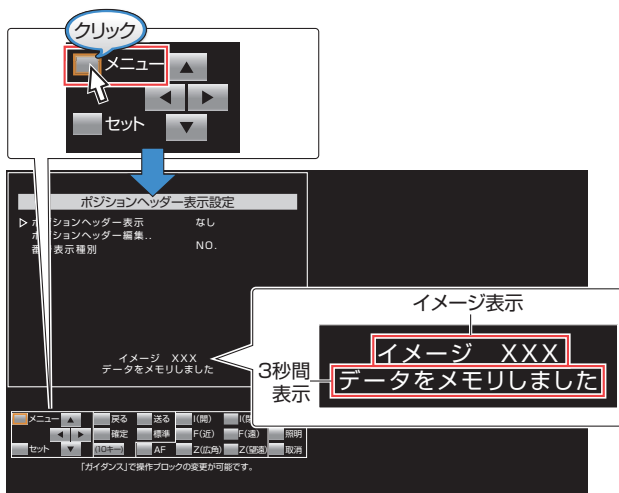
- 手順 5 を繰り返し、タイトルを完成させます。
- タイトルは 8 文字まで入力できます。
- 操作方法の詳細は下記になります。



内容	操作方法	
	メニュー画面表示部での操作	画面下部の操作ボタンでの操作
入力した文字を全消去する。編集した文字がすべて消え、カーソル位置が先頭に戻ります。	[全クリア]を選択し、[セット]をクリック	[照明]をクリック
入力した内容をすべてキャンセルする。カーソル位置は先頭に戻ります。	[やりなおし]選択し、[セット]をクリック	[取消]をクリック
カーソル位置をひとつ左へ移動させる。	[←]選択し、[セット]をクリック	[広角]をクリック
カーソル位置をひとつ右へ移動させる。	[→]選択し、[セット]をクリック	[望遠]をクリック
カーソル位置にスペースを入れる。	[INS]選択し、[セット]をクリック	[夜間]をクリック
カーソル位置の文字を消去する。	[DEL]選択し、[セット]をクリック	[標準]をクリック

7 [メニュー]をクリックし、タイトルを登録する

- タイトルが登録され、[ポジションヘッダー表示設定]画面に戻ります。
- モニター画面下に約3秒間 "データをメモリしました"と表示され、タイトルが登録されます。
- 入力したタイトルと、選択した番号表示がイメージとして画面上に表示されます。



SW-U1403ポジションヘッダー表示設定画面

プリセットポジション登録

プリセットポジションの登録を行います。

- 1 SW-U1403 システムメニュー画面を開く
"SW-U1403 設定メニューを開く" (P.73)



SW-U1403メインメニュー画面

- 2 ▲/▼ ボタンで[プリセットポジション設定]を選択し、[セット]をクリックする
[プリセットポジション設定]画面が表示されます。



SW-U1403メインメニュー画面



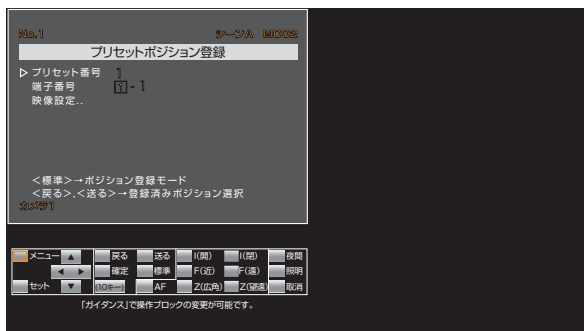
SW-U1403プリセットポジション設定画面

SW-U1403 経由で設定を行う (つづき)

- 3 ▲/▼ ボタンで[登録]項目を選択し、[セット]をクリックする
[プリセットポジション登録]画面が表示されます。

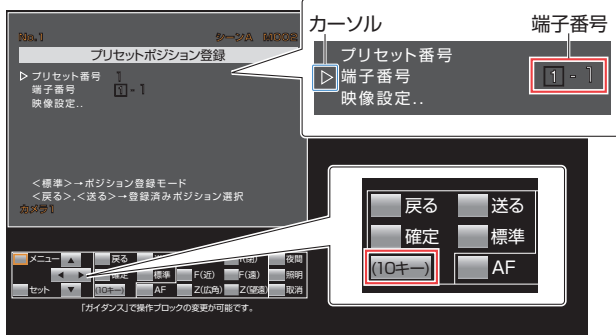


SW-U1403プリセットポジション設定画面



SW-U1403プリセットポジション登録画面

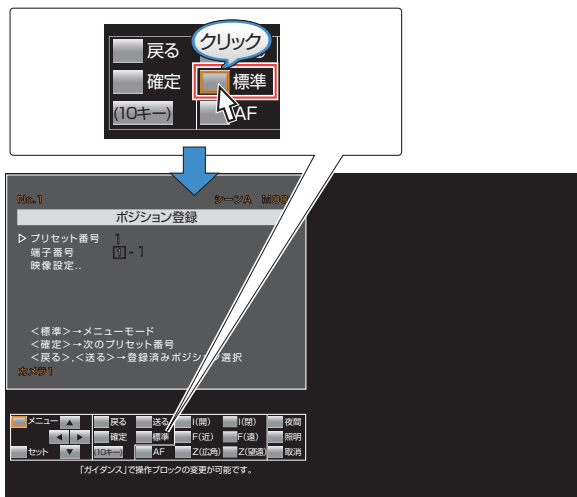
- 4 プリセットポジションを設定したいカメラの[端子番号]を選択する
- ◀▶ ボタンで設定したいカメラが接続されている端子番号を選択します。
 - カメラが切り換わり、選択したカメラの映像が表示されます。



SW-U1403プリセットポジション登録画面

- メモ： _____
- テンキーボタンでも、端子番号を選択することができます。端子番号 [1]-1 を選択したい場合、テンキーボタンで [1]、[0]、[1] と入力して [確定] ボタンをクリックします。
- "SW-U1403 設定メニューの操作方法：[10 キー] ボタンを操作する" (P.75)

- 5 [標準] ボタンをクリックする
[ポジション登録]画面が表示され、ポジション登録モードになります。



SW-U1403プリセットポジション登録画面

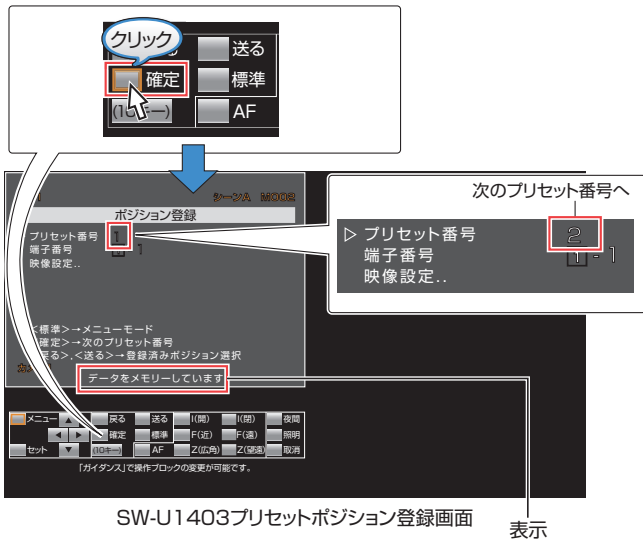
- 6 画角を設定する
映像を見ながら、画角の調節を行います。

ボタン	調節項目
	カメラの向きを調節します。
	ピントの自動調節を行います。
	ピントを手動で調節します。
	絞りで明るさを調節します。
	映像のサイズを調節します。

- メモ： _____
- ピントは基本的に [AF] ボタンであわせませす。あわない場合に、[F(近)]/[F(遠)] で調節してください。
 - 使用しているカメラによって、操作できないボタンがある場合があります。

7 [確定]をクリックし、プリセットポジションを登録する

- 画角の設定が終了したら[確定]をクリックします。画面に"データをメモリーしています"と表示され、プリセットポジションが登録されます。
- [プリセット番号]が次の番号に切り替わります。



SW-U1403プリセットポジション登録画面 表示

メモ:

- [標準]ボタンをクリックしてもポジションが登録できませんが、この場合、プリセットポジションが登録されたあと、手順3の[プリセットポジション登録]画面に戻ります。
- 使用しているカメラの種類によって、1台につき設定できるプリセットポジションの数は異なります。
- 登録できるポジション数を超過してポジション登録をしようとすると、"全てのメモリーが登録済みです。他のカメラを選んでください。"と表示され、手順3の[プリセットポジション登録]画面に戻ります。
- [メニュー]ボタンをクリックすると、上位メニュー画面に戻ります。
- [戻る]・[送る]ボタンをクリックすると、登録済みのポジションの選択確認ができます。

ご注意:

- パン/チルト操作をしながら[確定]ボタンをクリックすると、"範囲外のポジション(チルト)"と表示されることがあります。この表示が出た場合、プリセットポジションは登録されていません。パン/チルト操作を停止して、再度[確定]ボタンをクリックしポジションを登録してください。

8 手順6,7を繰り返し、必要なプリセットポジションを登録する

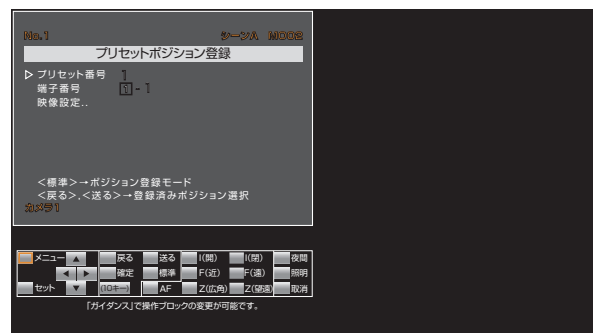
プリセットポジションの映像設定

必要に応じて細かい映像の設定を行います。

- 1 ▲/▼ボタンで[登録]項目を選択し、[セット]をクリックする [プリセットポジション登録]画面が表示されます。



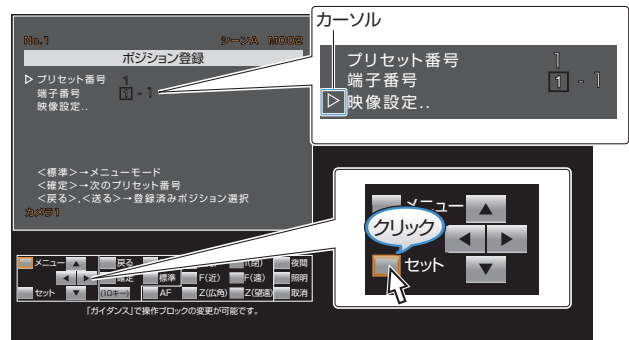
SW-U1403プリセットポジション設定画面



SW-U1403プリセットポジション登録画面

- 2 [プリセットポジション登録]画面で[映像設定]項目を選択する

- ▲/▼ボタンで[映像設定]を選択し、[セット]をクリックします。
- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に"カメラ"が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



SW-U1403プリセットポジション登録画面



例:TK-S686Bのメニュー画面

点滅表示

SW-U1403 経由で設定を行う (つづき)

3 映像設定をする

必要に応じて細かい映像の設定を行います。

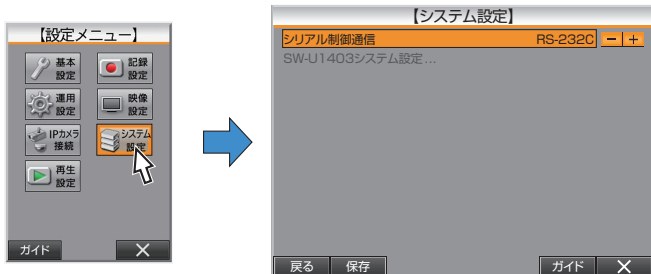
メモ:

- 使用しているカメラによって表示されるメニューおよびメニューの流れなどが異なります。詳しくは、カメラの[取扱説明書]をご覧ください。
- カメラメニューのないカメラを使用している場合、画面に"このカメラは映像設定をサポートしていません"と表示されます。
- プリセット番号が1つも登録されていない場合、画面に"このプリセット番号は登録されていません"と表示されます。
- プリセットポジション表示は、カメラ側のメニュー設定で、"リモコン"または"カメラ編集"を選択できます。詳しくは、使用しているカメラの[取扱説明書]をご覧ください。

本機の SW-U1403 システム設定

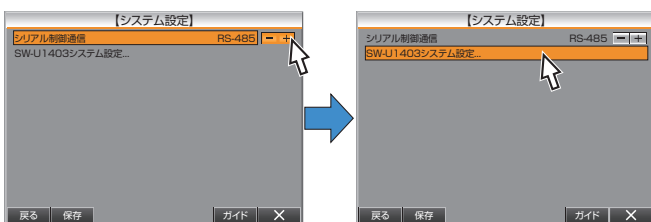
1 [システム設定]画面を開く

"メニュー画面の操作方法" (P.18) に従って、[設定メニュー]→[システム設定]の順に開きます。



2 [シリアル制御通信]項目を "RS-485"に設定し、[SW-U1403 システム設定]画面を開く

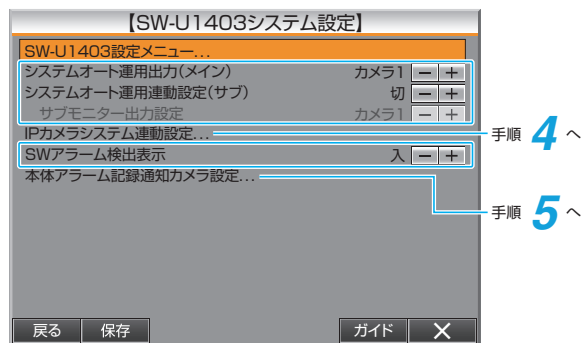
- [シリアル制御通信]項目を選択し、[-][+]アイコンで設定値を選択します。
[設定値: ●RS-232C、RS-485] (●:初期値)
- [SW-U1403 システム設定]をクリックし、[SW-U1403 システム設定]画面を開きます。



メモ:

- [基本設定 3]→[システム接続設定] または [システム設定]→[シリアル制御通信]が"RS-232C"に設定されている場合、[SW-U1403 システム設定]項目はグレー表示となり選択できません。
"システム接続設定をする:シリアル制御通信" (P.27)

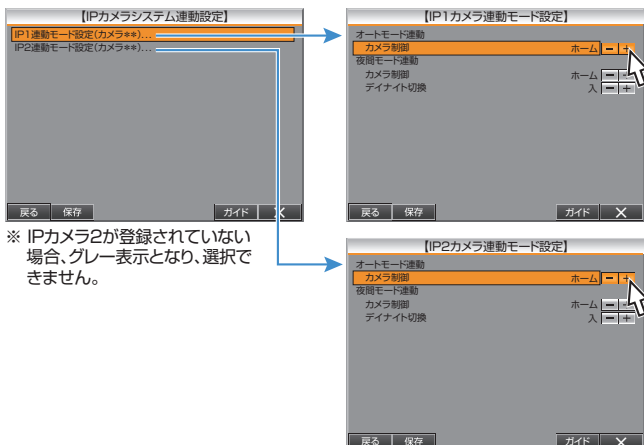
3 SW-U1403 システムについて各設定をする



項目	内容(初期値:●)
システムオート運用出力(メイン)	[オート(メイン)]ボタンを操作した場合の、メインモニターの画面表示を設定します。 ● VR-809: [設定値:●カメラ1~カメラ9、4A分割、4B分割、4C分割、9分割、オプション1~オプション3、単画面シーケンシャル、4分割シーケンシャル] ● VR-816: [設定値:●カメラ1~カメラ16、4A分割、4B分割、4C分割、4D分割、9分割、16分割、オプション1~オプション5、単画面シーケンシャル、4分割シーケンシャル]
システムオート運用連動設定(サブ)	[オート(メイン)]ボタンを操作し、オート動作がONになった場合、サブモニターの表示をオート動作に連動させるかどうかを設定します。 "入"に設定した場合、[サブモニター出力表示]項目で、オート動作がONになったときのサブモニターの出力を設定します。 [設定値:●切、入]
サブモニター出力設定	[オート(メイン)]ボタンを操作し、オート動作がONになったときのサブモニターの出力を設定します。[システムオート運用連動設定(サブ)]が"入"に設定されている場合のみ設定できます。 ● VR-809: [設定値:●カメラ1~カメラ9、4A分割、4B分割、4C分割、9分割、オプション1~オプション3、単画面シーケンシャル、4分割シーケンシャル] ● VR-816: [設定値:●カメラ1~カメラ16、4A分割、4B分割、4C分割、4D分割、9分割、16分割、オプション1~オプション5、単画面シーケンシャル、4分割シーケンシャル]
SWアラーム検出表示	SW-U1403のアラームが発生した場合に、表示画面をアラームカメラに切り換えるかどうかを設定します。 [設定値:切、●入] ● 再生準備中、検索中は、SW-U1403からのアラーム入力があってもSW-U1403制御画面に切り換わりません。

4 IPカメラシステム連動設定を行う

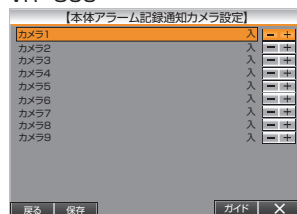
- [オート(メイン)]ボタンおよび[夜間]ボタンを操作した場合のIPカメラの動作連動について設定します。
- IP1、IP2 についてそれぞれ設定します。
- 設定が完了したら、[保存] をクリックして設定を保存します。



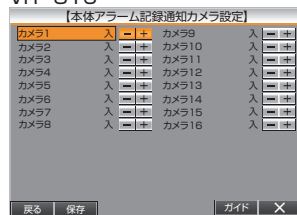
5 本体アラーム記録通知カメラを設定する

- VR-809/VR-816 がアラームを感知した場合、SW-U1403 を介してアラーム感知したカメラの映像を表示させるかどうか、カメラごとに設定します。
[設定値: ● 入、切] (●:初期値)
- 設定が完了したら、[保存] をクリックして設定を保存します。

VR-809



VR-816



メモ:

- 接続カメラに IP カメラが含まれる場合、該当するカメラ番号の右側に (IP1)または (IP2)と表示されます。

■ カメラごとのオートモード連動/夜間モード連動の設定値

	VN-V25 VN-V26 VN-V225	VN-X35 VN-X235 VN-X235VP VN-H37 VN-H137 VN-H237 VN-H237B VN-H57 VN-V257 VN-H157WP VN-H257VP VN-H257VPB VN-H257VPC	VN-V686 VN-V686B VN-V685 VN-V686WP VN-V686WPB VN-V686WPC VN-H657 VN-H657WP
切(ホーム固定)	○	○	○
ホーム	×	○	○
オートパン	×	×	○
オートパトロール 1	×	○	○
オートパトロール 2	×	×	○
オートパトロール 3	×	×	○
オートトレース	×	×	○

メモ:

- IP カメラのソフトウェアバージョンによっては接続できないことがあります。
- 接続対象カメラについては、当社 Web サイトのハードディスクレコーダーのページをご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/pro/security_sys/index.html

項目	内容(初期値:●)	
オートモード連動	カメラ制御	<p>[オート(メイン)]ボタンを操作し、オート動作が ON になった場合、IP カメラをどう動作させるかを設定します。 [設定値:切、● ホーム、オートパン、オートトレース、オートパトロール 1、オートパトロール 2、オートパトロール 3]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続しているカメラによって、選択できる内容は異なります。 "カメラごとのオートモード連動/夜間モード連動の設定値について" (P.97)
夜間モード連動	カメラ制御	<p>[夜間]ボタンを操作し、夜間モードが ON になった場合、IP カメラをどう動作させるかを設定します。 [設定値:切、● ホーム、オートパン、オートトレース、オートパトロール 1、オートパトロール 2、オートパトロール 3]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続しているカメラによって、選択できる内容は異なります。 "カメラごとのオートモード連動/夜間モード連動の設定値について" (P.97)
	デイナイト切換	<p>[夜間]ボタンを操作し、夜間モードが ON になった場合、IP カメラのデイナイト機能を連動させるかを設定します。 [設定値:● 入、切]</p>
SW アラーム検出連動	<ul style="list-style-type: none"> • VR-809/VR-816 本体でアラームを検出した場合に、SW-U1403 を介して IP カメラをどう動作させるかを設定します。 • [システム設定]→[SW-U1403 システム設定]→[本体アラーム記録通知]で、IP カメラを "入" に設定してある場合のみ有効です。 [設定値:入、● ホーム] 	

メモ:

- [オートモード連動]/[夜間モード連動]/[SW アラーム検出連動]のカメラ制御は、[IP カメラ接続設定]内の[PTZ]項目が "あり" に設定されている場合にのみ、設定の変更ができます。
"IP カメラの接続について" (P.32)

カメラの台数を変更する

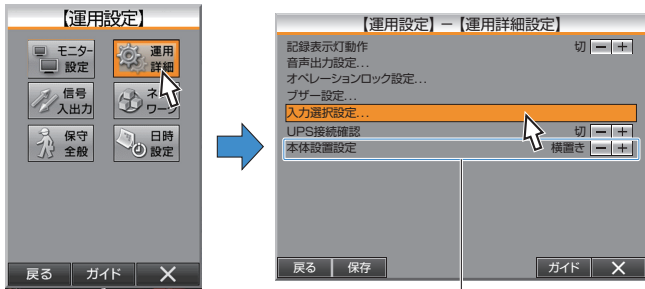
[基本設定]が完了したあとに、カメラの台数を変更することができます。再度、[基本設定]を変更すると、[記録詳細設定]の数値がすべて変更されてしまいます。

ご注意：

- "切"に変更して保存した場合、各記録パターンで設定してある記録コマ数(通常記録・アラーム記録共に)は、"--"(記録しない)となります。
"記録パターンの設定をする" (P.50)
- "アナログ固定カメラ"に変更して保存した場合、映像入力が無いと、ビデオオスのワーニングとして認識されます。

1 [入力選択設定]画面を開く

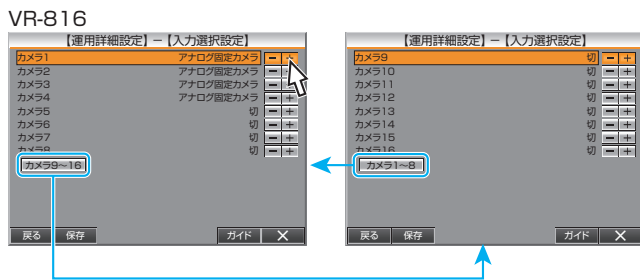
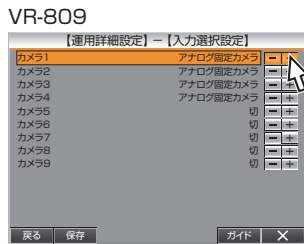
"メニュー画面の操作方法" (P.18)に従って、[設定メニュー]→[運用設定]→[運用詳細]→[入力選択設定]の順に開きます。



※VR-809のみ

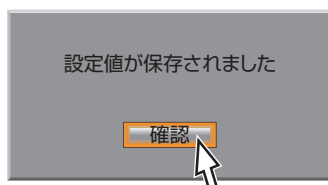
2 カメラの設定を変更する

- カメラを追加する場合は、該当のカメラを "アナログ固定カメラ" に、カメラを削除(取りはずす)場合は、"切"に設定します。
[設定値: 切、● アナログ固定カメラ] (●:初期値)
- VR-816 は [入力選択設定]画面が 2 画面で構成されています。
[カメラ 9~16]、[カメラ 1~8] ボタンで画面を切り換えます。



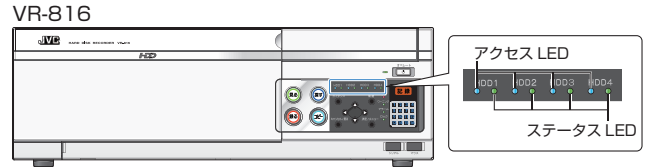
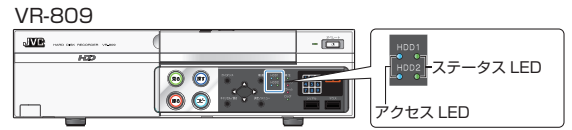
3 設定を完了する

- [保存]をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認]をクリックして、設定を完了します。



フロントパネル HDD LED について

- HDD 表示灯は、VR-809 には 2 つ、VR-816 には 4 つあります。それぞれ、内蔵ハードディスクの状態を表示する LED となります。
[HDD2]～[HDD4]は内蔵ハードディスクを増設した場合のみ、点灯します。
- 右がハードディスクの状態を表示するステータス LED、左がアクセス状態を表示するアクセス LED となります。



■ ステータス LED

LED の状態	HDD の状態
赤く点灯	故障中
緑に点灯	正常に動作中
オレンジで点滅	RAID 運用ビルド中/RAID 運用リビルド中
緑で点滅	ハードディスク認識中
消灯	接続なし

■ アクセス LED

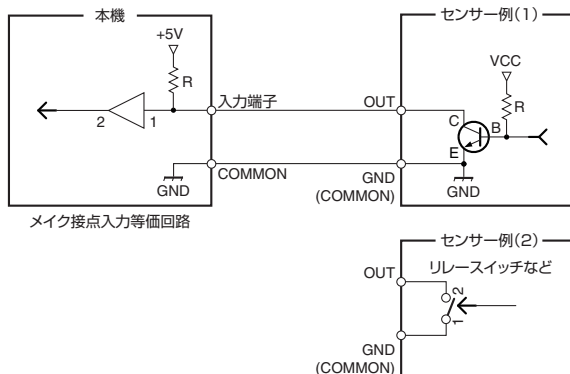
LED の状態	アクセス状態
青色に点灯	アクセスあり
消灯	アクセスなし

信号入出力端子の詳細

■ メイク接点入力の参考回路

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

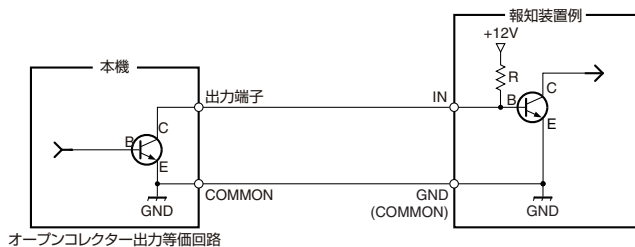
- メイク接点入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メイク接点入力信号は端子別に決められたメイク時間を守り設計してください。時間が短い場合、メイク接点入力信号として認識されないことがあります。



■ オープンコレクター出力の参考回路

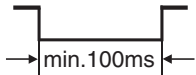
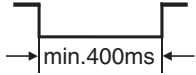
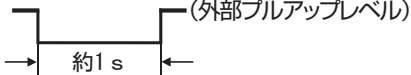
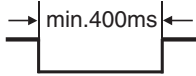
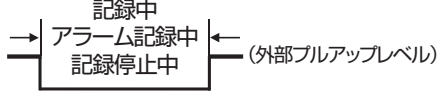
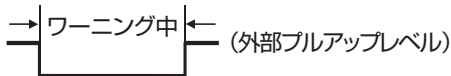
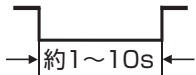
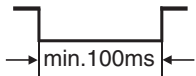
報知器、表示器、ブザーなどの報知装置と接続します。

- [CLOCK RESET OUT]、[REC OUT]、[WARNING OUT] 端子の出力信号はオープンコレクター出力です。
- この端子には、極性があります。必ず COMMON より [CLOCK RESET OUT]、[REC OUT]、[WARNING OUT] の各端子の電圧が高くなるように接続してください。逆電圧を加えると破損します。



ご注意：

- 本機 COMMON 端子と報知装置の GND をケーブル接続してください。

端子	信号レベル	備考
[ALARM IN] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	メイク接点入力
[EMERGENCY] 端子 [EXT REC/MODE IN] 端子 [CLOCK RESET IN] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	メイク接点入力
[CLOCK RESET OUT] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	オープンコレクター出力 (DC15V、10mA 以下)
[ALARM RESET] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	メイク接点入力
[REC OUT] 端子	 <p>※動作内容は、[記録端子出力]の設定に従います。</p>	オープンコレクター出力 (DC15V、10mA 以下)
[WARNING OUT] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	オープンコレクター出力 (DC15V、10mA 以下)
[OPE ON/OFF] 端子	 <ul style="list-style-type: none"> • オペレート ON 時は OFF に移行します。 • オペレート OFF 時は ON に移行します。 	メイク接点入力
[LAYOUT1/2] 端子	 <p>※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。</p>	メイク接点入力

本製品のソフトウェアライセンスについて

- 本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに JVC ケンウッド・公共産業システムまたは第三者の著作権が存在します。
- 本製品は、JVC ケンウッド・公共産業システムおよび第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント(以下、「EULA」といいます)に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。
- 「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License (以下、「GPL/LGPL」といいます)のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能に求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。ホームページアドレス：
<http://www3.jvckenwood.com/download/gpl/index.html>
 なお、ソースコードの内容などについてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。
- 「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び JVC ケンウッド・公共産業システム自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
- 「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
- 適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件と遵守いただかなければならない事項などの詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。
- 本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。
 なお各ライセンスは JVC ケンウッド・公共産業システム以外の第三者による規定のため、原文(英文)を記載します。

"Important Notice Concerning the Software" (P.101)

Important Notice Concerning the Software

■ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

■ Preamble

- The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
- When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
- To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
- For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights. We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
- Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
- Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all. The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

■ GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

Important Notice Concerning the Software (つづき)

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you

do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

■ NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF

DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

■ END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-- whatever suits your program. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

■ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

■ Preamble

- The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.
- This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
- When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want

it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

- To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
- For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
- We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
- To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
- These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
- For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
- In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
- Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
- The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

■ GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library. Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

Important Notice Concerning the Software (つづき)

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library. In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is

therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

- Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

- Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

■ NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR

CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

■ END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary.

Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■ OpenSSL License

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

Important Notice Concerning the Software (つづき)

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

■ Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.

The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■ MD5 Message-Digest Algorithm

Copyright © 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

■ Info-ZIP License

Copyright © 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

■ Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition,

"control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions: (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative

Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

■ Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ Bzip2 License

This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright © 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

Important Notice Concerning the Software (つづき)

3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Julian Seward, jseward@bzip.org bzip2/libbzip2 version 1.0.5 of 10 December 2007

■ Berkeley DB License

The following is the license that applies to this copy of the Berkeley DB software. For a license to use the Berkeley DB software under conditions other than those described here, or to purchase support for this software, please contact Oracle at berkeleydb-info_us@oracle.com.

Copyright © 1990-2007 Oracle. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Redistributions in any form must be accompanied by information on how to obtain complete source code for the DB software and any accompanying software that uses the DB software. The source code must either be included in the distribution or be available for no more than the cost of distribution plus a nominal fee, and must be freely redistributable under reasonable conditions. For an executable file, complete source code means the source code for all modules it contains. It does not include source code for modules or files that typically accompany the major components of the operating system on which the executable file runs.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ORACLE "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL ORACLE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 1990, 1993, 1994, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 1995, 1996

The President and Fellows of Harvard University. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY HARVARD AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL HARVARD OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Dhcp License

Copyright © 2004-2009 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")

Copyright © 1995-2003 by Internet Software Consortium

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Internet Systems Consortium, Inc. 950 Charter Street Redwood City, CA 94063 <info@isc.org><http://www.isc.org/>

■ Eventlog License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of BalaBit nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY BALABIT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ File License

Copyright © Ian F. Darwin 1986, 1987, 1989, 1990, 1991, 1992, 1994, 1995.
Software written by Ian F. Darwin and others;
maintained 1994- Christos Zoulas.

This software is not subject to any export provision of the United States Department of Commerce, and may be exported to any country or planet. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice immediately at the beginning of the file, without modification, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Flex License

Flex carries the copyright used for BSD software, slightly modified because it originated at the Lawrence Berkeley (not Livermore!) Laboratory, which operates under a contract with the Department of Energy:
Copyright © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 The Flex Project.
Copyright © 1990, 1997 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Vern Paxson. The United States Government has rights in this work pursuant to contract no. DE-AC03-76SF00098 between the United States Department of Energy and the University of California.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

This basically says "do whatever you please with this software except remove this notice or take advantage of the University's (or the flex authors') name".

Note that the "flex.sk1" scanner skeleton carries no copyright notice. You are free to do whatever you please with scanners generated using flex; for them, you are not even bound by the above copyright.

■ Lighttpd License

Copyright © 2004, Jan Kneschke, incremental All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the 'incremental' nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE

COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Mktmp License

Mktmp is distributed under the following BSD-style license:

Copyright © 1996, 2000, 2001 Todd C. Miller
<Todd.Miller@courtesan.com> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission from the author.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Additionally, priv_mktemp.c bears the following UCB license: Copyright © 1987, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Important Notice Concerning the Software (つづき)

■ Ncurses License

Copyright © 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

■ Ntp License

Copyright Notice jpg "Clone me," says Dolly sheepishly Last update: 20:31 UTC Saturday, January 06, 2007

The following copyright notice applies to all files collectively called the Network Time Protocol Version 4 Distribution. Unless specifically declared otherwise in an individual file, this notice applies as if the text was explicitly included in the file.

Copyright © David L. Mills 1992-2007

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

■ Openssh License

This file is part of the OpenSSH software.

The licences which components of this software fall under are as follows.

First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

Copyright © 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland All rights reserved As far as I am concerned, the code I have written for this software can be used freely for any purpose. Any derived versions of this software must be clearly marked as such, and if the derived work is incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

However, I am not implying to give any licenses to any patents or copyrights held by third parties, and the software includes parts that are not under my direct control. As far as I know, all included source code is used in accordance with the relevant license agreements and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most restrictive); see below for details.

However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "http://www.cs.hut.fi/crypto".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility.

You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

2)

The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

Cryptographic attack detector for ssh - source code Copyright © 1998 CORE SDI S.A., Buenos Aires, Argentina.

All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice is retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CORE SDI S.A. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM THE USE OR MISUSE OF THIS SOFTWARE.

Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com> <http://www.core-sdi.com>

3)

ssh-keyscan was contributed by David Mazieres under a BSD-style license. Copyright 1995, 1996 by David Mazieres <dm@lcs.mit.edu>. Modification and redistribution in source and binary forms is permitted provided that due credit is given to the author and the OpenBSD project by leaving this copyright notice intact.

4)

The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers and Paulo Barreto is in the public domain and distributed with the following license:

@version 3.0 (December 2000) Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>

@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>

@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

This code is hereby placed in the public domain.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)

One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

Copyright © 1983, 1990, 1992, 1993, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 6) Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl
 Theo de Raadt
 Niels Provos
 Dug Song
 Aaron Campbell
 Damien Miller
 Kevin Steves
 Daniel Kouril
 Wesley Griffin
 Per Allansson
 Nils Nordman
 Simon Wilkinson

Portable OpenSSH additionally includes code from the following copyright holders, also under the 2-term BSD license:

Ben Lindstrom
 Tim Rice
 Andre Lucas
 Chris Adams
 Corinna Vinschen
 Cray Inc.
 Denis Parker
 Gert Doering
 Jakob Schlyter
 Jason Downs
 Juha Yrjölä
 Michael Stone
 Networks Associates Technology, Inc.
 Solar Designer
 Todd C. Miller
 Wayne Schroeder
 William Jones
 Darren Tucker
 Sun Microsystems
 The SCO Group
 Daniel Walsh

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT

(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

8)

Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

a) md5crypt.c, md5crypt.h "THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
 <phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a beer in return.

Poul-Henning Kamp

b) snprintf replacement Copyright Patrick Powell 1995

This code is based on code written by Patrick Powell (papowell@astart.com)

It may be used for any purpose as long as this notice remains intact on all source code distributions

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller
 Theo de Raadt
 Damien Miller
 Eric P. Allman

The Regents of the University of California Constantin S. Svintsoff

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Some code is licensed under an ISC-style license, to the following copyright holders: Internet Software Consortium.

Todd C. Miller
 Reyk Floeter
 Chad Mynhier

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND TODD C. MILLER DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL TODD C. MILLER BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Important Notice Concerning the Software (つづき)

Some code is licensed under a MIT-style license to the following copyright holders:

Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

■ PCRE LICENCE

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language. Release 7 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS Written by: Philip Hazel

Email local part: ph10

Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service,
Cambridge, England.

Copyright © 1997-2007 University of Cambridge

All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS Contributed by: Google Inc.

Copyright © 2007, Google Inc. All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. End

■ Popt License

Copyright © 1998 Red Hat Software

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

■ Strace License

Copyright © 1991, 1992 Paul Kranenburg <pk@cs.few.eur.nl>

Copyright © 1993 Branko Lankester <branko@hacktic.nl>

Copyright © 1993 Ulrich Pegelow <pegelow@moorea.uni-muenster.de>

Copyright © 1995, 1996 Michael Elizabeth Chastain

<mec@duracef.shout.net>

Copyright © 1993, 1994, 1995, 1996 Rick Sladkey <jrs@world.std.com>

Copyright © 1998-2001 Wichert Akkerman

<wakkerma@deephackmode.org>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Stretch License

Copyright © 2006,2008 Stretch, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ Tcp_wrappers License

Copyright 1995 by Wietse Venema. All rights reserved. Some individual files may be covered by other copyrights.

This material was originally written and compiled by Wietse Venema at Eindhoven University of Technology, The Netherlands, in 1990, 1991, 1992, 1993, 1994 and 1995.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that this entire copyright notice is duplicated in all such copies.

This software is provided "as is" and without any expressed or implied warranties, including, without limitation, the implied warranties of merchantability and fitness for any particular purpose.

■ libxml2 License

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright © 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE. Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright © 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: breese@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright © 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com

\$Id: trio.c 3600 2007-04-17 12:44:58Z veillard \$

Copyright © 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

\$Id: triodef.h 3473 2006-05-31 13:35:28Z veillard \$

Copyright © 2001 Bjorn Reese <breese@users.sourceforge.net>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

\$Id: trionan.c 2219 2003-10-15 08:18:00Z veillard \$

Copyright © 2001 Bjorn Reese <breese@users.sourceforge.net>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A

PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

\$Id: triop.h 1886 2003-04-03 15:28:28Z veillard \$

Copyright © 2000 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

\$Id: triostr.c 3600 2007-04-17 12:44:58Z veillard \$

Copyright © 2001 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

■ FreeType

Portions of the software in this product are copyright © 2011 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

エラー表示のトラブル

ワーニング情報は重要度に応じて5種類のレベルにランク分けされています。レベルの数値が大きいくほど重要な障害となるワーニング情報です。

レベル	内容
レベル0	原因として軽微な状況が考えられるレベル
レベル1	システムの運用状況によっては発生し得るレベル
レベル2	運用上のメンテナンス要求。実施中の通知のため本機の機能としての障害ではないレベル
レベル3	本機の機能としての障害を検出したが、正常な運用状況に復帰したレベル
レベル4	重要な障害検出、または重要な障害が発生してしまう可能性がある

- メモ：
- ワーニング情報をオンスクリーン表示するかどうかや、表示するレベルは、[表示設定]メニューの[ワーニング表示]設定で選択します。
 - "全て表示"に設定されている場合、レベル0～レベル4まですべてのワーニングが表示されます。
 - "切"に設定されている場合、ワーニング表示されません。
 - "レベル1"に設定されている場合、レベル1～レベル4までのワーニングが表示されます。
- "表示項目と位置の変更" (P.40)

本機に関するエラー表示

- ※1: エラー発生時にブザーが鳴ります。
- ※2: エラー発生時に WARNING OUT に信号が出力されます。
- ※3: エラー発生時に本体ワーニングランプが点灯します。
- ※4: エラー発生時に本体ワーニングランプが点滅します。

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"E-01 ハードディスクエラーを検出しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクの動作異常により、再起動しました。そのまま残ったハードディスクで運転を継続します。 → 電源を入れ直してください。 → 改善しない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 	レベル4
"E-02 HDD ERROR"※1、※2、※4	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクの動作異常です。(起動できません) → 電源を入れ直してください。 → 改善しない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 	—
"E-03 VIDEO IN ** 入力なし"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> 映像信号の入力がありません。 → 停止状態にして接続を確認してください。 → [基本設定 2]の設定を見直してください。 <p>"システム接続例" (P.11) "基本設定をする" (P.25)</p> <p>ご注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> この表示がされた状態で記録を続けると、正しく記録できない場合があります。 → メニュー[基本設定 2]画面の[カメラ]を"切"に設定するか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。 	レベル1
"E-05 ファンモーターが故障しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ファンモーターの動作異常です。 → ご相談窓口にお問い合わせください。 	レベル4
"E-06 EEPROM が故障しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> EEPROM の異常です。 → メニュー内容変更にてこのエラーが発生した場合、一度オペレート OFF し、再度オペレート ON して内容をご確認ください。 → メニュー内容変更時や、運用中に何度もこのエラーが発生する場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 	レベル4
"E-07 を検出しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> コーディックの異常です。 → 電源を入れ直してください。改善しない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 	レベル4
"E-09 RAID 異常を検出しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> RAID 運用(RAID1/RAID5)にて、構成される HDD に異常が発生した場合に表示されます。 → 運用上の支障はありませんが、正常に動作している HDD に異常が発生すると映像・音声などのデータの復元が困難となります。早めにご相談窓口にお問合せください。 	レベル4

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"E-10 ディスクドライブで異常を検出しました" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● [BD ドライブ接続]が"入"になっているのに BD ドライブ(VR-K80)が接続されていない場合に表示されます。 → 設定を見直してください。 → 正しく設定されているのに表示される場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 ● 光ディスク(DVD/BD)へのコピーが終了後に表示された場合は、コピーできていません。 → フロントパネルの[オペレート]ボタンでオペレート OFF 状態にし、本機の背面にある[POWER]スイッチを一度[OFF]にしてから[ON]にしてください。 → 書き込み処理は失敗しているため、復帰後に再度コピー操作を行なってください。 BD-R/DVD-R で、書き込みが失敗した場合、ディスクを取り換えてください。 	レベル 4
"UPS 接続で通信異常を検出しました" ※1、※2、※3	<p>UPS 機器を使用している場合、本機と UPS 機器との通信異常を検出したときに表示されます。 ※ [運用設定]-[運用詳細]-[UPS 接続確認]が"入"の場合のみ。 → UPS 機器と本機の通信線の接続を確認してください。</p>	レベル 4
"E-11 PoE デバイスが故障しました" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● PoE デバイスの異常です。 → ご相談窓口にお問い合わせください。 	レベル 4
"停電履歴を更新しました" ※1、※2、※3 "UPS による停電復帰を実行しました"	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電が起きたときに表示されます。 → 故障ではありません。 → ご相談窓口にお問い合わせください。 ● 右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消]で解除できます。 "右クリックメニューについて" (☞ P.22) ● "UPS による停電復帰を実行しました"と表示された場合も、停電履歴の更新は行われます。 	レベル 0
"ハードディスクの残量がありません" ※1、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードディスクに記録をするスペースがありません。 → ハードディスクのフォーマットを実施し、記録スペースを確保するか、ループ記録を"切"、"アラームロック"以外に設定してください。 → フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。 <p>メモ：――</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ループ記録の設定を変更するとハードディスクの空き領域を確保する処理が実行されます。実行中は記録の開始ができません。 記録の運用状況によって異なりますが、30 分前後は記録の開始ができない場合があります。 	レベル 2
"イベント残量が少量になっています" ※3	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント数が 75%以上になると表示されます。 記録運用設定が適切でないためにハードディスクのすべての容量を使いきる前に古いイベントが削除もしくは記録が停止する可能性があります。 → アラームの検出や回数をへらす設定変更をしてください。 	レベル 2
"イベント残量がありません" ※1、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録運用設定が適切でないためにハードディスクのすべての容量を使いきる前に古いイベントの削除もしくは記録停止が発生します。 → アラームの検出や回数をへらす設定変更をしてください。 	レベル 2
"HDD 確認のために再起動しました" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードディスクドライブの一時的な不安定動作(増設ハードディスクの一時的な電源ダウンなど)を検出したため、本機を自動的に再起動しました。ハードディスクドライブの代替セクタ処理中にも表示されます。 → 再起動時に、正常な状態に戻っているので、運用上問題はありません。頻繁に起こる場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。 ● 右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消]で解除できます。 "右クリックメニューについて" (☞ P.22) 	レベル 3
"ハードディスクをメンテナンスしてください" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードディスクドライブの代替セクタ数が増加したときに表示されます。 → ハードディスクドライブには不良セクタを代替セクタに置き換える機能があり、本機ではこの代替セクタ数を監視しています。 本メッセージが表示されても、運用に対して直ちに影響するわけではありません。ただし将来ハードディスクドライブに障害が発生する可能性がありますので、ハードディスクドライブのメンテナンスについてご検討ください。運用中に頻繁に表示される場合には、ハードディスクドライブの障害発生リスクが高まっています。 ● ハードディスクドライブのメンテナンスに関しては、ご相談窓口にお問い合わせください。 ● 右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消]で解除できます。 "右クリックメニューについて" (☞ P.22) 	レベル 3

困ったときは

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"記録が停止しました"※1、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● [記録停止通知]が"入"になっているのに記録停止している場合に表示されます。 → 記録を開始してください。 → 設定値を見直してください。 [設定メニュー]→[映像設定]→[表示項目設定]→[記録停止通知]を設定する。 "[ワーニング表示]/[記録停止通知]の設定をする" (P.40) 	—
"NTP サーバー接続エラー"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● NTP サーバー登録が有効になっているのに、NTP サーバーに接続できませんでした。 → NTP サーバー登録をやり直すか、NTP サーバー機能を無効にしてください。 	レベル 2
"IP カメラ側の設定が一致していないため接続できません"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● IP カメラと本体設定値が、異なるため IP カメラと接続することができません。 "IP カメラの接続について" (P.32) 	レベル 1
"パスコードの入力回数制限を超えました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● オペレーションロックモードをパスコード制限で運用しており、ロック解除やアクセス権限取得時にパスコードの入力が誤入力回数制限設定で設定した回数を超えてしまった場合に表示されます。 ● オペレーションロックを解除後、右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消]で解除できます。 "オペレーションロック運用開始" (P.16) "パスコード設定" (P.45) "右クリックメニューについて" (P.22) 	レベル 4
"メール発報の送信失敗を検出しました"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用中にメール送信が失敗した場合に表示されます。 → メール発報の設定値とネットワークの接続を確認してください。 ● 右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消]で解除できます。 "右クリックメニューについて" (P.22) 	レベル 2
"カメラ*からの音声受信ができません(IP カメラ)"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示されたカメラ番号に割当てた IP カメラからの音声データが受信できていません。 → IP カメラの接続および、IP カメラが接続されているネットワーク環境を見直してください。 	レベル 4

SW-U1403 使用時のエラー表示

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"スイッチャーからの応答がありません"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● SW-U1403 からの応答がありません。 → SW-U1403 の電源を切り、正しく接続されているか確認してから、設定を確認してください。 <p>エラー復旧時の動作について：———</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SW-U1403 システム運用時、RS-485 ケーブルが抜けたり、SW-U1403 が故障したりした場合、アナログカメラの PTZ 操作関連の動作ができなくなり、下記の状態となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SW-U1403 制御パネルの一部のボタンが表示されなくなる ・ PTZ 操作ボタンが選択できなくなる ● エラーが解消し、SW-U1403 との通信復旧時、VR-809/VR-816 は SW-U1403 の動作に合わせて、自動でライブ表示画面に切り換わります。 ● エラーが解消し、SW-U1403 との通信復旧時、SW-U1403 側がアラーム検出状態の場合、SW-U1403 との同期を合わせるため、表示レイアウトが切り換わることがあります。 	レベル 4
"スイッチャーで過電流を検出(カメラ*)"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● SW-U1403 が過電流を検出した場合に表示されます。表示中はカメラ操作ができません。 → SW-U1403 の電源を一度切り、接続確認後、再度 SW-U1403 の電源を入れてください。 	レベル 4
"スイッチャー設定不一致[外部接続機器設定]"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● SW-U1403 の初期化に失敗しました。表示中はカメラ操作ができません。 → SW-U1403 の [外部接続機器設定]メニューの [接続機種] を "VR-516C(RS-485)" に設定してください。 "外部接続機器設定：接続機種" (P.80) 	レベル 4
"スイッチャーのカメラタイプ不一致(カメラ*)"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● SW-U1403 の設定メニューでの設定内容と、本機の各カメラの接続状態が一致していません。 → 設定内容を見直すか、設定に従ったカメラに接続し直してください。 	レベル 4
"スイッチャー設定不一致[外部カメラ接続設定]"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ台数が本機で使用できる台数を超えた設定になっている可能性があります。 → SW-U1403 の [外部接続機器設定]メニューの [外部カメラ接続設定]を確認し、正しい設定に直してください。 ※VR-809 で検出されるワーニングです。10ch 以降の [外部接続設定]が "あり"になっているか確認してください。 "外部接続機器設定：外部カメラ接続設定" (P.81) 	レベル 4
"スイッチャー設定不一致[カメラタイプ設定]"※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ台数が本機で使用できる台数を超えた設定になっている可能性があります。 → SW-U1403 の [システム設定]→[カメラ設定]→[カメラタイプ/標準状態設定]を確認し、正しい設定に直してください。 ※VR-809 でのみ検出されるワーニングです。10ch 以降の [カメラタイプ]が "なし"の場合表示されます。 "外部接続機器設定：外部カメラ接続設定" (P.81) 	レベル 4

NAS 使用時のエラー表示

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"自動コピーを中断しました" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> NAS への自動コピーが中断されました。 → [運用設定]-[保守全般]-[コピーモード設定]-[NAS コピー設定]-[NAS 指定設定/ログ表示]-[NAS アクセスログ表示] 画面で、中断された原因を確認し、発生要因を特定後解消してください。 右クリックメニュー、[ワーニング通知の取消] で解除できます。 "右クリックメニューについて" (P.22) <p>ご注意：———</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動コピーが中断した場合、対象となる期間はコピー対象から除外されます。各手動コピー(クイックコピー・IN-OUT 指定コピー・アラームリストコピー)で、必要な期間のコピーを行ってください。 	レベル 4
"自動コピー先の NAS が割り当てられていません" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> コピー先の NAS デバイスが指定されていません。 → [運用設定]-[保守全般]-[コピーモード設定]-[NAS コピー設定]-[NAS 指定設定/ログ表示] 画面で、各 NAS デバイスの設定を確認してください。 [運用モード]が"切"になっているか、その他の設定が間違っている可能性があります。 "NAS コピー設定" (P.66) 	レベル 4
"NAS の空き容量が少量になっています" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> コピー先の NAS デバイスの空き容量が残りわずかになっているか、空き容量がありません。 → NAS 側のデータを消去するか、新しい NAS デバイスに交換して空き容量を確保してください。 	レベル 2
"NAS の接続を認識できません" ※1、※2、※3	<ul style="list-style-type: none"> 設定されている NAS の接続が確認できません。 → 本機と NAS デバイス間の接続および通信状態を確認してください。 "NAS の指定設定:NAS の接続を確認する" (P.66) 	レベル 4

コピー時のワーニング表示

オンスクリーン表示	原因と対処方法	レベル
"コピー見積みエラー" ※1、※2、※3	<p>光ディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ DVD-RW、BD-RE の場合 <ul style="list-style-type: none"> コピー時に消去を実行してください。 [ディスクの初期化]を実行してください。 ■ その他のメディアの場合 <ul style="list-style-type: none"> ディスクを交換してください。 	レベル 2
"コピー見積み失敗(メディア書込み不可)" ※1、※2、※3	<p>USB メモリー</p> <p>読み出し専用を解除してください。</p>	
"コピー見積み失敗(フォルダ数制限)" ※1、※2、※3	<p>VR-809 または VR-816 でコピーするときに作成されるフォルダ数が制限値に達しています。(フォルダ数の制限は、最大 100 個まで)</p>	
	<p>USB メモリー</p> <ul style="list-style-type: none"> コピー時に消去を実行してください。 手動でフォルダを削除、または新しい USB メモリーを接続してから再度コピーを行ってください。 	
	<p>光ディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ DVD-RW、BD-RE の場合 <ul style="list-style-type: none"> コピー時に消去を実行してください。 [ディスクの初期化]を実行してください。 [ディスクの初期化]を行なったディスクでも発生するようであれば、ディスクを交換し再度コピー操作を行ってください。 ■ その他のメディアの場合 <ul style="list-style-type: none"> ディスクを交換してください。 	

困ったときは

オンスクリーン表示	原因と対処方法		レベル
"コピー見積り失敗(コピー先容量不足)"※1、※2、※3	メディアの空き容量が少ない。 → コピーする期間を短くするか、カメラの数を減らしてください。		レベル 2
	USB メモリー	空き容量を増やすか、あたらしい USB メモリーを接続してください。	
	光ディスク	■ DVD-RW、BD-RE の場合 <ul style="list-style-type: none"> コピー時に消去を実行してください。 [ディスクの初期化]を実行してください。 ディスクの初期化を行なったディスクでも発生するようであれば、ディスクを交換し再度コピー操作を行なってください。 ■ その他のメディアの場合 <ul style="list-style-type: none"> ディスクを交換してください。 	
	NAS	空き容量を増やすか、または新しい NAS に交換して設定後に再度コピーを行なってください。	
"コピー見積り失敗(ファイル数制限)"※1、※2、※3	コピーする期間を短くするか、カメラの数を減らしてください。 (ファイル数の制限は、最大 9999 個まで)		
"コピー書き込み失敗"※1、※2、※3	メディアを交換し、再度コピーを行なってください。		
"コピー書き込み失敗(書き込みエラー)"※1、※2、※3	USB メモリー	USB の接続を確認してください。	
	光ディスク	■ DVD-RW、BD-RE の場合 <ul style="list-style-type: none"> コピー時に消去を実行してください。 [ディスクの初期化]を実行してください。 ディスクの初期化を行なったディスクでも発生するようであれば、ディスクを交換し再度コピー操作を行なってください。 ■ その他のメディアの場合 <ul style="list-style-type: none"> ディスクを交換してください。 	
	NAS	ネットワークの接続を確認してください。 "NAS を接続する" (P.66)	
"コピー書き込み失敗(コピー先容量不足)"※1、※2、※3	メディアの空き容量が少ない → コピーする期間を短くするか、カメラの数を減らしてください。		
"コピー書き込み失敗(ファイル数制限)"※1、※2、※3	VR-809 または VR-816 でコピーするときに作成されるフォルダー数が制限値に達しています。 (フォルダー数の制限は、最大 100 個まで)		

- メモ：
- USB メモリーに記録画像をコピーする場合、使用している USB メモリーのメーカーや種類によってコピーにかかる時間は変わります。

SW-U1403 システムメニュー設定時のメッセージ表示

メッセージ表示	内容
"パスワードが正しくありません"	パスワードが正しく入力されなかった場合に表示されます。再度パスワードを入力してください。
"すべての端子を接続なしに設定できません"	[カメラタイプ/標準状態設定]で、SW-U1403 のすべてのカメラタイプを "接続なし"に設定した場合に表示されます。 この場合、カメラ 1 が強制的に "非通信制御カメラ"に設定されます。
"設定可能なカメラがありません([メニュー]ボタンで戻ります)"	カメラメニュー設定およびホームポジション設定画面を起動したとき、通信制御カメラが 1 台も設定されていなかった場合に表示されます。
"すべてのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。"	通信制御カメラ 1 台に登録可能ポジション数以上のプリセットポジションを登録しようとした場合に表示されます。 メモ：_____ • 登録できるポジション数は、使用するカメラによって異なります。詳細は使用しているカメラの [取扱説明書] をご覧ください。
"カメラ(*)の変更によりプリセットは無効です！ クリアもしくは他のカメラで登録してください。 *：カメラ 1～カメラ 16"	カメラ設定の変更などにより、既存のプリセット番号が無効になっているとき、プリセットポジション登録画面を起動すると表示されます。
このカメラは映像設定をサポートしてません	プリセットポジション登録の映像設定にて、選択したポジションの登録カメラが、非通信制御カメラである場合に表示されます。
"ポジションをクリアしました"	プリセットポジションのクリアを実行した場合に表示されます。
"登録されているポジションはありません ([メニュー]ボタンで戻ります)"	• プリセットポジションのクリアを実行した結果、登録されているプリセットポジションがすべてなくなった場合に表示されます。

その他のトラブル

症状	原因と対処方法
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 電源ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。 "電源を入れる/切る" (P.15)
[記録] [再生/一時停止]を押しても操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ オペレーションロックになっていないか確認してください。 "オペレーションロックの設定をする" (P.45) ➔ タイマースタンバイになっていないか確認してください。
再生画像がモニターに表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ モニターの接続を確認してください。 "システム接続例" (P.11) ➔ 記録画像のあるカメラを選んでください。
プログラムタイマーで記録予約ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 日付・時刻設定を確認してください。 "時刻を設定する" (P.23) ➔ タイマースタンバイになっているか確認してください。 ➔ タイマープログラムを確認してください。
メニュー画面が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ オペレーションロックになっていないか確認してください。 "オペレーションロック運用開始" (P.16) ➔ タイマースタンバイになっているか確認してください。 ➔ サブモニターでは表示されません。
日付・時刻および、タイトルがオンスクリーンに表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ [表示設定]メニューの設定項目が"入"になっているか確認してください。 "表示項目と位置の変更" (P.40)
タイムデータが記録されない。	<ul style="list-style-type: none"> 日付・時刻設定を確認してください。 "時刻を設定する" (P.23)
音声が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ [記録設定]メニューの[音声記録]が"入"で記録してください。 ➔ [音声出力設定]メニューを確認してください。
スキップジャンプ、日付け指定検索ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 日付・時刻設定を確認してください。 "時刻を設定する" (P.23) ➔ [再生設定]を確認してください。
スキップボタンを押すとどんどん進んでしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ [再生設定]の[連続スキップ設定]が"切"以外になっていないか確認してください。
背面の[ALARM IN]端子入力でアラーム記録しない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ [アラーム入力端子設定]メニューの[アラーム入力端子]が"アラーム記録"になっているか確認してください。
背面の[EXT REC/MODE IN]端子入力で記録を開始しない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ [信号入出力端子設定]メニューの[外部記録入力端子]が"トリガ"または"マニュアル"になっているか確認してください。
ラックマウントできない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 取り付け可能なラックなど詳しくはご購入の販売店にご相談ください。
"AL-*"を消したい(*は数字)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷状態で表示されている AL-0 はアラームカウント表示です。 ➔ [運用表示項目設定(メイン)]/[運用表示項目設定(サブ)]で、[アラームカウント表示]を"切"に設定してください。

USB メモリー使用時(保守全般)のトラブル

メッセージ表示	原因と対処方法
"USB メモリが認識できません." "USB メモリが認識できません。USB メモリの接続を確認してください。"	<ul style="list-style-type: none"> ● USB メモリーを挿入直後は、接続を認識できないことがあります。しばらくしてから実行してください。 ● セキュリティー UBS メモリーは認識できません。推奨 USB メモリーを使用してください。
"保存に失敗しました." "操作ログ取り出しは失敗しました。"	<ul style="list-style-type: none"> ● 書き込み動作中、USB メモリーを抜いた。 ● USB メモリーが読み出し専用になっている。 → 読み出し専用を解除してください。 ● USB メモリーの容量が少ない。 → 空き容量を増やすか、または新しい USB メモリーを接続してください。 ● 空き容量があるのに書き込めない。(USB メモリーのルートディレクトリにおけるファイル数には限りがあります。) → ファイルをサブディレクトリに入れるか、またはファイルを削除してください。
"USB メモリの設定データが認識できません" "設定データの読み込みに失敗しました"	<ul style="list-style-type: none"> ● 読み込み動作中、USB メモリーを抜いた。 ● USB メモリー内にメニュー設定データが存在しない。 ● ハードディスクレコーダー本体のバージョンとメニュー設定データのバージョンが違う。 ● メニュー設定データのファイルが壊れている。

ビューワソフトウェア(HDR Viewer)操作時のトラブル

症状	原因と対処方法
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none"> → OS が HDR Viewer の動作環境を満たしているか確認してください。 → インストール時に "このセットアップは .NET Framework バージョン 2.0 を必要とします" と表示される場合、VR-809/VR-816 に付属の CD-ROM または Windows Update から Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 をインストールしてから、HDR Viewer をインストールしてください。
Windows Vista/Windows 7 の環境で、HDR Viewer のメニューやボタン上の文字列のレイアウトが崩れる。	<ul style="list-style-type: none"> → OS が Windows Vista/Windows 7 で、DPI スケール設定値が 100% 以外に設定されている場合、HDR Viewer の画面レイアウトが崩れる場合があります。以下の手順により DPI スケール設定を変更し、問題が改善するかご確認ください。 <ol style="list-style-type: none"> ① デスクトップ画面上で右クリックメニューを開き、[個人設定] を選択してください。 ② [個人設定] 画面左上にある、以下の項目をクリックしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista の場合: [フォントサイズ(DPI)の調整] ・ Windows 7 の場合: [ディスプレイ] ③ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、[続行] ボタンをクリックしてください。このとき、パスワードの入力が必要となる場合があります。 ④ 続けて、以下の項目をクリックしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista の場合: [DPI スケール] ダイアログ上にある [カスタム DPI] ボタン ・ Windows 7 の場合: [ディスプレイ] 画面上左側にある [カスタムテキストサイズの設定(DPI)] 項目 ⑤ [標準サイズに対してこの割合で大きさを変える] の設定を 100% に設定してください。
表示される日付フォーマットが年月日ではない。	<ul style="list-style-type: none"> → OS の日付フォーマットに依存します。元号表記は記録配信画像の再生日時、検索開始終了日時を除いて西暦表記になります。
登録した設定が保存できない。	<ul style="list-style-type: none"> → インストール後、Windows Vista/Windows 7 のユーザーアカウント制御の有効/無効を切り換えた場合、登録した機器や表示パターンなど正しく読み込めなくなることがあります。その場合、これらの情報を再度登録してください。
ハードディスクレコーダーを登録、または接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> → ハードディスクレコーダーの電源が ON になっているか、確認してください。 → OS のファイアウォールの設定を確認してください。 → 機器の IP アドレスや MAC アドレスが重複していないか、確認してください。
ワーニング情報を受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> → 接続可能なクライアント数は、ハードディスクレコーダー 1 台あたり、最大 5 台までとなります。接続中のクライアントの台数を確認してください。 → ワーニング情報は、UDP の 21000 番ポートに通知されます。実行中のファイアウォールソフトウェアの設定を確認してください。また、他のソフトウェアと競合していないか確認してください。 → ルーター使用時、ルーターの NAT/IP マスカレード設定を確認してください。 → OS のファイアウォールの設定を確認してください。 → ハードディスクレコーダーを入れ換えた場合、ハードディスクレコーダーを再登録してください。 → HDR Viewer 起動時の初期通信に失敗した機器からは、ワーニング情報を受信できません。登録した機器がネットワーク上にある状態で HDR Viewer を再起動してください。

困ったときは

症状	原因と対処方法
ライブ配信画像の表示がごちない。	<ul style="list-style-type: none"> → ハードディスクレコーダーの画像配信負荷に応じて実際の配信コマ数が調整されるため、HDR Viewer 上では配信要求コマ数通りの表示とならないことがあります。単画面表示にすることで改善する場合があります。 → それでも改善されない場合は、配信要求画質の設定値を調整してください。
ライブ配信、記録配信の画像全体がブロック状に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> → 配信要求設定で低い画質を選択している場合、このように表示されることがあります。設定を調整してください。
ライブ配信、記録配信の画像の一部がブロック状に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> → ネットワークの状態が不安定な場合、このように表示されることがあります。 → ネットワークの状態を改善するか配信要求画質を低く設定すると、改善する場合があります。
画像の表示エリアに「接続できませんでした」などと表示される。	<ul style="list-style-type: none"> → ハードディスクレコーダー 1 台あたり、同時に表示可能なカメラの数は、最大 80 カメラまでです。なお、シークエンシャル表示を行なっている場合は、次に表示される画面のカメラも含まれます。同時に表示しているカメラの数を確認してください。
カメラアラーム記録の検索ができない。	<ul style="list-style-type: none"> → HDR Viewer 起動時の初期通信に失敗した機器に対しては、カメラアラームを条件に含む記録検索を行えません。登録した機器がネットワーク上にある状態で HDR Viewer を再起動してください。
カメラコントロールができない。	<ul style="list-style-type: none"> → 機器の詳細設定で、コントロールするカメラのチェックが ON になっているか、確認してください。 → ハードディスクレコーダーでカメラコントロールできるか、確認してください。 → ハードディスクレコーダーの設定メニューや再生メニューが表示されていないか、確認してください。 → カメラコントロールは各カメラの動作および機能仕様に従います。動作しない場合は、カメラ側の設定を確認してください。
操作対応カメラでパン/チルト操作をしても画角が移動しない。 操作対応カメラでクリックオンセンター操作をしても画角が移動しない。	<ul style="list-style-type: none"> → デジタル PTZ 操作のみに対応するカメラの場合、パン/チルト操作およびクリックオンセンター操作は、1 段階以上ズームインした状態でのみ有効となります。これらの操作を行う前に、カメラを望遠側へズームしてください。
パソコンにコピーした画像の再生で、画面表示が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> → グラフィックボードのドライバを最新のものにしてください。 → [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[画面のプロパティ]→[設定]タブ→[詳細設定]ボタン→[トラブルシューティング]タブ→“ハードウェアアクセラレータ”の設定を、左から 3 番目(…DirectDraw および Direct3D すべてのアクセラレータを無効にします。…)に設定してください。
NAS/BD/DVD/USB にコピーした画像や HDR Viewer で HDD 上にコピーした記録画像が正常に再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> → 使用しているビューソフトウェア(HDR Viewer)の[ヘルプ]ボタンをクリックし、HDR Viewer のバージョン情報をご確認ください。 → 記載が“Version 3.9 (0.0)” 以前の場合は、旧ビューソフトウェアのため、同梱されている CD-ROM(Ver 2.40)の中のビューソフトウェアを再インストールしてください。

HDR Player 使用時のトラブル

症状	対応
HDR Player を起動できない。 HDR Player の起動時に “.NET Framework Initialization Error”と表示され、起動が中断される。	<p>Microsoft .NET Framework がインストールされていません。 VR-809/VR-816 に付属の CD-ROM または Windows Update から Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 をインストールし、再度 HDR Player を起動してください。</p>

BD ドライブ使用時のワーニング表示

メモ：

- [表示項目設定(メイン)]/[表示項目設定(サブ)]→[モード表示]が“切”の場合は表示されません。
“表示項目と位置の変更” (P.40)

■ BD ドライブの異常が考えられるワーニング

症状	原因と対処方法
正常な光ディスク(DVD/BD)が挿入されているのに、“コピー先のメディアが存在しません”などのメッセージが表示される	<p>BD ドライブの異常が考えられます。本機を再起動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> → フロントパネルの[オペレート]ボタンでオペレート OFF 状態にし、本機の背面にある[POWER]スイッチを一度 [OFF]にしてから [ON] にしてください。 → 再起動しても症状が改善しない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。
コピーモードに“ドライブ異常”と表示された “運用表示項目について” (P.39)	<p>コピーなどで BD ドライブにアクセス中に BD ドライブが認識できなくなった場合に表示されます。本機を再起動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> → フロントパネルの[オペレート]ボタンでオペレート OFF 状態にし、本機の背面にある[POWER]スイッチを一度 [OFF]にしてから [ON] にしてください。 → 再起動後に画面中央に“E-10 ディスクドライブで異常を検出しました”が表示されたり、一時的に改善されるが頻繁に同様の症状が発生したりする場合は、ご相談窓口までお問合せください。 “エラー表示のトラブル” (P.115)

保証とアフターサービス

■ 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

■ サービス窓口

・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
 ・カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

■ サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: ハードディスクレコーダー
型番	: VR-809A/VR-816A
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

■ 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は、保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
ハードディスクドライブ	18,000 時間の使用をめやすにメンテナンスしてください。
ファンユニット	30,000 時間の使用をめやすにメンテナンスしてください。

- メンテナンス時間は、25℃環境で使用した場合のめやすであり、使用環境により異なります。
- メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または最寄りのサービス窓口へお願いします。

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

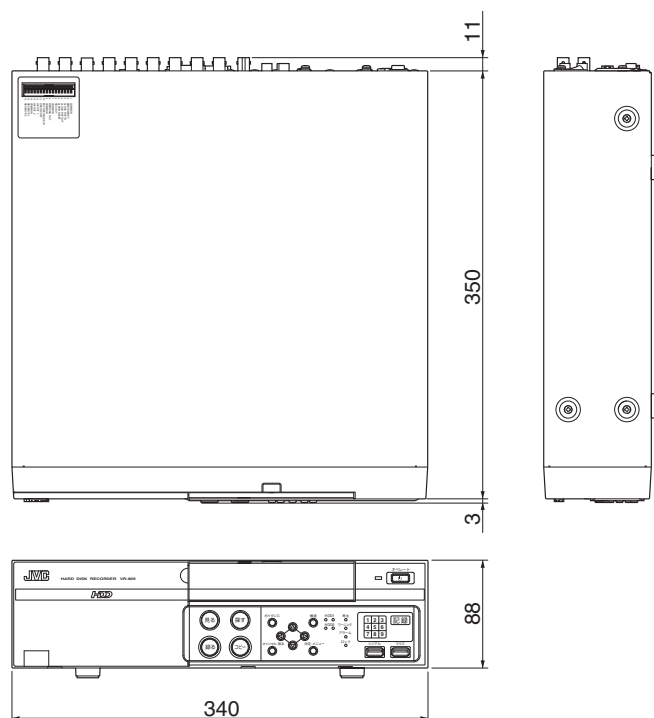
VR-809

項目	内容	
一般	画像圧縮	H.264
	信号方式	NTSC
	記録容量	1TB×1(標準) オプション装着時 最大 12TB
	電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
	消費電力	67 W(オプションなし) 75 W(オプションあり※) ※内蔵 HDD(VR-HDD800)1 台増設/BD ドライブキット(VR-K80)実装時
	許容動作温度範囲	5℃～40℃
	許容保存温度範囲	-20℃～60℃
	許容動作湿度範囲	30%～80%
	質量	約 6.4 kg(オプションなし) 約 7.5 kg(オプションあり)
映像信号系	映像入力	9 回路、VBS、1.0V(p-p)、75Ω(BNC 不平衡) (LAN 端子によって JVC 高精細 IP カメラ 2 台対応:JPEG)
	映像出力	<ul style="list-style-type: none"> スルー出力([THROUGH OUT] 端子) 9 回路、VBS、1.0V(p-p)、75Ω(BNC 不 平衡) ビデオ出力 [MONITOR] (BNC): 1 回路、VBS、1.0 V±0.2 V (p-p)、75 Ω HD 出力 [MONITOR] (DVI-I): 1920×1080p フル HD 出力または 1280×1024 SXGA 出力
	有効画素数	640×480(VGA サイズ:高精細) 640×240(Half-VGA サイズ:標準) 320×240(QVGA サイズ:滑らか)
音声信号系	音声入力	[AUDIO IN 1～AUDIO IN 4]: 4 回路(IP カメラ 2 入力まで対応)
	音声出力	1 回路
	ライン入力レベル	-8 dBs、50 kΩ、RCA ピン(不平衡)
	ライン出力レベル	-8 dBs、1 kΩ、RCA ピン(不平衡)
	周波特性	100 Hz～4 kHz
	音声記録方式	PCM 方式(8bit)、サンプリング周波数 8kHz
外部制御	[IP CAMERA] 端子 (10/1000 Base-T/ 100 Base-Tx)	PoE 対応カメラ用 LAN ポート、RJ-45、 IEEE 802.3af 15.4 W 対応
	[LAN] 端子 (10/1000 Base-T/ 100 Base-Tx)	LAN ポート、RJ-45
	シリアル端子 (USB2.0 相当)	<ul style="list-style-type: none"> [シリアル]端子(フロント): USB メモリー接続用 [マウス]端子(フロント): マウス接続用 [SERIAL]端子(リア×2): 増設 HDD/UPS 接続用

■ 添付物・付属品

添付物・付属品	
保証書	1
安全上のご注意	1
取扱説明書	1
CD-ROM	1
簡単ガイド	1
使用上のご注意	1
電源ケーブル(約 2 m)	1
スタンド	2

■ 外形寸法図(単位:mm)



※ 本書の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

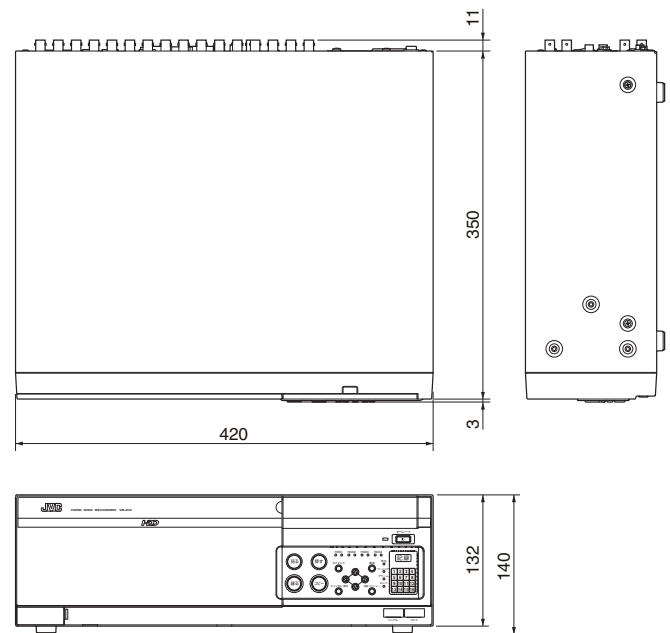
VR-816

項目	内容	
一般	画像圧縮	H.264
	信号方式	NTSC
	記録容量	1TB×1(標準) オプション装着時 最大 14TB
	電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
	消費電力	74 W(オプションなし) 99 W(オプションあり※) ※内蔵 HDD (VR-HDD800)3 台増設/BD ドライブキット(VR-K80)実装時
	許容動作温度範囲	5℃～40℃
	許容保存温度範囲	-20℃～60℃
	許容動作湿度範囲	30%～80%
	質量	約 8.5 kg(オプションなし) 約 11.2 kg(オプションあり)
	映像信号系	映像入力
映像出力		<ul style="list-style-type: none"> スルー出力 ([THROUGH OUT] 端子) 16 回路、VBS、1.0 V (p-p)、75 Ω(BNC 不平衡) ビデオ出力 [MONITOR] (BNC): 1 回路、VBS、1.0 V±0.2 V (p-p)、75 Ω フロント RCA: 1 回路、VBS、1.0 V±0.2 V (p-p)、75 Ω [SUB MONITOR] (BNC): 1 回路、VBS、1.0 V±0.2 V (p-p)、75 Ω HD 出力 [MONITOR] (DVI-I): 1920×1080p フル HD 出力または 1280 ×1024 SXGA 出力 [SUB MONITOR] (DVI-I): 1920×1080p フル HD 出力または 1280 ×1024 SXGA 出力
有効画素数		640×480(VGA サイズ:高精細) 640×240(Half-VGA サイズ:標準) 320×240(QVGA サイズ:滑らか)
音声信号系		
音声信号系	音声入力	[AUDIO IN 1～AUDIO IN 4]: 4 回路(IP カメラ 2 入力まで対応)
	音声出力	2 回路 (フロント×1、リア×1)
	ライン入力レベル	-8 dBs、50 kΩ、RCA ピン(不平衡)
	ライン出力レベル	-8 dBs、1 kΩ、RCA ピン(不平衡)
	周波特性	100 Hz～4 kHz
	音声記録方式	PCM 方式(8 bit)、サンプリング周波数 8 kHz
外部制御	[IP CAMERA] 端子 (10/1000 Base-T/ 100 Base-Tx)	PoE 対応カメラ用 LAN ポート、RJ-45、 IEEE 802.3af 15.4 W 対応
	[LAN] 端子 (10/1000 Base-T/ 100 Base-Tx)	LAN ポート、RJ-45
	シリアル端子 (USB2.0 相当)	<ul style="list-style-type: none"> [シリアル] 端子(フロント): USB メモリー接続用 [マウス] 端子(フロント): マウス接続用 [SERIAL] 端子(リア×2): 増設 HDD/UPS 接続用

■ 添付物・付属品

添付物・付属品	
保証書	1
安全上のご注意	1
取扱説明書	1
CD-ROM	1
簡単ガイド	1
使用上のご注意	1
電源ケーブル(約 2 m)	1
ラックマウント金具	2
スクリュー(M4)	6
スクリュー(M5)	4

■ 外形寸法図(単位: mm)



※ 本書の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12